

## 2016 コンピテンス調査

「グローバルに問われる能力：社会が求める大学教育をめざして」

### 調査報告書

2017 年 9 月

一橋大学 森有礼高等教育国際流動化センター

## Executive Summary

本調査は、就職前に日本の大学卒業生に備わっていることが期待される経済学・ビジネス分野のコンピテンスについて把握することを目的とした<sup>1</sup>。具体的には、専門と汎用の2種類のコンピテンスの重要度と習得度の認識を多様な大学関係者の視点から調査した。対象は4種であり、日本で調査対象2分野を牽引する10大学において経済学かビジネスのいずれかの学部・研究科に属する1) 学部生、2) 教員と、3) 同学部の卒業生、および4) これら学部を卒業して就職すると想定される日本を代表する民間企業に勤務する方（以下、企業人と称す）である。調査実施時期は2016年12月から2017年3月であり、有効回答数は3,168人（経済学2,074人、ビジネス1,094人）となった。本調査の主要な結果は以下のとおりである。

### 【経済学】

**企業人は、学生・教員・卒業生と比べて、専門コンピテンスの重要度・習得度を低く評価する。また大学間の認識は、英語読解コンピテンスを習得したか否かで特に異なる。**

### コンピテンスの重要度・習得度認識

1. 経済学分野における専門コンピテンス（24項目）のうち、どの対象者でも共通して高く認識するのは、基礎的な理解や経済統計に関わる項目（No.6-8, No.17）の重要度・習得度である。他方で習得度が低いと考えられているのは、外国語（英語等）での研究・発表に関わるコンピテンス群（No.21, No.23-24）である（コンピテンス項目は概要図表1を参照）。

### 対象者間の違い

2. 企業人は他の対象者（学生、教員、卒業生）よりも重要度・習得度を低く認識する。
3. 学生、教員、卒業生の認識の中で、企業人と最も異なるのは、学生の重要度認識である。学生と企業人の認識の違いは一樣ではなく大学間で異なっている（特に差があるのは2大学（大学3と大学9）あり、逆に差が少ないのは1大学（大学1）である）。

### 大学間の違い

4. 学生の認識はほぼ全ての大学間ペアで高位の相関を示した。卒業生も同様である。教員は特定のペア（例えば大学1と大学3）で低位から中位の相関が見られた。

---

<sup>1</sup> コンピテンス（コンピテンシー）は、特定の文脈で、複雑な要求や課題に対応できる力と定義される。これは、単なる知識やスキルではなく、心理的・社会的リソースを活用した対応を意味する（OECD, 2005, The Definition and Selection of Key Competencies, Retrieved from <https://www.oecd.org/pisa/35070367.pdf>）。

5. 大学間の認識は、英語読解コンピテンスを習得したか否かで特に異なる（各大学の平均値は概要図表 2 を参照のこと）。これは学生、教員、卒業生で共通している。その他に、学生は統計の習得度、卒業生は計量の習得度で、教員は古典の重要度認識でも大学ペアの違いが多く見られた。

#### **コンピテンス認識と学習・就職 3 項目（専門教育の理解度、教育満足度、専門と関連度の高い仕事への就職）との関連**

6. 学生・卒業生のうち統計・計量に関わるコンピテンスの習得度が高い者ほど、専門教育の理解度及び教育満足度が高い。また応用経済に関わるコンピテンスの重要度を高いと考える学生ほど、専門と関連度の高い就職先を希望する。卒業生の場合は、応用経済に関わるコンピテンスの習得度が高い者ほど、専門と関連度の高い仕事に就いている。

#### **コンピテンスの構造**

7. 重要度・習得度ともに、すべての専門コンピテンス項目間には正の相関があり、いくつかのペアでは強い相関も見られた。そのため、上記項目間にある関係構造を因子分析によって確認した。その結果、重要度では「応用経済」、「語学・研究」、「理論・基礎」、「統計・計量」の 4 因子に集約され、習得度では「応用・研究」、「統計・計量」、「専門語学」、「歴史・思想」の 4 因子に集約された（各因子の構成は概要図表 1 を参照）。

概要図表 1 専門コンピテンスの重要度・習得度の平均値及び因子 No. (経済学)

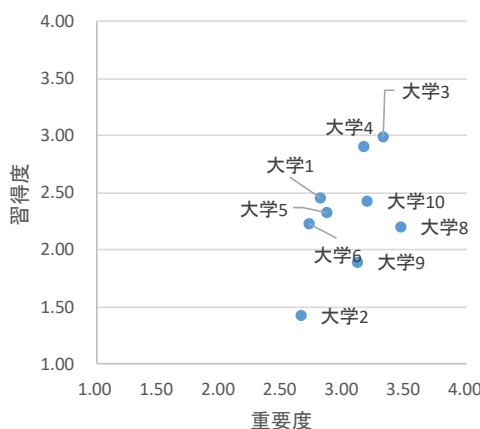
| No | コンピテンス名                | 全対象者 |        |      |        |
|----|------------------------|------|--------|------|--------|
|    |                        | 重要度  |        | 習得度  |        |
|    |                        | 平均   | 因子No.* | 平均   | 因子No.* |
| 1  | 経済モデルの数式やグラフを用いた説明     | 2.79 | ③      | 2.38 | ②      |
| 2  | 数学的解法の理解               | 2.37 | ③      | 2.13 | ②      |
| 3  | 経済システムが形成された歴史的過程の理解   | 2.68 | ③      | 2.32 | ④      |
| 4  | 経済学の古典を参照した議論の実施       | 2.38 | ③      | 2.04 | ④      |
| 5  | 経済学の基礎概念に関する思想的背景の理解   | 2.66 | ③      | 2.26 | ④      |
| 6  | 専門外の人に経済理論を説明          | 3.09 | ③      | 2.42 | ④      |
| 7  | 経済統計の理解と読み取り           | 3.32 | ④      | 2.50 | ②      |
| 8  | 統計データの収集と加工            | 3.35 | ④      | 2.50 | ②      |
| 9  | 計量経済学の手法を用いた経済分析の実施    | 2.86 | ④      | 2.07 | ②      |
| 10 | 財政的諸課題の理解と議論           | 3.02 | ①      | 2.19 | ①      |
| 11 | 金融・資本市場の理解と議論          | 3.08 | ①      | 2.23 | ①      |
| 12 | 労働市場の諸課題の理解と議論         | 3.00 | ①      | 2.24 | ①      |
| 13 | 国際貿易の諸課題の理解と議論         | 2.93 | ①      | 2.10 | ①      |
| 14 | 途上国経済の諸課題の理解と議論        | 2.81 | ①      | 2.02 | ①      |
| 15 | 厚生経済学に基づいた経済政策の実証分析と評価 | 2.72 | ①      | 2.00 | ①      |
| 16 | 法制度の理解に基づいた経済政策の議論     | 2.78 | ①      | 1.94 | ①      |
| 17 | 新聞・雑誌等の経済記事を批判的に議論する   | 3.42 | ①      | 2.70 | ①      |
| 18 | 学際的共同研究の遂行             | 2.64 | ②      | 1.96 | ①      |
| 19 | 英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解   | 2.91 | ②      | 2.05 | ③      |
| 20 | 英語文献の正確な読解             | 2.62 | ②      | 1.91 | ③      |
| 21 | 英語以外の外国語文献の正確な読解       | 2.13 | ②      | 1.47 | ③      |
| 22 | 日本語での論文執筆能力            | 2.78 | ②      | 2.12 | ①      |
| 23 | 英語での論文執筆能力             | 2.36 | ②      | 1.53 | ③      |
| 24 | セミナー等での英語による発表・議論      | 2.39 | ②      | 1.50 | ③      |

\* 因子分析の結果をもとに、各因子に対応する項目に因子No.を付した。重要度因子、習得度因子どちらの場合も、①が第1因子、②が第2因子、③が第3因子、④が第4因子を意味する。なお、因子の解釈は、因子負荷が0.4以上の項目を中心としている。

重要度因子:①「応用経済」、②「語学・研究」、③「理論・基礎」、④「統計・計量」。

習得度因子:①「応用・研究」、②「統計・計量」、③「専門語学」、④「歴史・思想」。

概要図表 2 No.19「英字新聞や英文雑誌の経済記事を正確に読むことができる」の重要度と習得度の大学別散布図



## 【ビジネス】

卒業生・企業人は学生・教員と比べて、専門コンピテンスの重要度・習得度を低く評価する。また大学間の認識は英語による読解/理解コンピテンスを習得したか否かで特に異なる。

### コンピテンスの重要度・習得度認識

1. ビジネス分野における専門コンピテンス（31 項目）のうち、どの対象者でも共通して高く認識するのは、日常的な職務遂行に役立つスキルや基礎的な理解に関わる項目の重要度である。特に「仕事の段取りを決めるスキルがある」（No.10）、「適切なデータの取集と、図表などへの加工」（No.5）、「経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解」（No.8）は、重要度だけでなく、習得度の高さでも上位に挙がる（コンピテンス項目は概要図表 3 を参照）。

### 対象者間の違い

2. 卒業生・企業人は、学生・教員よりも重要度・習得度を低く評価する。
3. 一部大学の特に教員の認識は、企業人の認識と低い相関を示す。教員と企業人との間で認識が異なるのは、専門書籍（英語書籍も含む）理解コンピテンスの重要度であり、2 つのコンピテンス（経営戦略に基づいた企業行動の考察やマーケティングの基本概念に基づいた現象の考察）の習得度である。

### 大学間の違い

4. 大学ペアの相関を見ると、学生は全てのペアで中位から高位の相関を示す。卒業生も同様である。他方で教員は中位の相関が多く、特定の大学ペアにおいて無相関や低位の相関が見られた（例えば大学 3 に関連するペア）。
5. 大学間の認識は、英語による読解/理解コンピテンスを習得したか否かで特に異なる。これは学生と教員に顕著である。また学生と卒業生では、ビジネスの基礎用語の説明を重要と考える程度や、2 つのコンピテンス（経営戦略に基づいた企業行動の考察やマーケティングの基本概念に基づいた現象の考察）の習得度で大学間の差が示された（各大学の平均値は概要図表 4 と概要図表 5 を参照のこと）。

### コンピテンス認識と学習・就職 3 項目（専門教育の理解度、教育満足度、専門と関連度の高い仕事への就職）との関連

6. 学生の場合、専門基礎に関わるコンピテンスの習得度が高い者ほど、専門教育の理解度が高い。卒業生の場合は、会計・財務に関わるコンピテンスの習得度が高い者ほど、専門教育の理解度が高い。また理論的考察に関わるコンピテンスの重要度を高いと考え

るか、専門基礎に関わるコンピテンスの習得度が高い学生ほど、専門と関連度の高い就職先を希望する。卒業生の場合は、会計・ビジネス基礎に関わるコンピテンスの重要度を高いと考える者ほど、専門と関連度の高い仕事に就いている傾向が示された。

## コンピテンスの構造

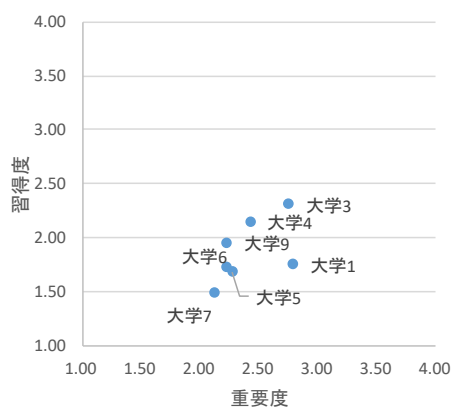
7. コンピテンス間の相関を見ると、重要度・習得度どちらの場合も、ほとんどの専門コンピテンス項目間には正の相関があり、いくつかのペアでは強い相関も見られた。そのため、上記項目間にある関係構造を因子分析によって確認した。その結果、重要度では「理論的考察」、「提案・問題解決」、「英語・専門理解」、「会計・ビジネス基礎」の4因子に集約され、習得度では「マネジメント」、「専門基礎」、「英語」、「会計・財務」の4因子に集約された（各因子の構成は概要図表3を参照）。

概要図表3 専門コンピテンスの重要度・習得度の平均値及び因子No.（ビジネス）

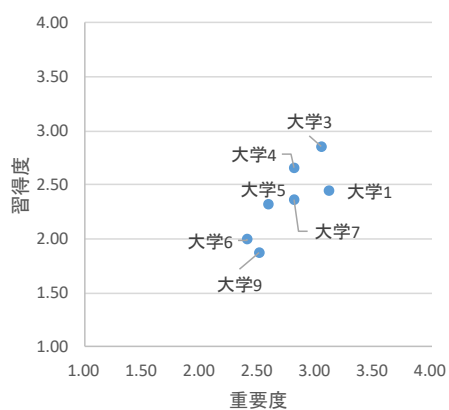
| No | コンピテンス名                    | 全対象者 |        |      |        |
|----|----------------------------|------|--------|------|--------|
|    |                            | 重要度  |        | 習得度  |        |
|    |                            | 平均   | 因子No.* | 平均   | 因子No.* |
| 1  | マクロ経済指標の説明                 | 2.85 | ④      | 2.30 | ②      |
| 2  | 会計指標の説明                    | 3.16 | ④      | 2.43 | ④      |
| 3  | ビジネスの基礎用語を説明               | 3.06 | ④      | 2.52 | ②      |
| 4  | ビジネスに関する事象や動向を理解し説明        | 3.45 | ④      | 2.51 | ②      |
| 5  | 適切なデータの取集と、図表などへの加工        | 3.42 | ②      | 2.67 | ②      |
| 6  | 社会現象を要因間の因果関係として図式化、整理     | 3.21 | ②      | 2.45 | ②      |
| 7  | 専門書籍の正確な理解                 | 2.69 | ③      | 2.39 | ④      |
| 8  | 経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解 | 3.42 | ④      | 2.88 | ②      |
| 9  | 従来の問題に気づき、代替案を提案           | 3.55 | ②      | 2.52 | ②      |
| 10 | 仕事の段取りを決めるスキルがある           | 3.59 | ②      | 2.70 | ①      |
| 11 | 専門的英文書籍・論文の正確な理解           | 2.43 | ③      | 1.98 | ③      |
| 12 | 英語のネット情報の正確な理解             | 2.75 | ③      | 2.11 | ③      |
| 13 | ビジネスに関する英語での口頭コミュニケーション    | 3.17 | ③      | 2.00 | ③      |
| 14 | 社会調査の基本的手法をビジネス調査に応用       | 2.70 | ③      | 2.11 | ①      |
| 15 | ビジネスの統計分析                  | 2.62 | ①      | 2.00 | ③      |
| 16 | 企業の財務上の特性や問題の指摘            | 3.25 | ④      | 2.42 | ④      |
| 17 | 理論に基づき企業活動を考察する            | 2.65 | ①      | 1.90 | ④      |
| 18 | 分析枠組に基づき企業行動を考察する          | 2.75 | ①      | 2.36 | ①      |
| 19 | マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する    | 2.85 | ①      | 2.46 | ①      |
| 20 | 基本概念に基づき企業における人間行動を考察する    | 3.21 | ①      | 2.65 | ①      |
| 21 | 組織形態に基づき企業組織を考察する          | 2.79 | ①      | 2.28 | ①      |
| 22 | 人的資源管理論に基づき企業の人事政策・慣行を考察する | 2.68 | ①      | 2.07 | ①      |
| 23 | 生産システムの管理に基づき企業活動を考察する     | 2.70 | ①      | 2.01 | ①      |
| 24 | 利害関係を含め企業の役割を考察する          | 3.24 | ②      | 2.50 | ①      |
| 25 | 国際的な事業展開の枠組に基づき企業活動を考察する   | 3.06 | ②      | 2.23 | ①      |
| 26 | 企業の問題の分析、解決策の作成            | 3.42 | ②      | 2.38 | ①      |
| 27 | コンサルティングの提案                | 2.86 | ①      | 1.97 | ①      |
| 28 | 文化や倫理が企業に与える影響の理解          | 2.91 | ②      | 2.23 | ①      |
| 29 | 企業組織の各職能の認識と関係性の理解         | 3.27 | ②      | 2.57 | ①      |
| 30 | ミクロ的・マクロ的要因の企業への影響の認識      | 3.02 | ②      | 2.21 | ②      |
| 31 | 既存・新規技術が将来の市場に与える影響の想定     | 3.17 | ②      | 2.27 | ①      |

\* 因子分析の結果をもとに、各因子に対応する項目に因子No.を付した。重要度因子、習得度因子どちらの場合も、①が第1因子、②が第2因子、③が第3因子、④が第4因子を意味する。なお、因子の解釈は、因子負荷が0.4以上の項目を中心としている。  
重要度因子：①「理論的考察」、②「提案・問題解決」、③「英語・専門理解」、④「会計・ビジネス基礎」。  
習得度因子：①「マネジメント」、②「専門基礎」、③「英語」、④「会計・財務」。

概要図表 4 コンピテンス No.11「経営学や経済学に関する専門的な英文書籍や英語論文を読んで、内容を正確に理解できる」の重要度と習得度の大学別散布図



概要図表 5 コンピテンス No.18「事業戦略や経営戦略の分析枠組み（たとえばマイケル・ポーターのファイブ・フォーセズ・モデル）に基づいて、企業行動を考察できる」の重要度認識と習得度認識の大学別平均散布図



## 【汎用】

研究や創造性、国際性に関わる汎用コンピテンスの習得度は概ね低いと考えられている。

### コンピテンスの重要度・習得度認識

1. 汎用コンピテンス（31 項目）のうち、学生・卒業生・企業人にとって、特に重要度が高いと考えられている項目は「母語での意思疎通」（No.5）、「計画立てと時間管理」（No.3）、「対人関係スキル」（No.17）、「チームでの作業」（No.16）、「理論的な意思決定」（No.15）などである。教員は、他の対象者と比べて、学術実践と関連性が深いコンピテンス（No.2, No.9-11）をより重要だと位置づけている。全対象者に共通して、学部卒業時での習得度が比較的低いとみなされているのは、研究や創造性、国際性に関わるコンピテンス群（No.6, No.8, No.13, No.21, No.25）である（コンピテンス項目は概要図表 6 を参照）。

### 対象者間の違い

2. 対象者間の認識は、重要度と習得度で異なる。重要度認識については、対象者間ペアの違いは見られず、どの対象者ペアでも同程度の数（10～15）のコンピテンス項目で認識差が見られる。習得度に関しては、企業人と学生との間で認識差の大きい項目が多く見られ、企業人は学生よりも習得度を低く評価する。企業人と教員の間で習得度認識の差はほとんどない。

### コンピテンスの構造

3. 重要度・習得度どちらの場合も、ほとんどの汎用コンピテンス項目間には低・中程度の正の相関が見られる（ただし、重要度では 0.6 以上の強い相関があるペアはない）。そのため、上記項目間にある関係構造を因子分析によって確認した。その結果、重要度・習得度どちらの場合も、「協働・職務遂行」、「応用実践・調査分析」、「国際性・創造性」、「社会倫理・責任」の 4 つの因子に集約された（各因子の構成は概要図表 6 を参照）。



概要図表 6 汎用コンピテンスの重要度・習得度の平均値及び因子 No.

| No | コンピテンス名         | 全対象者 |        |      |        |
|----|-----------------|------|--------|------|--------|
|    |                 | 重要度  |        | 習得度  |        |
|    |                 | 平均   | 因子No.* | 平均   | 因子No.* |
| 1  | 理論的な思考、分析、統合    | 3.33 | ②      | 2.70 | ①      |
| 2  | 知識を実践に応用        | 3.51 | ②      | 2.69 | ①      |
| 3  | 計画立てと時間管理       | 3.70 | ①      | 2.86 | ①      |
| 4  | 専門分野の知識と理解力     | 3.13 | ②      | 2.48 | ①      |
| 5  | 母語での意思疎通        | 3.72 | ②      | 3.36 | ①      |
| 6  | 第二言語での意思疎通      | 3.14 | ③      | 2.20 | ④      |
| 7  | 情報通信技術の活用       | 3.40 | ②      | 2.72 | ①      |
| 8  | 適切なレベルでの研究遂行    | 2.97 | ③      | 2.39 | ①      |
| 9  | 最新の学術知識を取り入れる   | 3.59 | ②      | 2.92 | ①      |
| 10 | 様々な資料を探し分析する    | 3.59 | ②      | 2.89 | ①      |
| 11 | 批判的思考や省察        | 3.43 | ②      | 2.82 | ①      |
| 12 | 新しい状況への適応       | 3.63 | ①      | 2.89 | ②      |
| 13 | 新しい考え方を生み出す     | 3.31 | ③      | 2.34 | ④      |
| 14 | 問題を特定し解決        | 3.55 | ②      | 2.77 | ①      |
| 15 | 理論的な意思決定        | 3.65 | ①      | 2.97 | ①      |
| 16 | チームでの作業         | 3.66 | ①      | 3.23 | ②      |
| 17 | 対人関係スキル         | 3.68 | ①      | 3.14 | ②      |
| 18 | 共通の目標に向け人を動機付ける | 3.41 | ①      | 2.60 | ②      |
| 19 | 専門外の人と認識を共有できる  | 3.37 | ①      | 2.67 | ②      |
| 20 | 多様性の尊重          | 3.59 | ①      | 3.19 | ③      |
| 21 | 国際的な仕事          | 3.09 | ③      | 2.19 | ④      |
| 22 | 自律的に仕事をする       | 3.57 | ①      | 2.92 | ①      |
| 23 | プロジェクトを設計し管理する  | 3.23 | ③      | 2.42 | ①      |
| 24 | 安全性へのこだわり       | 3.48 | ④      | 3.08 | ③      |
| 25 | 起業家精神とイニシアチブの発揮 | 2.92 | ③      | 2.21 | ④      |
| 26 | 倫理的思考に基づいた行動    | 3.43 | ④      | 3.07 | ③      |
| 27 | 仕事の成果の評価と質の維持   | 3.38 | ①      | 2.65 | ①      |
| 28 | 自身の職責の遂行        | 3.60 | ①      | 3.07 | ②      |
| 29 | 環境保護への深い関与      | 2.89 | ④      | 2.50 | ③      |
| 30 | 社会的責任に基づく行動     | 3.30 | ④      | 2.85 | ③      |
| 31 | 機会均等やジェンダーへの理解  | 3.14 | ④      | 2.81 | ③      |

\* 因子分析の結果をもとに、各因子に対応する項目に因子No.を付した。重要度因子、習得度因子どちらの場合も、①が第1因子、②が第2因子、③が第3因子、④が第4因子を意味する。なお、因子の解釈は、因子負荷が0.4以上の項目を中心としている。

重要度:①「協働・職務遂行」、②「応用実践・調査分析」、③「国際性・創造性」、④「社会倫理・責任」。

習得度:①「応用実践・調査分析」、②「協働・職務遂行」、③「社会倫理・責任」、④「国際性・創造性」。

## 【考察】

本調査の結果から、経済学・ビジネスどちらの分野でも、企業人は学生・教員よりも専門コンピテンスの重要度・習得度を低く認識することが示された。大学教育を通じてどのようなコンピテンスを育むか、本調査の知見を活用し、特に企業人と大学関係者間での対話を通じた合意形成をさらに進める必要性が示唆される。しかしその一方で、どの対象者も基礎的な理解・スキルの重要度・習得度を相対的に高く認識する点では共通していた。また、学生の場合、基礎的な理解・スキルに関わるコンピテンスの習得度が高い者ほど、専門教育の理解度が高い傾向が見られた。ここから、より多くの学生による基礎的な理解・スキルに関わる専門コンピテンスの習得を目標に、教育内容・方法を改善していくことが、大学における教育実践上の課題の一つになると考えられる。さらに、どの対象者でも概して習得度が低く評価される傾向にあった、外国語（英語等）や国際性・創造性に関わるコンピテンスを、専門教育の中でどのように位置づけていくのかも、今後検討されるべき重要な課題といえる。

また経済学とビジネスにおける大学間のコンピテンス認識は、英語読解に関連するコンピテンスを習得したか否かで特に異なることが示された。各大学の3つ（ディプロマ・カリキュラム・アドミッション）のポリシーが学生や卒業生の認識に影響している可能性が考えられる。これらは認識の分析結果に過ぎないが、大学関係者が自大学の結果を考察する意味はあると考えられる。

本分析結果の一般化制約は特に教員における回答者の代表性にある。今後のテーマとしては、大学間の違いや特定のコンピテンスの認識の違いは、何によってもたらされるのか、またコンピテンスの認識が、学習達成度や職業キャリアにどう作用するのか、専門コンピテン스와汎用コンピテンスの両方の視点から明らかにすることなどが考えられる。

## 目次

|                                               |    |
|-----------------------------------------------|----|
| 1. はじめに .....                                 | 1  |
| 2. 調査・分析概要 .....                              | 2  |
| 2.1 調査対象者・実施方法・実施時期.....                      | 2  |
| 2.2 調査内容 .....                                | 5  |
| 2.3 分析手法 .....                                | 5  |
| 3. 結果：経済学 .....                               | 6  |
| 3.1 全体分析 .....                                | 6  |
| 3.1.1 専門コンピテンスの回答分布.....                      | 6  |
| 3.1.2 対象者間での専門コンピテンス認識の差異.....                | 13 |
| 3.1.3 専門コンピテンス間の関係性.....                      | 17 |
| 3.1.4 学生・卒業生の理解度・満足度・就職先関連度とコンピテンス認識の関係性..... | 23 |
| 3.1.5 まとめ .....                               | 29 |
| 3.2 大学間比較 .....                               | 31 |
| 3.2.1 対象大学とグループ.....                          | 31 |
| 3.2.2 回答分布 .....                              | 31 |
| 3.2.3 大学間での相関.....                            | 36 |
| 3.2.4 大学間の認識差の有無.....                         | 37 |
| 3.2.5 大学間のコンピテンス認識差の有無.....                   | 39 |
| 3.2.6 大学内の認識差の有無.....                         | 51 |
| 3.2.7 企業人との認識差に関する大学間の違い.....                 | 57 |
| 3.2.8 まとめ .....                               | 65 |
| 4. 結果：ビジネス .....                              | 66 |
| 4.1 全体分析 .....                                | 66 |
| 4.1.1 専門コンピテンスの回答分布.....                      | 66 |
| 4.1.2 対象者間での専門コンピテンス認識の差異.....                | 73 |
| 4.1.3 専門コンピテンス間の関係性.....                      | 78 |
| 4.1.4 学生・卒業生の理解度・満足度・就職先関連度とコンピテンス認識の関係性..... | 84 |
| 4.1.5 まとめ .....                               | 89 |
| 4.2 大学間比較 .....                               | 91 |
| 4.2.1 対象大学とグループ.....                          | 91 |
| 4.2.2 回答分布 .....                              | 91 |
| 4.2.3 大学間での相関.....                            | 96 |
| 4.2.4 大学間の認識差の有無.....                         | 97 |

|       |                          |     |
|-------|--------------------------|-----|
| 4.2.5 | 大学間のコンピテンス認識差の有無.....    | 98  |
| 4.2.6 | 大学内の認識差の有無.....          | 109 |
| 4.2.7 | 企業人との認識差に関する大学間の違い.....  | 112 |
| 4.2.8 | まとめ .....                | 120 |
| 5.    | 結果：汎用 .....              | 121 |
| 5.1   | 汎用コンピテンスの回答分布.....       | 121 |
| 5.2   | 対象者間での汎用コンピテンス認識の差異..... | 128 |
| 5.3   | 汎用コンピテンス間の関係性.....       | 131 |
| 5.4   | まとめ .....                | 138 |
| 6.    | 結論と考察 .....              | 140 |
|       | 作業分担 .....               | 143 |

## 図表目次

|       |                                      |    |
|-------|--------------------------------------|----|
| 図表 1  | 回答数（アクセス媒体・対象者別）                     | 3  |
| 図表 2  | 回答数（分野・対象者別）                         | 3  |
| 図表 3  | 回答数（分野・対象者・大学別）                      | 4  |
| 図表 4  | 有効回答数と回収率（2016 年度調査参加者のうち大学関係のみ）     | 4  |
| 図表 5  | 項目数（分野・対象者別）                         | 5  |
| 図表 6  | 専門コンピテンスの重要度・習得度の平均値（経済学、学生）         | 7  |
| 図表 7  | 専門コンピテンスの重要度・習得度の平均値（経済学、教員）         | 9  |
| 図表 8  | 専門コンピテンスの重要度・習得度の平均値（経済学、卒業生）        | 11 |
| 図表 9  | 専門コンピテンスの重要度・習得度の平均値（経済学、企業人）        | 13 |
| 図表 10 | 対象者間での専門コンピテンス・重要度の差異（経済学）           | 16 |
| 図表 11 | 対象者間での専門コンピテンス・習得度の差異（経済学）           | 17 |
| 図表 12 | 専門コンピテンス・重要度の相関関係（経済学、全対象者）          | 19 |
| 図表 13 | 専門コンピテンス・習得度の相関関係（経済学、全対象者）          | 20 |
| 図表 14 | 経済学におけるコンピテンス・重要度の因子分析（回転後の因子負荷）     | 21 |
| 図表 15 | 経済学におけるコンピテンス・習得度の因子分析（回転後の因子負荷）     | 22 |
| 図表 16 | 専門コンピテンス・重要度の因子得点（対象者別平均値）（経済学）      | 23 |
| 図表 17 | 専門コンピテンス・習得度の因子得点（対象者別平均値）（経済学）      | 23 |
| 図表 18 | 使用する変数の記述統計量（経済学、学生）                 | 25 |
| 図表 19 | 使用する変数の記述統計量（経済学、卒業生）                | 26 |
| 図表 20 | 専門理解度の順序プロビット回帰分析（経済学、学生・卒業生）        | 27 |
| 図表 21 | 教育満足度の順序プロビット回帰分析（経済学、学生・卒業生）        | 28 |
| 図表 22 | 就職(希望)先との関連度の順序プロビット回帰分析(経済学、学生・卒業生) | 29 |
| 図表 23 | 大学間比較の対象（経済学）                        | 31 |
| 図表 24 | 重要度認識と習得度認識の大学別散布図                   | 33 |
| 図表 25 | コンピテンス No.19 の重要度認識と習得度認識の大学別散布図     | 33 |
| 図表 26 | 大学別の記述統計（経済学・重要度）                    | 34 |
| 図表 27 | 大学別の記述統計（経済学・習得度）                    | 35 |
| 図表 28 | 大学間相関係数（経済学・学生・重要度）                  | 36 |
| 図表 29 | 大学間相関係数（経済学・学生・習得度）                  | 36 |
| 図表 30 | 大学間相関係数（経済学・教員・重要度）                  | 37 |
| 図表 31 | 大学間相関係数（経済学・教員・習得度）                  | 37 |
| 図表 32 | 大学間相関係数（経済学・卒業生・重要度）                 | 37 |
| 図表 33 | 大学間相関係数（経済学・卒業生・習得度）                 | 37 |
| 図表 34 | 大学間の分散分析と多重比較結果（経済学・対象者別）            | 38 |

|       |                                       |    |
|-------|---------------------------------------|----|
| 図表 35 | コンピテンス別の大学間比較（経済学・学生・重要度）             | 41 |
| 図表 36 | コンピテンス別の大学間比較（経済学・学生・習得度）             | 43 |
| 図表 37 | コンピテンス別の大学間比較（経済学・教員・重要度）             | 45 |
| 図表 38 | コンピテンス別の大学間比較（経済学・教員・習得度）             | 46 |
| 図表 39 | コンピテンス別の大学間比較（経済学・卒業生・重要度）            | 47 |
| 図表 40 | コンピテンス別の大学間比較（経済学・卒業生・習得度）            | 49 |
| 図表 41 | 大学内の対象別分散分析と多重比較結果（経済学）               | 52 |
| 図表 42 | コンピテンス別の大学内比較（経済学・重要度）                | 53 |
| 図表 43 | コンピテンス別の大学内比較（経済学・習得度）                | 55 |
| 図表 44 | 大学・対象者別の企業人認識との順位相関                   | 58 |
| 図表 45 | 企業人との認識の差異（経済学・学生・重要度）                | 59 |
| 図表 46 | 企業人との認識の差異（経済学・学生・習得度）                | 60 |
| 図表 47 | 企業人との認識の差異（経済学・教員・重要度）                | 61 |
| 図表 48 | 企業人との認識の差異（経済学・教員・習得度）                | 62 |
| 図表 49 | 企業人との認識の差異（経済学・卒業生・重要度）               | 63 |
| 図表 50 | 企業人との認識の差異（経済学・卒業生・習得度）               | 64 |
| 図表 51 | 専門コンピテンスの重要度・習得度の平均値（ビジネス、学生）         | 67 |
| 図表 52 | 専門コンピテンスの重要度・習得度の平均値（ビジネス、教員）         | 69 |
| 図表 53 | 専門コンピテンスの重要度・習得度の平均値（ビジネス、卒業生）        | 71 |
| 図表 54 | 専門コンピテンスの重要度・習得度の平均値（ビジネス、企業人）        | 73 |
| 図表 55 | 対象者間での専門コンピテンス・重要度の差異（ビジネス）           | 76 |
| 図表 56 | 対象者間での専門コンピテンス・習得度の差異（ビジネス）           | 77 |
| 図表 57 | 専門コンピテンス・重要度の相関関係（ビジネス、全対象者）          | 79 |
| 図表 58 | 専門コンピテンス・習得度の相関関係（ビジネス、全対象者）          | 80 |
| 図表 59 | ビジネスにおけるコンピテンス・重要度の因子分析（回転後の因子負荷）     | 82 |
| 図表 60 | ビジネスにおけるコンピテンス・習得度の因子分析（回転後の因子負荷）     | 83 |
| 図表 61 | 専門コンピテンス・重要度の因子得点（対象者別平均値）（ビジネス）      | 84 |
| 図表 62 | 専門コンピテンス・習得度の因子得点（対象者別平均値）（ビジネス）      | 84 |
| 図表 63 | 使用する変数の記述統計量（ビジネス、学生）                 | 85 |
| 図表 64 | 使用する変数の記述統計量（ビジネス、卒業生）                | 86 |
| 図表 65 | 専門理解度の順序プロビット回帰分析（ビジネス、学生・卒業生）        | 87 |
| 図表 66 | 教育満足度の順序プロビット回帰分析（ビジネス、学生・卒業生）        | 88 |
| 図表 67 | 就職（希望）先との関連度の順序プロビット回帰分析（ビジネス、学生・卒業生） | 89 |
| 図表 68 | 大学間比較の対象（ビジネス）                        | 91 |

|        |                                    |     |
|--------|------------------------------------|-----|
| 図表 69  | 重要度認識と習得度認識の大学別平均散布図               | 93  |
| 図表 70  | コンピテンス No.11 の重要度認識と習得度認識の大学別平均散布図 | 93  |
| 図表 71  | コンピテンス No.18 の重要度認識と習得度認識の大学別平均散布図 | 93  |
| 図表 72  | 大学別の記述統計（ビジネス・重要度）                 | 94  |
| 図表 73  | 大学別の記述統計（ビジネス・習得度）                 | 95  |
| 図表 74  | 大学間相関係数（ビジネス・学生・重要度）               | 96  |
| 図表 75  | 大学間相関係数（ビジネス・学生・習得度）               | 96  |
| 図表 76  | 大学間相関係数（ビジネス・教員・重要度）               | 97  |
| 図表 77  | 大学間相関係数（ビジネス・教員・習得度）               | 97  |
| 図表 78  | 大学間相関係数（ビジネス・卒業生・重要度）              | 97  |
| 図表 79  | 大学間相関係数（ビジネス・卒業生・習得度）              | 97  |
| 図表 80  | 大学間の分散分析と多重比較結果（ビジネス・対象者別）         | 98  |
| 図表 81  | コンピテンス別の大学間比較（ビジネス・学生・重要度）         | 101 |
| 図表 82  | コンピテンス別の大学間比較（ビジネス・学生・習得度）         | 102 |
| 図表 83  | コンピテンス別の大学間比較（ビジネス・教員・重要度）         | 103 |
| 図表 84  | コンピテンス別の大学間比較（ビジネス・教員・習得度）         | 104 |
| 図表 85  | コンピテンス別の大学間比較（ビジネス・卒業生・重要度）        | 105 |
| 図表 86  | コンピテンス別の大学間比較（ビジネス・卒業生・習得度）        | 107 |
| 図表 87  | 大学内の対象別分散分析と多重比較結果（ビジネス）           | 109 |
| 図表 88  | コンピテンス別の大学内比較（ビジネス・重要度）            | 110 |
| 図表 89  | コンピテンス別の大学内比較（ビジネス・習得度）            | 111 |
| 図表 90  | 大学・対象者別の企業人認識との順位相関                | 113 |
| 図表 91  | 企業人との認識の差異（ビジネス・学生・重要度）            | 114 |
| 図表 92  | 企業人との認識の差異（ビジネス・学生・習得度）            | 115 |
| 図表 93  | 企業人との認識の差異（ビジネス・教員・重要度）            | 116 |
| 図表 94  | 企業人との認識の差異（ビジネス・教員・習得度）            | 117 |
| 図表 95  | 企業人との認識の差異（ビジネス・卒業生・重要度）           | 118 |
| 図表 96  | 企業人との認識の差異（ビジネス・卒業生・習得度）           | 119 |
| 図表 97  | 汎用コンピテンスの重要度・習得度の平均値（学生）           | 122 |
| 図表 98  | 汎用コンピテンスの重要度・習得度の平均値（教員）           | 124 |
| 図表 99  | 汎用コンピテンスの重要度・習得度の平均値（卒業生）          | 126 |
| 図表 100 | 汎用コンピテンスの重要度・習得度の平均値（企業人）          | 128 |
| 図表 101 | 対象者間での汎用コンピテンス・重要度の差異              | 130 |
| 図表 102 | 対象者間での汎用コンピテンス・習得度の差異              | 131 |
| 図表 103 | 汎用コンピテンス・重要度の相関関係（全対象者）            | 133 |
| 図表 104 | 汎用コンピテンス・習得度の相関関係（全対象者）            | 134 |

|        |                                   |     |
|--------|-----------------------------------|-----|
| 図表 105 | 汎用コンピテンス・重要度の因子分析（回転後の因子負荷） ..... | 136 |
| 図表 106 | 汎用コンピテンス・習得度の因子分析（回転後の因子負荷） ..... | 137 |
| 図表 107 | 汎用コンピテンス・重要度の因子得点（対象者別平均値） .....  | 138 |
| 図表 108 | 汎用コンピテンス・習得度の因子得点（対象者別平均値） .....  | 138 |



## 1. はじめに

一橋大学森有礼高等教育国際流動化センターでは、大学卒業生が身に付けるべき専門と汎用の2種類のコンピテンスを把握する目的で2014年度から調査を実施した。調査は2016年度で3回目となり、本報告書は3回目の調査内容を取りまとめたものである<sup>2</sup>。

我々がコンピテンスに着目する理由は、これが大学での学修が社会に活かされることを問うための新たな教育成果指標だからである。どのようなコンピテンスが、誰によって、重要（もしくは重要でない）とみなされ、習得されている（もしくは習得されていない）とみなされるのか。どのコンピテンスが、大学関係者の間で一致した認識を示されるのか、またかい離が大きいのか。これらを把握することは、カリキュラムの見直しをする上での重要なデータとなると我々は考える。

本調査が前回までの調査と異なる点は3つある。まず、調査対象分野を経済学とビジネスの2分野に絞り込んだ点である。これは、今回の調査主体である一橋大学が優位性を持つ分野に絞ることで、調査の深化が期待されたためである。これにより、コンピテンスの特徴を詳細に把握し、調査参加大学間の比較を丁寧に行いたいと考えた。次に、調査に参加した学生の一部には学籍番号の記載を求めた点である。前回までは無記入だったことから、一部大学の記名化が調査に影響を与えた可能性も否定できない。しかし学籍番号を基に多様なデータと組み合わせることで新たな知見を得る可能性を重視した。このような学内データを用いた分析結果は本報告書には含まれていない。今後の活用が望まれる。最後は、多種多様な調査が実施されている中で、本調査の回答率を上げて分析に足るデータを集めるために、一部の参加者に薄謝を進呈した点である。

本調査研究を計画・遂行するにあたっては、国内外の多くの関係者の方々に多大なご協力やご助言を賜った。回答いただいた皆さまには貴重な時間を割いていただいた。また各大学の関連学部・研究科長や担当教員の皆さま、大学職員の皆さまには非常にお忙しい中での参加を検討・調整していただいた。これらに改めて感謝したい。

本調査に限らず、各種調査・評価の課題は活用である。大学でのカリキュラム見直し時に、調査データおよび本報告書が少しでも役立つことを調査関係者一同心から願う次第である。

本報告書の構成は次のようになっている。まず第2章で調査概要を説明し、第3章で経済学コンピテンスに関する分析結果を、第4章でビジネスコンピテンスに関する分析結果を、第5章で汎用コンピテンスに関する分析結果を述べる。第6章で結論と今後の課題を述べる。参考資料には、属性質問の単純集計、分野・大学・対象者別の詳細分析、そして質問紙が含まれる。

---

<sup>2</sup> 第1回調査および第2回調査の報告書は <http://www.arinori.hit-u.ac.jp/project> を参考のこと。なお本報告書の訂正および関連する資料等は、上記 URL にて公開する予定である。

## 2. 調査・分析概要

### 2.1 調査対象者・実施方法・実施時期

#### 調査対象者

対象者：以下の方々を調査対象者とした

1. 経済学・ビジネスを専門とする学部生（主に学部3年生以上）
2. 経済学・ビジネスを専門とする教員
3. 経済学・ビジネスを専門とした卒業生（卒後5年以内）
4. 日本を代表する民間企業に勤務し、経済学かビジネスを大学で専攻した方（以降、企業人と称す）（主に卒後5年以降<sup>3</sup>）

対象専門分野：経済学・ビジネス

参加大学：

経済学もしくはビジネス分野において入学競争率が一定水準以上の日本の関連学部に対して、本調査への参加を呼びかけた。うち複数の大学には訪問して調査概要を説明した。結果として、調査に参加したのは以下の10大学である。

（50音順）岡山大学、九州大学、慶應義塾大学、神戸大学、上智大学、東京大学、同志社大学、一橋大学、広島大学、早稲田大学

参加企業：

一橋大学から回答を直接依頼した。また、2015年度調査とほぼ同じ調査項目を使用したために、2015年度調査で経済学とビジネスで得られた回答はそのまま活用した。

#### 実施方法

調査手法：

紙かオンライン（PC、スマートフォンなど）による回答のいずれかを参加学部が選択した。組織によっては両方を選択した場合もある。なお卒業生はオンラインによる参加のみであり、2016年度に参加した企業人は紙媒体のみによる参加である。一部大学の学生および卒業生には、謝金（図書券もしくはAmazonのギフトカード500円分）を支払った。

---

<sup>3</sup> 参考資料にも示すように、卒後5年未満の企業人も含まれるが回答者数確保のために有効回答と見なした。

使用言語：日本語と英語

調査協力の依頼：

各大学の学長及び研究科長等に対して書面にて依頼状を送付すると同時に、対象者の実質的な連絡先を把握する担当部門・部署に対して対象者への周知及び調査への参加を依頼した。大学からの回答では、学生と教員には授業やゼミで質問紙を配布・回収、もしくはオンラインでの参加を依頼するか、メーリングリストや学科ウェブページ、SNS など案内した。卒業生には連絡先を把握する部署が URL を記載したハガキを卒業生の実家住所に送付した。

上記対象に対して調査を実施した結果、有効回答数は 3,168 人<sup>4</sup>となった。有効回答数の内訳を以下図表（図表 1、図表 2、図表 3）に示す。なお、2015 年度調査と 2016 年度調査の質問紙は属性の一部を除いて同一のため、本有効回答には、2015 年度調査に参加した大学関係者や企業人（合計 577 人）も含む。これら図表からは、対象者、分野、そして大学によって回答者人数に偏りがあることが示されている。なお大学は大学 1 から大学 10 までとし、50 音順の並びとは一致していない。

図表 1 回答数（アクセス媒体・対象者別）

|       | 学生    | 教員  | 卒業生 | 企業人 | 合計    |
|-------|-------|-----|-----|-----|-------|
| オンライン | 653   | 91  | 973 | 118 | 1,835 |
| 紙     | 1,127 | 58  | 0   | 148 | 1,333 |
| 合計    | 1,780 | 149 | 973 | 266 | 3,168 |

図表 2 回答数（分野・対象者別）

|      | 学生    | 教員  | 卒業生 | 企業人 | 合計    |
|------|-------|-----|-----|-----|-------|
| 経済学  | 1,328 | 94  | 506 | 146 | 2,074 |
| ビジネス | 452   | 55  | 467 | 120 | 1,094 |
| 合計   | 1,780 | 149 | 973 | 266 | 3,168 |

<sup>4</sup> 有効回答の処理は次の通り。まず、回答を 4 つのパートに分けた（専門と汎用、重要度と習得度の組合せ）。そして 4 パートのうち、1 つでも有効と判断された場合に、有効回答者として数えた。有効の条件は、各コンピテンス認識の分散が 0 でなく（重要度の回答が全て同じ数字が選択されている時は無気力回答とみなした）、かつ各パートの質問数の 50% 以上に回答している場合である。よって、有効回答者であっても、回答は欠損値を含む場合がある。その他に対象者区分が不明な場合や、オンライン回答時に時間が極度に短いなど不適切な場合は無効回答として処理した。

図表 3 回答数（分野・対象者・大学別）

|       | 経済学   |    |     |       | ビジネス |    |     |     | 合計    |
|-------|-------|----|-----|-------|------|----|-----|-----|-------|
|       | 学生    | 教員 | 卒業生 | 合計    | 学生   | 教員 | 卒業生 | 合計  |       |
| 大学 1  | 770   | 26 | 0   | 796   | 128  | 20 | 0   | 148 | 944   |
| 大学 2  | 65    | 7  | 14  | 86    | 1    | 0  | 6   | 7   | 93    |
| 大学 3  | 110   | 19 | 83  | 212   | 177  | 6  | 68  | 251 | 463   |
| 大学 4  | 37    | 1  | 16  | 54    | 83   | 12 | 72  | 167 | 221   |
| 大学 5  | 32    | 11 | 93  | 136   | 5    | 5  | 58  | 68  | 204   |
| 大学 6  | 112   | 1  | 66  | 179   | 16   | 2  | 32  | 50  | 229   |
| 大学 7  | 2     | 3  | 0   | 5     | 2    | 6  | 19  | 27  | 32    |
| 大学 8  | 15    | 3  | 0   | 18    | 4    | 1  | 0   | 5   | 23    |
| 大学 9  | 172   | 10 | 219 | 401   | 34   | 3  | 207 | 244 | 645   |
| 大学 10 | 13    | 13 | 15  | 41    | 2    | 0  | 5   | 7   | 48    |
| 合計    | 1,328 | 94 | 506 | 1,928 | 452  | 55 | 467 | 974 | 2,902 |

回答率：

図表 4 に 2016 年度調査を実施した際の有効回答数と回収率を示す。対象者数は全体で約 1 万 6 千人であり、有効票数は 2,512 人、回収率は 15.8% となった。回収率は紙媒体で 44.8% でありオンラインでは 10.8% と、これら 2 つの媒体の回収率は大きく異なる。各媒体において、対象者（学生、教員、卒業生）間の違いは 3% ポイント程度とさほど大きくはない。

図表 4 有効回答数と回収率（2016 年度調査参加者のうち大学関係のみ）

| 対象者 | 媒体 | 対象者数   |       |        | 有効票数  |       |       | 回収率   |       |       |
|-----|----|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|     |    | web    | 紙     | 合計     | web   | 紙     | 合計    | web   | 紙     | 合計    |
| 学生  |    | 6,405  | 2,196 | 8,601  | 594   | 987   | 1,581 | 9.3%  | 44.9% | 18.4% |
| 教員  |    | 481    | 128   | 569    | 63    | 53    | 116   | 13.1% | 41.4% | 20.4% |
| 卒業生 |    | 6,739  | 0     | 6,739  | 815   | -     | 815   | 12.1% | -     | 12.1% |
| 合計  |    | 13,625 | 2,324 | 15,909 | 1,472 | 1,040 | 2,512 | 10.8% | 44.8% | 15.8% |

調査時期：

2016 年 12 月上旬～2017 年 3 月上旬

## 2.2 調査内容

本調査で使用した調査項目は、①専門コンピテンス、②汎用コンピテンス、③個人属性や大学教育および職に関する認識、の3種類で構成される。前者2つは、就職を前に卒業生に備わっていることが期待されるコンピテンスの項目ごとに重要度と習得度の2種類を、高いから低いまでの4点尺度で尋ねた。また、最も重要もしくは習得されたと考える順に①と②のコンピテンスをそれぞれ5つずつ選ぶよう求めた。なお、専門コンピテンスの数は分野ごとに項目数が異なる（経済学の専門コンピテンス項目数は24、ビジネスおよび汎用分野は31）。個人属性に関する質問は、対象者別に項目数や内容が異なる（図表5）。なお実際に使用した質問紙は参考資料を参照されたい。

図表 5 個人属性等に関する項目数

| 対象者 | 学生 | 教員 | 卒業生 | 企業人 |
|-----|----|----|-----|-----|
| 項目数 | 9  | 4  | 10  | 8   |

## 2.3 分析手法

本報告書では、記述統計と検定を中心とした分析を実施した。コンピテンス間や大学間の相関の程度を見る際はスピアマンの順位相関を用いた。また違いの有無を見る場合は、分散分析を実施後に多重比較を実施した。多重比較では Bonferroni 法を用いた。分散分析と多重比較で有意差が異なって出るケースを考慮し、分散分析の結果に関わらず多重比較を一律に実施した。なお、コンピテンスに関連して大学間の違いの有無を分散分析で見る場合には、大学ごとにコンピテンスの平均値を出して一元配置の分散分析を実施した<sup>5</sup>。また、コンピテンス間の関係構造を抽出する場合は、因子分析（反復主因子法、プロマックス回転）を実施し、属性質問（専門理解度、教育満足度、就職（希望）先関連度）に対するコンピテンス認識の関係を推定する場合は、順序プロビット回帰分析を実施した。これら検定や推定には R と STATA を用いた。

<sup>5</sup> 各コンピテンスの分散も考慮して多変量分散分析（MANOVA）を別途実施したところ、結果が若干異なる可能性が示された。

### 3. 結果：経済学

#### 3.1 全体分析

本節では、経済学分野における専門コンピテンスの重要度及び習得度について、全対象者をもとに、1) 回答分布、2) 対象者間でのコンピテンス認識の差異、3) コンピテンス項目間での関係性を検討する。さらに、学生と卒業生に対象を限定して、4) かれらの専門理解度・教育満足度・就職（希望）先関連度とコンピテンス認識の関係性についても分析を行う。

##### 3.1.1 専門コンピテンスの回答分布

はじめに、経済学分野において、こういった専門コンピテンスを備えていることが仕事を行う上で重要だと思われるのか（「重要度」）、またそれぞれのコンピテンスを大学学部生は卒業時までどの程度習得できていると考えられているのか（「習得度」<sup>6</sup>）について、各対象者による回答の傾向を見る<sup>7</sup>。以下、学生、教員、卒業生、企業人の順に、結果（重要度及び習得度の平均値）を示している<sup>8</sup>。

図表 6 から学生の回答を見ると、重要度（「1.低い」～「4.高い」）については、「新聞・雑誌等の経済記事を批判的に議論する」（3.44）が最も高く、「統計データの収集と加工」（3.33）、「経済統計の理解と読み取り」（3.32）、「専門外の人に経済理論を説明」（3.17）、「金融・資本市場の理解と議論」（3.17）、「労働市場の諸課題の理解と議論」（3.13）、「財政的諸課題の理解と議論」（3.11）などが上位に位置づいている。習得度（「1.低い」～「4.高い」）についても、重要度と同様で、「新聞・雑誌等の経済記事を批判的に議論する」（2.69）が最も高く、「経済統計の理解と読み取り」（2.46）、「専門外の人に経済理論を説明」（2.42）、「統計データの収集と加工」（2.41）、「経済モデルの数式やグラフを用いた説明」（2.37）などが上位にある。他方、「英語での論文執筆能力」（1.52）、「セミナー等での英語による発表・議論」（1.48）、「英語以外の外国語文献の正確な読解」（1.47）などについては、学部卒業時までの習得度が低く考えられている。ちなみに、図表に明記していないが、重要度と習得度の差分（「重要度」－「習得度」）を見てみると、「セミナー等での英語による発表・議論」（1.05）、「英語での論文執筆能力」（0.98）、「英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解」（0.97）、「金融・資本市場の理解と議論」（0.94）などでは相対的に差が大きい、つまり重要度に比して習得度が低くなっており、「経済学の基礎概念に関する思想的背景の理解」（0.48）、「経済学の古典を参照した議論の実施」（0.44）、「経済システムが形成された歴史的過程の理解」（0.42）、「数学的解法の理解」（0.36）など重要度が低く考えられている項目では、相対的に差が小

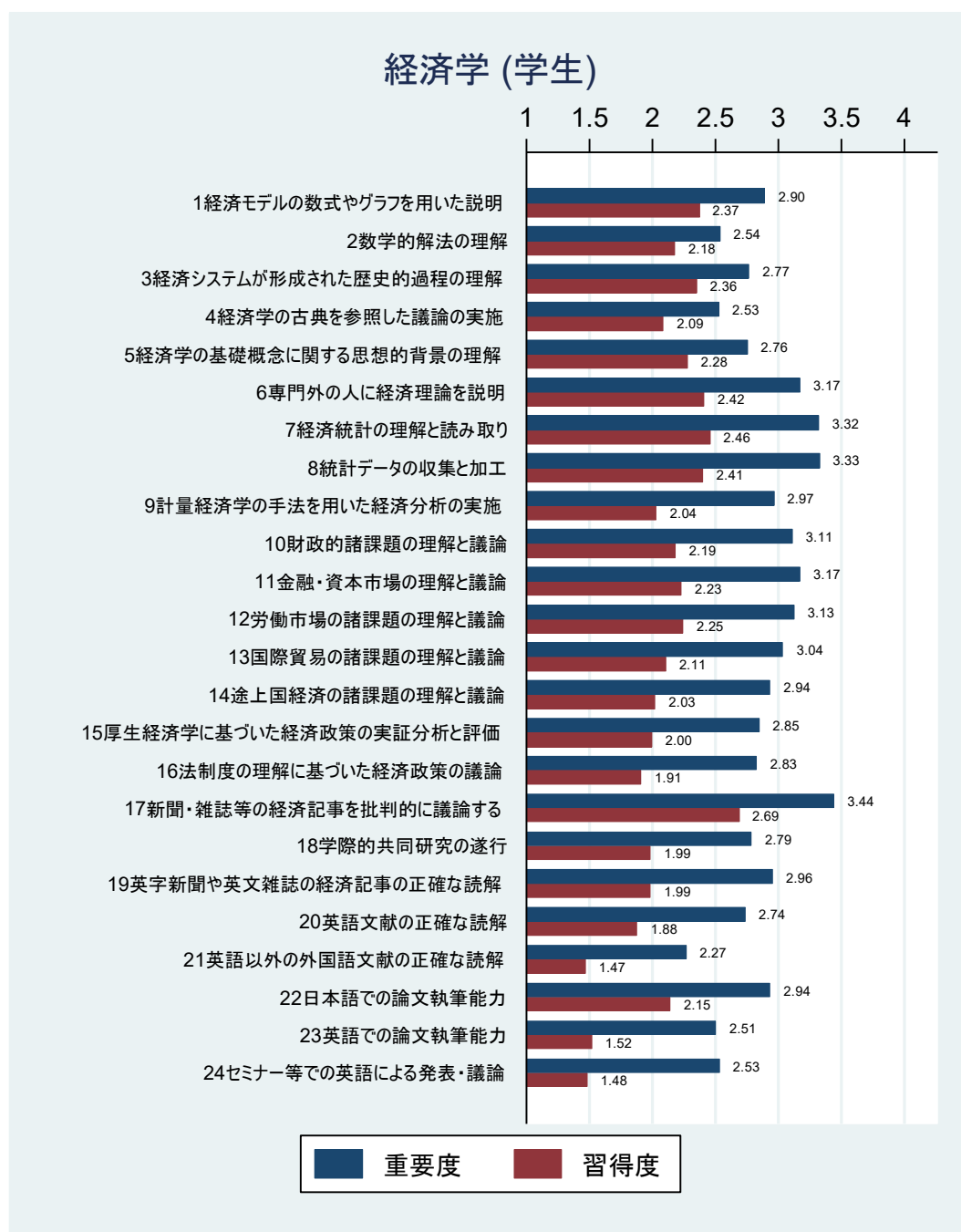
<sup>6</sup> 習得度については、学生及び卒業生には自身の場合を、教員には指導した学生を、企業人には自身が属する部署の新入社員を想定して回答していただいた。

<sup>7</sup> 重要度・習得度ともに、「1. 低い」から「4. 高い」の4段階で尋ねている。

<sup>8</sup> より詳細な結果（度数分布等）は、参考資料を参照のこと。

さい。

図表 6 専門コンピテンスの重要度・習得度の平均値（経済学、学生）



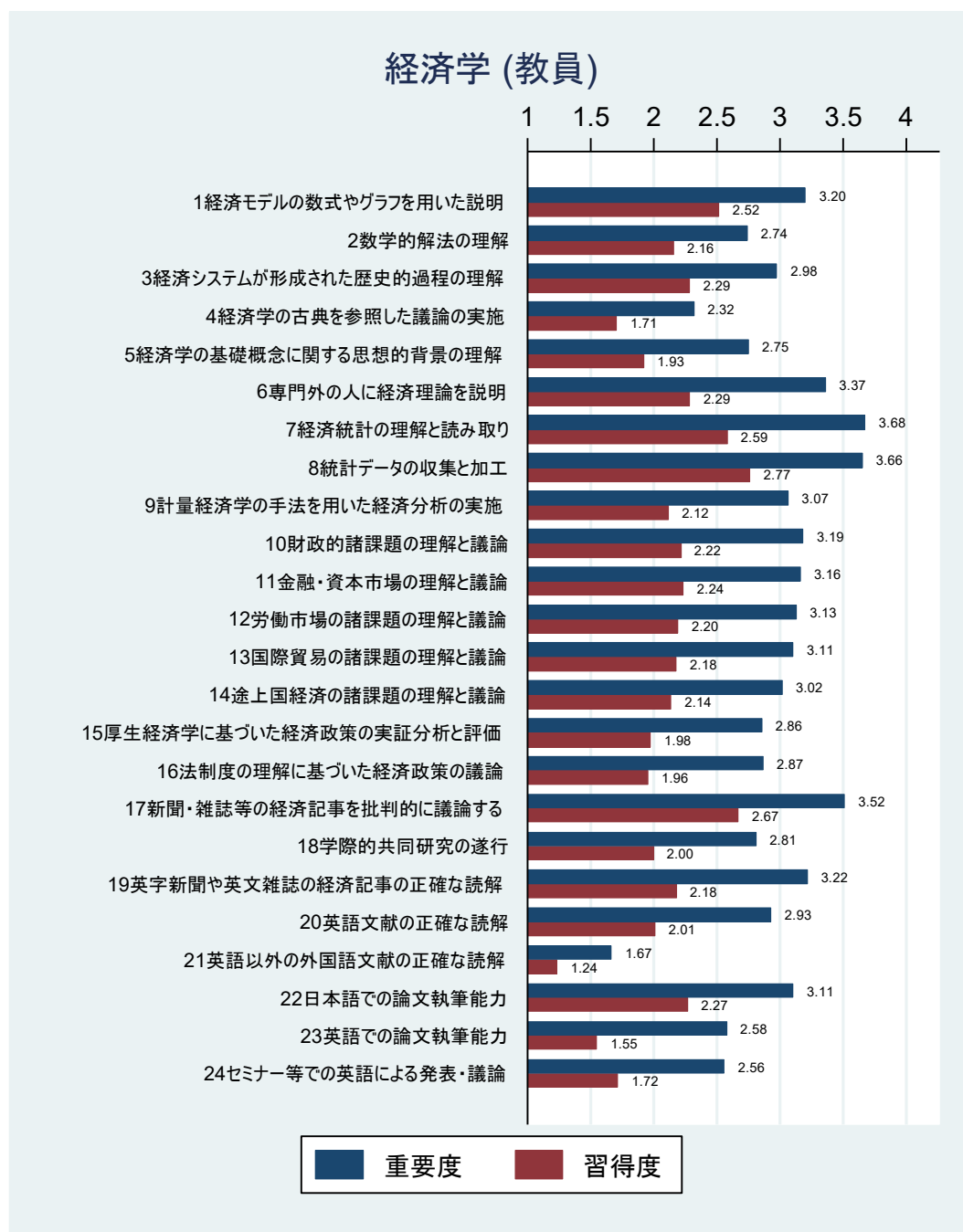
つづけて図表 7 から教員の回答を見ると、重要度（「1.低い」～「4.高い」）については、「経済統計の理解と読み取り」（3.68）が最も高く、「統計データの収集と加工」（3.66）、「新聞・雑誌等の経済記事を批判的に議論する」（3.52）、「専門外の人に経済理論を説明」（3.37）、



「英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解」(3.22)などが上位に位置づいている。習得度(「1.低い」～「4.高い」)については、「統計データの収集と加工」(2.77)、「新聞・雑誌等の経済記事を批判的に議論する」(2.67)、「経済統計の理解と読み取り」(2.59)、「経済モデルの数式やグラフを用いた説明」(2.52)などが上位である一方、学生の回答と同様に、「英語での論文執筆能力」(1.55)、「英語以外の外国語文献の正確な読解」(1.24)など専門外国語に関わる習得度は低く考えられている。先と同じく図表に明記していないが、重要度と習得度の差分(「重要度」－「習得度」)を見てみると、「経済統計の理解と読み取り」(1.09)、「専門外の人に経済理論を説明」(1.08)、「英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解」(1.04)、「英語での論文執筆能力」(1.03)などで相対的に差が大きく、「経済学の古典を参照した議論の実施」(0.61)、「数学的解法の理解」(0.58)、「英語以外の外国語文献の正確な読解」(0.43)などで相対的に差が小さい。



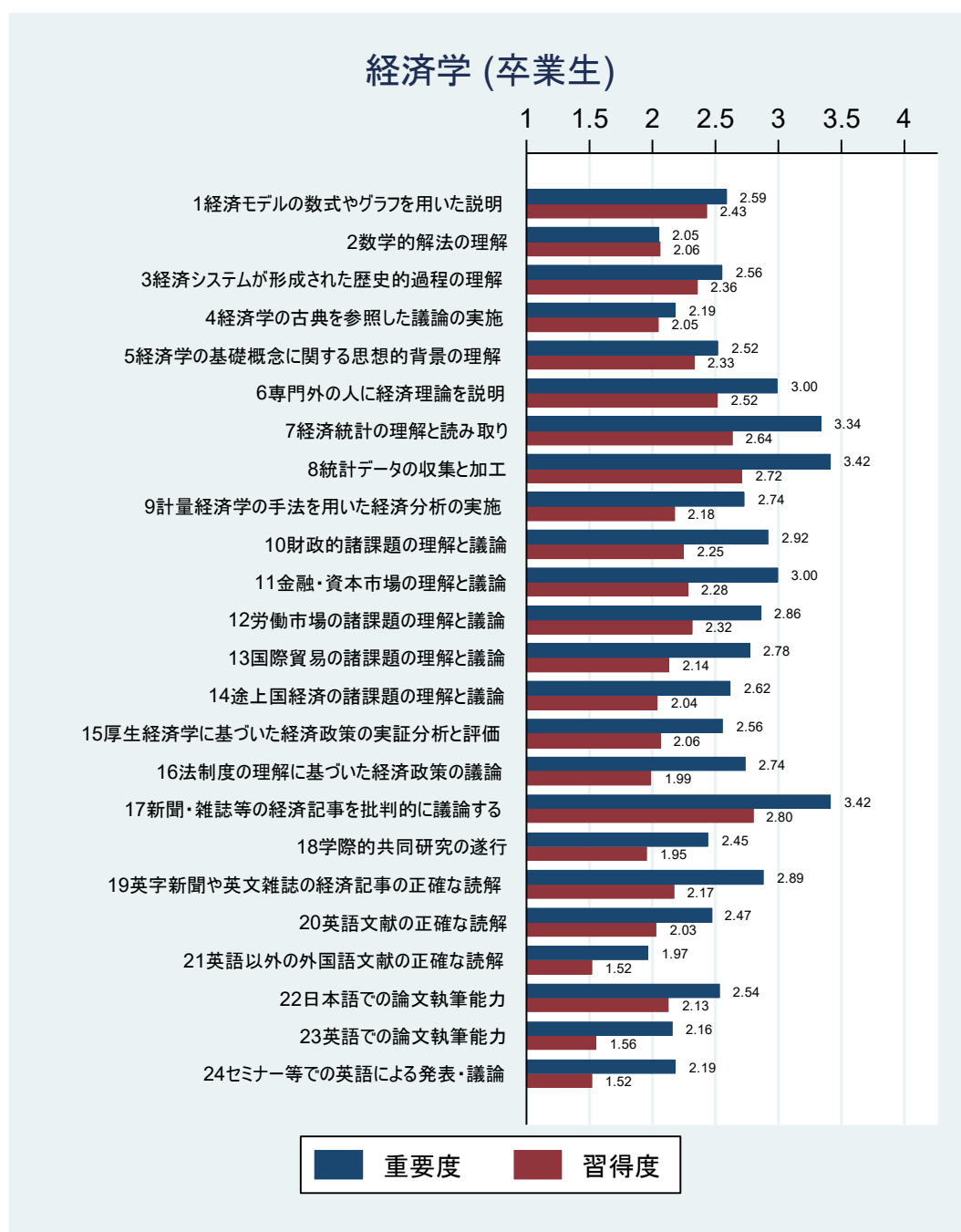
図表 7 専門コンピテンスの重要度・習得度の平均値（経済学、教員）



卒業生についても、学生や教員と同様な回答傾向にある。図表 8 から卒業生の回答を見ると、重要度（「1.低い」～「4.高い」）については、「新聞・雑誌等の経済記事を批判的に議論する」（3.42）が最も高く、「統計データの収集と加工」（3.42）、「経済統計の理解と読み取り」（3.34）、「金融・資本市場の理解と議論」（3.00）、「専門外の人に経済理論を説明」（3.00）などが上位に位置づいている。習得度（「1.低い」～「4.高い」）についても、「新聞・

雑誌等の経済記事を批判的に議論する」(2.80)、「統計データの収集と加工」(2.72)、「経済統計の理解と読み取り」(2.64)、「専門外の人に経済理論を説明」(2.52)が上位にある。他方、「英語での論文執筆能力」(1.56)、「英語以外の外国語文献の正確な読解」(1.52)、「セミナー等での英語による発表・議論」(1.52)など、外国語での研究・発表に関わる項目では習得度が低くなっている。重要度と習得度の差分(「重要度」－「習得度」)については、学生や教員の場合と比べて差が小さく、すべてのコンピテンス項目で0.8以下となっている。特に「経済システムが形成された歴史的過程の理解」(0.20)、「経済学の基礎概念に関する思想的背景の理解」(0.19)、「経済モデルの数式やグラフを用いた説明」(0.16)、「経済学の古典を参照した議論の実施」(0.14)、「数学的解法の理解」(-0.01)では0.2以下と重要度と習得度にほとんど差がない。

図表 8 専門コンピテンスの重要度・習得度の平均値（経済学、卒業生）



最後に、企業人であるが、他の対象者と比べて、重要度・習得度ともに全体的に低い傾向にある<sup>9</sup>。図表 9 から企業人の回答を見てみると、重要度（「1.低い」～「4.高い」）について

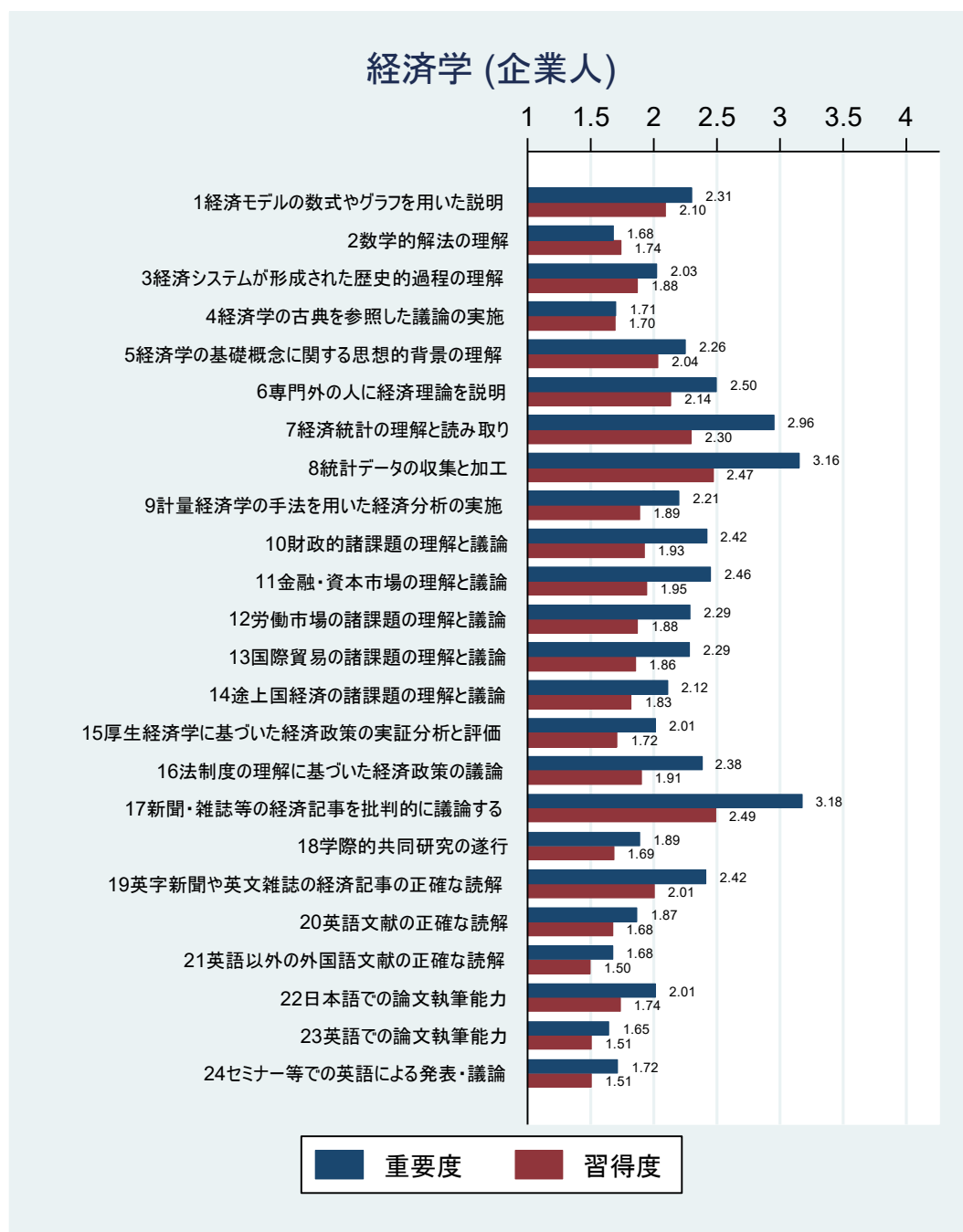
<sup>9</sup> 企業人の場合、職位によってコンピテンス認識が異なる可能性が考えられるため、課長未満と課長以上との間で平均値に差があるのかを t 検定をもとに検討した。その結果、重要度では、24 項目中、6 項目が 5% 水準以下で有意となった。「経済学の古典を参照した議論の実

は、「新聞・雑誌等の経済記事を批判的に議論する」(3.18)が最も高く、「統計データの収集と加工」(3.16)、「経済統計の理解と読み取り」(2.96)、「専門外の人に経済理論を説明」(2.50)、「金融・資本市場の理解と議論」(2.46)などが上位に位置づいている。習得度(「1.低い」～「4.高い」)についても、「新聞・雑誌等の経済記事を批判的に議論する」(2.49)、「統計データの収集と加工」(2.47)、「経済統計の理解と読み取り」(2.30)、「専門外の人に経済理論を説明」(2.14)などが上位にあり、他の対象者と同じく、「セミナー等での英語による発表・議論」(1.51)、「英語での論文執筆能力」(1.51)、「英語以外の外国語文献の正確な読解」(1.50)などが習得度の下位となっている。重要度と習得度の差分(「重要度」－「習得度」)については、先述の通り、重要度が全体的に低いこともあり、どのコンピテンス項目でも差は0.7以下となっている。特に「経済システムが形成された歴史的過程の理解」(0.15)、「英語での論文執筆能力」(0.14)、「経済学の古典を参照した議論の実施」(0.01)、「数学的解法の理解」(-0.06)では0.2以下と、重要度と習得度にほとんど差がない。

---

施」、「英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解」、「経済システムが形成された歴史的過程の理解」などである。他方、習得度では、10項目が5%水準以下で有意となった。「経済システムが形成された歴史的過程の理解」、「労働市場の諸課題の理解と議論」、「経済学の古典を参照した議論の実施」などである。重要度・習得度どちらの場合も、課長未満よりも課長以上の企業人の方が、評価が高い傾向がある。企業人内での差異に関するより詳細な分析は今後の課題としたい。

図表 9 専門コンピテンスの重要度・習得度の平均値（経済学、企業人）



### 3.1.2 対象者間での専門コンピテンス認識の差異

つぎに、経済学における専門コンピテンスの重要度・習得度の認識が、対象者間でどのように異なっているのかを検討する。

図表 10 に示しているのが、分散分析 (ANOVA)・多重比較 (Bonferroni 法) をもとに、対象者 (4 者) 間での専門コンピテンス・重要度の差異を検討した結果である。図表には、

分散分析の列に F 値、多重比較の列に対象 2 者間の平均差を記載している（図表 11 も同様）。

図表 10 から分散分析の結果を見てみると、コンピテンス 24 項目すべてにおいて、対象者間での重要度認識の統計的に有意な差異が確認される。

また、多重比較の結果をあわせて見てみると、企業人と他の対象者（学生、教員、卒業生）との間で重要度認識の違いが大きい項目が多く、企業人よりも他の対象者で重要度の評価が高いことが読み取れる<sup>10</sup>。企業人と学生の間では「日本語での論文執筆能力」(-0.921)、「学際的共同研究の遂行」(-0.899)、「英語文献の正確な読解」(-0.869)、「数学的解法の理解」(-0.857)、「英語での論文執筆能力」(-0.855)、企業人と教員の間では「日本語での論文執筆能力」(-1.095)、「英語文献の正確な読解」(-1.064)、「数学的解法の理解」(-1.058)、「経済システムが形成された歴史的過程の理解」(-0.95)、「英語での論文執筆能力」(-0.933)、「学際的共同研究の遂行」(-0.922)、企業人と卒業生の間では「英語文献の正確な読解」(-0.601)、「労働市場の諸課題の理解と議論」(-0.57)、「学際的共同研究の遂行」(-0.557)での平均差が特に大きい。

対象 2 者間での重要度認識の違いが比較的小さいと言えるのは教員と学生間であり、同 2 者間で統計的に有意な平均差が示されたのは、経済統計・計量に関わる「経済モデルの数式やグラフを用いた説明」(0.307)、「経済統計の理解と読み取り」(0.356)、「統計データの収集と加工」(0.327)、外国語文献の理解に関わる「英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解」(0.263)、「英語以外の外国語文献の正確な理解」(-0.601)の 5 項目のみである。

他方、分散分析 (ANOVA)・多重比較 (Bonferroni 法)をもとに、対象者 (4 者)間での専門コンピテンス・習得度の差異を検討した結果が、図表 11 である。

図表 11 から分散分析の結果を見てみると、「法制度の理解に基づいた経済政策の議論」、「英語での論文執筆能力」以外の項目において、対象者間での習得度認識の統計的に有意な差異が確認される。

また、多重比較の結果をあわせて見ると、重要度認識の場合と同様、企業人と他の対象者（学生、教員、卒業生）との間で習得度認識の違いが大きい項目が多く、企業人よりも他の対象者で習得度の評価が高いことが読み取れる<sup>11</sup>。企業人と学生の間では「経済システムが形成された歴史的過程の理解」(-0.48)、「数学的解法の理解」(-0.439)、「日本語での論文執筆能力」(-0.407)、企業人と教員の間では「日本語での論文執筆能力」(-0.532)、「経済モデルの数式やグラフを用いた説明」(-0.421)、「数学的解法の理解」(-0.415)、「経済システムが形成された歴史的過程の理解」(-0.411)、企業人と卒業生の間では「経済システムが形成された歴史的過程の理解」(-0.485)、「労働市場の諸課題の理解と議論」(-0.443)での平均差が

<sup>10</sup> なお、専門コンピテンス・重要度の全体平均（図表最下行）をもとにした多重比較の結果を見ても、企業人と他の対象者間での平均差は統計的に有意となっている。

<sup>11</sup> ただし、専門コンピテンス・習得度の全体平均（図表最下行）をもとにした多重比較の結果では、企業人と教員、企業人と卒業生間の平均差のみ 10%水準以下で統計的に有意となっている。

特に大きい。

対象 2 者間での習得度認識の違いが比較的小さいと言えるのは、教員と学生間、あるいは卒業生と教員間である。教員と学生間では経済学 of 思想等に関わる「経済学 of 古典を参照した議論 of 実施」(-0.381)、「経済学 of 基礎概念に関する思想的背景 of 理解」(-0.354)、経済統計に関わる「統計データの収集と加工」(0.36)、外国語 of 活用に関わる「英語以外 of 外国語文献 of 正確な読解」(-0.231)、「セミナー等での英語による発表・議論」(0.236) の 5 項目、卒業生と教員間では経済学 of 思想や理論等に関わる「経済学 of 古典を参照した議論 of 実施」(0.338)、「経済学 of 基礎概念に関する思想的背景 of 理解」(0.409)、「専門外 of 人に経済理論を説明」(0.233)、外国語 of 活用に関わる「英語以外 of 外国語文献 of 正確な読解」(0.283) の 4 項目のみで統計的に有意な平均差が示されるにとどまっている。

図表 10 対象者間での専門コンピテンス・重要度の差異（経済学）

| №  | コンピテンス名                | 分散分析       | 多重比較       |            |            |            |            |            |
|----|------------------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
|    |                        |            | 教員—<br>学生  | 卒業生<br>—学生 | 企業—<br>学生  | 卒業生<br>—教員 | 企業—<br>教員  | 企業—<br>卒業生 |
| 1  | 経済モデルの数式やグラフを用いた説明     | 38.041 *** | 0.307 ***  | -0.308 *** | -0.59 ***  | -0.615 *** | -0.897 *** | -0.282 *** |
| 2  | 数学的解法の理解               | 73.66 ***  | 0.201      | -0.489 *** | -0.857 *** | -0.69 ***  | -1.058 *** | -0.368 *** |
| 3  | 経済システムが形成された歴史的過程の理解   | 38.125 *** | 0.207      | -0.212 *** | -0.743 *** | -0.419 *** | -0.95 ***  | -0.531 *** |
| 4  | 経済学の古典を参照した議論の実施       | 47.258 *** | -0.205     | -0.343 *** | -0.821 *** | -0.137     | -0.615 *** | -0.478 *** |
| 5  | 経済学の基礎概念に関する思想的背景の理解   | 20.49 ***  | -0.003     | -0.232 *** | -0.499 *** | -0.229     | -0.496 *** | -0.267 *** |
| 6  | 専門外の人に経済理論を説明          | 32.379 *** | 0.191      | -0.177 *** | -0.675 *** | -0.368 *** | -0.866 *** | -0.498 *** |
| 7  | 経済統計の理解と読み取り           | 18.111 *** | 0.356 ***  | 0.017      | -0.365 *** | -0.339 *** | -0.721 *** | -0.382 *** |
| 8  | 統計データの収集と加工            | 9.347 ***  | 0.327 ***  | 0.088      | -0.171 *   | -0.24 **   | -0.499 *** | -0.259 *** |
| 9  | 計量経済学の手法を用いた経済分析の実施    | 37.564 *** | 0.099      | -0.232 *** | -0.76 ***  | -0.331 *** | -0.859 *** | -0.528 *** |
| 10 | 財政的諸課題の理解と議論           | 34.787 *** | 0.075      | -0.188 *** | -0.691 *** | -0.263 **  | -0.765 *** | -0.503 *** |
| 11 | 金融・資本市場の理解と議論          | 36.927 *** | -0.009     | -0.174 *** | -0.717 *** | -0.165     | -0.708 *** | -0.543 *** |
| 12 | 労働市場の諸課題の理解と議論         | 53.004 *** | 0.004      | -0.263 *** | -0.833 *** | -0.267 **  | -0.837 *** | -0.57 ***  |
| 13 | 国際貿易の諸課題の理解と議論         | 45.214 *** | 0.069      | -0.262 *** | -0.752 *** | -0.331 *** | -0.821 *** | -0.49 ***  |
| 14 | 途上国経済の諸課題の理解と議論        | 54.781 *** | 0.085      | -0.316 *** | -0.822 *** | -0.4 ***   | -0.907 *** | -0.506 *** |
| 15 | 厚生経済学に基づいた経済政策の実証分析と評価 | 48.859 *** | 0.008      | -0.289 *** | -0.836 *** | -0.297 **  | -0.844 *** | -0.548 *** |
| 16 | 法制度の理解に基づいた経済政策の議論     | 11.923 *** | 0.04       | -0.091     | -0.445 *** | -0.132     | -0.486 *** | -0.354 *** |
| 17 | 新聞・雑誌等の経済記事を批判的に議論する   | 5.725 ***  | 0.077      | -0.022     | -0.26 ***  | -0.098     | -0.337 *** | -0.238 *** |
| 18 | 学際的共同研究の遂行             | 57.272 *** | 0.023      | -0.342 *** | -0.899 *** | -0.365 *** | -0.922 *** | -0.557 *** |
| 19 | 英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解   | 18.096 *** | 0.263 **   | -0.071     | -0.54 ***  | -0.334 *** | -0.803 *** | -0.469 *** |
| 20 | 英語文献の正確な読解             | 44.023 *** | 0.194      | -0.268 *** | -0.869 *** | -0.462 *** | -1.064 *** | -0.601 *** |
| 21 | 英語以外の外国語文献の正確な読解       | 30.755 *** | -0.601 *** | -0.302 *** | -0.595 *** | 0.3 **     | 0.006      | -0.293 *** |
| 22 | 日本語での論文執筆能力            | 64.011 *** | 0.174      | -0.401 *** | -0.921 *** | -0.575 *** | -1.095 *** | -0.521 *** |
| 23 | 英語での論文執筆能力             | 42.583 *** | 0.077      | -0.347 *** | -0.855 *** | -0.424 *** | -0.933 *** | -0.509 *** |
| 24 | セミナー等での英語による発表・議論      | 38.014 *** | 0.027      | -0.345 *** | -0.817 *** | -0.371 *** | -0.843 *** | -0.472 *** |
|    | 全体（平均）                 | 18.047 *** | 0.083      | -0.232     | -0.681 *** | -0.315 **  | -0.763 *** | -0.449 *** |

\*\*\* p&lt;0.01, \*\* p&lt;0.05, \* p&lt;0.1。表中の数値のうち、分散分析はF値、多重比較は差分を表す。



図表 11 対象者間での専門コンピテンス・習得度の差異（経済学）

| №  | コンピテンス名                | 分散分析       | 多重比較       |            |            |            |            |            |
|----|------------------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
|    |                        |            | 教員—<br>学生  | 卒業生<br>—学生 | 企業—<br>学生  | 卒業生<br>—教員 | 企業—<br>教員  | 企業—<br>卒業生 |
| 1  | 経済モデルの数式やグラフを用いた説明     | 7.052 ***  | 0.147      | 0.058      | -0.274 *** | -0.088     | -0.421 *** | -0.332 *** |
| 2  | 数学的解法の理解               | 11.066 *** | -0.024     | -0.121 *   | -0.439 *** | -0.097     | -0.415 *** | -0.318 *** |
| 3  | 経済システムが形成された歴史的過程の理解   | 14.491 *** | -0.069     | 0.004      | -0.48 ***  | 0.073      | -0.411 *** | -0.485 *** |
| 4  | 経済学の古典を参照した議論の実施       | 14.381 *** | -0.381 *** | -0.042     | -0.393 *** | 0.338 ***  | -0.012     | -0.35 ***  |
| 5  | 経済学の基礎概念に関する思想的背景の理解   | 10.842 *** | -0.354 *** | 0.056      | -0.24 ***  | 0.409 ***  | 0.113      | -0.296 *** |
| 6  | 専門外の人に経済理論を説明          | 8.395 ***  | -0.129     | 0.104 *    | -0.275 *** | 0.233 *    | -0.147     | -0.379 *** |
| 7  | 経済統計の理解と読み取り           | 7.881 ***  | 0.122      | 0.174 ***  | -0.158     | 0.052      | -0.28 *    | -0.333 *** |
| 8  | 統計データの収集と加工            | 17.491 *** | 0.36 ***   | 0.309 ***  | 0.067      | -0.051     | -0.293 *   | -0.243 **  |
| 9  | 計量経済学の手法を用いた経済分析の実施    | 4.678 ***  | 0.084      | 0.141 **   | -0.145     | 0.057      | -0.229     | -0.286 *** |
| 10 | 財政的諸課題の理解と議論           | 5.308 ***  | 0.028      | 0.062      | -0.259 *** | 0.034      | -0.287 *   | -0.321 *** |
| 11 | 金融・資本市場の理解と議論          | 6.021 ***  | 0.007      | 0.052      | -0.287 *** | 0.045      | -0.293 **  | -0.339 *** |
| 12 | 労働市場の諸課題の理解と議論         | 10.081 *** | -0.051     | 0.072      | -0.37 ***  | 0.123      | -0.32 **   | -0.443 *** |
| 13 | 国際貿易の諸課題の理解と議論         | 4.525 ***  | 0.074      | 0.028      | -0.25 ***  | -0.046     | -0.323 **  | -0.278 *** |
| 14 | 途上国経済の諸課題の理解と議論        | 3.334 **   | 0.114      | 0.019      | -0.197 **  | -0.095     | -0.312 **  | -0.216 **  |
| 15 | 厚生経済学に基づいた経済政策の実証分析と評価 | 6.186 ***  | -0.019     | 0.067      | -0.281 *** | 0.086      | -0.262     | -0.348 *** |
| 16 | 法制度の理解に基づいた経済政策の議論     | 1.265      | 0.043      | 0.08       | -0.009     | 0.037      | -0.051     | -0.088     |
| 17 | 新聞・雑誌等の経済記事を批判的に議論する   | 5.293 ***  | -0.016     | 0.111 *    | -0.198 *   | 0.127      | -0.182     | -0.309 *** |
| 18 | 学際的共同研究の遂行             | 5.315 ***  | 0.012      | -0.035     | -0.301 *** | -0.046     | -0.313 **  | -0.266 *** |
| 19 | 英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解   | 5.167 ***  | 0.196      | 0.184 ***  | 0.019      | -0.011     | -0.177     | -0.166     |
| 20 | 英語文献の正確な読解             | 6.342 ***  | 0.131      | 0.154 **   | -0.201     | 0.023      | -0.331 *   | -0.355 *** |
| 21 | 英語以外の外国語文献の正確な読解       | 3.273 **   | -0.231 **  | 0.052      | 0.03       | 0.283 **   | 0.261      | -0.022     |
| 22 | 日本語での論文執筆能力            | 9.9 ***    | 0.124      | -0.016     | -0.407 *** | -0.141     | -0.532 *** | -0.391 *** |
| 23 | 英語での論文執筆能力             | 0.302      | 0.033      | 0.035      | -0.009     | 0.002      | -0.043     | -0.045     |
| 24 | セミナー等での英語による発表・議論      | 2.686 **   | 0.236 **   | 0.038      | 0.03       | -0.198     | -0.206     | -0.008     |
|    | 全体（平均）                 | 3.596 **   | 0.018      | 0.066      | -0.21      | 0.048      | -0.228 *   | -0.276 **  |

\*\*\* p&lt;0.01, \*\* p&lt;0.05, \* p&lt;0.1。表中の数値のうち、分散分析はF値、多重比較は差分を表す。

### 3.1.3 専門コンピテンス間の関係性

以上では、経済学における専門コンピテンスそれぞれを個別に検討し、対象者間での重要度及び習得度に関わる認識の差異を確認した。つづく本項では、重要度・習得度の点で、各

コンピテンス間にはどのような関係性が見られるのかを、相関分析及び因子分析をもとに検討する。

まず、経済学における専門コンピテンス（24 項目）間の相関係数を見る。重要度に関する相関関係は図表 12 に、習得度に関する相関関係は図表 13 に示している<sup>12</sup>。

図表 12 から重要度の相関係数を見ると、すべての項目間（ペア）において 1%水準で統計的に有意な相関があることがわかる。全体的に、中程度以下の相関が多いが、12 ペアは相関係数が 0.6 以上となっている。特に相関係数が高いペアとしては、「英語での論文執筆能力」と「セミナー等での英語による発表・議論」（0.802）、「国際貿易の諸課題の理解と課題」と「途上国経済の諸課題の理解と課題」（0.728）、「金融・資本市場の理解と議論」と「労働市場の諸課題の理解と議論」（0.693）、「財政的諸課題の理解と議論」と「金融・資本市場の理解と議論」（0.678）、「数学モデルの数式やグラフを用いた説明」と「数学的解法の理解」（0.661）、「英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解」と「英語文献の正確な読解」（0.66）などが挙げられる。

習得度についても、すべてのペアにおいて 1%水準で統計的に有意な結果が得られたが、相関係数が 0.6 以上のペアは 7 つであり、重要度の場合ほどは多くない（図表 13）。特に相関係数が高いペアとしては、「英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解」と「英語文献の正確な読解」（0.801）、「英語での論文執筆能力」と「セミナー等での英語による発表・議論」（0.744）、「国際貿易の諸課題の理解と課題」と「途上国経済の諸課題の理解と課題」（0.698）、「財政的諸課題の理解と議論」と「金融・資本市場の理解と議論」（0.679）、「金融・資本市場の理解と議論」と「労働市場の諸課題の理解と議論」（0.658）などが挙げられる。

このように、経済学における専門コンピテンスの重要度・習得度どちらの場合も、すべてのコンピテンス項目間には低～中程度の正の相関があり、いくつかのペアには 0.6 以上の比較的強い相関も確認される。そのため、それぞれの専門コンピテンス項目の背後には何らかの関係性の構造があると考えられる。

---

<sup>12</sup> 対象者別に見たコンピテンス項目間の相関関係については、参考資料を参照のこと。

図表 12 専門コンピテンス・重要度の相関関係（経済学、全対象者）

| No | コンピテンス名                | 1            | 2            | 3            | 4            | 5            | 6            | 7            | 8            | 9            | 10           | 11           | 12           | 13           | 14           | 15           | 16           | 17           | 18           | 19           | 20           | 21           | 22           | 23           | 24 |
|----|------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|----|
| 1  | 経済モデルの数式やグラフを用いた説明     | 1            |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |    |
| 2  | 数学的解法の理解               | 0.661<br>*** | 1            |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |    |
| 3  | 経済システムが形成された歴史的過程の理解   | 0.351<br>*** | 0.359<br>*** | 1            |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |    |
| 4  | 経済学の古典を参照した議論の実施       | 0.382<br>*** | 0.477<br>*** | 0.538<br>*** | 1            |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |    |
| 5  | 経済学の基礎概念に関する思想的背景の理解   | 0.318<br>*** | 0.352<br>*** | 0.545<br>*** | 0.51<br>***  | 1            |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |    |
| 6  | 専門外の人に経済理論を説明          | 0.353<br>*** | 0.291<br>*** | 0.361<br>*** | 0.348<br>*** | 0.409<br>*** | 1            |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |    |
| 7  | 経済統計の理解と読み取り           | 0.345<br>*** | 0.218<br>*** | 0.26<br>***  | 0.165<br>*** | 0.241<br>*** | 0.429<br>*** | 1            |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |    |
| 8  | 統計データの収集と加工            | 0.231<br>*** | 0.114<br>*** | 0.157<br>*** | 0.083<br>*** | 0.15<br>***  | 0.336<br>*** | 0.624<br>*** | 1            |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |    |
| 9  | 計量経済学の手法を用いた経済分析の実施    | 0.424<br>*** | 0.408<br>*** | 0.225<br>*** | 0.254<br>*** | 0.25<br>***  | 0.333<br>*** | 0.525<br>*** | 0.484<br>*** | 1            |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |    |
| 10 | 財政的諸課題の理解と議論           | 0.358<br>*** | 0.289<br>*** | 0.255<br>*** | 0.25<br>***  | 0.277<br>*** | 0.354<br>*** | 0.486<br>*** | 0.464<br>*** | 0.586<br>*** | 1            |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |    |
| 11 | 金融・資本市場の理解と議論          | 0.313<br>*** | 0.257<br>*** | 0.273<br>*** | 0.24<br>***  | 0.261<br>*** | 0.355<br>*** | 0.443<br>*** | 0.418<br>*** | 0.504<br>*** | 0.678<br>*** | 1            |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |    |
| 12 | 労働市場の諸課題の理解と議論         | 0.343<br>*** | 0.308<br>*** | 0.301<br>*** | 0.277<br>*** | 0.284<br>*** | 0.355<br>*** | 0.424<br>*** | 0.384<br>*** | 0.507<br>*** | 0.641<br>*** | 0.693<br>*** | 1            |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |    |
| 13 | 国際貿易の諸課題の理解と議論         | 0.352<br>*** | 0.336<br>*** | 0.306<br>*** | 0.284<br>*** | 0.299<br>*** | 0.363<br>*** | 0.415<br>*** | 0.347<br>*** | 0.469<br>*** | 0.539<br>*** | 0.596<br>*** | 0.617<br>*** | 1            |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |    |
| 14 | 途上国経済の諸課題の理解と議論        | 0.301<br>*** | 0.319<br>*** | 0.319<br>*** | 0.317<br>*** | 0.293<br>*** | 0.326<br>*** | 0.38<br>***  | 0.322<br>*** | 0.435<br>*** | 0.494<br>*** | 0.534<br>*** | 0.573<br>*** | 0.728<br>*** | 1            |              |              |              |              |              |              |              |              |              |    |
| 15 | 厚生経済学に基づいた経済政策の実証分析と評価 | 0.349<br>*** | 0.359<br>*** | 0.309<br>*** | 0.347<br>*** | 0.295<br>*** | 0.335<br>*** | 0.326<br>*** | 0.257<br>*** | 0.422<br>*** | 0.478<br>*** | 0.457<br>*** | 0.534<br>*** | 0.52<br>***  | 0.552<br>*** | 1            |              |              |              |              |              |              |              |              |    |
| 16 | 法制度の理解に基づいた経済政策の議論     | 0.212<br>*** | 0.199<br>*** | 0.283<br>*** | 0.257<br>*** | 0.252<br>*** | 0.301<br>*** | 0.323<br>*** | 0.293<br>*** | 0.302<br>*** | 0.403<br>*** | 0.392<br>*** | 0.412<br>*** | 0.447<br>*** | 0.445<br>*** | 0.492<br>*** | 1            |              |              |              |              |              |              |              |    |
| 17 | 新聞・雑誌等の経済記事を批判的に議論する   | 0.145<br>*** | 0.061<br>*** | 0.212<br>*** | 0.14<br>***  | 0.209<br>*** | 0.341<br>*** | 0.341<br>*** | 0.288<br>*** | 0.219<br>*** | 0.307<br>*** | 0.328<br>*** | 0.319<br>*** | 0.335<br>*** | 0.296<br>*** | 0.275<br>*** | 0.289<br>*** | 1            |              |              |              |              |              |              |    |
| 18 | 学際的共同研究の遂行             | 0.369<br>*** | 0.423<br>*** | 0.321<br>*** | 0.392<br>*** | 0.317<br>*** | 0.327<br>*** | 0.241<br>*** | 0.161<br>*** | 0.393<br>*** | 0.345<br>*** | 0.326<br>*** | 0.377<br>*** | 0.409<br>*** | 0.434<br>*** | 0.426<br>*** | 0.347<br>*** | 0.24<br>***  | 1            |              |              |              |              |              |    |
| 19 | 英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解   | 0.235<br>*** | 0.175<br>*** | 0.172<br>*** | 0.111<br>*** | 0.185<br>*** | 0.248<br>*** | 0.333<br>*** | 0.298<br>*** | 0.316<br>*** | 0.286<br>*** | 0.296<br>*** | 0.262<br>*** | 0.395<br>*** | 0.343<br>*** | 0.277<br>*** | 0.272<br>*** | 0.317<br>*** | 0.305<br>*** | 1            |              |              |              |              |    |
| 20 | 英語文献の正確な読解             | 0.337<br>*** | 0.366<br>*** | 0.233<br>*** | 0.251<br>*** | 0.258<br>*** | 0.29<br>***  | 0.312<br>*** | 0.263<br>*** | 0.416<br>*** | 0.341<br>*** | 0.336<br>*** | 0.336<br>*** | 0.414<br>*** | 0.414<br>*** | 0.374<br>*** | 0.29<br>***  | 0.243<br>*** | 0.465<br>*** | 0.66<br>***  | 1            |              |              |              |    |
| 21 | 英語以外の外国語文献の正確な読解       | 0.198<br>*** | 0.244<br>*** | 0.201<br>*** | 0.267<br>*** | 0.219<br>*** | 0.163<br>*** | 0.136<br>*** | 0.118<br>*** | 0.253<br>*** | 0.235<br>*** | 0.207<br>*** | 0.228<br>*** | 0.31<br>***  | 0.304<br>*** | 0.284<br>*** | 0.247<br>*** | 0.101<br>*** | 0.377<br>*** | 0.38<br>***  | 0.483<br>*** | 1            |              |              |    |
| 22 | 日本語での論文執筆能力            | 0.388<br>*** | 0.397<br>*** | 0.304<br>*** | 0.375<br>*** | 0.318<br>*** | 0.37<br>***  | 0.27<br>***  | 0.21<br>***  | 0.365<br>*** | 0.359<br>*** | 0.319<br>*** | 0.353<br>*** | 0.36<br>***  | 0.388<br>*** | 0.383<br>*** | 0.27<br>***  | 0.244<br>*** | 0.532<br>*** | 0.319<br>*** | 0.488<br>*** | 0.351<br>*** | 1            |              |    |
| 23 | 英語での論文執筆能力             | 0.353<br>*** | 0.402<br>*** | 0.255<br>*** | 0.292<br>*** | 0.276<br>*** | 0.299<br>*** | 0.284<br>*** | 0.229<br>*** | 0.399<br>*** | 0.344<br>*** | 0.319<br>*** | 0.332<br>*** | 0.399<br>*** | 0.422<br>*** | 0.379<br>*** | 0.282<br>*** | 0.166<br>*** | 0.487<br>*** | 0.49<br>***  | 0.647<br>*** | 0.502<br>*** | 0.636<br>*** | 1            |    |
| 24 | セミナー等での英語による発表・議論      | 0.325<br>*** | 0.357<br>*** | 0.237<br>*** | 0.282<br>*** | 0.251<br>*** | 0.285<br>*** | 0.257<br>*** | 0.217<br>*** | 0.373<br>*** | 0.322<br>*** | 0.318<br>*** | 0.326<br>*** | 0.393<br>*** | 0.397<br>*** | 0.355<br>*** | 0.302<br>*** | 0.175<br>*** | 0.48<br>***  | 0.485<br>*** | 0.631<br>*** | 0.474<br>*** | 0.542<br>*** | 0.802<br>*** | 1  |

\*\*\* p<0.01

図表 13 専門コンピテンス・習得度の相関関係（経済学、全対象者）

| No | コンピテンス名                | 1            | 2            | 3            | 4            | 5            | 6            | 7            | 8            | 9            | 10           | 11           | 12           | 13           | 14           | 15           | 16           | 17           | 18           | 19           | 20           | 21           | 22           | 23           | 24           |
|----|------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 1  | 経済モデルの数式やグラフを用いた説明     | 1            |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |
| 2  | 数学的解法の理解               | 0.592<br>*** | 1            |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |
| 3  | 経済システムが形成された歴史的過程の理解   | 0.284<br>*** | 0.246<br>*** | 1            |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |
| 4  | 経済学の古典を参照した議論の実施       | 0.284<br>*** | 0.292<br>*** | 0.51<br>***  | 1            |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |
| 5  | 経済学の基礎概念に関する思想的背景の理解   | 0.323<br>*** | 0.285<br>*** | 0.502<br>*** | 0.503<br>*** | 1            |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |
| 6  | 専門外の人に経済理論を説明          | 0.451<br>*** | 0.365<br>*** | 0.379<br>*** | 0.371<br>*** | 0.443<br>*** | 1            |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |
| 7  | 経済統計の理解と読み取り           | 0.428<br>*** | 0.358<br>*** | 0.225<br>*** | 0.23<br>***  | 0.297<br>*** | 0.437<br>*** | 1            |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |
| 8  | 統計データの収集と加工            | 0.386<br>*** | 0.289<br>*** | 0.192<br>*** | 0.174<br>*** | 0.237<br>*** | 0.357<br>*** | 0.64<br>***  | 1            |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |
| 9  | 計量経済学の手法を用いた経済分析の実施    | 0.428<br>*** | 0.422<br>*** | 0.178<br>*** | 0.216<br>*** | 0.275<br>*** | 0.357<br>*** | 0.543<br>*** | 0.558<br>*** | 1            |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |
| 10 | 財政的諸課題の理解と議論           | 0.443<br>*** | 0.381<br>*** | 0.307<br>*** | 0.329<br>*** | 0.347<br>*** | 0.404<br>*** | 0.496<br>*** | 0.481<br>*** | 0.525<br>*** | 1            |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |
| 11 | 金融・資本市場の理解と議論          | 0.425<br>*** | 0.387<br>*** | 0.337<br>*** | 0.361<br>*** | 0.387<br>*** | 0.415<br>*** | 0.462<br>*** | 0.41<br>***  | 0.455<br>*** | 0.679<br>*** | 1            |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |
| 12 | 労働市場の諸課題の理解と議論         | 0.413<br>*** | 0.352<br>*** | 0.342<br>*** | 0.358<br>*** | 0.39<br>***  | 0.417<br>*** | 0.478<br>*** | 0.437<br>*** | 0.458<br>*** | 0.618<br>*** | 0.658<br>*** | 1            |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |
| 13 | 国際貿易の諸課題の理解と議論         | 0.397<br>*** | 0.339<br>*** | 0.361<br>*** | 0.397<br>*** | 0.398<br>*** | 0.414<br>*** | 0.399<br>*** | 0.371<br>*** | 0.407<br>*** | 0.526<br>*** | 0.564<br>*** | 0.56<br>***  | 1            |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |
| 14 | 途上国経済の諸課題の理解と議論        | 0.344<br>*** | 0.292<br>*** | 0.354<br>*** | 0.381<br>*** | 0.363<br>*** | 0.355<br>*** | 0.38<br>***  | 0.357<br>*** | 0.377<br>*** | 0.491<br>*** | 0.506<br>*** | 0.525<br>*** | 0.698<br>*** | 1            |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |
| 15 | 厚生経済学に基づいた経済政策の実証分析と評価 | 0.376<br>*** | 0.335<br>*** | 0.351<br>*** | 0.37<br>***  | 0.386<br>*** | 0.391<br>*** | 0.365<br>*** | 0.323<br>*** | 0.387<br>*** | 0.503<br>*** | 0.479<br>*** | 0.522<br>*** | 0.53<br>***  | 0.53<br>***  | 1            |              |              |              |              |              |              |              |              |              |
| 16 | 法制度の理解に基づいた経済政策の議論     | 0.266<br>*** | 0.241<br>*** | 0.346<br>*** | 0.37<br>***  | 0.381<br>*** | 0.331<br>*** | 0.299<br>*** | 0.279<br>*** | 0.288<br>*** | 0.384<br>*** | 0.388<br>*** | 0.399<br>*** | 0.432<br>*** | 0.419<br>*** | 0.515<br>*** | 1            |              |              |              |              |              |              |              |              |
| 17 | 新聞・雑誌等の経済記事を批判的に議論する   | 0.26<br>***  | 0.189<br>*** | 0.291<br>*** | 0.281<br>*** | 0.331<br>*** | 0.367<br>*** | 0.351<br>*** | 0.326<br>*** | 0.253<br>*** | 0.383<br>*** | 0.367<br>*** | 0.385<br>*** | 0.357<br>*** | 0.316<br>*** | 0.336<br>*** | 0.323<br>*** | 1            |              |              |              |              |              |              |              |
| 18 | 学際的共同研究の遂行             | 0.317<br>*** | 0.3<br>***   | 0.314<br>*** | 0.376<br>*** | 0.377<br>*** | 0.358<br>*** | 0.333<br>*** | 0.31<br>***  | 0.388<br>*** | 0.425<br>*** | 0.403<br>*** | 0.43<br>***  | 0.472<br>*** | 0.462<br>*** | 0.498<br>*** | 0.411<br>*** | 0.347<br>*** | 1            |              |              |              |              |              |              |
| 19 | 英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解   | 0.275<br>*** | 0.254<br>*** | 0.241<br>*** | 0.249<br>*** | 0.288<br>*** | 0.297<br>*** | 0.304<br>*** | 0.307<br>*** | 0.317<br>*** | 0.32<br>***  | 0.317<br>*** | 0.277<br>*** | 0.355<br>*** | 0.36<br>***  | 0.316<br>*** | 0.281<br>*** | 0.324<br>*** | 0.371<br>*** | 1            |              |              |              |              |              |
| 20 | 英語文献の正確な読解             | 0.338<br>*** | 0.327<br>*** | 0.258<br>*** | 0.282<br>*** | 0.309<br>*** | 0.335<br>*** | 0.331<br>*** | 0.315<br>*** | 0.377<br>*** | 0.328<br>*** | 0.322<br>*** | 0.31<br>***  | 0.402<br>*** | 0.397<br>*** | 0.352<br>*** | 0.317<br>*** | 0.297<br>*** | 0.419<br>*** | 0.801<br>*** | 1            |              |              |              |              |
| 21 | 英語以外の外国語文献の正確な読解       | 0.156<br>*** | 0.174<br>*** | 0.213<br>*** | 0.24<br>***  | 0.213<br>*** | 0.148<br>*** | 0.139<br>*** | 0.186<br>*** | 0.201<br>*** | 0.22<br>***  | 0.212<br>*** | 0.208<br>*** | 0.286<br>*** | 0.274<br>*** | 0.241<br>*** | 0.266<br>*** | 0.128<br>*** | 0.284<br>*** | 0.353<br>*** | 0.389<br>*** | 1            |              |              |              |
| 22 | 日本語での論文執筆能力            | 0.324<br>*** | 0.279<br>*** | 0.281<br>*** | 0.303<br>*** | 0.339<br>*** | 0.384<br>*** | 0.387<br>*** | 0.35<br>***  | 0.386<br>*** | 0.412<br>*** | 0.387<br>*** | 0.408<br>*** | 0.413<br>*** | 0.378<br>*** | 0.402<br>*** | 0.356<br>*** | 0.37<br>***  | 0.492<br>*** | 0.343<br>*** | 0.415<br>*** | 0.262<br>*** | 0.262<br>*** | 0.262<br>*** | 1            |
| 23 | 英語での論文執筆能力             | 0.255<br>*** | 0.273<br>*** | 0.231<br>*** | 0.268<br>*** | 0.273<br>*** | 0.262<br>*** | 0.291<br>*** | 0.255<br>*** | 0.334<br>*** | 0.312<br>*** | 0.326<br>*** | 0.316<br>*** | 0.375<br>*** | 0.406<br>*** | 0.353<br>*** | 0.311<br>*** | 0.225<br>*** | 0.44<br>***  | 0.54<br>***  | 0.589<br>*** | 0.468<br>*** | 0.459<br>*** | 0.459<br>*** | 1            |
| 24 | セミナー等での英語による発表・議論      | 0.246<br>*** | 0.23<br>***  | 0.216<br>*** | 0.252<br>*** | 0.248<br>*** | 0.228<br>*** | 0.268<br>*** | 0.253<br>*** | 0.324<br>*** | 0.301<br>*** | 0.294<br>*** | 0.297<br>*** | 0.355<br>*** | 0.375<br>*** | 0.321<br>*** | 0.286<br>*** | 0.229<br>*** | 0.416<br>*** | 0.546<br>*** | 0.563<br>*** | 0.437<br>*** | 0.387<br>*** | 0.744<br>*** | 0.744<br>*** |
|    | p<0.01                 |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |

\*\*\* p<0.01

そこで、経済学におけるコンピテンス（24 項目）の背後にある因子構造を探るために、重要度、習得度それぞれについて、因子分析（反復主因子法、プロマックス回転）を行なった。分析では、因子の意味を解釈しやすいように、因子数を 4 と仮定して計算をした。なお、各因子の意味の解釈は、因子負荷が 0.4 以上の項目を中心としている。

まず、重要度に関しては、応用経済学分野における諸課題の理解と議論などの「応用経済」、英語や日本語での論文執筆や発表・議論などの「語学・研究」、経済学の歴史・思想あるいは基礎的数学の理解などの「理論・基礎」、そして経済統計の理解や計量的手法などの「統計・計量」が因子として抽出された<sup>13</sup>（図表 14）。

図表 14 経済学におけるコンピテンス・重要度の因子分析（回転後の因子負荷）

|                            | 第1因子<br>応用経<br>済 | 第2因子<br>語学・<br>研究 | 第3因子<br>理論・<br>基礎 | 第4因子<br>統計・<br>計量 |
|----------------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 14. 途上国経済の諸課題の理解と議論        | 0.818            | 0.118             | -0.037            | -0.121            |
| 13. 国際貿易の諸課題の理解と議論         | 0.813            | 0.085             | -0.040            | -0.037            |
| 12. 労働市場の諸課題の理解と議論         | 0.785            | -0.096            | 0.020             | 0.094             |
| 11. 金融・資本市場の理解と議論          | 0.718            | -0.086            | -0.032            | 0.201             |
| 15. 厚生経済学に基づいた経済政策の実証分析と評価 | 0.655            | 0.059             | 0.124             | -0.096            |
| 10. 財政的諸課題の理解と議論           | 0.571            | -0.054            | 0.005             | 0.317             |
| 16. 法制度の理解に基づいた経済政策の議論     | 0.569            | 0.038             | 0.023             | -0.008            |
| 17. 新聞・雑誌等の経済記事を批判的に議論する   | 0.307            | 0.027             | -0.027            | 0.201             |
| 23. 英語での論文執筆能力             | -0.070           | 0.905             | 0.025             | -0.014            |
| 24. セミナー等での英語による発表・議論      | -0.018           | 0.861             | -0.017            | -0.033            |
| 20. 英語文献の正確な読解             | -0.017           | 0.812             | -0.061            | 0.095             |
| 19. 英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解   | 0.048            | 0.652             | -0.210            | 0.189             |
| 21. 英語以外の外国語文献の正確な読解       | 0.098            | 0.577             | 0.005             | -0.142            |
| 22. 日本語での論文執筆能力            | 0.042            | 0.492             | 0.274             | -0.023            |
| 18. 学際的共同研究の遂行             | 0.234            | 0.360             | 0.279             | -0.116            |
| 4. 経済学の古典を参照した議論の実施        | 0.055            | -0.064            | 0.817             | -0.173            |
| 3. 経済システムが形成された歴史的過程の理解    | 0.069            | -0.118            | 0.706             | -0.021            |
| 5. 経済学の基礎概念に関する思想的背景の理解    | 0.040            | -0.072            | 0.663             | 0.006             |
| 2. 数学的解法の理解                | -0.123           | 0.142             | 0.661             | 0.048             |
| 1. 経済モデルの数式やグラフを用いた説明      | -0.132           | 0.074             | 0.582             | 0.241             |
| 6. 専門外の人に経済理論を説明           | 0.080            | -0.013            | 0.386             | 0.289             |
| 7. 経済統計の理解と読み取り            | 0.020            | -0.030            | 0.048             | 0.791             |
| 8. 統計データの収集と加工             | 0.050            | -0.006            | -0.102            | 0.776             |
| 9. 計量経済学の手法を用いた経済分析の実施     | 0.173            | 0.132             | 0.117             | 0.446             |

因子抽出法：反復主因子法 回転法：Kaiserの正規化を伴うプロマックス法。

<sup>13</sup> 因子どうしの相関係数を見ると、第1因子（応用経済）と第2因子（語学・研究）では 0.636、第1因子（応用経済）と第3因子（理論・基礎）では 0.674、第1因子（応用経済）と第4因子（統計・計量）では 0.721、第2因子（語学・研究）と第3因子（理論・基礎）では 0.622、第2因子（語学・研究）と第4因子（統計・計量）では 0.497、そして第3因子（理論・基礎）と第4因子（統計・計量）では 0.489 となっている。

つぎに、習得度に関しては、「応用・研究」、「統計・計量」、「専門語学」、「歴史・思想」が因子として抽出された<sup>14</sup> (図表 15)。「応用・研究」には応用経済学分野における諸課題の理解や議論、共同研究の遂行などの項目、「統計・計量」には経済統計や計量分析、基礎的数学の理解などの項目、「専門語学」には英語等での論文執筆や発表・議論などの項目、そして、「歴史・思想」には経済学における歴史・思想の理解や理論説明などの項目が、それぞれ高い負荷を示している。

図表 15 経済学におけるコンピテンス・習得度の因子分析 (回転後の因子負荷)

|                            | 第1因子<br>応用・<br>研究 | 第2因子<br>統計・<br>計量 | 第3因子<br>専門語<br>学 | 第4因子<br>歴史・<br>思想 |
|----------------------------|-------------------|-------------------|------------------|-------------------|
| 14. 途上国経済の諸課題の理解と議論        | 0.689             | -0.083            | 0.120            | 0.050             |
| 13. 国際貿易の諸課題の理解と議論         | 0.681             | -0.024            | 0.071            | 0.092             |
| 12. 労働市場の諸課題の理解と議論         | 0.648             | 0.237             | -0.114           | 0.020             |
| 11. 金融・資本市場の理解と議論          | 0.600             | 0.272             | -0.125           | 0.035             |
| 15. 厚生経済学に基づいた経済政策の実証分析と評価 | 0.591             | 0.001             | 0.024            | 0.147             |
| 10. 財政的諸課題の理解と議論           | 0.584             | 0.360             | -0.089           | -0.062            |
| 16. 法制度の理解に基づいた経済政策の議論     | 0.458             | -0.079            | 0.094            | 0.202             |
| 18. 学際的共同研究の遂行             | 0.392             | 0.012             | 0.245            | 0.129             |
| 17. 新聞・雑誌等の経済記事を批判的に議論する   | 0.290             | 0.144             | 0.036            | 0.158             |
| 22. 日本語での論文執筆能力            | 0.276             | 0.151             | 0.242            | 0.079             |
| 7. 経済統計の理解と読み取り            | 0.159             | 0.702             | -0.009           | -0.108            |
| 9. 計量経済学の手法を用いた経済分析の実施     | 0.147             | 0.667             | 0.086            | -0.176            |
| 8. 統計データの収集と加工             | 0.190             | 0.664             | 0.026            | -0.206            |
| 1. 経済モデルの数式やグラフを用いた説明      | -0.127            | 0.640             | -0.037           | 0.281             |
| 2. 数学的解法の理解                | -0.180            | 0.556             | 0.032            | 0.270             |
| 24. セミナー等での英語による発表・議論      | 0.084             | -0.060            | 0.821            | -0.082            |
| 23. 英語での論文執筆能力             | 0.118             | -0.062            | 0.820            | -0.069            |
| 20. 英語文献の正確な読解             | -0.169            | 0.189             | 0.806            | 0.055             |
| 19. 英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解   | -0.109            | 0.147             | 0.740            | 0.029             |
| 21. 英語以外の外国語文献の正確な読解       | 0.122             | -0.142            | 0.513            | 0.053             |
| 3. 経済システムが形成された歴史的過程の理解    | 0.122             | -0.069            | -0.030           | 0.657             |
| 4. 経済学の古典を参照した議論の実施        | 0.171             | -0.123            | 0.005            | 0.644             |
| 5. 経済学の基礎概念に関する思想的背景の理解    | 0.096             | 0.034             | 0.005            | 0.630             |
| 6. 専門外の人に経済理論を説明           | 0.029             | 0.384             | -0.036           | 0.398             |

因子抽出法：反復主因子法 回転法：Kaiserの正規化を伴うプロマックス法。

因子分析の結果、各因子を構成するコンピテンス項目の組合せには重要度と習得度とでいくつかの違い見られ、また重要度・習得度どちらにおいてもはっきりとした因子構造が見

<sup>14</sup> 因子どうしの相関係数を見ると、第1因子（応用・研究）と第2因子（統計・計量）では0.754、第1因子（応用・研究）と第3因子（専門語学）では0.602、第1因子（応用・研究）と第4因子（歴史・思想）では0.705、第2因子（統計・計量）と第3因子（専門語学）では0.531、第2因子（統計・計量）と第4因子（歴史・思想）では0.577、そして第3因子（専門語学）と第4因子（歴史・思想）では0.540となっている。



出されたわけではないが、経済学におけるコンピテンス・24項目は、大まかには、統計・計量、応用経済、理論（歴史・思想）、専門語学・研究に関わる項目を中心とする4つのまとまりに集約されることがわかる。

なお、参考までに、以上で抽出された各因子について、それらの因子得点（平均0、分散1に標準化）の平均値を対象者別に示したものが、図表16（重要度）及び図表17（習得度）である。

大まかな傾向を見てみると、重要度に関しては、すべての因子（「応用経済」、「語学・研究」、「理論・基礎」、「統計・計量」）において、教員の平均得点が最も高いのに対して、企業人の平均得点が最も低くなっている。

他方、習得度に関しても、重要度の場合と同様、すべての因子（「応用・研究」、「統計・計量」、「専門語学」、「歴史・思想」）において、企業人の平均得点が最も低くなっている。しかし、平均得点が最も高い対象者は、習得度因子によって異なり、「応用・研究」及び「統計・計量」では卒業生、「専門語学」では教員、そして「歴史・思想」では学生となっている。

図表 16 専門コンピテンス・重要度の因子得点（対象者別平均値）（経済学）

|     | 第1因子   | 第2因子   | 第3因子   | 第4因子   |
|-----|--------|--------|--------|--------|
|     | 応用経済   | 語学・研究  | 理論・基礎  | 統計・計量  |
| 学生  | 0.159  | 0.162  | 0.189  | 0.032  |
| 教員  | 0.199  | 0.230  | 0.276  | 0.435  |
| 卒業生 | -0.198 | -0.235 | -0.295 | -0.015 |
| 企業人 | -0.925 | -0.839 | -0.908 | -0.548 |

図表 17 専門コンピテンス・習得度の因子得点（対象者別平均値）（経済学）

|     | 第1因子   | 第2因子   | 第3因子   | 第4因子   |
|-----|--------|--------|--------|--------|
|     | 応用・研究  | 統計・計量  | 専門語学   | 歴史・思想  |
| 学生  | 0.002  | -0.029 | -0.027 | 0.048  |
| 教員  | 0.042  | 0.122  | 0.099  | -0.244 |
| 卒業生 | 0.082  | 0.149  | 0.086  | 0.041  |
| 企業人 | -0.367 | -0.363 | -0.120 | -0.486 |

### 3.1.4 学生・卒業生の理解度・満足度・就職先関連度とコンピテンス認識の関係性

最後に、対象を経済学の学生と卒業生に限定して、専門コンピテンスに対する認識が、か

これらの専門理解度<sup>15</sup>や教育満足度<sup>16</sup>、あるいは就職（希望）先関連度<sup>17</sup>に与える影響を検討する。具体的には、上記3つ（専門理解度、教育満足度、就職（希望）先関連度）を被説明変数、専門コンピテンスの重要度因子（4種）及び習得度因子（4種）<sup>18</sup>、所属大学<sup>19</sup>、性別（女性ダミー）、年齢<sup>20</sup>を説明変数として投入し、対象者（学生／卒業生）別に順序プロビット回帰分析を行う。分析に使用する変数の記述統計量は、図表 18（学生）及び図表 19（卒業生）に示した通りである。

---

<sup>15</sup> 「専門理解度」は、質問項目「あなたが受けた専門分野の教育を通じて、分野の理解や関心が深まったと思いますか。」をもとに作成された。分析では、「5. きわめて深まった」、「4. ある程度深まった」、「3. どちらとも言えない」、「2. あまり深まらなかった」、「1. 全く深まらなかった」の5段階として投入した。

<sup>16</sup> 「教育満足度」は、質問項目「あなたが大学で学んでいる専門分野の教育を総合的にどう思いますか。」（学生）／「あなたが受けた大学教育を総合的にどう思いますか。」（卒業生）をもとに作成された。分析では、「5. とても満足」、「4. ほぼ満足」、「3. どちらとも言えない」、「2. やや不満」、「1. とても不満」の5段階として投入した。

<sup>17</sup> 「就職（希望）先関連度」は、質問項目「現在あなたが専門とする分野の内容は、希望する仕事内容にどの程度関係すると思いますか。」（学生）／「あなたの専門分野の内容は、あなたの現在の仕事内容にどの程度関係していると思いますか。」（卒業生）をもとに作成された。分析では、「わからない」への回答を除き、「5. 深く関係する」、「4. ある程度関係する」、「3. どちらとも言えない」、「2. あまり関係しない」、「1. 全く関係しない」の5段階として投入した。

<sup>18</sup> 重要度因子、重要度因子どちらの場合も、前節での因子分析の結果に基づき、それぞれの因子を構成する項目の得点（「4. 高い」～「1. 低い」）を加算平均し、変数を作成した。

<sup>19</sup> 学生の場合、大学1を基準とし、大学2～大学6、大学8～大学10のダミー変数を投入した。大学7はケース数が少ないため、分析から除いている。卒業生の場合は、大学2を基準とし、大学3～大学6、大学9、大学10のダミー変数を投入した。大学1、大学7、大学8は該当者が0名のため、分析に含まれない。

<sup>20</sup> 年齢は「1. 19歳」～「47. 65歳以上」として投入した。



図表 18 使用する変数の記述統計量（経済学、学生）

| 変数名           | N     | 平均   | 標準偏差 | 最小値 | 最大値 |
|---------------|-------|------|------|-----|-----|
| 専門理解度         | 1,225 | 3.91 | 0.81 | 1   | 5   |
| 教育満足度         | 1,225 | 3.70 | 0.85 | 1   | 5   |
| 就職希望先関連度      | 1,207 | 3.34 | 1.08 | 1   | 5   |
| 重要度因子1（応用経済）  | 1,273 | 3.06 | 0.57 | 1   | 4   |
| 重要度因子2（語学・研究） | 1,272 | 2.68 | 0.68 | 1   | 4   |
| 重要度因子3（理論・基礎） | 1,273 | 2.78 | 0.59 | 1   | 4   |
| 重要度因子4（統計・計量） | 1,273 | 3.20 | 0.66 | 1   | 4   |
| 習得度因子1（応用・研究） | 1,303 | 2.15 | 0.58 | 1   | 4   |
| 習得度因子2（統計・計量） | 1,303 | 2.29 | 0.66 | 1   | 4   |
| 習得度因子3（専門語学）  | 1,302 | 1.67 | 0.69 | 1   | 4   |
| 習得度因子4（歴史・思想） | 1,303 | 2.28 | 0.61 | 1   | 4   |
| 大学（基準：大学1）    |       |      |      |     |     |
| 大学2ダミー        | 1,326 | 0.05 | 0.22 | 0   | 1   |
| 大学3ダミー        | 1,326 | 0.08 | 0.28 | 0   | 1   |
| 大学4ダミー        | 1,326 | 0.03 | 0.16 | 0   | 1   |
| 大学5ダミー        | 1,326 | 0.02 | 0.15 | 0   | 1   |
| 大学6ダミー        | 1,326 | 0.08 | 0.28 | 0   | 1   |
| 大学8ダミー        | 1,326 | 0.01 | 0.11 | 0   | 1   |
| 大学9ダミー        | 1,326 | 0.13 | 0.34 | 0   | 1   |
| 大学10ダミー       | 1,326 | 0.01 | 0.10 | 0   | 1   |
| 女性ダミー         | 1,225 | 0.35 | 0.48 | 0   | 1   |
| 年齢            | 1,223 | 3.49 | 0.96 | 1   | 10  |

各因子の得点は、因子分析の結果に基づき、それぞれの因子を構成する項目の得点を加算平均した値である。

図表 19 使用する変数の記述統計量（経済学、卒業生）

| 変数名           | N   | 平均   | 標準偏差 | 最小値 | 最大値 |
|---------------|-----|------|------|-----|-----|
| 専門理解度         | 427 | 3.80 | 0.92 | 1   | 5   |
| 教育満足度         | 428 | 3.69 | 0.89 | 1   | 5   |
| 就職先関連度        | 421 | 2.91 | 1.21 | 1   | 5   |
| 重要度因子1（応用経済）  | 502 | 2.86 | 0.66 | 1   | 4   |
| 重要度因子2（語学・研究） | 500 | 2.38 | 0.78 | 1   | 4   |
| 重要度因子3（理論・基礎） | 502 | 2.49 | 0.68 | 1   | 4   |
| 重要度因子4（統計・計量） | 502 | 3.16 | 0.71 | 1   | 4   |
| 習得度因子1（応用・研究） | 499 | 2.20 | 0.60 | 1   | 3.9 |
| 習得度因子2（統計・計量） | 499 | 2.41 | 0.67 | 1   | 4   |
| 習得度因子3（専門語学）  | 497 | 1.76 | 0.71 | 1   | 4   |
| 習得度因子4（歴史・思想） | 499 | 2.32 | 0.62 | 1   | 4   |
| 大学（基準：大学2）    |     |      |      |     |     |
| 大学3ダミー        | 506 | 0.16 | 0.37 | 0   | 1   |
| 大学4ダミー        | 506 | 0.03 | 0.18 | 0   | 1   |
| 大学5ダミー        | 506 | 0.18 | 0.39 | 0   | 1   |
| 大学6ダミー        | 506 | 0.13 | 0.34 | 0   | 1   |
| 大学9ダミー        | 506 | 0.43 | 0.50 | 0   | 1   |
| 大学10ダミー       | 506 | 0.03 | 0.17 | 0   | 1   |
| 女性ダミー         | 431 | 0.32 | 0.47 | 0   | 1   |
| 年齢            | 431 | 7.31 | 3.71 | 4   | 47  |

各因子の得点は、因子分析の結果に基づき、それぞれの因子を構成する項目の得点を加算平均した値である。

以下、専門理解度、教育満足度、就職（希望）先関連度の順に、結果を読んでいこう。

まず、図表 20 に示したのが、専門理解度の分析結果である。学生の結果から見ると、習得度因子 1（応用・研究）及び習得度因子 2（統計・計量）が 1%水準で統計的に有意な正の効果を示している。つまり、応用・研究や統計・計量に関わるコンピテンスを習得している学生ほど、専門理解度が高い傾向が見出された。また、女性ダミーも 5%水準で有意となっており、学生の場合、男性と比べて、女性の方が自身の専門理解度を高く評価していることがわかる。

他方、卒業生の結果を見ると、重要度因子 1（応用経済）、習得度因子 2（統計・計量）、習得度因子 3（専門語学）が 5%水準以下で統計的に有意となっている。ただし、重要度因子 1（応用経済）、習得度因子 2（統計・計量）は正の効果であるが、習得度因子 3（専門語学）は負の効果を示している。つまり、応用経済に関わるコンピテンスを重要だと考えている、あるいは統計・計量の習得度が高いと評価する卒業生ほど、自身の専門理解度を高く評価するが、専門語学の習得度が高い卒業生ほど、自身の専門理解度を低く評価する傾向がある。

図表 20 専門理解度の順序プロビット回帰分析（経済学、学生・卒業生）

| 専門理解度（5段階）    | 学生       |         | 卒業生       |         |
|---------------|----------|---------|-----------|---------|
|               | Coef.    | S.E.    | Coef.     | S.E.    |
| 重要度因子1（応用経済）  | 0.155*   | (0.093) | 0.292**   | (0.135) |
| 重要度因子2（語学・研究） | -0.013   | (0.064) | 0.140     | (0.098) |
| 重要度因子3（理論・基礎） | 0.126*   | (0.072) | -0.014    | (0.114) |
| 重要度因子4（統計・計量） | -0.004   | (0.076) | -0.066    | (0.115) |
| 習得度因子1（応用・研究） | 0.338*** | (0.104) | 0.303*    | (0.161) |
| 習得度因子2（統計・計量） | 0.262*** | (0.080) | 0.361***  | (0.124) |
| 習得度因子3（専門語学）  | -0.095   | (0.066) | -0.326*** | (0.105) |
| 習得度因子4（歴史・思想） | 0.120    | (0.078) | 0.085     | (0.123) |
| 大学2ダミー        | -0.114   | (0.153) | -         | -       |
| 大学3ダミー        | -0.093   | (0.141) | 0.803**   | (0.354) |
| 大学4ダミー        | 0.073    | (0.205) | 1.374***  | (0.487) |
| 大学5ダミー        | 0.433*   | (0.245) | 0.609*    | (0.344) |
| 大学6ダミー        | 0.000    | (0.131) | 0.779**   | (0.356) |
| 大学8ダミー        | 0.275    | (0.342) | -         | -       |
| 大学9ダミー        | -0.086   | (0.111) | 0.602*    | (0.331) |
| 大学10ダミー       | -0.038   | (0.351) | 0.564     | (0.524) |
| 女性ダミー         | 0.149**  | (0.072) | -0.026    | (0.124) |
| 年齢            | 0.023    | (0.036) | 0.004     | (0.019) |
| Constant cut1 | 0.009    | (0.268) | 0.577     | (0.462) |
| Constant cut2 | 0.660**  | (0.259) | 1.361***  | (0.456) |
| Constant cut3 | 1.376*** | (0.259) | 1.953***  | (0.459) |
| Constant cut4 | 3.305*** | (0.271) | 3.762***  | (0.478) |
| Observations  | 1,152    |         | 418       |         |
| Pseudo R2     | 0.062    |         | 0.080     |         |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1

つぎに、図表 21 に示したのが、教育満足度の分析結果である。学生の結果から見ると、習得度因子 2（統計・計量）が 1%水準で統計的に有意な正の効果を示している。つまり、統計・計量に関わるコンピテンスを習得している学生ほど、教育満足度が高い傾向が見出された。また、それら以外では、女性ダミー、年齢が正の効果、大学 3 ダミー、大学 6 ダミー、大学 9 ダミーが負の効果を示している（いずれも 5%水準以下で有意）。

他方、卒業生の結果を見ると、教育満足度に対して習得度因子 2（統計・計量）が正の効果を示している（5%水準で有意）。学生の場合と同様、統計・計量に関わるコンピテンスの習得度が高い卒業生は、教育満足度を高く回答する傾向がある。それ以外に、5%水準以下で統計的に有意な変数は見られない。

図表 21 教育満足度の順序プロビット回帰分析（経済学、学生・卒業生）

| 教育満足度（5段階）    | 学生        |         | 卒業生      |         |
|---------------|-----------|---------|----------|---------|
|               | Coef.     | S.E.    | Coef.    | S.E.    |
| 重要度因子1（応用経済）  | 0.139     | (0.089) | 0.227*   | (0.131) |
| 重要度因子2（語学・研究） | -0.047    | (0.062) | -0.019   | (0.095) |
| 重要度因子3（理論・基礎） | 0.050     | (0.069) | 0.157    | (0.109) |
| 重要度因子4（統計・計量） | -0.018    | (0.072) | -0.180   | (0.113) |
| 習得度因子1（応用・研究） | 0.182*    | (0.099) | 0.090    | (0.155) |
| 習得度因子2（統計・計量） | 0.232***  | (0.077) | 0.298**  | (0.119) |
| 習得度因子3（専門語学）  | -0.063    | (0.063) | -0.116   | (0.100) |
| 習得度因子4（歴史・思想） | 0.078     | (0.075) | 0.039    | (0.119) |
| 大学2ダミー        | -0.089    | (0.146) | -        | -       |
| 大学3ダミー        | -0.387*** | (0.134) | 0.509    | (0.346) |
| 大学4ダミー        | 0.009     | (0.198) | 0.591    | (0.471) |
| 大学5ダミー        | -0.322    | (0.226) | 0.105    | (0.337) |
| 大学6ダミー        | -0.365*** | (0.125) | 0.346    | (0.349) |
| 大学8ダミー        | -0.414    | (0.316) | -        | -       |
| 大学9ダミー        | -0.352*** | (0.107) | 0.152    | (0.325) |
| 大学10ダミー       | -0.307    | (0.328) | 0.565    | (0.516) |
| 女性ダミー         | 0.217***  | (0.069) | 0.158    | (0.120) |
| 年齢            | 0.078**   | (0.035) | -0.004   | (0.018) |
| Constant cut1 | -0.668**  | (0.261) | -0.716   | (0.461) |
| Constant cut2 | 0.161     | (0.249) | 0.104    | (0.443) |
| Constant cut3 | 1.167***  | (0.249) | 1.080**  | (0.443) |
| Constant cut4 | 2.720***  | (0.257) | 2.545*** | (0.454) |
| Observations  | 1,152     |         | 419      |         |
| Pseudo R2     | 0.034     |         | 0.040    |         |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1

最後に、図表 22 に示したのが、就職（希望）先関連度の結果である。学生の結果から見ると、重要度因子 1（応用経済）が 1%水準で統計的に有意な正の効果を示しており、応用経済に関わるコンピテンスを重要だと考える学生ほど、専門分野と関係する仕事に就きたいと思っていることがわかる。それ以外に、5%水準以下で統計的に有意な変数は見られない。

他方、卒業生の結果を見ると、習得度因子 1（応用・研究）が 5%水準で統計的に有意な正の効果を示しており、応用・研究に関わるコンピテンスの習得度が高い卒業生ほど、専門分野と関連度の高い仕事に就いている傾向があることがわかる。また、重要度の場合と同様、それ以外に、5%水準以下で統計的に有意な変数は見られない。

図表 22 就職（希望）先との関連度の順序プロビット回帰分析（経済学、学生・卒業生）

| 就職（希望）先関連度<br>（5段階） | 学生       |         | 卒業生      |         |
|---------------------|----------|---------|----------|---------|
|                     | Coef.    | S.E.    | Coef.    | S.E.    |
| 重要度因子1（応用経済）        | 0.226*** | (0.088) | 0.042    | (0.129) |
| 重要度因子2（語学・研究）       | -0.009   | (0.061) | 0.167*   | (0.094) |
| 重要度因子3（理論・基礎）       | -0.005   | (0.069) | 0.121    | (0.110) |
| 重要度因子4（統計・計量）       | 0.042    | (0.071) | -0.050   | (0.113) |
| 習得度因子1（応用・研究）       | -0.017   | (0.098) | 0.375**  | (0.155) |
| 習得度因子2（統計・計量）       | 0.145*   | (0.075) | 0.174    | (0.117) |
| 習得度因子3（専門語学）        | 0.041    | (0.062) | -0.046   | (0.100) |
| 習得度因子4（歴史・思想）       | 0.103    | (0.074) | -0.187   | (0.118) |
| 大学2ダミー              | 0.246*   | (0.145) | -        | -       |
| 大学3ダミー              | 0.188    | (0.134) | 0.273    | (0.346) |
| 大学4ダミー              | -0.040   | (0.192) | 0.039    | (0.461) |
| 大学5ダミー              | 0.159    | (0.230) | 0.221    | (0.339) |
| 大学6ダミー              | 0.112    | (0.124) | 0.289    | (0.350) |
| 大学8ダミー              | 0.237    | (0.317) | -        | -       |
| 大学9ダミー              | -0.131   | (0.104) | 0.042    | (0.327) |
| 大学10ダミー             | -0.118   | (0.322) | 0.170    | (0.506) |
| 女性ダミー               | 0.008    | (0.068) | -0.039   | (0.120) |
| 年齢                  | 0.032    | (0.034) | 0.014    | (0.018) |
| Constant cut1       | -0.102   | (0.248) | 0.384    | (0.445) |
| Constant cut2       | 0.804*** | (0.246) | 1.493*** | (0.449) |
| Constant cut3       | 1.446*** | (0.247) | 1.852*** | (0.451) |
| Constant cut4       | 2.787*** | (0.254) | 3.096*** | (0.461) |
| Observations        | 1,136    |         | 412      |         |
| Pseudo R2           | 0.019    |         | 0.036    |         |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1

### 3.1.5 まとめ

本節では、経済学における対象者全体の傾向に関わる分析を行った。以下では、1) 回答分布、2) 対象者間でのコンピテンス認識の差異、3) コンピテンス項目間での関係性、4) 専門理解度・教育満足度・就職（希望）先関連度とコンピテンス認識の関係性の順に、おもな知見をまとめる。

第1に、回答分布の確認から、経済学における専門コンピテンス（24項目）のうち、「新聞・雑誌等の経済記事を批判的に議論する」、「統計データの収集と加工」、「経済統計の理解と読み取り」、「専門外の人に経済理論を説明」など、基礎的な理解や経済統計に関わる項目の重要度が、どの対象者の場合でも高い傾向が見られた。また、上記の重要度が高いコンピテンス群は、習得度の点でも高く位置付けられていた。他方で、英語等での研究・発表に関わるコンピテンス群は、どの対象者の場合でも、学部卒業時での習得度が低いと考えられる

傾向があった。

第2に、対象者間でのコンピテンス認識の差異について、分散分析及び多重比較を行った結果、重要度認識に関しては、企業人と他の対象者（学生、教員、卒業生）との間で認識の違いが大きく、企業人よりも他の対象者で評価が高いこと、教員と学生間では認識の差が比較的小さいことが示された。習得度認識に関しても、企業人と他の対象者の間で認識の違いが大きく、企業人よりも他の対象者で評価が高い傾向がみられた。教員と学生、卒業生と教員の間では、習得度認識の違いが見られた項目は比較的少なかった。

第3に、専門コンピテンス間の関係を相関分析によって検討した結果、重要度・習得度どちらの場合も、すべてのコンピテンス項目間には低・中程度の正の相関が見られた。いくつかのペアでは0.6以上の強い相関もあった。そのため、専門コンピテンスの背後にある関係構造を因子分析によって確認したところ、重要度については「応用経済」、「語学・研究」、「理論・基礎」、「統計・計量」、習得度については「応用・研究」、「統計・計量」、「専門語学」、「歴史・思想」の4つのまとまり（因子）にそれぞれ集約された。

そして第4に、学生と卒業生に限定して、かれらの専門理解度、教育満足度、就職（希望）先関連度とコンピテンス認識の関係性を、順序プロビット回帰分析をもとに検討した。まず、学生を対象とした分析の結果、「統計・計量」の習得度因子が専門理解度及び教育満足度に対して、1%水準で統計的に有意な正の効果を持つことが示された。また、専門理解度に対しては習得度因子1（「応用・研究」）が、就職希望先関連度に対しては重要度因子1（「応用経済」）が、いずれも1%水準で統計的に有意な効果を与えていた。他方、卒業生を対象とした分析の結果においても、「統計・計量」の習得度因子が専門理解度及び教育満足度に対して5%水準以下で統計的に有意な正の効果を持つことが示された。その他、専門理解度に対しては重要度因子1（「応用経済」）が正、習得度因子3（「専門語学」）が負、そして就職先関連度に対しては習得度因子1（「応用・研究」）が正の効果を与えていた（いずれも5%水準以下で有意）。

## 3.2 大学間比較

本節では、大学間の違い、特にどのようなコンピテンスで大学間の違いが見られるのかについて分析する。具体的な構成は次のとおりである。まず、各コンピテンスに対する大学別の平均値や分散を比較する。次に大学間で認識差があるのか、認識差がある場合にどのコンピテンスで差異が示されるのかを見る。続いて対象者間の認識が異なるのか大学別に分析する。最後に、企業人との認識の違いを大学間で比較する。

### 3.2.1 対象大学とグループ

各大学の対象グループ別に一定数（学生と卒業生は 10 人以上、教員は 6 人以上）の回答者がいる場合に大学間比較の分析の対象とした。対象大学とグループを図表 23 に示す。なお大学内で対象者間の違いの有無を分析する場合は、各大学の 2 つ以上の対象グループに一定数いる場合とした。よって大学内比較では図表 23 のうち大学 8 を除いた大学を分析対象とする。

図表 23 大学間比較の対象（経済学）

|       | 経済学 |    |     |
|-------|-----|----|-----|
|       | 学生  | 教員 | 卒業生 |
| 大学 1  | ○   | ○  |     |
| 大学 2  | ○   | ○  | ○   |
| 大学 3  | ○   | ○  | ○   |
| 大学 4  | ○   |    | ○   |
| 大学 5  | ○   | ○  | ○   |
| 大学 6  | ○   |    | ○   |
| 大学 8  | ○   |    |     |
| 大学 9  | ○   | ○  | ○   |
| 大学 10 | ○   | ○  | ○   |

### 3.2.2 回答分布

大学別の記述統計のうち重要度と習得度の大学別平均散布図を図表 24 に示す。後述するように平均的認識の大学間差分が重要度と習得度ともに大きいコンピテンス「19. 英字新聞や英文雑誌の経済記事を正確に読むことができる」の大学別平均散布図を図表 25 に示す。重要度の分布を図表 26 に、習得度の分布を図表 27 に示す。また大学別の回答分布表を参考資料に示す。図表 24 と図表 26 から、重要度と習得度共に平均的に高く回答する大学（大学 8：重要度平均 3.12、習得度平均 2.53）と低く回答する大学（重要度と習得度の平均の順に大学 2：2.79、1.95、大学 5：2.76、2.39、大学 6：2.70、2.19）がある。コンピテンス間の分散が比較的大きいのは、重要度では大学 5（0.90）と大学 6（0.91）、習得度では大学 9（1.01）と大学 10（1.01）である。



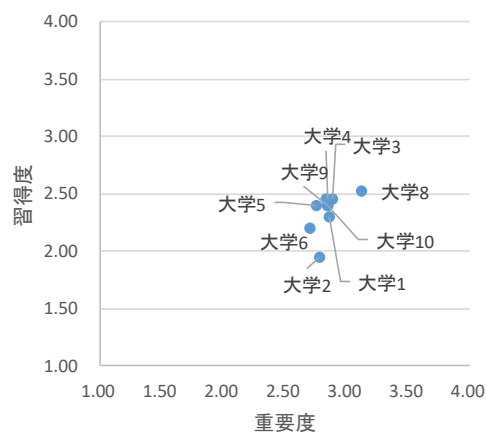
コンピテンスの重要度を見ると、平均的に高く評価する大学と低く評価する大学の差が大きいのは「3. 経済システムが歴史的にどのような過程を経て形成されたのか理解できる」(最大値は大学 8 の 3.35、最小値は大学 5 の 2.52、差分 0.83)、「5. 経済学の基礎概念に関する思想的背景を理解できる」(最大値は大学 8 の 3.35、最小値は大学 6 の 2.52、差分 0.83)、「19. 英字新聞や英文雑誌の経済記事を正確に読むことができる」(最大値は大学 8 の 3.47、最小値は大学 2 の 2.66、差分 0.81) である。他方で、大学間の平均値差分が小さいコンピテンスは、「13. 経済理論に基づき国際貿易の諸課題を理解し、統計データに基づき議論できる」(最大値と最小値の差分は 0.21)、「12. 経済理論に基づき労働市場における諸課題を理解し、統計データに基づき議論できる」(同 0.28)、「14. 経済理論に基づき途上国経済の諸課題を理解し、統計データに基づき議論できる」(同 0.28)、の 3 つであり、いずれも応用経済に関連するコンピテンスである。

習得度を見ると、最大平均値と最小平均値の差分は重要度に比べて大きい。また、評価が分かれるコンピテンスとさほど分かれなないコンピテンスは重要度と一部異なっている。まず最も差分が大きいのは、「7. 経済統計を理解し、適切に読み取ることができる」(最大値は大学 8 の 3.60、最小値は大学 2 の 2.00、差分 1.60)、次いで、「18. 経済学の知識や手法を活用して、学際的な共同研究ができる」(最大値は大学 3 の 2.85、最小値は大学 2 の 1.29、差分 1.57)、「19. 英字新聞や英文雑誌の経済記事を正確に読むことができる」(最大値は大学 3 の 2.98、最小値は大学 2 の 1.43、差分 1.56) となった。逆に、大学間の平均による差分が小さいコンピテンスは、「3. 経済システムが歴史的にどのような過程を経て形成されたのか理解できる」(最大値と最小値の差分は 0.54)、「14. 経済理論に基づき途上国経済の諸課題を理解し、統計データに基づき議論できる」(同 0.57) である。

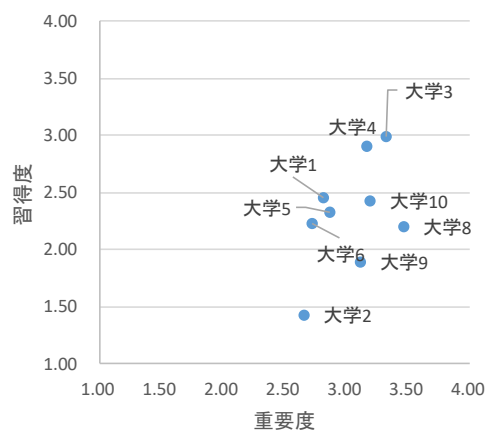
図表 24 と図表 25 を見ると、いずれも右肩上がりの直線の関係が示されている。また、全コンピテンスの平均を示す図表 24 と比べて、個別コンピテンスの大学平均を示す図表 25 のほうが縦横ともに分散が大きい。図表 24 と図表 25 とも大学 8 の重要度認識が最も高いことが分かる。また大学の位置づけは両図でおおよそ共通している。



図表 24 重要度認識と習得度認識の大学別散布図



図表 25 コンピテンス No.19 の重要度認識と習得度認識の大学別散布図



図表 26 大学別の記述統計（経済学・重要度）

| №  | コンピテンス名                                   | 大学1  |      | 大学2  |      | 大学3  |      | 大学4  |      | 大学5  |      | 大学6  |      | 大学8  |      | 大学9  |      | 大学10 |      |
|----|-------------------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|    |                                           | 平均   | 標準偏差 | 平均   | 標準偏差 | 平均   | 標準偏差 | 平均   | 標準偏差 | 平均   | 標準偏差 | 平均   | 標準偏差 | 平均   | 標準偏差 | 平均   | 標準偏差 | 平均   | 標準偏差 |
| 1  | 経済モデルを理解し、数式やグラフを用いて説明できる                 | 2.87 | 0.79 | 2.83 | 0.87 | 2.99 | 0.91 | 2.74 | 0.91 | 2.65 | 0.94 | 2.59 | 0.93 | 3.24 | 0.83 | 2.82 | 0.90 | 2.90 | 0.94 |
| 2  | 経済学で用いられる数学的解法（ラグランジュ乗数法など）を理解できる         | 2.59 | 0.84 | 2.49 | 0.95 | 2.45 | 0.94 | 2.24 | 0.80 | 2.21 | 0.97 | 2.18 | 0.85 | 2.59 | 0.71 | 2.28 | 0.96 | 2.24 | 0.94 |
| 3  | 経済システムが歴史的にどのような過程を経て形成されたのか理解できる         | 2.82 | 0.81 | 2.63 | 0.87 | 2.68 | 0.88 | 2.61 | 0.90 | 2.52 | 0.90 | 2.61 | 0.88 | 3.35 | 0.79 | 2.70 | 0.92 | 2.80 | 0.90 |
| 4  | スミス、マルクス、ケインズなどの経済学の古典を参照しつつ議論することができる    | 2.58 | 0.89 | 2.52 | 0.89 | 2.21 | 0.90 | 2.22 | 0.86 | 2.24 | 0.90 | 2.28 | 0.81 | 2.65 | 1.06 | 2.39 | 0.94 | 2.20 | 0.87 |
| 5  | 経済学の基礎概念に関する思想的背景を理解できる                   | 2.76 | 0.83 | 2.60 | 0.80 | 2.63 | 0.89 | 2.61 | 0.81 | 2.56 | 0.91 | 2.52 | 0.82 | 3.35 | 0.79 | 2.72 | 0.89 | 2.68 | 0.82 |
| 6  | 経済学を学んでいない人に対して、経済理論の意味するところを分かりやすく説明できる  | 3.11 | 0.81 | 3.06 | 0.90 | 3.36 | 0.76 | 3.04 | 0.91 | 3.05 | 0.88 | 3.07 | 0.96 | 3.71 | 0.47 | 3.11 | 0.87 | 3.27 | 0.71 |
| 7  | 経済統計を理解し、適切に読み取ることができる                    | 3.22 | 0.72 | 3.22 | 0.73 | 3.67 | 0.54 | 3.46 | 0.61 | 3.33 | 0.82 | 3.22 | 0.88 | 3.65 | 0.49 | 3.43 | 0.76 | 3.63 | 0.66 |
| 8  | 分析目的に応じて適切な統計データを収集し、図表等に加工できる            | 3.26 | 0.76 | 3.25 | 0.76 | 3.64 | 0.58 | 3.35 | 0.70 | 3.45 | 0.76 | 3.26 | 0.97 | 3.59 | 0.51 | 3.45 | 0.77 | 3.59 | 0.67 |
| 9  | 計量経済学の基礎的手法を使って、経済分析（パネルデータ分析など）ができる      | 2.92 | 0.83 | 2.82 | 0.80 | 3.10 | 0.93 | 2.91 | 0.85 | 2.74 | 0.99 | 2.73 | 0.92 | 3.06 | 0.83 | 2.93 | 0.90 | 2.93 | 0.88 |
| 10 | 経済理論に基づき財政的諸課題を理解し、統計データに基づき議論できる         | 3.05 | 0.77 | 3.11 | 0.80 | 3.07 | 0.84 | 3.00 | 0.80 | 3.07 | 0.84 | 2.99 | 0.88 | 3.47 | 0.62 | 3.11 | 0.80 | 3.07 | 0.88 |
| 11 | 経済理論に基づき金融・資本市場における諸課題を理解し、統計データに基づき議論できる | 3.09 | 0.74 | 3.18 | 0.75 | 3.17 | 0.85 | 3.07 | 0.89 | 3.08 | 0.86 | 3.05 | 0.84 | 3.35 | 0.61 | 3.20 | 0.79 | 3.17 | 0.63 |
| 12 | 経済理論に基づき労働市場における諸課題を理解し、統計データに基づき議論できる    | 3.11 | 0.75 | 3.13 | 0.73 | 3.06 | 0.81 | 3.07 | 0.80 | 2.96 | 0.86 | 2.96 | 0.86 | 3.24 | 0.66 | 3.02 | 0.83 | 2.98 | 0.85 |
| 13 | 経済理論に基づき国際貿易における諸課題を理解し、統計データに基づき議論できる    | 2.97 | 0.77 | 2.93 | 0.84 | 3.08 | 0.79 | 3.00 | 0.82 | 2.93 | 0.82 | 2.87 | 0.89 | 2.94 | 0.75 | 2.99 | 0.84 | 3.00 | 0.61 |
| 14 | 経済理論に基づき途上国経済の諸課題を理解し、統計データに基づき議論できる      | 2.90 | 0.79 | 2.82 | 0.75 | 2.93 | 0.84 | 2.76 | 0.85 | 2.84 | 0.84 | 2.72 | 0.91 | 2.65 | 0.79 | 2.84 | 0.87 | 2.83 | 0.71 |
| 15 | 厚生経済学の基準に基づき、経済政策を実証的に分析し規範的に評価することができる   | 2.85 | 0.81 | 2.86 | 0.86 | 2.73 | 0.88 | 2.65 | 0.95 | 2.78 | 0.86 | 2.75 | 0.91 | 3.06 | 0.83 | 2.67 | 0.88 | 2.60 | 0.81 |
| 16 | 法制度の規範・権限・手続きの正確な理解に基づき、経済政策の議論ができる       | 2.81 | 0.81 | 2.99 | 0.79 | 2.75 | 0.89 | 2.70 | 0.82 | 2.85 | 0.91 | 2.86 | 0.95 | 3.00 | 0.94 | 2.78 | 0.87 | 2.70 | 0.79 |
| 17 | 新聞・雑誌等の経済記事を読み、批判的に議論することができる             | 3.40 | 0.73 | 3.22 | 0.83 | 3.46 | 0.72 | 3.70 | 0.50 | 3.56 | 0.70 | 3.37 | 0.78 | 3.88 | 0.33 | 3.46 | 0.74 | 3.60 | 0.63 |
| 18 | 経済学の知識や手法を活用して、学際的な共同研究ができる               | 2.80 | 0.82 | 2.71 | 0.74 | 2.42 | 0.93 | 2.67 | 0.87 | 2.66 | 0.90 | 2.68 | 0.91 | 3.00 | 1.00 | 2.66 | 0.94 | 2.68 | 0.80 |
| 19 | 英字新聞や英文雑誌の経済記事を正確に読むことができる                | 2.82 | 0.87 | 2.66 | 0.89 | 3.32 | 0.81 | 3.17 | 0.91 | 2.87 | 0.96 | 2.73 | 1.02 | 3.47 | 0.62 | 3.12 | 0.91 | 3.20 | 0.76 |
| 20 | 経済学の英語文献を、正確に読むことができる                     | 2.66 | 0.90 | 2.52 | 0.89 | 2.97 | 0.97 | 2.85 | 0.98 | 2.60 | 1.03 | 2.40 | 1.00 | 3.00 | 0.79 | 2.71 | 0.97 | 2.75 | 0.95 |
| 21 | 経済学の英語以外の外国語文献を、正確に読むことができる               | 2.28 | 0.96 | 2.00 | 0.95 | 1.95 | 0.97 | 2.17 | 1.06 | 2.00 | 0.90 | 2.07 | 0.97 | 2.53 | 1.12 | 2.20 | 1.03 | 2.05 | 1.01 |
| 22 | 経済学の領域において、日本語で論理的かつ明晰な論文を書くことができる        | 2.98 | 0.83 | 2.81 | 0.90 | 2.78 | 0.95 | 3.00 | 0.85 | 2.76 | 0.96 | 2.58 | 0.90 | 2.88 | 1.05 | 2.71 | 0.94 | 2.88 | 1.09 |
| 23 | 経済学の領域において、英語で論理的かつ明晰な論文を書くことができる         | 2.46 | 0.95 | 2.19 | 0.93 | 2.52 | 1.04 | 2.50 | 1.06 | 2.30 | 1.08 | 2.15 | 0.99 | 2.76 | 0.97 | 2.47 | 1.04 | 2.38 | 1.00 |
| 24 | 経済学に関するセミナー等の場で、英語で発表し議論することができる          | 2.47 | 0.98 | 2.30 | 1.00 | 2.58 | 1.06 | 2.68 | 1.05 | 2.32 | 1.03 | 2.27 | 0.98 | 2.59 | 1.00 | 2.46 | 1.06 | 2.23 | 0.90 |
|    | 平均                                        | 2.87 | 0.82 | 2.79 | 0.84 | 2.90 | 0.86 | 2.84 | 0.86 | 2.76 | 0.90 | 2.70 | 0.91 | 3.12 | 0.77 | 2.85 | 0.83 | 2.85 | 0.83 |

図表 27 大学別の記述統計（経済学・習得度）

| №  | コンピテンス名                                   | 大学1  |      | 大学2  |      | 大学3  |      | 大学4  |      | 大学5  |      | 大学6  |      | 大学8  |      | 大学9  |      | 大学10 |      |
|----|-------------------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|    |                                           | 平均   | 標準偏差 | 平均   | 標準偏差 | 平均   | 標準偏差 | 平均   | 標準偏差 | 平均   | 標準偏差 | 平均   | 標準偏差 | 平均   | 標準偏差 | 平均   | 標準偏差 | 平均   | 標準偏差 |
| 1  | 経済モデルを理解し、数式やグラフを用いて説明できる                 | 2.27 | 0.87 | 2.86 | 0.90 | 2.30 | 0.83 | 2.31 | 0.78 | 2.22 | 0.71 | 2.24 | 0.72 | 2.60 | 1.14 | 2.43 | 0.81 | 2.57 | 0.98 |
| 2  | 経済学で用いられる数学的解法（ラグランジュ乗数法など）を理解できる         | 2.23 | 0.91 | 2.43 | 0.98 | 2.66 | 0.84 | 2.39 | 0.90 | 2.66 | 0.90 | 2.16 | 0.91 | 3.00 | 1.22 | 2.44 | 0.98 | 2.29 | 1.25 |
| 3  | 経済システムが歴史的にどのような過程を経て形成されたのか理解できる         | 2.26 | 0.96 | 2.29 | 1.11 | 2.51 | 1.01 | 2.71 | 0.96 | 2.61 | 0.94 | 2.26 | 0.83 | 2.80 | 1.10 | 2.62 | 1.01 | 2.29 | 1.25 |
| 4  | スミス、マルクス、ケインズなどの経済学の古典を参照しつつ議論することができる    | 2.48 | 0.77 | 2.43 | 0.53 | 2.42 | 0.80 | 2.55 | 0.83 | 2.72 | 0.85 | 2.48 | 0.79 | 3.00 | 0.71 | 2.58 | 0.86 | 2.71 | 1.11 |
| 5  | 経済学の基礎概念に関する思想的背景を理解できる                   | 2.61 | 0.79 | 2.71 | 0.49 | 2.64 | 0.86 | 2.90 | 0.91 | 2.82 | 0.92 | 2.68 | 0.65 | 2.00 | 0.00 | 2.60 | 0.86 | 3.29 | 0.76 |
| 6  | 経済学を学んでいない人に対して、経済理論の意味するところを分かりやすく説明できる  | 2.41 | 0.85 | 2.14 | 0.38 | 2.59 | 0.85 | 2.60 | 0.86 | 2.43 | 0.87 | 2.36 | 0.60 | 2.20 | 0.45 | 2.40 | 0.86 | 2.71 | 0.95 |
| 7  | 経済統計を理解し、適切に読み取ることができる                    | 2.30 | 0.86 | 2.00 | 0.58 | 2.61 | 0.83 | 2.43 | 0.83 | 2.45 | 0.74 | 2.24 | 0.74 | 3.60 | 0.55 | 2.30 | 0.82 | 2.43 | 0.53 |
| 8  | 分析目的に応じて適切な統計データを収集し、図表等に加工できる            | 2.77 | 0.80 | 2.57 | 0.79 | 2.93 | 0.81 | 2.78 | 0.80 | 3.00 | 0.70 | 2.74 | 0.80 | 3.40 | 0.55 | 3.00 | 0.80 | 3.00 | 1.00 |
| 9  | 計量経済学の基礎的手法を使って、経済分析（パネルデータ分析など）ができる      | 2.49 | 0.83 | 2.29 | 0.76 | 2.51 | 0.85 | 2.57 | 0.83 | 2.66 | 0.90 | 2.44 | 0.64 | 2.00 | 0.71 | 2.56 | 0.84 | 2.86 | 1.21 |
| 10 | 経済理論に基づき財政的諸課題を理解し、統計データに基づき議論できる         | 2.73 | 0.85 | 3.14 | 0.38 | 2.66 | 0.83 | 2.75 | 0.85 | 2.91 | 0.83 | 2.66 | 0.80 | 2.80 | 1.10 | 2.68 | 0.87 | 2.43 | 1.27 |
| 11 | 経済理論に基づき金融・資本市場における諸課題を理解し、統計データに基づき議論できる | 1.75 | 0.85 | 1.43 | 0.53 | 2.30 | 0.84 | 2.14 | 0.89 | 1.67 | 0.75 | 1.72 | 0.78 | 2.40 | 0.55 | 1.95 | 0.88 | 1.57 | 0.79 |
| 12 | 経済理論に基づき労働市場における諸課題を理解し、統計データに基づき議論できる    | 1.81 | 0.83 | 1.43 | 0.53 | 2.29 | 0.82 | 2.28 | 0.93 | 1.79 | 0.79 | 1.94 | 0.93 | 2.80 | 1.10 | 2.20 | 0.93 | 1.71 | 0.95 |
| 13 | 経済理論に基づき国際貿易における諸課題を理解し、統計データに基づき議論できる    | 1.68 | 0.85 | 1.86 | 0.69 | 1.93 | 0.90 | 2.03 | 0.91 | 1.94 | 0.83 | 1.80 | 0.88 | 1.60 | 0.55 | 2.19 | 1.01 | 2.00 | 1.15 |
| 14 | 経済理論に基づき途上国経済の諸課題を理解し、統計データに基づき議論できる      | 2.26 | 0.86 | 1.71 | 0.49 | 2.12 | 0.86 | 2.28 | 0.97 | 2.01 | 0.83 | 1.94 | 0.71 | 1.80 | 0.45 | 2.04 | 0.93 | 1.86 | 1.07 |
| 15 | 厚生経済学の基準に基づき、経済政策を実証的に分析し規範的に評価することができる   | 2.04 | 0.97 | 1.43 | 0.53 | 1.92 | 0.87 | 2.43 | 1.03 | 2.01 | 0.84 | 1.70 | 0.76 | 2.20 | 1.10 | 1.90 | 0.88 | 1.86 | 0.90 |
| 16 | 法制度の規範・権限・手続きの正確な理解に基づき、経済政策の議論ができる       | 2.31 | 0.91 | 2.14 | 1.07 | 2.47 | 0.94 | 2.38 | 1.02 | 2.73 | 0.95 | 2.22 | 1.00 | 2.60 | 1.34 | 2.46 | 1.02 | 2.71 | 1.25 |
| 17 | 新聞・雑誌等の経済記事を読み、批判的に議論することができる             | 1.75 | 0.84 | 1.14 | 0.38 | 2.07 | 0.91 | 1.82 | 0.84 | 2.31 | 1.09 | 1.61 | 0.70 | 2.40 | 1.52 | 1.83 | 0.95 | 2.00 | 0.82 |
| 18 | 経済学の知識や手法を活用して、学際的な共同研究ができる               | 2.45 | 0.92 | 1.29 | 0.49 | 2.85 | 0.97 | 2.66 | 1.01 | 2.33 | 0.93 | 2.00 | 0.87 | 2.80 | 1.30 | 1.87 | 0.90 | 2.29 | 1.11 |
| 19 | 英字新聞や英文雑誌の経済記事を正確に読むことができる                | 2.46 | 0.96 | 1.43 | 0.53 | 2.98 | 0.90 | 2.91 | 0.96 | 2.33 | 0.99 | 2.22 | 1.03 | 2.20 | 0.84 | 1.90 | 0.93 | 2.43 | 1.13 |
| 20 | 経済学の英語文献を、正確に読むことができる                     | 2.77 | 0.85 | 1.86 | 0.69 | 2.81 | 0.88 | 2.83 | 0.88 | 2.63 | 0.83 | 2.61 | 0.81 | 2.40 | 0.89 | 2.53 | 0.92 | 3.00 | 1.15 |
| 21 | 経済学の英語以外の外国語文献を、正確に読むことができる               | 2.37 | 0.89 | 1.43 | 0.53 | 2.60 | 0.86 | 2.32 | 0.85 | 2.28 | 0.81 | 2.02 | 0.69 | 2.40 | 1.14 | 2.07 | 0.86 | 2.57 | 1.13 |
| 22 | 経済学の領域において、日本語で論理的かつ明晰な論文を書くことができる        | 2.25 | 0.90 | 1.43 | 0.53 | 2.10 | 0.85 | 2.12 | 0.88 | 2.18 | 0.89 | 1.88 | 0.73 | 2.40 | 0.55 | 1.96 | 0.88 | 2.43 | 0.79 |
| 23 | 経済学の領域において、英語で論理的かつ明晰な論文を書くことができる         | 2.10 | 0.82 | 1.43 | 0.53 | 2.17 | 0.88 | 2.00 | 0.79 | 1.99 | 0.77 | 2.12 | 0.81 | 2.40 | 0.55 | 1.88 | 0.82 | 2.00 | 0.58 |
| 24 | 経済学に関するセミナー等の場で、英語で発表し議論することができる          | 2.49 | 0.84 | 2.00 | 0.82 | 2.51 | 0.87 | 2.53 | 0.86 | 2.69 | 1.02 | 2.59 | 0.76 | 2.80 | 0.84 | 2.52 | 0.85 | 2.57 | 0.98 |
|    | 平均                                        | 2.29 | 0.87 | 1.95 | 0.64 | 2.46 | 0.87 | 2.45 | 0.89 | 2.39 | 0.86 | 2.19 | 0.79 | 2.53 | 0.84 | 2.40 | 1.01 | 2.40 | 1.01 |

### 3.2.3 大学間での相関

大学間の順序相関を分析した結果を図表 28 から図表 33 までに示す。重要度と習得度認識の順に、学生の結果を図表 28 と図表 29 に、教員の結果を図表 30 と図表 31 に、卒業生の結果を図表 32 と図表 33 に示す。分析対象の大学は対象者間で必ずしも一致していない点に留意されたい。

まず、学生と卒業生の重要度は大学間で高位の相関が示されている。習得度の計数値は、重要度より若干低い、それでも中位から高位の相関を示す。学生と卒業生の大学間の相関において、唯一、低位かつ非有意の相関を示すのは、学生の習得度における大学 4 と大学 8 の係数 (0.312) である。教員では、中位や低位の相関も見られる。うち重要度で低位相関なのは大学 1 と大学 3 の間 (0.368) であり、習得度においては、大学 1 と大学 3 (0.439) 及び大学 1 と大学 9 (0.357) の間で、中低位の相関が見られる。これら結果からは、特定の大学間で中低位の相関が散見されるが、全体的に参加大学間のコンピテンス認識は高い相関を示すと言える。また例えば低位相関を示す大学ペアが学生と教員で一致するなど、対象者間での似たような大学間相関傾向は確認されなかった。

図表 28 大学間相関係数（経済学・学生・重要度）

|      | 大学1       | 大学2       | 大学3       | 大学4       | 大学5       | 大学6       | 大学8       | 大学9       | 大学10 |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------|
| 大学1  | 1         |           |           |           |           |           |           |           |      |
| 大学2  | 0.929 *** | 1         |           |           |           |           |           |           |      |
| 大学3  | 0.873 *** | 0.776 *** | 1         |           |           |           |           |           |      |
| 大学4  | 0.848 *** | 0.722 *** | 0.903 *** | 1         |           |           |           |           |      |
| 大学5  | 0.934 *** | 0.917 *** | 0.891 *** | 0.837 *** | 1         |           |           |           |      |
| 大学6  | 0.932 *** | 0.914 *** | 0.863 *** | 0.833 *** | 0.959 *** | 1         |           |           |      |
| 大学8  | 0.749 *** | 0.702 *** | 0.82 ***  | 0.72 ***  | 0.767 *** | 0.77 ***  | 1         |           |      |
| 大学9  | 0.9 ***   | 0.841 *** | 0.956 *** | 0.928 *** | 0.922 *** | 0.909 *** | 0.811 *** | 1         |      |
| 大学10 | 0.829 *** | 0.735 *** | 0.891 *** | 0.768 *** | 0.844 *** | 0.862 *** | 0.835 *** | 0.891 *** | 1    |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1

図表 29 大学間相関係数（経済学・学生・習得度）

|      | 大学1       | 大学2       | 大学3       | 大学4       | 大学5       | 大学6       | 大学8       | 大学9       | 大学10 |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------|
| 大学1  | 1         |           |           |           |           |           |           |           |      |
| 大学2  | 0.935 *** | 1         |           |           |           |           |           |           |      |
| 大学3  | 0.666 *** | 0.628 *** | 1         |           |           |           |           |           |      |
| 大学4  | 0.752 *** | 0.704 *** | 0.724 *** | 1         |           |           |           |           |      |
| 大学5  | 0.899 *** | 0.93 ***  | 0.71 ***  | 0.745 *** | 1         |           |           |           |      |
| 大学6  | 0.92 ***  | 0.898 *** | 0.582 *** | 0.675 *** | 0.882 *** | 1         |           |           |      |
| 大学8  | 0.665 *** | 0.659 *** | 0.556 *** | 0.312     | 0.556 *** | 0.66 ***  | 1         |           |      |
| 大学9  | 0.776 *** | 0.754 *** | 0.902 *** | 0.626 *** | 0.765 *** | 0.726 *** | 0.755 *** | 1         |      |
| 大学10 | 0.815 *** | 0.802 *** | 0.742 *** | 0.494 **  | 0.745 *** | 0.744 *** | 0.899 *** | 0.893 *** | 1    |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1

図表 30 大学間相関係数（経済学・教員・重要度）

|      | 大学1       | 大学2       | 大学3       | 大学5       | 大学9       | 大学10 |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------|
| 大学1  | 1         |           |           |           |           |      |
| 大学2  | 0.702 *** | 1         |           |           |           |      |
| 大学3  | 0.368 *   | 0.736 *** | 1         |           |           |      |
| 大学5  | 0.759 *** | 0.896 *** | 0.702 *** | 1         |           |      |
| 大学9  | 0.567 *** | 0.857 *** | 0.735 *** | 0.802 *** | 1         |      |
| 大学10 | 0.691 *** | 0.812 *** | 0.674 *** | 0.829 *** | 0.773 *** | 1    |

\*\*\* p&lt;0.01, \*\* p&lt;0.05, \* p&lt;0.1

図表 31 大学間相関係数（経済学・教員・習得度）

|      | 大学1       | 大学2       | 大学3       | 大学5       | 大学9       | 大学10 |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------|
| 大学1  | 1         |           |           |           |           |      |
| 大学2  | 0.718 *** | 1         |           |           |           |      |
| 大学3  | 0.439 **  | 0.79 ***  | 1         |           |           |      |
| 大学5  | 0.584 *** | 0.704 *** | 0.728 *** | 1         |           |      |
| 大学9  | 0.357 *   | 0.757 *** | 0.911 *** | 0.783 *** | 1         |      |
| 大学10 | 0.81 ***  | 0.798 *** | 0.674 *** | 0.68 ***  | 0.595 *** | 1    |

\*\*\* p&lt;0.01, \*\* p&lt;0.05, \* p&lt;0.1

図表 32 大学間相関係数（経済学・卒業生・重要度）

|      | 大学2       | 大学3       | 大学4       | 大学5       | 大学6       | 大学9       | 大学10 |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------|
| 大学2  | 1         |           |           |           |           |           |      |
| 大学3  | 0.713 *** | 1         |           |           |           |           |      |
| 大学4  | 0.709 *** | 0.834 *** | 1         |           |           |           |      |
| 大学5  | 0.871 *** | 0.895 *** | 0.852 *** | 1         |           |           |      |
| 大学6  | 0.911 *** | 0.806 *** | 0.802 *** | 0.917 *** | 1         |           |      |
| 大学9  | 0.822 *** | 0.924 *** | 0.84 ***  | 0.928 *** | 0.912 *** | 1         |      |
| 大学10 | 0.791 *** | 0.887 *** | 0.859 *** | 0.947 *** | 0.892 *** | 0.951 *** | 1    |

\*\*\* p&lt;0.01, \*\* p&lt;0.05, \* p&lt;0.1

図表 33 大学間相関係数（経済学・卒業生・習得度）

|      | 大学2       | 大学3       | 大学4       | 大学5       | 大学6       | 大学9       | 大学10 |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------|
| 大学2  | 1         |           |           |           |           |           |      |
| 大学3  | 0.651 *** | 1         |           |           |           |           |      |
| 大学4  | 0.578 *** | 0.863 *** | 1         |           |           |           |      |
| 大学5  | 0.807 *** | 0.701 *** | 0.683 *** | 1         |           |           |      |
| 大学6  | 0.86 ***  | 0.684 *** | 0.643 *** | 0.836 *** | 1         |           |      |
| 大学9  | 0.749 *** | 0.782 *** | 0.751 *** | 0.918 *** | 0.825 *** | 1         |      |
| 大学10 | 0.741 *** | 0.681 *** | 0.678 *** | 0.896 *** | 0.849 *** | 0.838 *** | 1    |

\*\*\* p&lt;0.01, \*\* p&lt;0.05, \* p&lt;0.1

### 3.2.4 大学間の認識差の有無

大学間の違いを分散分析と多重比較によって分析した結果を図表 34 に示す。まず分散分析の結果では、教員の重要度を除いた項目で 1%水準の有意差が認められる。全体及び学生は大学間の組合せで 36 ペアがある。うち、多重比較により有意差が認められるペアは、全体（全対象者）の重要度で 3 ペア（大学 2-大学 8、大学 5-大学 8、大学 6-大学 8）、学生の習得度で 3 ペア（大学 1-大学 9、大学 3-大学 10、大学 9-大学 10）である。全体では大学 8、学生では大学 9 と 10 に関わるペアである。教員では大学ペア数が 15 と少ない

が、うち有意差が認められるのは2ペア（大学1-大学3、大学3-大学10）であり、いずれも大学3に関係する。卒業生は21ペアあり、うち有意差が認められるのは重要度で3ペア、習得度で5ペアである。その多くは大学2が含まれるペアであり（重要度は大学2と大学4、9、10、習得度は大学2と大学3、4、9、10）、残り1ペアは習得度に関する大学4-大学6のペアである。この結果からは、大学間の違いは特定の大学ペアで見られるが、教員、学生、卒業生の間で一致しないことがわかる。

図表 34 大学間の分散分析と多重比較結果（経済学・対象者別）

|      |          | 全体        |          | 学生       |            | 教員     |           | 卒業生      |           |
|------|----------|-----------|----------|----------|------------|--------|-----------|----------|-----------|
|      |          | 重要度       | 習得度      | 重要度      | 習得度        | 重要度    | 習得度       | 重要度      | 習得度       |
| 分散分析 |          | 2.361 **  | 2.013 ** | 2.071 ** | 3.193 ***  | 1.238  | 2.424 **  | 2.96 *** | 4.495 *** |
| 多重比較 | 大学2-大学1  | -0.08     | 0.045    | -0.001   | 0.084      | 0      | 0.046     |          |           |
|      | 大学3-大学1  | 0.031     | 0.249    | 0.172    | 0.266      | 0.15   | 0.32 *    |          |           |
|      | 大学4-大学1  | -0.024    | 0.197    | -0.002   | 0.167      |        |           |          |           |
|      | 大学5-大学1  | -0.102    | 0.127    | 0.049    | 0.151      | 0.28   | 0.137     |          |           |
|      | 大学6-大学1  | -0.161    | 0.05     | -0.028   | 0.112      |        |           |          |           |
|      | 大学8-大学1  | 0.26      | 0.199    | 0.282    | 0.172      |        |           |          |           |
|      | 大学9-大学1  | -0.023    | 0.281    | 0.127    | 0.355 **   | 0.005  | 0.059     |          |           |
|      | 大学10-大学1 | -0.017    | 0.037    | -0.039   | -0.098     | 0.109  | -0.018    |          |           |
|      | 大学3-大学2  | 0.111     | 0.203    | 0.173    | 0.181      | 0.15   | 0.274     | 0.327    | 0.361 **  |
|      | 大学4-大学2  | 0.056     | 0.152    | -0.002   | 0.082      |        |           | 0.436 ** | 0.422 *** |
|      | 大学5-大学2  | -0.022    | 0.081    | 0.05     | 0.067      | 0.28   | 0.091     | 0.32     | 0.27      |
|      | 大学6-大学2  | -0.081    | 0.004    | -0.027   | 0.028      |        |           | 0.138    | 0.095     |
|      | 大学8-大学2  | 0.34 *    | 0.153    | 0.283    | 0.088      |        |           |          |           |
|      | 大学9-大学2  | 0.057     | 0.235    | 0.128    | 0.271      | 0.005  | 0.013     | 0.376 *  | 0.388 *** |
|      | 大学10-大学2 | 0.063     | -0.009   | -0.039   | -0.182     | 0.109  | -0.065    | 0.388 *  | 0.338 **  |
|      | 大学4-大学3  | -0.055    | -0.051   | -0.174   | -0.099     |        |           | 0.109    | 0.061     |
|      | 大学5-大学3  | -0.133    | -0.122   | -0.123   | -0.114     | 0.13   | -0.183    | -0.007   | -0.091    |
|      | 大学6-大学3  | -0.191    | -0.199   | -0.2     | -0.153     |        |           | -0.189   | -0.266    |
|      | 大学8-大学3  | 0.229     | -0.05    | 0.11     | -0.094     |        |           |          |           |
|      | 大学9-大学3  | -0.054    | 0.032    | -0.045   | 0.09       | -0.145 | -0.261    | 0.049    | 0.027     |
|      | 大学10-大学3 | -0.048    | -0.212   | -0.211   | -0.364 **  | -0.041 | -0.339 ** | 0.06     | -0.023    |
|      | 大学5-大学4  | -0.078    | -0.071   | 0.051    | -0.015     |        |           | -0.116   | -0.152    |
|      | 大学6-大学4  | -0.136    | -0.148   | -0.025   | -0.054     |        |           | -0.298   | -0.326 *  |
|      | 大学8-大学4  | 0.284     | 0.001    | 0.284    | 0.005      |        |           |          |           |
|      | 大学9-大学4  | 0.001     | 0.083    | 0.13     | 0.189      |        |           | -0.06    | -0.033    |
|      | 大学10-大学4 | 0.007     | -0.161   | -0.037   | -0.264     |        |           | -0.049   | -0.084    |
|      | 大学6-大学5  | -0.059    | -0.077   | -0.077   | -0.039     |        |           | -0.182   | -0.175    |
|      | 大学8-大学5  | 0.362 **  | 0.072    | 0.233    | 0.021      |        |           |          |           |
|      | 大学9-大学5  | 0.079     | 0.154    | 0.078    | 0.204      | -0.275 | -0.078    | 0.056    | 0.118     |
|      | 大学10-大学5 | 0.084     | -0.09    | -0.088   | -0.249     | -0.171 | -0.156    | 0.068    | 0.068     |
|      | 大学8-大学6  | 0.421 *** | 0.149    | 0.31     | 0.06       |        |           |          |           |
|      | 大学9-大学6  | 0.138     | 0.231    | 0.155    | 0.243      |        |           | 0.238    | 0.293     |
|      | 大学10-大学6 | 0.143     | -0.013   | -0.012   | -0.21      |        |           | 0.25     | 0.243     |
|      | 大学9-大学8  | -0.283    | 0.082    | -0.155   | 0.183      |        |           |          |           |
|      | 大学10-大学8 | -0.277    | -0.162   | -0.321   | -0.27      |        |           |          |           |
|      | 大学10-大学9 | 0.006     | -0.244   | -0.167   | -0.453 *** | 0.104  | -0.077    | 0.011    | -0.05     |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す

### 3.2.5 大学間のコンピテンス認識差の有無

上で述べた大学間の違いは具体的にどのコンピテンスでの認識の違いによってもたらされるのか、本項では詳細に検討する。重要度と習得度に関する分散分析と多重比較の結果を、学生は図表 35 と図表 36 に、教員は図表 37 と図表 38 に、卒業生は図表 39 と図表 40 示す。

まず学生の重要度の結果を見ると、24 コンピテンスのうち、分散分析では 18 個に有意差が認められた。多重比較の結果、特定大学間および特定コンピテンスにおいて有意差が見られた。大学間の組合せは 36 ペアあり、1 ペアあたり平均 1.3 個のコンピテンスが異なっている。コンピテンスの違いが特に多いペアは、大学 1 と大学 3 (9 個のコンピテンスが有意に異なる)、大学 1 と大学 9 (同 7 個)、大学 2 と大学 3 および大学 3 と大学 6 (同 6 個) である。次にコンピテンスの別に見ると、1 コンピテンスあたり、平均 1.9 ペアで有意な違いが見られる。この違いが特に大きいコンピテンスは「19. 英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解」(8 個のペアが有意)、「20. 英語文献の正確な読解」と「6. 専門外の人に経済理論を説明」(同 5 個) である。

次に学生の習得度の結果を見ると、24 コンピテンスのうち、分散分析では 23 個に有意差が認められている。多重比較の結果からは、特定大学間および特定コンピテンスにおいて有意差が多く認められた。1 ペアあたり平均 2.7 個のコンピテンスが異なっている。コンピテンスの違いが特に多いペアは、大学 1 と大学 9 (19 個のコンピテンスが有意)、大学 1 と大学 3 (同 10 個)、大学 2 と大学 9 (同 8 個)、大学 6 と大学 9 (同 7 個) である。後者 3 つに関しては、コンピテンス番号中頃に配置された応用経済学以外の項目で有意差が示されている。次にコンピテンスの別に見ると、1 コンピテンスあたり、平均 4.0 ペアで有意差が見られる。有意差を示すペア数が多いコンピテンスは、「9. 計量経済学の手法を用いた経済分析の実施」(13 個のペアが有意)、「19. 英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解」と「20. 英語文献の正確な読解」(同 10)、「8. 統計データの収集と加工」(同 9) である。

教員の重要度の結果を見ると、24 コンピテンスのうち、分散分析では 6 個に有意差が認められ、多重比較の結果、大学 3 と大学 1 の間にコンピテンス計 6 個に有意差が認められた。その他は多くて 2 つである。コンピテンス別に見ると有意差がある大学間ペア数は平均 0.4 であり、異なるペア数が多いコンピテンスは、「4. 経済学の古典を参照した議論の実施」(4 個のペアが有意) である。教員の習得度も、分散分析では 6 個のコンピテンスに有意差が認められた。多重比較の結果、大学 3 と大学 1 の間にコンピテンス計 6 個に有意差が認められた。コンピテンス別に見ると有意差がある大学間ペア数は 0.4 であり、異なるペア数が多いコンピテンスは、「19. 英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解」(4 個のペアが有意) である。

卒業生の重要度の結果を見ると、24 コンピテンスのうち、分散分析では 13 個に有意差が示された。多重比較の結果、コンピテンスの違いが特に多いペアは、大学 6 と大学 3 で

あり、5 個のコンピテンスに有意差が認められた。その他は多くて 2 つである。コンピテンス別に見ると有意差がある大学間ペア数は 0.8 であり、有意差を示すペア数が多いコンピテンスは、「19. 英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解」(5 個のペアが有意)、「18. 学際的共同研究の遂行」(同 4 個)である。習得度を見ると、分散分析では 16 個に有意差が認められた。1 ペアあたり平均で 1.5 個のコンピテンスに差が見られ、コンピテンスの違いが特に多いペアは、大学 6 と大学 3 (8 個のコンピテンスが有意に異なる)、大学 6 と大学 9 (同 7 個)である。コンピテンス別に見ると有意差がある大学間ペア数は平均 0.3 であり、異なるペア数が多いコンピテンスは、「19. 英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解」(5 個のペアが有意)、「9. 計量経済学の手法を用いた経済分析の実施」(同 6 個)である。

このように見ると、前項と同様に、多重比較において特定の大学間ペアで有意差が見られること、コンピテンス別に見ると学生と卒業生は英語による読解コンピテンスの重要度と習得度、および統計や計量コンピテンスの習得度で大学間ペアの有意差が相対的に多く示されていた。教員は古典に関するコンピテンスの重要度認識や英語読解の習得度認識で大学間ペアの有意差が示されていた。応用経済学に分類されるコンピテンス番号 10 から 16 番では、大学間の有意差が見られない。よって多重比較で見る限り、大学間の違いは、経済学の内容そのものではなく特に学生や卒業生は英語読解や統計・計量に関するコンピテンスをどの程度重要および習得したと考えるかに基づくと言える。



図表 35 コンピテンス別の大学間比較 (経済学・学生・重要度)

| No | コンピテンス名                | 分散分析       | 多重比較        |             |             |             |             |             |             |              |             |             |             |             |             |             |              |             |             |             |
|----|------------------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|
|    |                        |            | 大学2<br>-大学1 | 大学3<br>-大学1 | 大学4<br>-大学1 | 大学5<br>-大学1 | 大学6<br>-大学1 | 大学8<br>-大学1 | 大学9<br>-大学1 | 大学10<br>-大学1 | 大学3<br>-大学2 | 大学4<br>-大学2 | 大学5<br>-大学2 | 大学6<br>-大学2 | 大学8<br>-大学2 | 大学9<br>-大学2 | 大学10<br>-大学2 | 大学4<br>-大学3 | 大学5<br>-大学3 | 大学6<br>-大学3 |
| 1  | 経済モデルの数式やグラフを用いた説明     | 3.747 ***  | 0.114       | 0.267 *     | -0.194      | -0.057      | -0.2        | 0.416       | 0.142       | -0.177       | 0.152       | -0.308      | -0.172      | -0.314      | 0.302       | 0.028       | -0.292       | -0.461      | -0.324      | -0.467 ***  |
| 2  | 数学的解法の理解               | 2.594 ***  | 0.076       | -0.009      | -0.321      | -0.153      | -0.287 **   | -0.019      | -0.079      | -0.514       | -0.085      | -0.396      | -0.229      | -0.363      | -0.095      | -0.155      | -0.59        | -0.312      | -0.144      | -0.278      |
| 3  | 経済システムが形成された歴史的過程の理解   | 1.792 *    | -0.122      | -0.043      | -0.264      | -0.242      | -0.081      | 0.552       | -0.058      | 0.041        | 0.079       | -0.142      | -0.12       | 0.041       | 0.675       | 0.065       | 0.164        | -0.221      | -0.199      | -0.038      |
| 4  | 経済学の古典を参照した議論の実施       | 1.574      | 0.139       | -0.126      | -0.305      | -0.169      | -0.156      | -0.076      | -0.099      | -0.268       | -0.265      | -0.444      | -0.308      | -0.295      | -0.214      | -0.238      | -0.407       | -0.179      | -0.043      | -0.03       |
| 5  | 経済学の基礎概念に関する思想的背景の理解   | 1.92 *     | -0.027      | 0.042       | -0.217      | 0.086       | -0.15       | 0.6         | 0.066       | -0.065       | 0.07        | -0.19       | 0.114       | -0.123      | 0.627       | 0.093       | -0.038       | -0.259      | 0.044       | -0.193      |
| 6  | 専門外の人々に経済理論を説明         | 4.524 ***  | -0.007      | 0.398 ***   | -0.075      | 0.179       | 0.139       | 0.683 *     | 0.086       | 0.359        | 0.405 *     | -0.068      | 0.186       | 0.146       | 0.69        | 0.093       | 0.366        | -0.473 *    | -0.219      | -0.259      |
| 7  | 経済統計の理解と読み取り           | 9.376 ***  | -0.015      | 0.504 ***   | 0.309       | 0.233       | 0.099       | 0.509       | 0.295 ***   | 0.41         | 0.519 ***   | 0.323       | 0.247       | 0.113       | 0.524       | 0.31        | 0.425        | -0.196      | -0.272      | -0.406 ***  |
| 8  | 統計データの収集と加工            | 4.742 ***  | -0.035      | 0.404 ***   | 0.191       | 0.165       | 0.116       | 0.402       | 0.194       | 0.297        | 0.439 ***   | 0.226       | 0.2         | 0.151       | 0.437       | 0.229       | 0.332        | -0.213      | -0.239      | -0.288      |
| 9  | 計量経済学の手法を用いた経済分析の実施    | 3.697 ***  | -0.031      | 0.371 ***   | 0.107       | 0.112       | -0.143      | 0.223       | 0.157       | -0.074       | 0.402 *     | 0.138       | 0.142       | -0.112      | 0.254       | 0.188       | -0.043       | -0.264      | -0.26       | -0.514 ***  |
| 10 | 財政的諸課題の理解と議論           | 2.799 ***  | 0.143       | 0.153       | 0.007       | 0.234       | 0.06        | 0.524       | 0.218 **    | -0.201       | 0.01        | -0.136      | 0.091       | -0.083      | 0.381       | 0.074       | -0.344       | -0.146      | 0.081       | -0.093      |
| 11 | 金融・資本市場の理解と議論          | 3.102 ***  | 0.174       | 0.232 *     | 0.039       | 0.154       | 0.065       | 0.333       | 0.251 ***   | 0.135        | 0.057       | -0.135      | -0.02       | -0.109      | 0.159       | 0.077       | -0.039       | -0.192      | -0.077      | -0.167      |
| 12 | 労働市場の諸課題の理解と議論         | 0.439      | 0.049       | 0.118       | 0.053       | -0.016      | 0.007       | 0.176       | 0.02        | -0.109       | 0.069       | 0.003       | -0.065      | -0.043      | 0.127       | -0.029      | -0.159       | -0.065      | -0.134      | -0.111      |
| 13 | 国際貿易の諸課題の理解と議論         | 2.86 ***   | 0.049       | 0.253 **    | 0.006       | 0.19        | 0.096       | 0.033       | 0.239 ***   | 0.283        | 0.204       | -0.043      | 0.14        | 0.047       | -0.016      | 0.19        | 0.234        | -0.247      | -0.064      | -0.158      |
| 14 | 途上国経済の諸課題の理解と議論        | 1.81 *     | -0.043      | 0.203       | -0.089      | 0.1         | 0.046       | -0.257      | 0.165       | 0.023        | 0.246       | -0.046      | 0.143       | 0.089       | -0.214      | 0.208       | 0.066        | -0.292      | -0.103      | -0.156      |
| 15 | 厚生経済学に基づいた経済政策の実証分析と評価 | 0.758      | 0.075       | -0.011      | -0.197      | 0.123       | 0.038       | 0.154       | 0.025       | -0.308       | -0.086      | -0.272      | 0.048       | -0.037      | 0.079       | -0.05       | -0.382       | -0.186      | 0.134       | 0.049       |
| 16 | 法制度の理解に基づいた経済政策の議論     | 1.471      | 0.209       | 0.035       | -0.267      | 0.162       | 0.086       | 0.121       | 0.052       | -0.269       | -0.173      | -0.475      | -0.047      | -0.123      | -0.087      | -0.157      | -0.477       | -0.302      | 0.126       | 0.05        |
| 17 | 新聞・雑誌等の経済記事の批判的に議論する   | 3.731 ***  | -0.173      | 0.082       | 0.334       | 0.136       | 0.033       | 0.605 *     | 0.146       | 0.374        | 0.255       | 0.508 **    | 0.309       | 0.206       | 0.778 ***   | 0.319 *     | 0.547        | 0.253       | 0.054       | -0.048      |
| 18 | 学際的共同研究の遂行             | 0.786      | -0.025      | -0.106      | -0.073      | -0.022      | -0.026      | 0.197       | 0.033       | -0.418       | -0.081      | -0.048      | 0.003       | -0.001      | 0.222       | 0.058       | -0.393       | 0.032       | 0.084       | 0.08        |
| 19 | 英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解   | 10.708 *** | -0.091      | 0.564 ***   | 0.422       | 0.085       | 0.072       | 0.75 **     | 0.45 ***    | 0.41         | 0.655 ***   | 0.513       | 0.176       | 0.163       | 0.841 **    | 0.54 ***    | 0.501        | -0.142      | -0.479      | -0.492 ***  |
| 20 | 英語文献の正確な読解             | 5.451 ***  | -0.057      | 0.487 ***   | 0.151       | 0.027       | -0.071      | 0.34        | 0.293 ***   | -0.045       | 0.544 ***   | 0.208       | 0.084       | -0.014      | 0.397       | 0.35        | 0.012        | -0.336      | -0.459      | -0.558 ***  |
| 21 | 英語以外の外国語文献の正確な読解       | 1.211      | -0.119      | -0.22       | -0.131      | -0.106      | -0.026      | 0.278       | 0.059       | 0.245        | -0.101      | -0.012      | 0.013       | 0.093       | 0.397       | 0.178       | 0.364        | 0.088       | 0.113       | 0.194       |
| 22 | 日本語での論文執筆能力            | 1.692 *    | -0.092      | 0.01        | 0.046       | -0.137      | -0.222      | -0.195      | -0.092      | -0.519       | 0.102       | 0.138       | -0.045      | -0.13       | -0.103      | -0.001      | -0.427       | 0.036       | -0.147      | -0.232      |
| 23 | 英語での論文執筆能力             | 3.045 ***  | -0.129      | 0.26        | 0.105       | -0.025      | -0.15       | 0.323       | 0.261 *     | -0.155       | 0.389       | 0.234       | 0.104       | -0.021      | 0.452       | 0.39        | -0.026       | -0.155      | -0.285      | -0.41 *     |
| 24 | セミナー等での英語による発表・議論      | 2.477 **   | -0.08       | 0.257       | 0.307       | 0.117       | -0.009      | 0.094       | 0.234       | -0.4         | 0.337       | 0.387       | 0.197       | 0.072       | 0.175       | 0.314       | -0.32        | 0.05        | -0.14       | -0.265      |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す

コンピテンズ別の大学間比較 (経済学・学生・重要度) (Continued)

| No | コンピテンズ名                | 多重比較        |             |              |             |             |             |             |              |             |             |             |              |             |             |              |             |              |              |
|----|------------------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|--------------|-------------|--------------|--------------|
|    |                        | 大学8<br>-大学3 | 大学9<br>-大学3 | 大学10<br>-大学3 | 大学5<br>-大学4 | 大学6<br>-大学4 | 大学8<br>-大学4 | 大学9<br>-大学4 | 大学10<br>-大学4 | 大学6<br>-大学5 | 大学8<br>-大学5 | 大学9<br>-大学5 | 大学10<br>-大学5 | 大学8<br>-大学6 | 大学9<br>-大学6 | 大学10<br>-大学6 | 大学9<br>-大学8 | 大学10<br>-大学8 | 大学9<br>-大学10 |
| 1  | 経済モデルの数式やグラフを用いた説明     | 0.149       | -0.125      | -0.444       | 0.137       | -0.006      | 0.61        | 0.336       | 0.017        | -0.143      | 0.473       | 0.199       | -0.12        | 0.616       | 0.342 **    | 0.023        | -0.274      | -0.593       | -0.319       |
| 2  | 数学的解法の理解               | -0.01       | -0.07       | -0.505       | 0.167       | 0.033       | 0.301       | 0.241       | -0.193       | -0.134      | 0.134       | 0.074       | -0.361       | 0.268       | 0.208       | -0.227       | -0.06       | -0.495       | -0.435       |
| 3  | 経済システムが形成された歴史的過程の理解   | 0.596       | -0.014      | 0.085        | 0.022       | 0.183       | 0.817 *     | 0.207       | 0.306        | 0.161       | 0.795       | 0.185       | 0.284        | 0.634       | 0.024       | 0.123        | -0.61       | -0.511       | 0.099        |
| 4  | 経済学の古典を参照した議論の実施       | 0.05        | 0.027       | -0.142       | 0.136       | 0.149       | 0.23        | 0.206       | 0.037        | 0.013       | 0.094       | 0.07        | -0.099       | 0.08        | 0.057       | -0.112       | -0.024      | -0.192       | -0.169       |
| 5  | 経済学の基礎概念に関する思想的背景の理解   | 0.557       | 0.024       | -0.108       | 0.303       | 0.067       | 0.817 *     | 0.283       | 0.152        | -0.237      | 0.513       | -0.02       | -0.151       | 0.75 *      | 0.216       | 0.085        | -0.534      | -0.665       | -0.131       |
| 6  | 専門外の人に経済理論を説明          | 0.286       | -0.312 *    | -0.038       | 0.254       | 0.214       | 0.759       | 0.161       | 0.435        | -0.04       | 0.504       | -0.093      | 0.18         | 0.545       | -0.053      | 0.22         | -0.597      | -0.324       | 0.273        |
| 7  | 経済統計の理解と読み取り           | 0.005       | -0.209      | -0.094       | -0.076      | -0.21       | 0.201       | -0.014      | 0.102        | -0.134      | 0.277       | 0.062       | 0.178        | 0.411       | 0.196       | 0.312        | -0.214      | -0.099       | 0.115        |
| 8  | 統計データの収集と加工            | -0.003      | -0.21       | -0.107       | -0.026      | -0.075      | 0.21        | 0.003       | 0.106        | -0.049      | 0.237       | 0.029       | 0.132        | 0.286       | 0.078       | 0.181        | -0.208      | -0.104       | 0.103        |
| 9  | 計量経済学の手法を用いた経済分析の実施    | -0.148      | -0.214      | -0.445       | 0.004       | -0.25       | 0.116       | 0.049       | -0.181       | -0.254      | 0.112       | 0.045       | -0.185       | 0.366       | 0.3         | 0.069        | -0.066      | -0.297       | -0.23        |
| 10 | 財政的諸課題の理解と議論           | 0.371       | 0.065       | -0.354       | 0.227       | 0.053       | 0.517       | 0.211       | -0.208       | -0.174      | 0.29        | -0.017      | -0.435       | 0.464       | 0.158       | -0.261       | -0.307      | -0.725       | -0.419       |
| 11 | 金融・資本市場の理解と議論          | 0.101       | 0.02        | -0.097       | 0.115       | 0.026       | 0.293       | 0.212       | 0.096        | -0.089      | 0.179       | 0.097       | -0.019       | 0.268       | 0.186       | 0.07         | -0.082      | -0.198       | -0.116       |
| 12 | 労働市場の諸課題の理解と議論         | 0.058       | -0.098      | -0.227       | -0.068      | -0.046      | 0.124       | -0.033      | -0.162       | 0.022       | 0.192       | 0.036       | -0.094       | 0.17        | 0.013       | -0.116       | -0.156      | -0.286       | -0.129       |
| 13 | 国際貿易の諸課題の理解と議論         | -0.22       | -0.014      | 0.03         | 0.183       | 0.09        | 0.027       | 0.233       | 0.277        | -0.094      | -0.156      | 0.05        | 0.094        | -0.062      | 0.143       | 0.187        | 0.206       | 0.25         | 0.044        |
| 14 | 途上国経済の諸課題の理解と議論        | -0.46       | -0.038      | -0.18        | 0.189       | 0.136       | -0.168      | 0.254       | 0.112        | -0.054      | -0.357      | 0.065       | -0.077       | -0.304      | 0.118       | -0.023       | 0.422       | 0.28         | -0.142       |
| 15 | 厚生経済学に基づいた経済政策の実証分析と評価 | 0.165       | 0.036       | -0.296       | 0.32        | 0.235       | 0.351       | 0.222       | -0.11        | -0.085      | 0.031       | -0.098      | -0.43        | 0.116       | -0.013      | -0.345       | -0.129      | -0.462       | -0.332       |
| 16 | 法制度の理解に基づいた経済政策の議論     | 0.086       | 0.016       | -0.304       | 0.428       | 0.352       | 0.388       | 0.318       | -0.002       | -0.076      | -0.04       | -0.11       | -0.43        | 0.036       | -0.034      | -0.354       | -0.07       | -0.39        | -0.32        |
| 17 | 新聞・雑誌等の経済記事を批判的に議論する   | 0.523       | 0.064       | 0.292        | -0.198      | -0.301      | 0.27        | -0.189      | 0.04         | -0.103      | 0.469       | 0.01        | 0.238        | 0.571       | 0.113       | 0.341        | -0.459      | -0.231       | 0.228        |
| 18 | 学際的共同研究の遂行             | 0.303       | 0.138       | -0.313       | 0.052       | 0.047       | 0.27        | 0.106       | -0.345       | -0.004      | 0.219       | 0.054       | -0.397       | 0.223       | 0.059       | -0.392       | -0.165      | -0.615       | -0.451       |
| 19 | 英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解   | 0.186       | -0.115      | -0.155       | -0.337      | -0.35       | 0.328       | 0.027       | -0.012       | -0.013      | 0.665       | 0.364       | 0.325        | 0.679       | 0.378 **    | 0.338        | -0.301      | -0.341       | -0.04        |
| 20 | 英語文献の正確な読解             | -0.147      | -0.194      | -0.531       | -0.123      | -0.222      | 0.189       | 0.142       | -0.195       | -0.098      | 0.312       | 0.265       | -0.072       | 0.411       | 0.364 **    | 0.026        | -0.047      | -0.385       | -0.338       |
| 21 | 英語以外の外国語文献の正確な読解       | 0.497       | 0.279       | 0.464        | 0.025       | 0.106       | 0.409       | 0.191       | 0.376        | 0.08        | 0.384       | 0.165       | 0.351        | 0.304       | 0.085       | 0.271        | -0.218      | -0.033       | 0.186        |
| 22 | 日本語での論文執筆能力            | -0.205      | -0.103      | -0.529       | -0.183      | -0.268      | -0.241      | -0.139      | -0.565       | -0.085      | -0.058      | 0.044       | -0.382       | 0.027       | 0.129       | -0.297       | 0.103       | -0.324       | -0.427       |
| 23 | 英語での論文執筆能力             | 0.063       | 0.001       | -0.415       | -0.13       | -0.255      | 0.218       | 0.156       | -0.26        | -0.125      | 0.348       | 0.286       | -0.13        | 0.473       | 0.411 **    | -0.005       | -0.062      | -0.478       | -0.416       |
| 24 | セミナー等での英語による発表・議論      | -0.163      | -0.023      | -0.657       | -0.19       | -0.315      | -0.212      | -0.073      | -0.707       | -0.125      | -0.022      | 0.117       | -0.517       | 0.103       | 0.242       | -0.392       | 0.139       | -0.495       | -0.634       |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1、表中の数値のうちの分散分析はF値を多重比較は差をを表す

図表 36 コンピテンシ別の大学間比較 (経済学・学生・習得度)

| No | コンピテンシ名                | 分散分析       | 多重比較        |             |             |             |             |             |             |             |              |             |             |             |             |             |             |              |             |             |
|----|------------------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|
|    |                        |            | 大学1<br>-大学1 | 大学2<br>-大学1 | 大学3<br>-大学1 | 大学4<br>-大学1 | 大学5<br>-大学1 | 大学6<br>-大学1 | 大学8<br>-大学1 | 大学9<br>-大学1 | 大学10<br>-大学1 | 大学3<br>-大学2 | 大学4<br>-大学2 | 大学5<br>-大学2 | 大学6<br>-大学2 | 大学8<br>-大学2 | 大学9<br>-大学2 | 大学10<br>-大学2 | 大学4<br>-大学3 | 大学5<br>-大学3 |
| 1  | 経済モデルの数式やグラフを用いた説明     | 9.887 ***  | 0.365 **    | 0.435 ***   | 0.15        | 0.303       | 0.141       | 0.372       | 0.462 ***   | 0.387       | 0.07         | -0.215      | -0.063      | -0.224      | 0.006       | 0.097       | 0.022       | -0.285       | -0.132      | -0.294      |
| 2  | 数学的解法の理解               | 8.034 ***  | 0.137       | 0.397 ***   | -0.039      | 0.152       | 0.042       | 0.2         | 0.517 ***   | 0.087       | 0.261        | -0.176      | 0.016       | -0.095      | 0.064       | 0.38 *      | -0.049      | -0.437       | -0.245      | -0.356 *    |
| 3  | 経済システムが形成された歴史的過程の理解   | 3.149 ***  | 0.084       | -0.025      | -0.172      | -0.088      | 0.216       | 0.493       | 0.211 *     | 0.232       | -0.109       | -0.255      | -0.172      | 0.132       | 0.409       | 0.127       | 0.148       | -0.147       | -0.063      | 0.241       |
| 4  | 経済学の古典を参照した議論の実施       | 2.282 **   | 0.136       | -0.097      | 0.029       | -0.114      | 0.173       | 0.348       | 0.198       | -0.129      | -0.233       | -0.106      | -0.25       | 0.038       | 0.213       | 0.062       | -0.264      | 0.127        | -0.017      | 0.271       |
| 5  | 経済学の基礎概念に関する思想的背景の理解   | 2.958 ***  | -0.023      | 0.11        | -0.064      | -0.007      | 0.08        | 0.507       | 0.262 ***   | 0.005       | 0.133        | -0.041      | 0.016       | 0.103       | 0.53        | 0.285       | 0.028       | -0.174       | -0.118      | -0.03       |
| 6  | 専門外の人に経済理論を説明          | 8.245 ***  | 0.211       | 0.436 ***   | 0.105       | 0.195       | 0.312 ***   | 0.66 *      | 0.393 ***   | 0.034       | 0.225        | -0.106      | -0.016      | 0.101       | 0.449       | 0.182       | -0.177      | -0.331       | -0.24       | -0.124      |
| 7  | 経済統計の理解と読み取り           | 6.666 ***  | -0.034      | 0.372 ***   | 0.491 **    | 0.153       | 0.221       | -0.08       | 0.374 ***   | 0.115       | 0.406 *      | 0.525 *     | 0.188       | 0.255       | -0.046      | 0.408 **    | 0.149       | 0.12         | -0.218      | -0.151      |
| 8  | 統計データの収集と加工            | 8.857 ***  | 0.181       | 0.4 ***     | 0.701 ***   | 0.197       | 0.187       | -0.339      | 0.43 ***    | -0.349      | 0.22         | 0.52        | 0.016       | 0.006       | -0.52       | 0.249       | -0.53       | 0.3          | -0.204      | -0.213      |
| 9  | 計量経済学の手法を用いた経済分析の実施    | 11.242 *** | 0.094       | 0.581 ***   | 0.986 ***   | 0.188       | 0.085       | -0.306      | 0.315 ***   | -0.213      | 0.486 **     | 0.892 ***   | 0.094       | -0.009      | -0.4        | 0.22        | -0.308      | 0.406        | -0.392      | -0.495 ***  |
| 10 | 財政的諸課題の理解と議論           | 5.248 ***  | 0.255       | 0.209       | 0.251       | 0.177       | 0.287 **    | 0.127       | 0.373 ***   | -0.15       | -0.046       | -0.004      | -0.078      | 0.032       | -0.128      | 0.118       | -0.405      | 0.043        | -0.032      | 0.079       |
| 11 | 金融・資本市場の理解と議論          | 2.754 ***  | 0.289       | 0.175       | 0.067       | 0.226       | 0.221       | 0.185       | 0.208       | -0.149      | -0.113       | -0.221      | -0.063      | -0.068      | -0.104      | -0.08       | -0.438      | -0.108       | 0.051       | 0.045       |
| 12 | 労働市場の諸課題の理解と議論         | 2.866 ***  | 0.098       | 0.196       | 0.373       | 0.176       | 0.184       | -0.034      | 0.219 *     | -0.244      | 0.098        | 0.275       | 0.078       | 0.086       | -0.132      | 0.121       | -0.343      | 0.177        | -0.02       | -0.012      |
| 13 | 国際貿易の諸課題の理解と議論         | 6.16 ***   | 0.135       | 0.114       | 0.076       | 0.213       | 0.427 ***   | 0.128       | 0.334 ***   | -0.236      | -0.021       | -0.06       | 0.078       | 0.292       | -0.007      | 0.199       | -0.371      | -0.038       | 0.099       | 0.313       |
| 14 | 途上国経済の諸課題の理解と議論        | 3.006 ***  | 0.057       | 0.197       | -0.121      | 0.135       | 0.203       | -0.025      | 0.244 **    | -0.19       | 0.14         | -0.178      | 0.078       | 0.147       | -0.082      | 0.187       | -0.246      | -0.318       | -0.062      | 0.006       |
| 15 | 厚生経済学に基づいた経済政策の実証分析と評価 | 1.674 *    | 0.176       | 0.15        | 0.066       | 0.254       | 0.175       | 0.133       | 0.156       | -0.087      | -0.026       | -0.109      | 0.078       | -0.001      | -0.043      | -0.02       | -0.263      | -0.083       | 0.104       | 0.025       |
| 16 | 法制度の理解に基づいた経済政策の議論     | 1.375      | 0.147       | 0.024       | -0.046      | 0.241       | 0.026       | -0.151      | 0.145       | -0.269      | -0.123       | -0.193      | 0.094       | -0.121      | -0.298      | -0.001      | -0.416      | -0.07        | 0.217       | 0.002       |
| 17 | 新聞・雑誌等の経済記事批判的に議論する    | 4.003 ***  | -0.127      | 0.281 **    | 0.103       | -0.033      | 0.03        | 0.173       | 0.307 ***   | -0.166      | 0.408 *      | 0.23        | 0.094       | 0.158       | 0.3         | 0.435 **    | -0.038      | -0.179       | -0.315      | -0.251      |
| 18 | 学際的共同研究の遂行             | 2.911 ***  | -0.012      | 0.146       | 0.298       | 0.175       | 0.108       | 0.215       | 0.26 ***    | -0.303      | 0.158        | 0.31        | 0.188       | 0.121       | 0.227       | 0.272       | -0.291      | 0.152        | 0.03        | -0.037      |
| 19 | 英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解   | 23.323 *** | -0.04       | 0.745 ***   | 0.194       | 0.225       | -0.094      | 0.661       | 0.849 ***   | 0.194       | 0.785 ***    | 0.234       | 0.266       | -0.054      | 0.701       | 0.889 ***   | 0.234       | -0.55 **     | -0.519      | -0.839 ***  |
| 20 | 英語文献の正確な読解             | 26.057 *** | 0.052       | 0.85 ***    | 0.291       | 0.318       | -0.097      | 0.584       | 0.83 ***    | 0.241       | 0.798 ***    | 0.239       | 0.266       | -0.149      | 0.532       | 0.778 ***   | 0.189       | -0.559 **    | -0.532 *    | -0.947 ***  |
| 21 | 英語以外の外国語文庫の正確な読解       | 4.794 ***  | -0.113      | 0.043       | -0.128      | 0.106       | -0.02       | 0.308       | 0.372 ***   | -0.118      | 0.155        | -0.015      | 0.219       | 0.093       | 0.421       | 0.485 ***   | -0.005      | -0.171       | 0.063       | -0.062      |
| 22 | 日本語での論文執筆能力            | 3.561 ***  | 0.063       | 0.23        | 0.459 **    | 0.078       | -0.127      | -0.309      | 0.123       | -0.34       | 0.168        | 0.396       | 0.016       | -0.19       | -0.372      | 0.06        | -0.403      | 0.228        | -0.152      | -0.357 *    |
| 23 | 英語での論文執筆能力             | 9.515 ***  | -0.046      | 0.245 *     | -0.182      | 0.142       | -0.074      | 0.081       | 0.477 ***   | -0.375      | 0.291        | -0.136      | 0.187       | -0.028      | 0.127       | 0.522 ***   | -0.329      | -0.427       | -0.103      | -0.319 *    |
| 24 | セミナー等での英語による発表・議論      | 7.782 ***  | -0.058      | 0.167       | 0.112       | 0.223       | -0.011      | 0.198       | 0.47 ***    | -0.325      | 0.225        | 0.17        | 0.281       | 0.047       | 0.256       | 0.528 ***   | -0.267      | -0.055       | 0.056       | -0.178      |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す

コンピテンス別の大学間比較 (経済学・学生・習得度) (Continued)

| No | コンピテンス名                | 多重比較        |             |              |             |             |             |             |              |             |             |             |              |             |             |              |             |              |             |             |              |             |             |              |             |
|----|------------------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|--------------|-------------|
|    |                        | 大学8<br>-大学3 | 大学9<br>-大学3 | 大学10<br>-大学3 | 大学5<br>-大学4 | 大学6<br>-大学4 | 大学8<br>-大学4 | 大学9<br>-大学4 | 大学10<br>-大学4 | 大学6<br>-大学5 | 大学8<br>-大学5 | 大学9<br>-大学5 | 大学10<br>-大学5 | 大学8<br>-大学6 | 大学9<br>-大学6 | 大学10<br>-大学6 | 大学9<br>-大学6 | 大学10<br>-大学6 | 大学8<br>-大学7 | 大学9<br>-大学7 | 大学10<br>-大学7 | 大学8<br>-大学8 | 大学9<br>-大学8 | 大学10<br>-大学8 | 大学9<br>-大学9 |
| 1  | 経済モデルの数式やグラフを用いた説明     | -0.064      | 0.027       | -0.048       | 0.153       | -0.009      | 0.222       | 0.312       | 0.237        | -0.162      | 0.069       | 0.159       | 0.084        | 0.231       | 0.321 **    | 0.246        | 0.09        | 0.015        | -0.075      |             |              |             |             |              |             |
| 2  | 数学的解法の理解               | -0.197      | 0.12        | -0.31        | 0.192       | 0.081       | 0.24        | 0.556 **    | 0.127        | -0.111      | 0.048       | 0.365       | -0.065       | 0.159       | 0.475 ***   | 0.046        | 0.317       | -0.113       | -0.429      |             |              |             |             |              |             |
| 3  | 経済システムが形成された歴史的過程の理解   | 0.518       | 0.236       | 0.257        | 0.084       | 0.387       | 0.665       | 0.383       | 0.403        | 0.304       | 0.581       | 0.299       | 0.32         | 0.277       | -0.005      | 0.016        | -0.282      | -0.262       | 0.021       |             |              |             |             |              |             |
| 4  | 経済学の古典を参照した議論の実施       | 0.445       | 0.295       | -0.031       | -0.144      | 0.144       | 0.319       | 0.169       | -0.158       | 0.288       | 0.463       | 0.313       | -0.014       | 0.175       | 0.025       | -0.302       | -0.15       | -0.477       | -0.327      |             |              |             |             |              |             |
| 5  | 経済学の基礎概念に関する思想的背景の理解   | 0.397       | 0.152       | -0.106       | 0.057       | 0.144       | 0.571       | 0.326       | 0.069        | 0.088       | 0.515       | 0.269       | 0.012        | 0.427       | 0.182       | -0.076       | -0.245      | -0.503       | -0.257      |             |              |             |             |              |             |
| 6  | 専門外の人に経済理論を説明          | 0.224       | -0.042      | -0.401       | 0.09        | 0.207       | 0.555       | 0.288       | -0.071       | 0.117       | 0.465       | 0.198       | -0.161       | 0.348       | 0.081       | -0.278       | -0.267      | -0.626       | -0.359      |             |              |             |             |              |             |
| 7  | 経済統計の理解と読み取り           | -0.452      | 0.002       | -0.257       | -0.338      | -0.27       | -0.571      | -0.118      | -0.376       | 0.068       | -0.233      | 0.22        | -0.038       | -0.301      | 0.153       | -0.106       | 0.454       | 0.195        | -0.259      |             |              |             |             |              |             |
| 8  | 統計データの収集と加工            | -0.739 *    | 0.03        | -0.75        | -0.504      | -0.514 *    | -1.04 ***   | -0.271      | -1.05 ***    | -0.009      | -0.535      | 0.234       | -0.546       | -0.526      | 0.243       | -0.536       | 0.769 ***   | -0.01        | -0.779 *    |             |              |             |             |              |             |
| 9  | 計量経済学の手法を用いた経済分析の実施    | -0.886 **   | -0.266      | -0.794 *     | -0.798 ***  | -0.901 ***  | -1.292 ***  | -0.672 ***  | -1.2 ***     | -0.103      | -0.494      | 0.126       | -0.401       | -0.391      | 0.229       | -0.299       | 0.62        | 0.092        | -0.528      |             |              |             |             |              |             |
| 10 | 財政的諸課題の理解と議論           | -0.082      | 0.165       | -0.359       | -0.074      | 0.036       | -0.124      | 0.122       | -0.401       | 0.11        | -0.05       | 0.196       | -0.327       | -0.16       | 0.086       | -0.437       | 0.246       | -0.277       | -0.523      |             |              |             |             |              |             |
| 11 | 金融・資本市場の理解と議論          | 0.009       | 0.033       | -0.324       | 0.159       | 0.153       | 0.117       | 0.141       | -0.216       | -0.006      | -0.042      | -0.018      | -0.375       | -0.036      | -0.012      | -0.369       | 0.024       | -0.333       | -0.357      |             |              |             |             |              |             |
| 12 | 労働市場の諸課題の理解と議論         | -0.23       | 0.023       | -0.441       | -0.197      | -0.189      | -0.407      | -0.154      | -0.617       | 0.008       | -0.21       | 0.043       | -0.421       | -0.218      | 0.036       | -0.428       | 0.254       | -0.21        | -0.464      |             |              |             |             |              |             |
| 13 | 国際貿易の諸課題の理解と議論         | 0.014       | 0.22        | -0.35        | 0.138       | 0.351       | 0.052       | 0.258       | -0.312       | 0.214       | -0.085      | 0.121       | -0.45        | -0.299      | -0.093      | -0.663       | 0.206       | -0.364       | -0.57       |             |              |             |             |              |             |
| 14 | 途上国経済の諸課題の理解と議論        | -0.223      | 0.046       | -0.387       | 0.256       | 0.324       | 0.095       | 0.365       | -0.069       | 0.068       | -0.16       | 0.109       | -0.325       | -0.229      | 0.04        | -0.393       | 0.269       | -0.164       | -0.433      |             |              |             |             |              |             |
| 15 | 厚生経済学に基づいた経済政策の実証分析と評価 | -0.017      | 0.006       | -0.237       | 0.187       | 0.108       | 0.067       | 0.089       | -0.154       | -0.079      | -0.121      | -0.098      | -0.341       | -0.041      | -0.019      | -0.262       | 0.023       | -0.221       | -0.243      |             |              |             |             |              |             |
| 16 | 法制度の理解に基づいた経済政策の議論     | -0.175      | 0.122       | -0.293       | 0.287       | 0.072       | -0.105      | 0.192       | -0.222       | -0.215      | -0.392      | -0.095      | -0.51        | -0.177      | 0.12        | -0.295       | 0.296       | -0.118       | -0.414      |             |              |             |             |              |             |
| 17 | 新聞・雑誌等の経済記事を批判的に議論する   | -0.108      | 0.026       | -0.447       | -0.136      | -0.072      | 0.07        | 0.205       | -0.268       | 0.064       | 0.206       | 0.341       | -0.132       | 0.142       | 0.277       | -0.196       | 0.135       | -0.338       | -0.473      |             |              |             |             |              |             |
| 18 | 学際的共同研究の遂行             | 0.069       | 0.114       | -0.449       | -0.122      | -0.189      | -0.083      | -0.038      | -0.601       | -0.067      | 0.04        | 0.085       | -0.478       | 0.106       | 0.152       | -0.412       | 0.045       | -0.518       | -0.563      |             |              |             |             |              |             |
| 19 | 英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解   | -0.084      | 0.104       | -0.55        | 0.031       | -0.288      | 0.467       | 0.655 ***   | 0            | -0.32       | 0.435       | 0.624 **    | -0.031       | 0.755 *     | 0.943 ***   | 0.288        | 0.188       | -0.467       | -0.655      |             |              |             |             |              |             |
| 20 | 英語文献の正確な読解             | -0.265      | -0.02       | -0.609       | 0.027       | -0.387      | 0.294       | 0.539 **    | -0.05        | -0.414      | 0.267       | 0.512 *     | -0.077       | 0.681       | 0.926 ***   | 0.337        | 0.245       | -0.344       | -0.589      |             |              |             |             |              |             |
| 21 | 英語以外の外国語文献の正確な読解       | 0.265       | 0.33 **     | -0.16        | 0.234       | 0.108       | 0.436       | 0.5 **      | 0.01         | -0.126      | 0.202       | 0.266       | -0.224       | 0.328       | 0.392 ***   | -0.098       | 0.064       | -0.426       | -0.49       |             |              |             |             |              |             |
| 22 | 日本語での論文執筆能力            | -0.539      | -0.107      | -0.57        | -0.38       | -0.586 ***  | -0.768 *    | -0.335      | -0.798       | -0.206      | -0.388      | 0.045       | -0.418       | -0.182      | 0.25        | -0.213       | 0.432       | -0.031       | -0.463      |             |              |             |             |              |             |
| 23 | 英語での論文執筆能力             | -0.164      | 0.231       | -0.62        | 0.323       | 0.108       | 0.263       | 0.658 ***   | -0.193       | -0.215      | -0.06       | 0.335       | -0.517       | 0.155       | 0.55 ***    | -0.301       | 0.395       | -0.456       | -0.852 ***  |             |              |             |             |              |             |
| 24 | セミナー等での英語による発表・議論      | 0.031       | 0.303 **    | -0.492       | 0.111       | -0.123      | 0.086       | 0.358       | -0.437       | -0.234      | -0.025      | 0.247       | -0.548       | 0.209       | 0.481 ***   | -0.314       | 0.272       | -0.523       | -0.795 ***  |             |              |             |             |              |             |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す

図表 37 コンピテンシス別の大学間比較 (経済学・教員・重要度)

| No | コンピテンシス名                | 分散分析      | 多重比較        |             |             |             |              |             |             |             |              |             |             |              |             |              |             |              |             |              |             |              |             |              |             |              |
|----|-------------------------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
|    |                         |           | 大学2<br>-大学1 | 大学3<br>-大学1 | 大学5<br>-大学1 | 大学9<br>-大学1 | 大学10<br>-大学1 | 大学3<br>-大学2 | 大学5<br>-大学2 | 大学9<br>-大学2 | 大学10<br>-大学2 | 大学5<br>-大学3 | 大学9<br>-大学3 | 大学10<br>-大学3 | 大学9<br>-大学4 | 大学10<br>-大学4 | 大学9<br>-大学5 | 大学10<br>-大学5 | 大学9<br>-大学6 | 大学10<br>-大学6 | 大学9<br>-大学7 | 大学10<br>-大学7 | 大学9<br>-大学8 | 大学10<br>-大学8 | 大学9<br>-大学9 | 大学10<br>-大学9 |
| 1  | 経済モデルの数式やグラフを用いた説明      | 2.138 *   | 0.44        | 0.628 *     | 0.454       | 0.254       | 0.538        | 0.188       | 0.014       | -0.186      | 0.099        | -0.174      | -0.374      | -0.089       | -0.2        | 0.085        | 0.285       |              |             |              |             |              |             |              |             |              |
| 2  | 数学的解法の理解                | 1.041     | 0.253       | 0.381       | 0.438       | 0.538       | 0.462        | 0.128       | 0.186       | 0.286       | 0.209        | 0.058       | 0.158       | 0.081        | 0.1         | 0.023        | -0.077      |              |             |              |             |              |             |              |             |              |
| 3  | 経済システムが形成された歴史的過程の理解    | 1.547     | -0.478      | -0.403      | 0.008       | -0.592      | -0.269       | 0.075       | 0.486       | -0.114      | 0.209        | 0.411       | -0.189      | 0.134        | -0.6        | -0.277       | 0.323       |              |             |              |             |              |             |              |             |              |
| 4  | 経済学の古典を参照した議論の実施        | 5.245 *** | -0.912      | -0.98 ***   | 0.031       | -1.069 **   | -0.538       | -0.068      | 0.943       | -0.157      | 0.374        | 1.011 **    | -0.089      | 0.441        | -1.1 *      | -0.569       | 0.531       |              |             |              |             |              |             |              |             |              |
| 5  | 経済学の基礎概念に関する思想的背景の理解    | 1.572     | -0.495      | -0.607      | -0.023      | -0.323      | 0            | -0.113      | 0.471       | 0.171       | 0.495        | 0.584       | 0.284       | 0.607        | -0.3        | 0.023        | 0.323       |              |             |              |             |              |             |              |             |              |
| 6  | 専門外の人に経済理論を説明           | 0.847     | -0.137      | -0.107      | 0.077       | -0.423      | 0.038        | 0.03        | 0.214       | -0.286      | 0.176        | 0.184       | -0.316      | 0.146        | -0.5        | -0.038       | 0.462       |              |             |              |             |              |             |              |             |              |
| 7  | 経済統計の理解と読み取り            | 1.657     | -0.187      | 0.332       | 0.185       | 0.085       | 0            | 0.519       | 0.371       | 0.271       | 0.187        | -0.147      | -0.247      | -0.332       | -0.1        | -0.185       | -0.085      |              |             |              |             |              |             |              |             |              |
| 8  | 統計データの収集と加工             | 1.218     | -0.082      | 0.241       | 0.046       | 0.046       | -0.192       | 0.323       | 0.129       | 0.129       | -0.11        | -0.195      | -0.195      | -0.433       | 0           | -0.238       | -0.238      |              |             |              |             |              |             |              |             |              |
| 9  | 計量経済学の手法を用いた経済分析の実施     | 0.628     | -0.066      | 0.253       | 0.377       | 0.377       | 0.231        | 0.319       | 0.443       | 0.443       | 0.297        | 0.124       | 0.124       | -0.023       | 0           | -0.146       | -0.146      |              |             |              |             |              |             |              |             |              |
| 10 | 財政的諸課題の理解と議論            | 0.545     | 0.066       | 0.217       | 0.123       | 0.023       | 0.385        | 0.151       | 0.057       | -0.043      | 0.319        | -0.094      | -0.194      | 0.167        | -0.1        | 0.262        | 0.362       |              |             |              |             |              |             |              |             |              |
| 11 | 金融・資本市場の理解と議論           | 0.56      | 0.324       | 0.274       | 0.338       | 0.238       | 0.269        | -0.05       | 0.014       | -0.086      | -0.055       | 0.065       | -0.035      | -0.005       | -0.1        | -0.069       | 0.031       |              |             |              |             |              |             |              |             |              |
| 12 | 労働市場の諸課題の理解と議論          | 0.616     | 0.209       | -0.018      | 0.323       | 0.223       | -0.077       | -0.227      | 0.114       | 0.014       | -0.286       | 0.341       | 0.241       | -0.059       | -0.1        | -0.4         | -0.3        |              |             |              |             |              |             |              |             |              |
| 13 | 国際貿易の諸課題の理解と議論          | 0.639     | 0.286       | 0.211       | 0.2         | 0.3         | -0.083       | -0.075      | -0.086      | 0.014       | -0.369       | -0.011      | 0.089       | -0.294       | 0.1         | -0.283       | -0.383      |              |             |              |             |              |             |              |             |              |
| 14 | 海上国経済の諸課題の理解と議論         | 0.381     | 0           | 0           | 0.3         | -0.1        | -0.083       | 0           | 0.3         | -0.1        | -0.083       | 0.3         | -0.1        | -0.083       | -0.4        | -0.383       | 0.017       |              |             |              |             |              |             |              |             |              |
| 15 | 厚生経済学に基づいた経済政策の実証分析と評価  | 1.523     | -0.533      | -0.067      | 0.238       | -0.562      | -0.212       | 0.466       | 0.771       | -0.029      | 0.321        | 0.305       | -0.495      | -0.145       | -0.8        | -0.45        | 0.35        |              |             |              |             |              |             |              |             |              |
| 16 | 法制度の理解に基づいた経済政策の議論      | 1.845     | 0.231       | 0.283       | 0.431       | -0.369      | -0.019       | 0.053       | 0.2         | -0.6        | -0.25        | 0.147       | -0.653      | -0.303       | -0.8        | -0.45        | 0.35        |              |             |              |             |              |             |              |             |              |
| 17 | 新聞・雑誌等の経済記事に対する批判的に議論する | 0.313     | 0.11        | -0.073      | 0.138       | 0.138       | 0.038        | -0.183      | 0.029       | 0.029       | -0.071       | 0.211       | 0.211       | 0.111        | 0           | -0.1         | -0.1        |              |             |              |             |              |             |              |             |              |
| 18 | 学際的共同研究の遂行              | 0.341     | 0.011       | -0.124      | 0.254       | -0.146      | -0.013       | -0.135      | 0.243       | -0.157      | -0.024       | 0.378       | -0.022      | 0.111        | -0.4        | -0.267       | 0.133       |              |             |              |             |              |             |              |             |              |
| 19 | 英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解    | 6.016 *** | 0.555       | 0.88 ***    | 0.669       | 1.069 ***   | 0.436        | 0.325       | 0.114       | 0.514       | -0.119       | -0.211      | 0.189       | -0.444       | 0.4         | -0.233       | -0.633      |              |             |              |             |              |             |              |             |              |
| 20 | 英語文獻の正確な読解              | 2.332 **  | 0.137       | 0.756 *     | 0.623       | 0.323       | 0.59         | 0.619       | 0.486       | 0.186       | 0.452        | -0.133      | -0.433      | -0.167       | -0.3        | -0.033       | 0.267       |              |             |              |             |              |             |              |             |              |
| 21 | 英語以外の外国語文獻の正確な読解        | 0.501     | -0.484      | -0.158      | -0.169      | 0.031       | -0.019       | 0.325       | 0.314       | 0.514       | 0.464        | -0.011      | 0.189       | 0.139        | 0.2         | 0.15         | -0.05       |              |             |              |             |              |             |              |             |              |
| 22 | 日本語での論文執筆能力             | 1.14      | 0.247       | -0.15       | 0.362       | -0.138      | 0.462        | -0.397      | 0.114       | -0.386      | 0.214        | 0.511       | 0.011       | 0.611        | -0.5        | 0.1          | 0.6         |              |             |              |             |              |             |              |             |              |
| 23 | 英語での論文執筆能力              | 2.095 *   | 0.159       | 0.786 *     | 0.731       | 0.131       | 0.397        | 0.627       | 0.571       | -0.029      | 0.238        | -0.056      | -0.656      | -0.389       | -0.6        | -0.333       | 0.267       |              |             |              |             |              |             |              |             |              |
| 24 | セミナー等での英語による発表・議論       | 2.97 **   | 0.341       | 1.047 ***   | 0.569       | 0.069       | 0.269        | 0.706       | 0.229       | -0.271      | -0.071       | -0.478      | -0.978      | -0.778       | -0.5        | -0.3         | 0.2         |              |             |              |             |              |             |              |             |              |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す

図表 38 コンピテンス別の大学間比較 (経済学・教員・習得度)

| No | コンピテンス名                | 分散分析      | 多重比較        |             |             |             |              |             |             |             |              |             |             |              |             |              |              |  |
|----|------------------------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|--------------|-------------|--------------|--------------|--|
|    |                        |           | 大学2<br>-大学1 | 大学3<br>-大学1 | 大学5<br>-大学1 | 大学9<br>-大学1 | 大学10<br>-大学1 | 大学3<br>-大学2 | 大学5<br>-大学2 | 大学9<br>-大学2 | 大学10<br>-大学2 | 大学5<br>-大学3 | 大学9<br>-大学3 | 大学10<br>-大学3 | 大学9<br>-大学4 | 大学10<br>-大学4 | 大学10<br>-大学9 |  |
| 1  | 経済モデルの数式やグラフを用いた説明     | 3.476 *** | 0.703       | 0.741 **    | 0.301       | 0.646       | 0.077        | 0.038       | -0.403      | -0.057      | -0.626       | -0.44       | -0.095      | -0.664       | 0.345       | -0.224       | -0.569       |  |
| 2  | 数学的解法の理解               | 5.074 *** | 0.555       | 1.059 ***   | 0.36        | 0.669       | 0.038        | 0.504       | -0.195      | 0.114       | -0.516       | -0.699      | -0.389      | -1.02 ***    | 0.309       | -0.322       | -0.631       |  |
| 3  | 経済システムが形成された歴史的過程の理解   | 0.819     | -0.253      | -0.17       | -0.357      | -0.438      | -0.462       | 0.083       | -0.104      | -0.186      | -0.209       | -0.187      | -0.268      | -0.291       | -0.082      | -0.105       | -0.023       |  |
| 4  | 経済学の古典を参照した議論の実施       | 0.835     | -0.209      | -0.312      | -0.378      | -0.323      | -0.308       | -0.103      | -0.169      | -0.114      | -0.099       | -0.066      | -0.011      | 0.004        | 0.055       | 0.07         | 0.015        |  |
| 5  | 経済学の基礎概念に関する思想的背景の理解   | 1.115     | -0.478      | -0.403      | -0.283      | -0.392      | -0.269       | 0.075       | 0.195       | 0.086       | 0.209        | 0.12        | 0.011       | 0.134        | -0.109      | 0.014        | 0.123        |  |
| 6  | 専門外の人に経済理論を説明          | 0.899     | 0.121       | 0.166       | -0.126      | -0.308      | -0.154       | 0.045       | -0.247      | -0.429      | -0.275       | -0.292      | -0.474      | -0.32        | -0.182      | -0.028       | 0.154        |  |
| 7  | 経済統計の理解と読み取り           | 1.07      | 0.214       | 0.395       | -0.045      | -0.1        | 0.038        | 0.18        | -0.26       | -0.314      | -0.176       | -0.44       | -0.495      | -0.356       | -0.055      | 0.084        | 0.138        |  |
| 8  | 統計データの収集と加工            | 1.522     | -0.302      | 0.322       | 0.269       | -0.331      | 0.115        | 0.624       | 0.571       | -0.029      | 0.418        | -0.053      | -0.653      | -0.206       | -0.6        | -0.154       | 0.446        |  |
| 9  | 計量経済学の手法を用いた経済分析の実施    | 1.868     | -0.066      | 0.665 *     | 0.259       | 0.277       | 0.231        | 0.731       | 0.325       | 0.343       | 0.297        | -0.406      | -0.388      | -0.434       | 0.018       | -0.028       | -0.046       |  |
| 10 | 財政的諸課題の理解と議論           | 0.598     | 0.066       | 0.335       | 0.287       | 0.123       | 0.154        | 0.269       | 0.221       | 0.057       | 0.088        | -0.048      | -0.212      | -0.181       | -0.164      | -0.133       | 0.031        |  |
| 11 | 金融・資本市場の理解と議論          | 0.673     | 0.132       | 0.258       | 0.21        | -0.154      | -0.077       | 0.126       | 0.078       | -0.286      | -0.209       | -0.048      | -0.412      | -0.335       | -0.364      | -0.287       | 0.077        |  |
| 12 | 労働市場の諸課題の理解と議論         | 0.845     | -0.011      | 0.081       | 0.392       | -0.154      | -0.077       | 0.092       | 0.403       | -0.143      | -0.066       | 0.31        | -0.235      | -0.158       | -0.545      | -0.469       | 0.077        |  |
| 13 | 国際貿易の諸課題の理解と議論         | 0.938     | 0.143       | 0.421       | 0.182       | 0.1         | 0.333        | 0.278       | 0.039       | -0.043      | 0.19         | -0.239      | -0.321      | -0.088       | -0.082      | 0.152        | 0.233        |  |
| 14 | 途上国経済の諸課題の理解と議論        | 0.859     | -0.22       | 0.291       | 0.196       | -0.177      | 0.006        | 0.511       | 0.416       | 0.043       | 0.226        | -0.096      | -0.468      | -0.285       | -0.373      | -0.189       | 0.183        |  |
| 15 | 厚生経済学に基づいた経済政策の実証分析と評価 | 0.84      | -0.143      | 0.263       | -0.091      | -0.2        | -0.167       | 0.406       | 0.052       | -0.057      | -0.024       | -0.354      | -0.463      | -0.43        | -0.109      | -0.076       | 0.033        |  |
| 16 | 法制度の理解に基づいた経済政策の議論     | 0.237     | 0.115       | 0.221       | 0.115       | 0.015       | 0.032        | 0.105       | 0           | -0.1        | -0.083       | -0.105      | -0.205      | -0.189       | -0.1        | -0.083       | 0.017        |  |
| 17 | 新聞・雑誌等の経済記事を批判的に議論する   | 0.383     | -0.016      | 0.047       | 0.087       | -0.231      | -0.147       | 0.063       | 0.104       | -0.214      | -0.131       | 0.04        | -0.278      | -0.194       | -0.318      | -0.235       | 0.083        |  |
| 18 | 学際的共同研究の遂行             | 0.371     | -0.066      | 0.244       | 0.259       | 0.077       | 0.077        | 0.31        | 0.325       | 0.143       | 0.143        | 0.015       | -0.167      | -0.167       | -0.182      | -0.182       | 0            |  |
| 19 | 英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解   | 4.217 *** | 0.154       | 0.709 *     | 0.608       | 0.954 **    | -0.096       | 0.556       | 0.455       | 0.8         | -0.25        | -0.101      | 0.244       | -0.806 *     | 0.345       | -0.705       | -1.05 **     |  |
| 20 | 英語文献の正確な読解             | 2.185 *   | 0.049       | 0.637       | 0.556       | 0.392       | -0.058       | 0.587       | 0.506       | 0.343       | -0.107       | -0.081      | -0.244      | -0.694       | -0.164      | -0.614       | -0.45        |  |
| 21 | 英語以外の外国語文献の正確な読解       | 0.354     | -0.203      | -0.068      | -0.255      | -0.046      | -0.096       | 0.135       | -0.052      | 0.157       | 0.107        | -0.187      | 0.022       | -0.028       | 0.209       | 0.159        | -0.05        |  |
| 22 | 日本語での論文執筆能力            | 0.681     | 0.418       | 0.291       | 0.028       | 0.046       | 0.346        | -0.127      | -0.39       | -0.371      | -0.071       | -0.263      | -0.244      | 0.056        | 0.018       | 0.318        | 0.3          |  |
| 23 | 英語での論文執筆能力             | 3.033 **  | 0.264       | 0.748 **    | 0.147       | 0.492       | -0.058       | 0.484       | -0.117      | 0.229       | -0.321       | -0.601      | -0.256      | -0.806 *     | 0.345       | -0.205       | -0.55        |  |
| 24 | セミナー等での英語による発表・議論      | 2.313 *   | 0.148       | 0.744 *     | 0.577       | 0.477       | 0.077        | 0.595       | 0.429       | 0.329       | -0.071       | -0.167      | -0.267      | -0.667       | -0.1        | -0.5         | -0.4         |  |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す

図表 39 コンピテンス別の大学間比較 (経済学・卒業生・重要度)

| No | コンピテンス名                | 分散分析      | 多重比較        |             |             |             |             |              |             |             |             |             |
|----|------------------------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|    |                        |           | 大学3<br>-大学2 | 大学4<br>-大学2 | 大学5<br>-大学2 | 大学6<br>-大学2 | 大学9<br>-大学2 | 大学10<br>-大学2 | 大学4<br>-大学3 | 大学5<br>-大学3 | 大学6<br>-大学3 | 大学9<br>-大学3 |
| 1  | 経済モデルの数式やグラフを用いた説明     | 2.216 **  | 0.825 *     | 1.029 *     | 0.681       | 0.593       | 0.804 *     | 0.821        | 0.204       | -0.144      | -0.231      | -0.021      |
| 2  | 数学的解法の理解               | 1.195     | 0.632       | 0.649       | 0.516       | 0.446       | 0.526       | 0.262        | 0.017       | -0.116      | -0.186      | -0.106      |
| 3  | 経済システムが形成された歴史的過程の理解   | 1.258     | 0.241       | 0.442       | 0.122       | 0.101       | 0.351       | 0.359        | 0.201       | -0.119      | -0.14       | 0.11        |
| 4  | 経済学の古典を参照した議論の実施       | 2.611 **  | 0.065       | 0.139       | 0.195       | 0.138       | 0.436       | 0.144        | 0.075       | 0.13        | 0.073       | 0.372 **    |
| 5  | 経済学の基礎概念に関する思想的背景の理解   | 2.014 *   | 0.386       | 0.673       | 0.342       | 0.302       | 0.573       | 0.39         | 0.287       | -0.044      | -0.085      | 0.186       |
| 6  | 専門外の人に経済理論を説明          | 1.51      | 0.402       | 0.231       | 0.156       | 0.003       | 0.281       | 0.164        | -0.171      | -0.246      | -0.398      | -0.12       |
| 7  | 経済統計の理解と読み取り           | 2.854 *** | 0.33        | 0.144       | 0.006       | -0.14       | 0.124       | 0.436        | -0.186      | -0.324      | -0.47 ***   | -0.206      |
| 8  | 統計データの収集と加工            | 2.976 *** | 0.265       | -0.12       | 0.133       | -0.202      | 0.135       | 0.426        | -0.386      | -0.132      | -0.467 ***  | -0.131      |
| 9  | 計量経済学の手法を用いた経済分析の実施    | 1.01      | 0.368       | 0.226       | 0.119       | 0.19        | 0.345       | 0.338        | -0.142      | -0.249      | -0.178      | -0.023      |
| 10 | 財政的諸課題の理解と議論           | 0.73      | 0.149       | 0.183       | 0.286       | 0.111       | 0.294       | 0.241        | 0.034       | 0.137       | -0.038      | 0.145       |
| 11 | 金融・資本市場の理解と議論          | 0.974     | 0.247       | 0.245       | 0.308       | 0.171       | 0.391       | 0.374        | -0.002      | 0.061       | -0.075      | 0.144       |
| 12 | 労働市場の諸課題の理解と議論         | 0.685     | -0.094      | -0.048      | -0.052      | -0.241      | -0.001      | 0.01         | 0.046       | 0.042       | -0.147      | 0.092       |
| 13 | 国際貿易の諸課題の理解と議論         | 1.82 *    | 0.555       | 0.692       | 0.518       | 0.238       | 0.494       | 0.559        | 0.138       | -0.036      | -0.317      | -0.061      |
| 14 | 途上国経済の諸課題の理解と議論        | 1.625     | 0.137       | 0.024       | 0.19        | -0.22       | 0.116       | 0.128        | -0.113      | 0.053       | -0.357      | -0.021      |
| 15 | 厚生経済学に基づいた経済政策の実証分析と評価 | 0.378     | -0.226      | -0.207      | -0.106      | -0.224      | -0.248      | -0.236       | 0.019       | 0.12        | 0.002       | -0.022      |
| 16 | 法制度の理解に基づいた経済政策の議論     | 0.924     | -0.278      | 0.216       | -0.074      | -0.028      | -0.118      | -0.046       | 0.495       | 0.204       | 0.25        | 0.16        |
| 17 | 新聞・雑誌等の経済記事を批判的に議論する   | 1.941 *   | 0.444       | 0.625       | 0.565       | 0.258       | 0.396       | 0.533        | 0.181       | 0.121       | -0.187      | -0.048      |
| 18 | 学際的共同研究の遂行             | 4.077 *** | -0.32       | 0.255       | 0.258       | 0.192       | 0.222       | 0.492        | 0.575       | 0.578 ***   | 0.512 **    | 0.542 ***   |
| 19 | 英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解   | 5.734 *** | 1.173 ***   | 0.937       | 0.804       | 0.455       | 0.972 **    | 1.2 **       | -0.235      | -0.368      | -0.718 ***  | -0.2        |
| 20 | 英語文献の正確な読解             | 2.832 *** | 0.642       | 0.875       | 0.5         | 0.091       | 0.507       | 0.533        | 0.233       | -0.142      | -0.551 **   | -0.135      |
| 21 | 英語以外の外国語文献の正確な読解       | 1.966 *   | 0.313       | 0.712       | 0.44        | 0.204       | 0.554       | 0.328        | 0.398       | 0.126       | -0.109      | 0.24        |
| 22 | 日本語での論文執筆能力            | 1.988 *   | 0.328       | 0.784       | 0.505       | 0.119       | 0.408       | 0.579        | 0.456       | 0.178       | -0.209      | 0.081       |
| 23 | 英語での論文執筆能力             | 2.426 **  | 0.751       | 0.99        | 0.791       | 0.509       | 0.883 *     | 0.815        | 0.239       | 0.04        | -0.242      | 0.131       |
| 24 | セミナー等での英語による発表・議論      | 1.509     | 0.518       | 0.774       | 0.476       | 0.246       | 0.587       | 0.451        | 0.257       | -0.041      | -0.271      | 0.069       |

\*\*\* p&lt;0.01, \*\* p&lt;0.05, \* p&lt;0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す



コンピテンス別の大学間比較 (経済学・卒業生・重要度) (Continued)

| No | コンピテンス名                | 多重比較         |             |             |             |              |             |             |              |             |              |              |
|----|------------------------|--------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|--------------|-------------|--------------|--------------|
|    |                        | 大学10<br>-大学3 | 大学5<br>-大学4 | 大学6<br>-大学4 | 大学9<br>-大学4 | 大学10<br>-大学4 | 大学6<br>-大学5 | 大学9<br>-大学5 | 大学10<br>-大学5 | 大学9<br>-大学6 | 大学10<br>-大学6 | 大学10<br>-大学9 |
| 1  | 経済モデルの数式やグラフを用いた説明     | -0.004       | -0.348      | -0.436      | -0.225      | -0.208       | -0.087      | 0.123       | 0.14         | 0.21        | 0.227        | 0.017        |
| 2  | 数学的解法の理解               | -0.371       | -0.133      | -0.203      | -0.123      | -0.388       | -0.069      | 0.01        | -0.254       | 0.08        | -0.185       | -0.265       |
| 3  | 経済システムが形成された歴史的過程の理解   | 0.118        | -0.32       | -0.341      | -0.091      | -0.083       | -0.021      | 0.229       | 0.237        | 0.25        | 0.258        | 0.008        |
| 4  | 経済学の古典を参照した議論の実施       | 0.079        | 0.056       | -0.002      | 0.297       | 0.004        | -0.058      | 0.241       | -0.052       | 0.299       | 0.006        | -0.293       |
| 5  | 経済学の基礎概念に関する思想的背景の理解   | 0.003        | -0.331      | -0.371      | -0.1        | -0.283       | -0.041      | 0.23        | 0.047        | 0.271       | 0.088        | -0.183       |
| 6  | 専門外の人に経済理論を説明          | -0.237       | -0.075      | -0.227      | 0.051       | -0.067       | -0.152      | 0.126       | 0.009        | 0.278       | 0.161        | -0.117       |
| 7  | 経済統計の理解と読み取り           | 0.106        | -0.138      | -0.284      | -0.02       | 0.292        | -0.146      | 0.118       | 0.264        | 0.118       | 0.576        | 0.312        |
| 8  | 統計データの収集と加工            | 0.16         | 0.253       | -0.081      | 0.255       | 0.546        | -0.335      | 0.002       | 0.292        | 0.336 *     | 0.627        | 0.291        |
| 9  | 計量経済学の手法を用いた経済分析の実施    | -0.029       | -0.107      | -0.036      | 0.119       | 0.112        | 0.071       | 0.226       | 0.219        | 0.155       | 0.148        | -0.006       |
| 10 | 財政的諸課題の理解と議論           | 0.092        | 0.103       | -0.072      | 0.111       | 0.058        | -0.175      | 0.008       | -0.045       | 0.183       | 0.13         | -0.053       |
| 11 | 金融・資本市場の理解と議論          | 0.128        | 0.062       | -0.074      | 0.145       | 0.129        | -0.136      | 0.083       | 0.067        | 0.219       | 0.203        | -0.016       |
| 12 | 労働市場の諸課題の理解と議論         | 0.104        | -0.004      | -0.193      | 0.047       | 0.058        | -0.189      | 0.051       | 0.062        | 0.24        | 0.252        | 0.012        |
| 13 | 国際貿易の諸課題の理解と議論         | 0.004        | -0.174      | -0.455      | -0.198      | -0.133       | -0.281      | -0.024      | 0.041        | 0.256       | 0.321        | 0.065        |
| 14 | 途上国経済の諸課題の理解と議論        | -0.008       | 0.166       | -0.244      | 0.092       | 0.104        | -0.41 *     | -0.074      | -0.062       | 0.336       | 0.348        | 0.012        |
| 15 | 厚生経済学に基づいた経済政策の実証分析と評価 | -0.01        | 0.101       | -0.017      | -0.042      | -0.029       | -0.118      | -0.142      | -0.13        | -0.025      | -0.012       | 0.013        |
| 16 | 法制度の理解に基づいた経済政策の議論     | 0.232        | -0.291      | -0.244      | -0.334      | -0.262       | 0.046       | -0.044      | 0.028        | -0.09       | -0.018       | 0.072        |
| 17 | 新聞・雑誌等の経済記事を批判的に議論する   | 0.089        | -0.06       | -0.367      | -0.229      | -0.092       | -0.308      | -0.169      | -0.032       | 0.139       | 0.276        | 0.137        |
| 18 | 学際的共同研究の遂行             | 0.812 *      | 0.003       | -0.062      | -0.033      | 0.238        | -0.065      | -0.035      | 0.235        | 0.03        | 0.3          | 0.27         |
| 19 | 英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解   | 0.027        | -0.133      | -0.483      | 0.035       | 0.263        | -0.35       | 0.168       | 0.396        | 0.518 ***   | 0.745        | 0.228        |
| 20 | 英語文献の正確な読解             | -0.109       | -0.375      | -0.784      | -0.368      | -0.342       | -0.409      | 0.007       | 0.033        | 0.416 *     | 0.442        | 0.026        |
| 21 | 英語以外の外国語文献の正確な読解       | 0.015        | -0.272      | -0.508      | -0.158      | -0.383       | -0.236      | 0.114       | -0.111       | 0.35        | 0.124        | -0.225       |
| 22 | 日本語での論文執筆能力            | 0.252        | -0.278      | -0.665      | -0.375      | -0.204       | -0.387      | -0.097      | 0.074        | 0.289       | 0.461        | 0.171        |
| 23 | 英語での論文執筆能力             | 0.064        | -0.199      | -0.481      | -0.108      | -0.175       | -0.282      | 0.091       | 0.024        | 0.373       | 0.306        | -0.067       |
| 24 | セミナー等での英語による発表・議論      | -0.067       | -0.298      | -0.528      | -0.188      | -0.324       | -0.23       | 0.111       | -0.026       | 0.341       | 0.204        | -0.136       |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す



図表 40 コンピテンス別の大学間比較 (経済学・卒業生・習得度)

| No | コンピテンス名                | 分散分析      | 多重比較        |             |             |             |             |              |             |             |             |             |
|----|------------------------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|    |                        |           | 大学3<br>-大学2 | 大学4<br>-大学2 | 大学5<br>-大学2 | 大学6<br>-大学2 | 大学9<br>-大学2 | 大学10<br>-大学2 | 大学4<br>-大学3 | 大学5<br>-大学3 | 大学6<br>-大学3 | 大学9<br>-大学3 |
| 1  | 経済モデルの数式やグラフを用いた説明     | 1.302     | 0.4         | 0.534       | 0.205       | 0.143       | 0.3         | 0.313        | 0.133       | -0.196      | -0.257      | -0.101      |
| 2  | 数学的解法の理解               | 2.451 **  | 0.487       | 0.216       | 0.154       | -0.018      | 0.242       | -0.046       | -0.271      | -0.333      | -0.505 **   | -0.245      |
| 3  | 経済システムが形成された歴史的過程の理解   | 1.97 *    | 0.205       | 0.25        | 0.293       | 0.344       | 0.463       | 0.667        | 0.045       | 0.089       | 0.139       | 0.258       |
| 4  | 経済学の古典を参照した議論の実施       | 2.032 *   | -0.027      | 0.091       | 0.208       | 0.169       | 0.316       | 0.221        | 0.118       | 0.235       | 0.196       | 0.343 **    |
| 5  | 経済学の基礎概念に関する思想的背景の理解   | 1.65      | 0.212       | 0.173       | 0.217       | 0.064       | 0.377       | 0.19         | -0.039      | 0.004       | -0.149      | 0.165       |
| 6  | 専門外の人に経済理論を説明          | 2.622 **  | 0.112       | 0.038       | 0.017       | -0.274      | 0.163       | 0.005        | -0.073      | -0.095      | -0.386 *    | 0.052       |
| 7  | 経済統計の理解と読み取り           | 2.937 *** | 0.69        | 0.534       | 0.324       | 0.299       | 0.531       | 0.779        | -0.156      | -0.365      | -0.39       | -0.158      |
| 8  | 統計データの収集と加工            | 3.029 *** | 0.639       | 0.303       | 0.289       | 0.069       | 0.324       | 0.415        | -0.337      | -0.35       | -0.571 ***  | -0.316      |
| 9  | 計量経済学の手法を用いた経済分析の実施    | 4.891 *** | 0.785 *     | 0.981 *     | 0.22        | 0.356       | 0.342       | 0.374        | 0.196       | -0.565 ***  | -0.429 *    | -0.443 ***  |
| 10 | 財政的諸課題の理解と議論           | 0.671     | 0.296       | 0.452       | 0.316       | 0.249       | 0.378       | 0.344        | 0.155       | 0.02        | -0.048      | 0.081       |
| 11 | 金融・資本市場の理解と議論          | 1.387     | 0.508       | 0.481       | 0.481       | 0.434       | 0.592       | 0.497        | -0.027      | -0.027      | -0.074      | 0.084       |
| 12 | 労働市場の諸課題の理解と議論         | 1.018     | 0.147       | 0.409       | 0.096       | 0.018       | 0.24        | 0.113        | 0.261       | -0.051      | -0.129      | 0.092       |
| 13 | 国際貿易の諸課題の理解と議論         | 2.15 **   | 0.302       | 0.716       | 0.242       | 0.091       | 0.371       | 0.021        | 0.414       | -0.06       | -0.211      | 0.069       |
| 14 | 途上国経済の諸課題の理解と議論        | 1.603     | 0.382       | 0.37        | 0.33        | 0.136       | 0.442       | 0.241        | -0.012      | -0.052      | -0.246      | 0.06        |
| 15 | 厚生経済学に基づいた経済政策の実証分析と評価 | 0.278     | -0.142      | -0.154      | -0.099      | -0.154      | -0.043      | -0.154       | -0.012      | 0.043       | -0.012      | 0.099       |
| 16 | 法制度の理解に基づいた経済政策の議論     | 0.421     | -0.033      | 0.014       | 0.044       | 0.155       | 0.1         | 0.144        | 0.047       | 0.077       | 0.188       | 0.133       |
| 17 | 新聞・雑誌等の経済記事を批判的に議論する   | 2.009 *   | 0.319       | 0.351       | 0.297       | 0.101       | 0.446       | 0.472        | 0.032       | -0.022      | -0.218      | 0.127       |
| 18 | 学際的共同研究の遂行             | 1.847 *   | 0.125       | 0.183       | 0.374       | 0.073       | 0.322       | 0.574        | 0.058       | 0.249       | -0.051      | 0.197       |
| 19 | 英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解   | 9.194 *** | 0.924 **    | 1.115 **    | 0.648       | 0.147       | 1.018 ***   | 0.682        | 0.191       | -0.276      | -0.777 ***  | 0.094       |
| 20 | 英語文献の正確な読解             | 8.077 *** | 0.819 *     | 0.913       | 0.593       | -0.102      | 0.687       | 0.472        | 0.095       | -0.226      | -0.921 ***  | -0.132      |
| 21 | 英語以外の外国語文献の正確な読解       | 2.416 **  | 0.447       | 0.736       | 0.356       | 0.22        | 0.557       | 0.39         | 0.288       | -0.091      | -0.228      | 0.11        |
| 22 | 日本語での論文執筆能力            | 4.101 *** | 0.45        | 0.793       | 0.453       | -0.066      | 0.393       | 0.564        | 0.343       | 0.003       | -0.516 ***  | -0.057      |
| 23 | 英語での論文執筆能力             | 3.199 *** | 0.33        | 0.332       | 0.269       | 0.004       | 0.45        | 0.503        | 0.002       | -0.061      | -0.327      | 0.12        |
| 24 | セミナー等での英語による発表・議論      | 3.203 *** | 0.29        | 0.292       | 0.158       | -0.165      | 0.314       | 0.335        | 0.002       | -0.132      | -0.455 **   | 0.024       |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す

コンピテンシス別の大学間比較 (経済学・卒業生・習得度) (Continued)

|    |                        | 多重比較         |             |             |             |              |             |             |              |             |              |              |
|----|------------------------|--------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|--------------|-------------|--------------|--------------|
| No | コンピテンシス名               | 大学10<br>-大学3 | 大学5<br>-大学4 | 大学6<br>-大学4 | 大学9<br>-大学4 | 大学10<br>-大学4 | 大学6<br>-大学5 | 大学9<br>-大学5 | 大学10<br>-大学5 | 大学9<br>-大学6 | 大学10<br>-大学6 | 大学10<br>-大学9 |
| 1  | 経済モデルの数式やグラフを用いた説明     | -0.088       | -0.329      | -0.391      | -0.234      | -0.221       | -0.062      | 0.095       | 0.108        | 0.157       | 0.17         | 0.013        |
| 2  | 数学的解法の理解               | -0.533       | -0.062      | -0.234      | 0.025       | -0.262       | -0.172      | 0.088       | -0.2         | 0.26        | -0.028       | -0.288       |
| 3  | 経済システムが形成された歴史的過程の理解   | 0.462        | 0.043       | 0.094       | 0.213       | 0.417        | 0.05        | 0.169       | 0.373        | 0.119       | 0.323        | 0.204        |
| 4  | 経済学の古典を参照した議論の実施       | 0.247        | 0.117       | 0.078       | 0.225       | 0.129        | -0.039      | 0.108       | 0.012        | 0.146       | 0.051        | -0.095       |
| 5  | 経済学の基礎概念に関する思想的背景の理解   | -0.022       | 0.043       | -0.109      | 0.204       | 0.017        | -0.153      | 0.16        | -0.027       | 0.313       | 0.126        | -0.187       |
| 6  | 専門外の人に経済理論を説明          | -0.107       | -0.022      | -0.313      | 0.125       | -0.033       | -0.291      | 0.147       | -0.012       | 0.438 ***   | 0.279        | -0.158       |
| 7  | 経済統計の理解と読み取り           | 0.09         | -0.209      | -0.234      | -0.002      | 0.246        | -0.025      | 0.207       | 0.455        | 0.232       | 0.48         | 0.248        |
| 8  | 統計データの収集と加工            | -0.224       | -0.014      | -0.234      | 0.021       | 0.113        | -0.221      | 0.034       | 0.126        | 0.255       | 0.347        | 0.092        |
| 9  | 計量経済学の手法を用いた経済分析の実施    | -0.411       | -0.761 **   | -0.625      | -0.639      | -0.607       | 0.136       | 0.122       | 0.154        | -0.014      | 0.018        | 0.032        |
| 10 | 財政的諸課題の理解と議論           | 0.047        | -0.136      | -0.203      | -0.074      | -0.108       | -0.067      | 0.062       | 0.028        | 0.129       | 0.095        | -0.034       |
| 11 | 金融・資本市場の理解と議論          | -0.01        | 0           | -0.047      | 0.111       | 0.017        | -0.047      | 0.111       | 0.017        | 0.158       | 0.064        | -0.094       |
| 12 | 労働市場の諸課題の理解と議論         | -0.035       | -0.312      | -0.391      | -0.169      | -0.296       | -0.078      | 0.144       | 0.017        | 0.222       | 0.095        | -0.127       |
| 13 | 国際貿易の諸課題の理解と議論         | -0.281       | -0.475      | -0.625      | -0.345      | -0.696       | -0.15       | 0.13        | -0.221       | 0.28        | -0.071       | -0.351       |
| 14 | 途上国経済の諸課題の理解と議論        | -0.141       | -0.041      | -0.234      | 0.072       | -0.129       | -0.194      | 0.112       | -0.089       | 0.306       | 0.105        | -0.201       |
| 15 | 厚生経済学に基づいた経済政策の実証分析と評価 | -0.012       | 0.055       | 0           | 0.111       | 0            | -0.055      | 0.056       | -0.055       | 0.111       | 0            | -0.111       |
| 16 | 法制度の理解に基づいた経済政策の議論     | 0.176        | 0.03        | 0.141       | 0.086       | 0.129        | 0.111       | 0.056       | 0.1          | -0.055      | -0.011       | 0.044        |
| 17 | 新聞・雑誌等の経済記事を批判的に議論する   | 0.153        | -0.054      | -0.25       | 0.095       | 0.121        | -0.196      | 0.149       | 0.175        | 0.345 *     | 0.371        | 0.026        |
| 18 | 学際的共同研究の遂行             | 0.45         | 0.191       | -0.109      | 0.139       | 0.392        | -0.3        | -0.052      | 0.201        | 0.248       | 0.501        | 0.253        |
| 19 | 英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解   | -0.242       | -0.467      | -0.969 ***  | -0.097      | -0.433       | -0.502 **   | 0.37 **     | 0.034        | 0.872 ***   | 0.535        | -0.336       |
| 20 | 英語文献の正確な読解             | -0.347       | -0.32       | -1.016 ***  | -0.227      | -0.442       | -0.696 ***  | 0.093       | -0.122       | 0.789 ***   | 0.574        | -0.215       |
| 21 | 英語以外の外国語文献の正確な読解       | -0.058       | -0.379      | -0.516      | -0.178      | -0.346       | -0.136      | 0.201       | 0.033        | 0.337       | 0.17         | -0.168       |
| 22 | 日本語での論文執筆能力            | 0.114        | -0.34       | -0.859 ***  | -0.4        | -0.229       | -0.519 ***  | -0.06       | 0.111        | 0.459 ***   | 0.63         | 0.171        |
| 23 | 英語での論文執筆能力             | 0.172        | -0.062      | -0.328      | 0.118       | 0.171        | -0.266      | 0.181       | 0.233        | 0.446 ***   | 0.499        | 0.053        |
| 24 | セミナー等での英語による発表・議論      | 0.045        | -0.134      | -0.457      | 0.021       | 0.043        | -0.323      | 0.156       | 0.177        | 0.479 ***   | 0.5          | 0.021        |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す

### 3.2.6 大学内の認識差の有無

各大学内で対象者間の回答傾向に違いがあるかどうかを分散分析と多重比較により分析した結果を図表 41 に示す。分散分析の結果からは、3 つの大学（大学 3、大学 5、大学 6）では重要度のみで、2 つの大学（大学 2 と大学 9）では重要度と習得度の双方で、1 つの大学（大学 10）では習得度のみで対象者間に違いが見られる。2 つの大学（大学 1 と大学 4）では対象者間で違いが見られない。多重比較の結果からは、まず、大学 2 と大学 3 では、重要度において、卒業生と教員の間および卒業生と学生の間で有意差が見られる。重要度において、大学 5 では教員と学生の間および卒業生と教員の間で、大学 6 では卒業生と学生の間で有意差が示されている。大学 9 では教員と学生の習得度で、大学 10 では卒業生と学生の習得度で有意差が見られる。卒業生と教員および卒業生と学生の 2 つのペアがあるのは 5 大学であり、うち 1 大学（大学 10）を例外として、教員と学生は卒業生と比較して重要度も習得度も高く認識する傾向がある。教員と学生ペアの比較が可能な 6 大学のうちで有意差を示すのは 2 大学（大学 5 と大学 9）であるが、重要度では教員が高く認識し（大学 5）、習得度では学生が高く認識している（大学 9）。

各大学内での対象者間の違いが具体的にどのコンピテンスでの違いに基づくのか、分散分析と多重比較により分析した。この結果のうち、重要度を図表 42 に、習得度を図表 43 に示す。まず重要度の分散分析結果を見ると、対象者間で有意差を示すコンピテンス数が大学によって異なることが分かる。大学 3 は 22、大学 6 は 19、大学 9 は 18 のコンピテンスで有意差が示されている。対して大学 4 は 1 つのみ、大学 10 と大学 1 は 5 つと少ない。有意差を示す大学内ペア数の多いコンピテンスは「2. 数学的解法の理解」（9 個）「23. 英語での論文執筆能力」（7 個）、「4. 経済学の古典を参照した議論の実施」「22. 日本語での論文執筆能力」（6 個）である。

有意差を示すコンピテンスの符号からは、大学 2、大学 3、大学 6、大学 9 では負の符号が多いことや対象者の減数と被減数の関係からは、学生の認識が最も高く、教員、卒業生の順に低くなることが分かる。もっとも教員と学生の結果では、大学 1 で負の符号を示すコンピテンスが 1 つで正のコンピテンスは 3 つであり、大学 10 も正のコンピテンスのみが 2 つ示されている。よって、コンピテンスの重要度は大学に関わらず卒業生よりも学生や教員が高く評価し、学生と教員の間は大学によって異なると言える。

次に習得度の分散分析結果を見ると、対象者間で有意差を示すコンピテンス数が大学によって異なることが分かる。大学 6 や大学 9 は 9 つのコンピテンスで有意差が示されている。対して大学 5 は 1 つのみ、また大学 1 と大学 2 は 2 つと少ない。対象者間の違いの有無を多重比較によって見ると、有意差を示す大学間ペア数の多いコンピテンスは「24. セミナー等での英語による発表・議論」「8. 統計データの収集と加工」（4 個）、「2. 数学的解法の理解」「5. 経済学の基礎概念に関する思想的背景の理解」（3 個）である。英語や数学統計のコンピテンスおよび思想等の経済学の基礎的コンピテンスと考えられる。

有意差を示すコンピテンスの符号を見ると、重要度のような分かりやすい結果は示されていない。例えば大学2や大学6および大学9の学生と卒業生の結果は常に負であり、学生—卒業生の差分から、学生が一部コンピテンスの習得度を常に高く認識していることが分かる。しかし大学3や大学4および大学10は逆であり、卒業生が高く認識していることが示されている。大学5では対象者間の違いが全く示されない。

図表 41 大学内の対象別分散分析と多重比較結果（経済学）

|      |          | 大学1   |       | 大学2        |         | 大学3       |       | 大学4    |       |
|------|----------|-------|-------|------------|---------|-----------|-------|--------|-------|
|      |          | 重要度   | 習得度   | 重要度        | 習得度     | 重要度       | 習得度   | 重要度    | 習得度   |
| 分散分析 |          | 0.114 | 0.068 | 10.095 *** | 2.973 * | 4.727 **  | 0.773 | 0.513  | 0.702 |
| 多重比較 | 教員 - 学生  | 0.035 | 0.026 | 0.036      | -0.012  | 0.013     | 0.08  |        |       |
|      | 卒業生 - 学生 |       |       | -0.517 *** | -0.24   | -0.362 ** | -0.06 | -0.079 | 0.1   |
|      | 卒業生 - 教員 |       |       | -0.553 *** | -0.228  | -0.376 ** | -0.14 |        |       |

|      |          | 大学5        |        | 大学6        |        | 大学9     |           | 大学10   |         |
|------|----------|------------|--------|------------|--------|---------|-----------|--------|---------|
|      |          | 重要度        | 習得度    | 重要度        | 習得度    | 重要度     | 習得度       | 重要度    | 習得度     |
| 分散分析 |          | 9.91 ***   | 0.128  | 10.632 *** | 2.277  | 2.408 * | 4.198 **  | 2.063  | 3.048 * |
| 多重比較 | 教員 - 学生  | 0.266 *    | 0.011  |            |        | -0.087  | -0.271 ** | 0.183  | 0.105   |
|      | 卒業生 - 学生 | -0.247     | -0.037 | -0.352 *** | -0.172 | -0.269  | -0.122    | -0.091 | 0.28 *  |
|      | 卒業生 - 教員 | -0.513 *** | -0.048 |            |        | -0.182  | 0.148     | -0.274 | 0.175   |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す

図表 42 コンピテンズ別の大学内比較 (経済学・重要度)

| No | コンピテンズ名                | 大学1       |               |            |               | 大学2        |               |            |               | 大学3        |               |          |               | 大学4      |               |          |               |
|----|------------------------|-----------|---------------|------------|---------------|------------|---------------|------------|---------------|------------|---------------|----------|---------------|----------|---------------|----------|---------------|
|    |                        | 分散分析      | 多重比較<br>教員・学生 | 分散分析       | 多重比較<br>教員・学生 | 分散分析       | 多重比較<br>教員・学生 | 分散分析       | 多重比較<br>教員・学生 | 分散分析       | 多重比較<br>教員・学生 | 分散分析     | 多重比較<br>教員・学生 | 分散分析     | 多重比較<br>教員・学生 | 分散分析     | 多重比較<br>教員・学生 |
| 1  | 経済モデルの数式やグラフを用いた説明     | 0.023     | -0.024        | 13.477 *** | 0.302         | -1.138 *** | -1.44 ***     | 9.989 ***  | 0.337         | -0.466 *** | -0.803 ***    | 0.516    | 0.199         | 0.516    | 0.199         | 0.516    | 0.199         |
| 2  | 数学的解法の理解               | 0.596     | -0.129        | 9.29 ***   | 0.048         | -1.128 *** | -1.176 **     | 6.674 ***  | 0.26          | -0.411 *** | -0.671 **     | 0.116    | -0.083        | 0.116    | -0.083        | 0.116    | -0.083        |
| 3  | 経済システムが形成された歴史的過程の理解   | 5.746 **  | 0.388 **      | 1.051      | 0.032         | -0.375     | -0.407        | 1.517      | 0.028         | -0.213     | -0.241        | 0.592    | 0.209         | 0.592    | 0.209         | 0.592    | 0.209         |
| 4  | 経済学の古典を参照した議論の実施       | 1.195     | 0.194         | 7.384 ***  | -0.857 **     | -0.791 *** | 0.066         | 9.116 ***  | -0.66 ***     | -0.462 *** | 0.198         | 0.643    | -0.208        | 0.643    | -0.208        | 0.643    | -0.208        |
| 5  | 経済学の基礎概念に関する思想的背景の理解   | 0.992     | 0.165         | 4.106 **   | -0.302        | -0.653 **  | -0.352        | 4.819 ***  | -0.484 *      | -0.337 **  | 0.148         | 0.731    | 0.209         | 0.731    | 0.209         | 0.731    | 0.209         |
| 6  | 専門外の人に経済理論を説明          | 3.937 **  | 0.321 **      | 0.942      | 0.19          | -0.326     | -0.516        | 4.627 **   | -0.184        | -0.329 *** | -0.145        | 0.01     | -0.027        | 0.01     | -0.027        | 0.01     | -0.027        |
| 7  | 経済統計の理解と読み取り           | 8.216 *** | 0.41 ***      | 0.329      | 0.238         | 0.04       | -0.198        | 4.68 ***   | 0.238         | -0.148     | -0.386 **     | 0.575    | -0.139        | 0.575    | -0.139        | 0.575    | -0.139        |
| 8  | 統計データの収集と加工            | 7.492 *** | 0.413 ***     | 0.757      | 0.365         | 0.101      | -0.264        | 2.414 *    | 0.249         | -0.072     | -0.322 *      | 1.339    | -0.245        | 1.339    | -0.245        | 1.339    | -0.245        |
| 9  | 計量経済学の手法を用いた経済分析の実施    | 0         | 0.003         | 1.573      | -0.032        | -0.427     | -0.396        | 6.175 ***  | -0.114        | -0.462 *** | -0.347        | 1.804    | -0.34         | 1.804    | -0.34         | 1.804    | -0.34         |
| 10 | 財政的諸課題の理解と議論           | 0.038     | 0.03          | 2.175      | -0.048        | -0.498     | -0.451        | 5.143 ***  | 0.094         | -0.359 *** | -0.453        | 0.543    | -0.179        | 0.543    | -0.179        | 0.543    | -0.179        |
| 11 | 金融・資本市場の理解と議論          | 0.814     | -0.134        | 3.453 **   | 0.016         | -0.578 **  | -0.593        | 5.199 ***  | -0.092        | -0.388 *** | -0.296        | 0.539    | -0.198        | 0.539    | -0.198        | 0.539    | -0.198        |
| 12 | 労働市場の諸課題の理解と議論         | 0.047     | -0.032        | 0.728      | 0.127         | -0.236     | -0.363        | 5.902 ***  | -0.168        | -0.398 *** | -0.23         | 1.433    | -0.287        | 1.433    | -0.287        | 1.433    | -0.287        |
| 13 | 国際貿易の諸課題の理解と議論         | 0.047     | 0.033         | 4.99 ***   | 0.27          | -0.708 **  | -0.978 **     | 5.278 ***  | -0.01         | -0.358 *** | -0.348        | 0.012    | 0.027         | 0.012    | 0.027         | 0.012    | 0.027         |
| 14 | 途上国経済の諸課題の理解と議論        | 0.396     | 0.1           | 1.196      | 0.143         | -0.319     | -0.462        | 6.362 ***  | -0.103        | -0.428 *** | -0.325        | 0.986    | -0.248        | 0.986    | -0.248        | 0.986    | -0.248        |
| 15 | 厚生経済学に基づいた経済政策の実証分析と評価 | 0.51      | 0.115         | 1.119      | -0.492        | -0.151     | 0.341         | 3.018 *    | 0.06          | -0.292 *   | -0.352        | 0.091    | -0.086        | 0.091    | -0.086        | 0.091    | -0.086        |
| 16 | 法制度の理解に基づいた経済政策の議論     | 0.055     | -0.038        | 0.246      | -0.016        | -0.17      | -0.154        | 3.488 **   | 0.21          | -0.275     | -0.485 *      | 4.831 ** | 0.522 **      | 4.831 ** | 0.522 **      | 4.831 ** | 0.522 **      |
| 17 | 新聞・雑誌等の経済記事を批判的に議論する   | 0.205     | 0.066         | 1.094      | 0.349         | -0.222     | -0.571        | 0.134      | -0.088        | -0.033     | 0.056         | 0.479    | -0.105        | 0.479    | -0.105        | 0.479    | -0.105        |
| 18 | 学際的共同研究の遂行             | 0.07      | 0.043         | 2.394 *    | 0.079         | -0.47      | -0.549        | 16.574 *** | 0.025         | -0.71 ***  | -0.735 ***    | 0.406    | -0.167        | 0.406    | -0.167        | 0.406    | -0.167        |
| 19 | 英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解   | 0.27      | -0.09         | 6.241 ***  | 0.556         | -0.73 **   | -1.286 ***    | 2.871 *    | 0.226         | -0.212     | -0.438        | 1.276    | -0.306        | 1.276    | -0.306        | 1.276    | -0.306        |
| 20 | 英語文献の正確な読解             | 0.213     | -0.083        | 2.786 *    | 0.111         | -0.603 *   | -0.714        | 8.242 ***  | 0.187         | -0.505 *** | -0.691 **     | 0.047    | 0.064         | 0.047    | 0.064         | 0.047    | 0.064         |
| 21 | 英語以外の外国語文献の正確な読解       | 7.501 *** | -0.524 ***    | 5.027 ***  | -0.889 **     | -0.636 *   | 0.253         | 2.421 *    | -0.463        | -0.222     | 0.241         | 0.076    | 0.088         | 0.076    | 0.088         | 0.076    | 0.088         |
| 22 | 日本語での論文執筆能力            | 0.122     | 0.058         | 5.104 ***  | 0.397         | -0.735 **  | -1.132 **     | 7.272 ***  | -0.102        | -0.509 *** | -0.407        | 0.12     | -0.09         | 0.12     | -0.09         | 0.12     | -0.09         |
| 23 | 英語での論文執筆能力             | 1.047     | -0.193        | 6.662 ***  | 0.095         | -0.949 *** | -1.044 **     | 10.976 *** | 0.333         | -0.586 *** | -0.92 ***     | 0.359    | -0.193        | 0.359    | -0.193        | 0.359    | -0.193        |
| 24 | セミナー等での英語による発表・議論      | 1.597     | -0.246        | 3.127 **   | 0.175         | -0.705 *   | -0.879        | 10.937 *** | 0.544         | -0.524 *** | -1.068 ***    | 0.958    | -0.317        | 0.958    | -0.317        | 0.958    | -0.317        |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1、表中の数値のう分散分析はF値を多重比較は差分を表す

コンピテンズ別の大学内比較 (経済学・重要度) (Continued)

| No | コンピテンズ名                | 大学5      |               |          |           | 大学6        |             |            |            | 大学9        |               |            |            | 大学10      |               |        |            |
|----|------------------------|----------|---------------|----------|-----------|------------|-------------|------------|------------|------------|---------------|------------|------------|-----------|---------------|--------|------------|
|    |                        | 分散分析     | 多重比較<br>教員・学生 | 卒業生・学生   | 卒業生・教員    | 分散分析       | 多重比較<br>卒業生 | 卒業生・学生     | 卒業生・教員     | 分散分析       | 多重比較<br>教員・学生 | 卒業生・学生     | 卒業生・教員     | 分散分析      | 多重比較<br>教員・学生 | 卒業生・学生 | 卒業生・教員     |
| 1  | 経済モデルの式やグラフを用いた説明      | 3.813 ** | 0.488         | -0.286   | -0.773 ** | 2.6        | -0.23       | -0.362 *** | -0.45      | 8.511 ***  | 0.088         | -0.362 *** | -0.45      | 2.7 *     | 0.692         | -0.026 | -0.718     |
| 2  | 数学的解法の理解               | 4.82 *** | 0.463         | -0.383   | -0.846 ** | 5.956 **   | -0.319 **   | -0.447 *** | -0.935 *** | 14.15 ***  | 0.488         | -0.447 *** | -0.935 *** | 6.743 *** | 0.846 **      | -0.277 | -1.123 *** |
| 3  | 経済システムが形成された歴史的過程の理解   | 3.439 ** | 0.638         | -0.132   | -0.77 **  | 5.448 **   | -0.314 **   | -0.088     | 0.059      | 0.495      | -0.147        | -0.088     | 0.059      | 0.292     | 0.077         | -0.179 | -0.256     |
| 4  | 経済学の古典を参照した議論の実施       | 3.458 ** | 0.394         | -0.288   | -0.682 *  | 8.485 ***  | -0.359 ***  | -0.117     | 0.659 *    | 3.584 **   | -0.776 **     | -0.117     | 0.659 *    | 0.271     | -0.077        | -0.241 | -0.164     |
| 5  | 経済学の基礎概念に関する思想的背景の理解   | 3.475 ** | 0.056         | -0.424 * | -0.481    | 3.279 *    | -0.228 *    | -0.174     | 0.05       | 1.924      | -0.224        | -0.174     | 0.05       | 1.085     | 0.231         | -0.226 | -0.456     |
| 6  | 専門外の人に経済理論を説明          | 3.519 ** | 0.219         | -0.357   | -0.575    | 10.405 *** | -0.468 ***  | -0.138     | 0.051      | 1.27       | -0.188        | -0.138     | 0.051      | 2.899 *   | 0             | -0.528 | -0.528     |
| 7  | 経済統計の理解と読み取り           | 2.592 *  | 0.363         | -0.201   | -0.563    | 2.41       | -0.213      | -0.145     | -0.345     | 2.421 *    | 0.2           | -0.145     | -0.345     | 0.027     | 0             | 0.051  | 0.051      |
| 8  | 統計データの収集と加工            | 0.596    | 0.294         | 0.035    | -0.259    | 2.81 *     | -0.251 *    | 0.007      | -0.258     | 0.559      | 0.265         | 0.007      | -0.258     | 0.608     | -0.077        | 0.195  | 0.272      |
| 9  | 計量経済学の手法を用いた経済分析の実施    | 4.381 ** | 0.269         | -0.451 * | -0.719 *  | 0.773      | -0.125      | -0.27 ***  | -0.494     | 5.288 ***  | 0.224         | -0.27 ***  | -0.494     | 0.635     | 0.308         | -0.046 | -0.354     |
| 10 | 財政的諸課題の理解と議論           | 1.703    | -0.081        | -0.303   | -0.222    | 5.077 **   | -0.304 **   | -0.279 *** | -0.114     | 5.948 ***  | -0.165        | -0.279 *** | -0.114     | 1.994     | 0.615         | 0.087  | -0.528     |
| 11 | 金融・資本市場の理解と議論          | 1.348    | 0.05          | -0.25    | -0.3      | 5.336 **   | -0.297 **   | -0.264 *** | -0.117     | 5.399 ***  | -0.147        | -0.264 *** | -0.117     | 0.313     | 0             | -0.164 | -0.164     |
| 12 | 労働市場の諸課題の理解と議論         | 2.241    | 0.306         | -0.223   | -0.529    | 11.132 *** | -0.434 ***  | -0.208 **  | -0.378     | 3.576 **   | 0.171         | -0.208 **  | -0.378     | 0.028     | 0             | -0.067 | -0.067     |
| 13 | 国際貿易の諸課題の理解と議論         | 2.528 *  | 0.044         | -0.33    | -0.374    | 15.156 *** | -0.517 ***  | -0.404 *** | -0.498     | 12.437 *** | 0.094         | -0.404 *** | -0.498     | 1.535     | -0.333        | -0.383 | -0.05      |
| 14 | 途上国経済の諸課題の理解と議論        | 2.96 *   | 0.3           | -0.272   | -0.572    | 22.191 *** | -0.628 ***  | -0.41 ***  | -0.246     | 11.073 *** | -0.165        | -0.41 ***  | -0.246     | 0.581     | -0.006        | -0.256 | -0.25      |
| 15 | 厚生経済学に基づいた経済政策の実証分析と評価 | 2.865 *  | 0.231         | -0.306   | -0.537    | 5.903 **   | -0.338 **   | -0.35 ***  | 0.121      | 8.206 ***  | -0.471        | -0.35 ***  | 0.121      | 0.283     | 0.212         | -0.005 | -0.217     |
| 16 | 法制度の理解に基づいた経済政策の議論     | 1.374    | 0.231         | -0.197   | -0.428    | 0.257      | -0.075      | -0.131     | 0.328      | 2.021      | -0.459        | -0.131     | 0.328      | 0.402     | 0.212         | 0.262  | 0.05       |
| 17 | 新聞・雑誌等の経済記事の遂行         | 0.045    | 0.069         | 0.034    | -0.035    | 2.015      | -0.171      | -0.145     | -0.204     | 2.013      | 0.059         | -0.145     | -0.204     | 0.688     | -0.269        | -0.236 | 0.033      |
| 18 | 学際的共同研究の遂行             | 2.016    | 0.319         | -0.216   | -0.535    | 3.891 **   | -0.277 **   | -0.305 *** | -0.17      | 5.133 ***  | -0.135        | -0.305 *** | -0.17      | 1.304     | 0.449         | 0.415  | -0.033     |
| 19 | 英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解   | 1.778    | 0.494         | -0.102   | -0.596    | 8.02 ***   | -0.438 ***  | -0.298 *** | -0.828 **  | 8.209 ***  | 0.529         | -0.298 *** | -0.828 **  | 0.021     | -0.064        | -0.031 | 0.033      |
| 20 | 英語文献の正確な読解             | 2.303    | 0.512         | -0.187   | -0.7      | 11.032 *** | -0.498 ***  | -0.446 *** | -0.393     | 10.681 *** | -0.063        | -0.446 *** | -0.393     | 1.722     | 0.551         | -0.082 | -0.633     |
| 21 | 英語以外の外国語文献の正確な読解       | 1.71     | -0.588        | -0.209   | 0.378     | 13.063 *** | -0.525 ***  | -0.261 **  | 0.292      | 3.884 **   | -0.553        | -0.261 **  | 0.292      | 2.462 *   | -0.788        | -0.672 | 0.117      |
| 22 | 日本語での論文執筆能力            | 2.911 *  | 0.556         | -0.184   | -0.741 *  | 12.934 *** | -0.486 ***  | -0.326 *** | -0.338     | 6.135 ***  | 0.012         | -0.326 *** | -0.338     | 3.406 **  | 1.038 **      | 0.272  | -0.767     |
| 23 | 英語での論文執筆能力             | 3.053 *  | 0.562         | -0.262   | -0.824 *  | 7.793 ***  | -0.419 ***  | -0.456 *** | -0.133     | 9.581 ***  | -0.324        | -0.456 *** | -0.133     | 0.753     | 0.359         | -0.108 | -0.467     |
| 24 | セミナー等での英語による発表・議論      | 3.275 ** | 0.206         | -0.425   | -0.631    | 12.731 *** | -0.531 ***  | -0.432 *** | -0.021     | 8.203 ***  | -0.411        | -0.432 *** | -0.021     | 0.781     | 0.423         | 0.066  | -0.357     |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す

図表 43 コンピテンズ別の大学内比較 (経済学・習得度)

| No | コンピテンズ名                | 大学1       |           |          |        | 大学2       |        |           |           | 大学3      |           |          |          | 大学4       |           |          |           |
|----|------------------------|-----------|-----------|----------|--------|-----------|--------|-----------|-----------|----------|-----------|----------|----------|-----------|-----------|----------|-----------|
|    |                        | 多重比較      |           | 多重比較     |        | 多重比較      |        | 多重比較      |           | 多重比較     |           | 多重比較     |          | 多重比較      |           | 多重比較     |           |
|    |                        | 分散分析      | 教員・学生     | 分散分析     | 教員・学生  | 分散分析      | 教員・学生  | 分散分析      | 教員・学生     | 分散分析     | 教員・学生     | 分散分析     | 教員・学生    | 分散分析      | 教員・学生     | 分散分析     | 教員・学生     |
| 1  | 経済モデルの式やグラフを用いた説明      | 0.232     | -0.075    | 2.199    | 0.263  | -0.44     | -0.703 | 1.675     | 0.231     | -0.109   | -0.341    | 2.255    | 0.309    | 0.231     | -0.109    | -0.341   | 0.309     |
| 2  | 数学的解法の理解               | 4.06 **   | -0.336 ** | 1.186    | 0.083  | -0.357    | -0.44  | 2.052     | 0.326     | -0.13    | -0.456    | 0.028    | 0.035    | 0.326     | -0.13     | -0.456   | 0.035     |
| 3  | 経済システムが形成された歴史的過程の理解   | 2.218     | 0.232     | 1.38     | -0.105 | -0.391    | -0.286 | 0.394     | 0.087     | -0.077   | -0.164    | 0.275    | 0.115    | 0.394     | -0.077    | -0.164   | 0.115     |
| 4  | 経済学の古典を参照した議論の実施       | 0.603     | -0.129    | 1.813    | -0.473 | -0.341    | 0.132  | 1.955     | -0.343    | -0.135   | 0.208     | 0.395    | -0.144   | 1.955     | -0.343    | 0.208    | -0.144    |
| 5  | 経済学の基礎概念に関する思想的背景の理解   | 0.05      | -0.034    | 1.647    | -0.489 | -0.126    | 0.363  | 3.978 **  | -0.547 ** | -0.047   | 0.5 **    | 0.219    | 0.088    | 3.978 **  | -0.547 ** | 0.5 **   | 0.088     |
| 6  | 専門外の人に経済理論を説明          | 0.043     | 0.034     | 0.022    | -0.056 | -0.023    | 0.033  | 1.117     | -0.235    | -0.136   | 0.099     | 0.243    | 0.122    | 1.117     | -0.235    | -0.136   | 0.122     |
| 7  | 経済統計の理解と読み取り           | 0.906     | 0.153     | 1.111    | 0.402  | -0.159    | -0.56  | 0.824     | 0.177     | 0.125    | -0.051    | 0.353    | -0.15    | 0.824     | 0.177     | 0.125    | -0.15     |
| 8  | 統計データの収集と加工            | 7.051 *** | 0.459 *** | 0.04     | -0.025 | -0.069    | -0.044 | 4.858 *** | 0.38      | 0.351 ** | -0.029    | 1.095    | -0.285   | 4.858 *** | 0.38      | 0.351 ** | -0.029    |
| 9  | 計量経済学の手法を用いた経済分析の実施    | 0.011     | 0.017     | 0.457    | -0.143 | -0.231    | -0.088 | 0.159     | 0.102     | 0.068    | -0.034    | 0.297    | -0.142   | 0.159     | 0.102     | 0.068    | -0.034    |
| 10 | 財政的諸課題の理解と議論           | 0.001     | 0.004     | 1.642    | -0.185 | -0.405    | -0.22  | 0.427     | 0.13      | -0.062   | -0.192    | 0.049    | 0.051    | 0.427     | 0.13      | -0.062   | -0.192    |
| 11 | 金融・資本市場の理解と議論          | 0.001     | 0.005     | 3.661 ** | -0.152 | -0.668 ** | -0.516 | 0.225     | 0.088     | -0.047   | -0.135    | 0.026    | 0.034    | 0.225     | 0.088     | -0.047   | -0.135    |
| 12 | 労働市場の諸課題の理解と議論         | 0.007     | -0.014    | 0.192    | -0.123 | -0.112    | 0.011  | 0.271     | -0.128    | -0.062   | 0.066     | 0.008    | 0.022    | 0.271     | -0.128    | -0.062   | 0.066     |
| 13 | 国際貿易の諸課題の理解と議論         | 0.001     | -0.005    | 0.8      | 0.002  | -0.294    | -0.297 | 1.468     | 0.302     | 0.029    | -0.273    | 3.412 *  | 0.481 *  | 1.468     | 0.302     | 0.029    | -0.273    |
| 14 | 途上国経済の諸課題の理解と議論        | 0.59      | 0.118     | 1.088    | -0.158 | -0.323    | -0.165 | 1.116     | 0.212     | -0.082   | -0.294    | 1.028    | 0.225    | 1.116     | 0.212     | -0.082   | -0.294    |
| 15 | 厚生経済学に基づいた経済政策の実証分析と評価 | 0.171     | 0.066     | 0.362    | -0.252 | 0.044     | 0.297  | 0.764     | 0.18      | -0.071   | -0.251    | 0        | 0        | 0.764     | 0.18      | -0.071   | -0.251    |
| 16 | 法制度の理解に基づいた経済政策の議論     | 0         | 0         | 0.098    | -0.031 | -0.108    | -0.077 | 0.603     | 0.197     | -0.018   | -0.215    | 0.202    | 0.1      | 0.603     | 0.197     | -0.018   | -0.215    |
| 17 | 新聞・雑誌等の経済記事を批判的に議論する   | 0.38      | 0.104     | 0.253    | 0.214  | -0.038    | -0.253 | 0.774     | -0.13     | -0.128   | 0.003     | 0.089    | 0.083    | 0.774     | -0.13     | -0.128   | 0.003     |
| 18 | 学際的共同研究の遂行             | 0.001     | 0.004     | 0.365    | -0.049 | -0.214    | -0.165 | 2.533 *   | 0.102     | -0.247   | -0.35     | 2.209    | -0.341   | 2.533 *   | 0.102     | -0.247   | -0.35     |
| 19 | 英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解   | 0.056     | 0.04      | 1.432    | 0.234  | -0.381    | -0.615 | 1.768     | 0.005     | -0.242   | -0.247    | 3.748 *  | 0.5 *    | 1.768     | 0.005     | -0.242   | -0.247    |
| 20 | 英語文献の正確な読解             | 0.574     | 0.126     | 0.66     | 0.123  | -0.273    | -0.396 | 1.934     | -0.088    | -0.252   | -0.164    | 2.261    | 0.402    | 1.934     | -0.088    | -0.252   | -0.164    |
| 21 | 英語以外の外国語文献の正確な読解       | 0.288     | -0.079    | 1.041    | -0.17  | -0.236    | -0.066 | 0.651     | -0.19     | 0.057    | 0.247     | 5.368 ** | 0.515 ** | 0.651     | -0.19     | 0.057    | 0.247     |
| 22 | 日本語での論文執筆能力            | 0.077     | 0.045     | 2.498 *  | 0.4    | -0.403    | -0.802 | 0.68      | 0.105     | -0.12    | -0.225    | 0        | -0.005   | 0.68      | 0.105     | -0.12    | -0.225    |
| 23 | 英語での論文執筆能力             | 1.057     | -0.144    | 0.623    | 0.165  | -0.175    | -0.341 | 2.861 *   | 0.358     | -0.136   | -0.495 *  | 2.529    | 0.292    | 2.861 *   | 0.358     | -0.136   | -0.495 *  |
| 24 | セミナー等での英語による発表・議論      | 0.023     | 0.021     | 0.449    | 0.228  | -0.036    | -0.264 | 3.726 **  | 0.598 **  | 0.029    | -0.569 ** | 0.103    | 0.086    | 3.726 **  | 0.598 **  | 0.029    | -0.569 ** |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差をを表す

コンピテンシス別の大学内比較 (経済学・習得度) (Continued)

| No | コンピテンシス名               | 大学5     |        |        |        | 大学6        |            |       |        | 大学9        |           |            |          | 大学10     |          |          |        |
|----|------------------------|---------|--------|--------|--------|------------|------------|-------|--------|------------|-----------|------------|----------|----------|----------|----------|--------|
|    |                        | 分散分析    |        | 多重比較   |        | 分散分析       |            | 多重比較  |        | 分散分析       |           | 多重比較       |          | 分散分析     |          | 多重比較     |        |
|    |                        | 教員・学生   | 卒業生・学生 | 教員・学生  | 卒業生・学生 | 教員・学生      | 卒業生・学生     | 教員・学生 | 卒業生・学生 | 教員・学生      | 卒業生・学生    | 教員・学生      | 卒業生・学生   | 教員・学生    | 卒業生・学生   | 教員・学生    | 卒業生・教員 |
| 1  | 経済モデルの式やグラフを用いた説明      | 0.606   | -0.077 | -0.173 | -0.096 | 0.388      | -0.072     |       |        | 4.398 **   | 0.11      | -0.237 **  | -0.346   | 0.598    | -0.385   | -0.149   | 0.236  |
| 2  | 数学的解法の理解               | 0.812   | -0.128 | -0.219 | -0.091 | 3.995 **   | -0.28 **   |       |        | 13.208 *** | -0.183    | -0.495 *** | -0.312   | 1.026    | -0.385   | -0.354   | 0.031  |
| 3  | 経済システムが形成された歴史的過程の理解   | 0.168   | -0.037 | 0.075  | 0.112  | 2.115      | -0.179     |       |        | 1.224      | -0.418    | -0.055     | 0.363    | 1.804    | -0.462   | 0.128    | 0.59   |
| 4  | 経済学の古典を参照した議論の実施       | 2.196   | -0.392 | 0.117  | 0.509  | 3.074 *    | -0.21 *    |       |        | 2.812 *    | -0.65 *   | -0.088     | 0.562    | 1.462    | -0.308   | 0.144    | 0.451  |
| 5  | 経済学の基礎概念に関する思想的背景の理解   | 1.092   | -0.31  | 0.075  | 0.384  | 1.941      | -0.166     |       |        | 3.087 **   | -0.688 ** | -0.034     | 0.654 *  | 0.696    | -0.308   | 0.036    | 0.344  |
| 6  | 専門外の人に経済理論を説明          | 0.796   | -0.287 | 0.01   | 0.296  | 10.055 *** | -0.398 *** |       |        | 3.309 **   | -0.667 ** | -0.042     | 0.625 ** | 0.643    | -0.154   | 0.159    | 0.313  |
| 7  | 経済統計の理解と読み取り           | 0.014   | -0.045 | -0.022 | 0.024  | 0.643      | -0.114     |       |        | 0.656      | -0.32     | -0.035     | 0.285    | 1.365    | 0.077    | 0.472    | 0.395  |
| 8  | 統計データの収集と加工            | 1.794   | 0.531  | 0.205  | -0.326 | 0.002      | -0.006     |       |        | 0.541      | -0.302    | 0.006      | 0.308    | 5.05 **  | 0.923 ** | 0.877 ** | -0.046 |
| 9  | 計量経済学の手法を用いた経済分析の実施    | 0.35    | 0.088  | -0.105 | -0.193 | 0.852      | 0.134      |       |        | 0.646      | -0.02     | -0.109     | -0.089   | 1.289    | 0.462    | 0.451    | -0.011 |
| 10 | 財政的諸問題の理解と議論           | 0.118   | 0.114  | -0.011 | -0.125 | 2.58       | -0.188     |       |        | 1.524      | -0.246    | -0.146     | 0.101    | 0.753    | 0.308    | 0.344    | 0.036  |
| 11 | 金融・資本市場の理解と議論          | 0.31    | -0.011 | -0.125 | -0.114 | 2.2        | -0.166     |       |        | 0.898      | -0.357    | 0.004      | 0.361    | 0.364    | 0.077    | 0.267    | 0.19   |
| 12 | 労働市場の諸問題の理解と議論         | 0.705   | 0.202  | -0.094 | -0.295 | 2.299      | -0.179     |       |        | 0.974      | -0.387    | 0.007      | 0.394    | 0.548    | 0.154    | 0.344    | 0.19   |
| 13 | 国際貿易の諸問題の理解と議論         | 0.3     | -0.037 | -0.131 | -0.094 | 17.034 *** | -0.495 *** |       |        | 1.078      | -0.239    | -0.122     | 0.118    | 2.026    | 0.564    | 0.097    | -0.467 |
| 14 | 途上国経済の諸問題の理解と議論        | 0.553   | 0.179  | -0.072 | -0.251 | 8.688 ***  | -0.334 *** |       |        | 0.694      | -0.302    | -0.068     | 0.234    | 0.437    | 0.314    | 0.164    | -0.15  |
| 15 | 厚生経済学に基づいた経済政策の実証分析と評価 | 0.551   | -0.278 | -0.133 | 0.146  | 0.716      | -0.108     |       |        | 0.627      | -0.289    | 0.022      | 0.311    | 0.163    | -0.013   | 0.154    | 0.167  |
| 16 | 法制度の理解に基づいた経済政策の議論     | 0.459   | -0.125 | -0.158 | -0.033 | 1.748      | 0.168      |       |        | 0.096      | -0.13     | -0.007     | 0.123    | 1.075    | 0.301    | 0.451    | 0.15   |
| 17 | 新聞・雑誌等の経済記事を批判的に議論する   | 0.611   | 0.224  | 0.164  | -0.06  | 0.631      | -0.095     |       |        | 1.336      | -0.435    | -0.027     | 0.407    | 1.25     | 0.122    | 0.472    | 0.35   |
| 18 | 学際的共同研究の遂行             | 0.098   | 0.088  | -0.028 | -0.116 | 4.686 **   | -0.261 **  |       |        | 1.719      | -0.179    | -0.165     | 0.014    | 2.284    | 0.385    | 0.651    | 0.267  |
| 19 | 英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解   | 1.126   | 0.423  | 0.002  | -0.422 | 1.927      | -0.18      |       |        | 3.111 **   | 0.145     | -0.252 *   | -0.397   | 0.377    | -0.25    | 0.067    | 0.317  |
| 20 | 英語文献の正確な読解             | 0.608   | 0.364  | 0.055  | -0.309 | 3.606 *    | -0.226 *   |       |        | 6.279 ***  | -0.312    | -0.364 *** | -0.052   | 0.146    | -0.173   | 0.01     | 0.183  |
| 21 | 英語以外の外国語文献の正確な読解       | 1.547   | -0.44  | -0.098 | 0.342  | 0.861      | -0.109     |       |        | 2.104      | -0.498    | -0.163     | 0.334    | 0.436    | -0.058   | 0.159    | 0.217  |
| 22 | 日本語での論文執筆能力            | 0.03    | -0.006 | 0.035  | 0.04   | 5.498 **   | -0.279 **  |       |        | 0.271      | -0.032    | -0.07      | -0.038   | 3.369 ** | 0.731 *  | 0.564    | -0.167 |
| 23 | 英語での論文執筆能力             | 0.212   | -0.139 | -0.094 | 0.045  | 2.155      | -0.144     |       |        | 3.49 **    | -0.129    | -0.248 **  | -0.119   | 2.735 *  | 0.173    | 0.656 *  | 0.483  |
| 24 | セミナー等での英語による発表・議論      | 2.505 * | 0.375  | -0.159 | -0.534 | 6.395 **   | -0.248 **  |       |        | 3.678 **   | 0.028     | -0.25 **   | -0.279   | 1.788    | 0.423    | 0.566    | 0.143  |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す



### 3.2.7 企業人との認識差に関する大学間の違い

企業人との認識の近さについて大学別かつ対象者別に比較する。まず図表 44 に順序相関の結果を示す。ここでは、重要度および習得度の認識について、対象者や大学に関わらず高位の相関が示されている。中位程度の相関を示すのは、大学 8 の学生習得度のみである(0.55)。

次に重要度と習得度に関する多重比較の結果を、学生は図表 45 と図表 46 に、教員は図表 47 と図表 48 に、卒業生は図表 49 と図表 50 に示す。有意差を示す全ての結果の符号は正である。減数は常に企業人であることから、学生・教員・卒業生は企業人よりも重要度も習得度も高く認識することが分かる。

まず学生の重要度認識を見ると、大学 3 と大学 9 は全 24 コンピテンスで、残りも凡そ 20 以上のコンピテンスで有意な差がある。有意差を示すコンピテンス数が少ないのは大学 10 であり、他の半分以下の 9 つのコンピテンスで有意差がある。いずれのコンピテンスも 7 から 9 の企業・大学ペアで違いが見られるが、唯一ペア数が少ないのが「8. 統計データの収集と加工」で 2 ペアのみ違いに留まる。次に学生の習得度を見ると、ほとんどの大学は有意差を示すコンピテンス数が 10 以下であり、大学 5 と大学 10 は有意差が示されない。他方で、大学 9 は 22、大学 3 は 16 と多い。コンピテンス別に見ると、5 以下の有意差がほとんどであり、「3. 経済システムが形成された歴史的過程の理解」と「12. 労働市場の諸課題の理解と議論」の 2 つのみ 6 つの大学で有意差が見られる。

教員の重要度を見ると、対象となった 6 大学のうち 2 大学は有意差を示すコンピテンス数が比較的少ない(大学 2 は 7 つ、大学 9 は 11)。その他 4 大学では最も少ない大学 10 でも 17 のコンピテンスに企業人の認識との有意差が見られた。6 大学全てで有意差が示されたコンピテンスは 6 つあり、数学 (No.1,2)、応用経済学 (No.12,14)、そして研究に関するコンピテンス (No.18,22) である。有意差が 1 以下のコンピテンスは 3 つである。教員の習得度を見ると、重要度よりも有意差を示すコンピテンス数が少ない。分散分析では 17 のコンピテンスに有意差が認められる。大学 3 のみ 12 のコンピテンスに企業人との有意差があるが、その他は 0 か 1 である。コンピテンス別に見ても、有意差を示す大学数は、ほぼ 0 か 1 である。

卒業生の重要度に関しては、有意差のあるコンピテンスが多い大学は、大学 9 (23 個)、大学 5 (19 個)、大学 3 (17 個) の 3 大学である。多重比較により、コンピテンス別に有意差を見ると、1 コンピテンスあたり平均して 3 大学で有意差が見られる。習得度では、最も多い有意差を示す大学は大学 9 (18 個)、次いで大学 3 (10 個) である。逆に少ないのは、大学 2 (0 個)、大学 10 (1 個)、大学 6 (3 個) である。コンピテンス別に見ると、4 大学での有意差が示される場合が最も大きく、3 つのコンピテンスで見られる (No. 3, 12, 22)。

コンピテンス別の認識からは、教員や卒業生と比べて学生の違いが相対的に大きく、重要度は習得度よりも多くの有意差が示されている。企業人との認識の比較からは、大学間およ

びコンピテンス間での違いが示されており、企業人と教員の重要度認識では、大学に関わらず、数学、研究、そして応用経済学の一部の重要度認識において有意差が見られた。

図表 44 大学・対象者別の企業人認識との順位相関

|        | 大学1       | 大学2       | 大学3       | 大学4       | 大学5       | 大学6       | 大学8       | 大学9       | 大学10      |
|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 学生重要度  | 0.869 *** | 0.887 *** | 0.881 *** | 0.762 *** | 0.9 ***   | 0.905 *** | 0.875 *** | 0.891 *** | 0.869 *** |
| 学生習得度  | 0.763 *** | 0.783 *** | 0.769 *** | 0.692 *** | 0.837 *** | 0.755 *** | 0.553 *** | 0.789 *** | 0.712 *** |
| 教員重要度  | 0.741 *** | 0.848 *** | 0.694 *** |           | 0.803 *** |           |           | 0.747 *** | 0.74 ***  |
| 教員習得度  | 0.773 *** | 0.722 *** | 0.626 *** |           | 0.665 *** |           |           | 0.582 *** | 0.717 *** |
| 卒業生重要度 |           | 0.788 *** | 0.906 *** | 0.877 *** | 0.907 *** | 0.91 ***  |           | 0.959 *** | 0.903 *** |
| 卒業生習得度 |           | 0.744 *** | 0.829 *** | 0.737 *** | 0.771 *** | 0.843 *** |           | 0.861 *** | 0.783 *** |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1

図表 45 企業人との認識の差異（経済学・学生・重要度）

| No | コンピテンシ<br>名                        | 多重比較      |           |           |           |           |           |           |           |           |
|----|------------------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|    |                                    | 大学1-企業    | 大学2-企業    | 大学3-企業    | 大学4-企業    | 大学5-企業    | 大学6-企業    | 大学8-企業    | 大学9-企業    | 大学10-企業   |
| 1  | 経済モデルの<br>数式やグラフ<br>を用いた説明         | 0.563 *** | 0.677 *** | 0.829 *** | 0.369     | 0.505 *   | 0.363 **  | 0.979 *** | 0.705 *** | 0.385     |
| 2  | 数学的解法の<br>理解                       | 0.907 *** | 0.983 *** | 0.898 *** | 0.587 *** | 0.754 *** | 0.62 ***  | 0.888 *** | 0.828 *** | 0.393     |
| 3  | 経済システム<br>が形成された<br>歴史的過程の<br>理解   | 0.776 *** | 0.654 *** | 0.733 *** | 0.512 **  | 0.534 *   | 0.694 *** | 1.328 *** | 0.718 *** | 0.817 **  |
| 4  | 経済学の古典<br>を参照した議<br>論の実施           | 0.868 *** | 1.007 *** | 0.742 *** | 0.563 **  | 0.699 *** | 0.712 *** | 0.793 *   | 0.769 *** | 0.601     |
| 5  | 経済学の基礎<br>概念に関する<br>思想的背景の<br>理解   | 0.5 ***   | 0.473 *** | 0.543 *** | 0.283     | 0.587 **  | 0.35 **   | 1.1 ***   | 0.566 *** | 0.435     |
| 6  | 専門外の人に<br>経済理論を説<br>明              | 0.602 *** | 0.595 *** | 1 ***     | 0.527 **  | 0.781 *** | 0.741 *** | 1.286 *** | 0.688 *** | 0.962 *** |
| 7  | 経済統計の理<br>解と読み取り                   | 0.248 *** | 0.234     | 0.753 *** | 0.557 *** | 0.481 **  | 0.347 *** | 0.758 *** | 0.543 *** | 0.659 *   |
| 8  | 統計データの<br>収集と加工                    | 0.084     | 0.049     | 0.488 *** | 0.275     | 0.249     | 0.2       | 0.486     | 0.278 *   | 0.381     |
| 9  | 計量経済学の<br>手法を用いた<br>経済分析の実<br>施    | 0.713 *** | 0.682 *** | 1.084 *** | 0.82 ***  | 0.824 *** | 0.57 ***  | 0.936 *** | 0.869 *** | 0.639     |
| 10 | 財政的諸課題<br>の理解と議論                   | 0.626 *** | 0.769 *** | 0.779 *** | 0.633 *** | 0.86 ***  | 0.686 *** | 1.15 ***  | 0.843 *** | 0.425     |
| 11 | 金融・資本市<br>場の理解と議<br>論              | 0.639 *** | 0.813 *** | 0.87 ***  | 0.678 *** | 0.793 *** | 0.704 *** | 0.971 *** | 0.89 ***  | 0.774 **  |
| 12 | 労働市場の諸<br>課題の理解と<br>議論             | 0.814 *** | 0.864 *** | 0.932 *** | 0.867 *** | 0.799 *** | 0.821 *** | 0.991 *** | 0.834 *** | 0.705 *   |
| 13 | 国際貿易の諸<br>課題の理解と<br>議論             | 0.679 *** | 0.728 *** | 0.932 *** | 0.685 *** | 0.868 *** | 0.775 *** | 0.712 **  | 0.918 *** | 0.962 *** |
| 14 | 途上国経済の<br>諸課題の理解<br>と議論            | 0.785 *** | 0.742 *** | 0.988 *** | 0.696 *** | 0.885 *** | 0.831 *** | 0.528     | 0.95 ***  | 0.808 **  |
| 15 | 厚生経済学に<br>基づいた経済<br>政策の実証分<br>析と評価 | 0.832 *** | 0.906 *** | 0.82 ***  | 0.634 *** | 0.954 *** | 0.869 *** | 0.986 *** | 0.856 *** | 0.524     |
| 16 | 法制度の理解<br>に基づいた経<br>済政策の議論         | 0.423 *** | 0.632 *** | 0.459 *** | 0.156     | 0.585 **  | 0.509 *** | 0.545     | 0.475 *** | 0.154     |
| 17 | 新聞・雑誌等<br>の経済記事を<br>批判的に議論<br>する   | 0.215 *   | 0.042     | 0.297 *   | 0.55 ***  | 0.351     | 0.249     | 0.82 ***  | 0.361 *** | 0.589     |
| 18 | 学際的共同研<br>究の遂行                     | 0.911 *** | 0.886 *** | 0.806 *** | 0.838 *** | 0.89 ***  | 0.885 *** | 1.109 *** | 0.944 *** | 0.493     |
| 19 | 英字新聞や英<br>文雑誌の経済<br>記事の正確な<br>読解   | 0.404 *** | 0.313     | 0.968 *** | 0.826 *** | 0.489     | 0.476 *** | 1.154 *** | 0.853 *** | 0.814 *   |
| 20 | 英語文献の正<br>確な読解                     | 0.79 ***  | 0.733 *** | 1.276 *** | 0.94 ***  | 0.817 *** | 0.719 *** | 1.129 *** | 1.082 *** | 0.745     |
| 21 | 英語以外の外<br>国語文献の正<br>確な読解           | 0.617 *** | 0.498 **  | 0.398 *   | 0.486     | 0.511     | 0.591 *** | 0.895 **  | 0.676 *** | 0.862 *   |
| 22 | 日本語での論<br>文執筆能力                    | 0.966 *** | 0.874 *** | 0.976 *** | 1.013 *** | 0.829 *** | 0.744 *** | 0.771 *   | 0.874 *** | 0.447     |
| 23 | 英語での論文<br>執筆能力                     | 0.813 *** | 0.684 *** | 1.073 *** | 0.918 *** | 0.788 *** | 0.663 *** | 1.136 *** | 1.074 *** | 0.658     |
| 24 | セミナー等で<br>の英語による<br>発表・議論          | 0.76 ***  | 0.679 *** | 1.017 *** | 1.066 *** | 0.876 *** | 0.751 *** | 0.854 *   | 0.993 *** | 0.36      |

\*\*\* p&lt;0.01, \*\* p&lt;0.05, \* p&lt;0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す

図表 46 企業人との認識の差異（経済学・学生・習得度）

| No | コンピテンシ<br>名                        | 多重比較      |           |           |           |        |           |           |           |         |
|----|------------------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|-----------|-----------|-----------|---------|
|    |                                    | 大学1-企業    | 大学2-企業    | 大学3-企業    | 大学4-企業    | 大学5-企業 | 大学6-企業    | 大学8-企業    | 大学9-企業    | 大学10-企業 |
| 1  | 経済モデルの<br>数式やグラフ<br>を用いた説明         | 0.128     | 0.493 *** | 0.563 *** | 0.278     | 0.43   | 0.269     | 0.499     | 0.59 ***  | 0.515   |
| 2  | 数学的解法の<br>理解                       | 0.322 *** | 0.459 **  | 0.719 *** | 0.283     | 0.475  | 0.364 **  | 0.522     | 0.839 *** | 0.41    |
| 3  | 経済システム<br>が形成された<br>歴史的過程の<br>理解   | 0.431 *** | 0.515 *** | 0.406 *** | 0.259     | 0.343  | 0.647 *** | 0.924 *** | 0.642 *** | 0.662   |
| 4  | 経済学の古典<br>を参照した議<br>論の実施           | 0.354 *** | 0.49 ***  | 0.257     | 0.383     | 0.24   | 0.528 *** | 0.702 *   | 0.552 *** | 0.225   |
| 5  | 経済学の基礎<br>概念に関する<br>思想的背景の<br>理解   | 0.187     | 0.164     | 0.298     | 0.123     | 0.18   | 0.268     | 0.695 **  | 0.449 *** | 0.192   |
| 6  | 専門外の人に<br>経済理論を説<br>明              | 0.133     | 0.344     | 0.568 *** | 0.238     | 0.328  | 0.445 *** | 0.793 **  | 0.526 *** | 0.167   |
| 7  | 経済統計の理<br>解と読み取り                   | 0.042     | 0.008     | 0.413 *** | 0.533 **  | 0.195  | 0.263     | -0.038    | 0.416 *** | 0.157   |
| 8  | 統計データの<br>収集と加工                    | -0.201    | -0.02     | 0.2       | 0.5 *     | -0.004 | -0.013    | -0.54     | 0.23      | -0.55   |
| 9  | 計量経済学の<br>手法を用いた<br>経済分析の実<br>施    | 0.015     | 0.109     | 0.596 *** | 1.001 *** | 0.203  | 0.1       | -0.291    | 0.33 *    | -0.198  |
| 10 | 財政的諸課題<br>の理解と議論                   | 0.143     | 0.398 *   | 0.352 **  | 0.394     | 0.32   | 0.43 ***  | 0.27      | 0.516 *** | -0.007  |
| 11 | 金融・資本市<br>場の理解と議<br>論              | 0.203     | 0.492 *** | 0.378 **  | 0.27      | 0.429  | 0.424 *** | 0.388     | 0.411 *** | 0.054   |
| 12 | 労働市場の諸<br>課題の理解と<br>議論             | 0.292 *** | 0.39 *    | 0.488 *** | 0.665 *** | 0.468  | 0.475 *** | 0.257     | 0.511 *** | 0.047   |
| 13 | 国際貿易の諸<br>課題の理解と<br>議論             | 0.146     | 0.281     | 0.26      | 0.222     | 0.359  | 0.573 *** | 0.274     | 0.48 ***  | -0.09   |
| 14 | 途上国経済の<br>諸課題の理解<br>と議論            | 0.131     | 0.188     | 0.328 *   | 0.01      | 0.266  | 0.334 **  | 0.105     | 0.374 *** | -0.059  |
| 15 | 厚生経済学に<br>基づいた経済<br>政策の実証分<br>析と評価 | 0.217     | 0.393 *   | 0.367 **  | 0.283     | 0.471  | 0.392 *** | 0.35      | 0.373 *** | 0.13    |
| 16 | 法制度の理解<br>に基づいた経<br>済政策の議論         | -0.021    | 0.126     | 0.003     | -0.068    | 0.219  | 0.004     | -0.172    | 0.124     | -0.29   |
| 17 | 新聞・雑誌等<br>の経済記事を<br>批判的に議論<br>する   | 0.135     | 0.008     | 0.416 *** | 0.238     | 0.102  | 0.165     | 0.308     | 0.442 *** | -0.031  |
| 18 | 学際的共同研<br>究の遂行                     | 0.231     | 0.219     | 0.377 **  | 0.529 **  | 0.406  | 0.34 **   | 0.446     | 0.491 *** | -0.072  |
| 19 | 英字新聞や英<br>文雑誌の経済<br>記事の正確な<br>読解   | -0.202    | -0.242    | 0.543 *** | -0.008    | 0.023  | -0.296    | 0.459     | 0.647 *** | -0.008  |
| 20 | 英語文献の正<br>確な読解                     | 0.002     | 0.055     | 0.852 *** | 0.293     | 0.32   | -0.094    | 0.587     | 0.832 *** | 0.243   |
| 21 | 英語以外の外<br>国語文献の正<br>確な読解           | -0.075    | -0.188    | -0.032    | -0.203    | 0.031  | -0.095    | 0.233     | 0.298 *   | -0.192  |
| 22 | 日本語での論<br>文執筆能力                    | 0.369 *** | 0.432 **  | 0.599 *** | 0.827 *** | 0.447  | 0.242     | 0.06      | 0.492 *** | 0.029   |
| 23 | 英語での論文<br>執筆能力                     | -0.06     | -0.106    | 0.185     | -0.242    | 0.082  | -0.133    | 0.022     | 0.417 *** | -0.435  |
| 24 | セミナー等で<br>の英語による<br>発表・議論          | -0.11     | -0.168    | 0.057     | 0.002     | 0.113  | -0.121    | 0.088     | 0.36 ***  | -0.435  |

\*\*\* p&lt;0.01, \*\* p&lt;0.05, \* p&lt;0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す

図表 47 企業人との認識の差異（経済学・教員・重要度）

| No | コンピテンス名                | 多重比較      |           |           |           |           |           |
|----|------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|    |                        | 大学1-企業    | 大学2-企業    | 大学3-企業    | 大学5-企業    | 大学9-企業    | 大学10-企業   |
| 1  | 経済モデルの数式やグラフを用いた説明     | 0.539 **  | 0.979 **  | 1.167 *** | 0.993 *** | 0.793 *   | 1.077 *** |
| 2  | 数学的解法の理解               | 0.778 *** | 1.031 *** | 1.159 *** | 1.217 *** | 1.317 *** | 1.24 ***  |
| 3  | 経済システムが形成された歴史的過程の理解   | 1.164 *** | 0.686     | 0.761 *** | 1.171 *** | 0.571     | 0.894 *** |
| 4  | 経済学の古典を参照した議論の実施       | 1.062 *** | 0.15      | 0.082     | 1.093 *** | -0.007    | 0.524     |
| 5  | 経済学の基礎概念に関する思想的背景の理解   | 0.666 *** | 0.171     | 0.059     | 0.643     | 0.343     | 0.666     |
| 6  | 専門外の人に経済理論を説明          | 0.923 *** | 0.786     | 0.816 *** | 1 ***     | 0.5       | 0.962 *** |
| 7  | 経済統計の理解と読み取り           | 0.659 *** | 0.472     | 0.991 *** | 0.843 *** | 0.743 **  | 0.659 **  |
| 8  | 統計データの収集と加工            | 0.497 **  | 0.414     | 0.738 *** | 0.543     | 0.543     | 0.304     |
| 9  | 計量経済学の手法を用いた経済分析の実施    | 0.716 *** | 0.65      | 0.969 *** | 1.093 *** | 1.093 *** | 0.947 *** |
| 10 | 財政的諸課題の理解と議論           | 0.655 *** | 0.721     | 0.873 *** | 0.779     | 0.679     | 1.04 ***  |
| 11 | 金融・資本市場の理解と議論          | 0.504     | 0.829     | 0.778 *** | 0.843 *   | 0.743     | 0.774 **  |
| 12 | 労働市場の諸課題の理解と議論         | 0.782 *** | 0.991 **  | 0.764 *** | 1.105 *** | 1.005 *** | 0.705 *   |
| 13 | 国際貿易の諸課題の理解と議論         | 0.712 *** | 0.998 **  | 0.923 *** | 0.912 **  | 1.012 *** | 0.629     |
| 14 | 途上国経済の諸課題の理解と議論        | 0.885 *** | 0.885 *   | 0.885 *** | 1.185 *** | 0.785 **  | 0.802 **  |
| 15 | 厚生経済学に基づいた経済政策の実証分析と評価 | 0.947 *** | 0.414     | 0.88 ***  | 1.186 *** | 0.386     | 0.736 *   |
| 16 | 法制度の理解に基づいた経済政策の議論     | 0.385     | 0.616     | 0.669 **  | 0.816 *   | 0.016     | 0.366     |
| 17 | 新聞・雑誌等の経済記事を批判的に議論する   | 0.282     | 0.392     | 0.209     | 0.42      | 0.42      | 0.32      |
| 18 | 学際的共同研究の遂行             | 0.955 *** | 0.966 **  | 0.831 *** | 1.209 *** | 0.809 **  | 0.942 *** |
| 19 | 英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解   | 0.314     | 0.868     | 1.194 *** | 0.983 **  | 1.383 *** | 0.749 *   |
| 20 | 英語文献の正確な読解             | 0.706 *** | 0.844     | 1.463 *** | 1.329 *** | 1.029 *** | 1.296 *** |
| 21 | 英語以外の外国語文献の正確な読解       | 0.093     | -0.391    | -0.065    | -0.076    | 0.124     | 0.074     |
| 22 | 日本語での論文執筆能力            | 1.024 *** | 1.271 *** | 0.874 *** | 1.386 *** | 0.886 *   | 1.486 *** |
| 23 | 英語での論文執筆能力             | 0.62 ***  | 0.779     | 1.406 *** | 1.35 ***  | 0.75      | 1.017 *** |
| 24 | セミナー等での英語による発表・議論      | 0.513 *   | 0.854     | 1.56 ***  | 1.083 *** | 0.583     | 0.783 **  |

\*\*\* p&lt;0.01, \*\* p&lt;0.05, \* p&lt;0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す

図表 48 企業人との認識の差異（経済学・教員・習得度）

| No | コンピテンス名                | 多重比較      |        |           |          |         |         |
|----|------------------------|-----------|--------|-----------|----------|---------|---------|
|    |                        | 大学1-企業    | 大学2-企業 | 大学3-企業    | 大学5-企業   | 大学9-企業  | 大学10-企業 |
| 1  | 経済モデルの数式やグラフを用いた説明     | 0.053     | 0.756  | 0.794 *** | 0.354    | 0.699   | 0.13    |
| 2  | 数学的解法の理解               | -0.013    | 0.542  | 1.045 *** | 0.347    | 0.656   | 0.025   |
| 3  | 経済システムが形成された歴史的過程の理解   | 0.662 *** | 0.41   | 0.492     | 0.306    | 0.224   | 0.201   |
| 4  | 経済学の古典を参照した議論の実施       | 0.225     | 0.017  | -0.087    | -0.152   | -0.098  | -0.082  |
| 5  | 経済学の基礎概念に関する思想的背景の理解   | 0.154     | -0.324 | -0.249    | -0.13    | -0.239  | -0.116  |
| 6  | 専門外の人に経済理論を説明          | 0.167     | 0.288  | 0.333     | 0.041    | -0.141  | 0.013   |
| 7  | 経済統計の理解と読み取り           | 0.195     | 0.41   | 0.59 **   | 0.15     | 0.095   | 0.234   |
| 8  | 統計データの収集と加工            | 0.258     | -0.044 | 0.58 *    | 0.527    | -0.073  | 0.373   |
| 9  | 計量経済学の手法を用いた経済分析の実施    | 0.032     | -0.033 | 0.698 *** | 0.291    | 0.309   | 0.263   |
| 10 | 財政的諸課題の理解と議論           | 0.147     | 0.213  | 0.482     | 0.433    | 0.27    | 0.301   |
| 11 | 金融・資本市場の理解と議論          | 0.208     | 0.34   | 0.466     | 0.418    | 0.054   | 0.131   |
| 12 | 労働市場の諸課題の理解と議論         | 0.278     | 0.267  | 0.359     | 0.669 ** | 0.124   | 0.201   |
| 13 | 国際貿易の諸課題の理解と議論         | 0.141     | 0.283  | 0.562 **  | 0.322    | 0.241   | 0.474   |
| 14 | 途上国経済の諸課題の理解と議論        | 0.249     | 0.029  | 0.54 *    | 0.445    | 0.072   | 0.255   |
| 15 | 厚生経済学に基づいた経済政策の実証分析と評価 | 0.283     | 0.141  | 0.547 **  | 0.193    | 0.083   | 0.117   |
| 16 | 法制度の理解に基づいた経済政策の議論     | -0.021    | 0.094  | 0.2       | 0.094    | -0.006  | 0.011   |
| 17 | 新聞・雑誌等の経済記事を批判的に議論する   | 0.239     | 0.222  | 0.286     | 0.326    | 0.008   | 0.091   |
| 18 | 学際的共同研究の遂行             | 0.236     | 0.17   | 0.479     | 0.494    | 0.313   | 0.312   |
| 19 | 英字新聞や英文雑誌の経済記事の正確な読解   | -0.162    | -0.008 | 0.548     | 0.447    | 0.792 * | -0.258  |
| 20 | 英語文献の正確な読解             | 0.128     | 0.177  | 0.765 *** | 0.684    | 0.52    | 0.07    |
| 21 | 英語以外の外国語文献の正確な読解       | -0.154    | -0.357 | -0.222    | -0.409   | -0.2    | -0.25   |
| 22 | 日本語での論文執筆能力            | 0.414     | 0.831  | 0.704 **  | 0.442    | 0.46    | 0.76 *  |
| 23 | 英語での論文執筆能力             | -0.204    | 0.06   | 0.544 *   | -0.057   | 0.288   | -0.262  |
| 24 | セミナー等での英語による発表・議論      | -0.089    | 0.06   | 0.655 *** | 0.488    | 0.388   | -0.012  |

\*\*\* p&lt;0.01, \*\* p&lt;0.05, \* p&lt;0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す

図表 49 企業人との認識の差異（経済学・卒業生・重要度）

| No | コンピテンシ<br>名                        | 多重比較   |           |           |           |           |           |
|----|------------------------------------|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|    |                                    | 大学2－企業 | 大学3－企業    | 大学4－企業    | 大学5－企業    | 大学6－企業    | 大学9－企業    |
| 1  | 経済モデルの<br>数式やグラフ<br>を用いた説明         | -0.461 | 0.364     | 0.568     | 0.22      | 0.132     | 0.343 **  |
| 2  | 数学的解法の<br>理解                       | -0.145 | 0.487 *** | 0.504     | 0.371 *   | 0.301     | 0.381 *** |
| 3  | 経済システム<br>が形成された<br>歴史的過程の<br>理解   | 0.279  | 0.52 ***  | 0.721 *   | 0.401 **  | 0.38      | 0.63 ***  |
| 4  | 経済学の古典<br>を参照した議<br>論の実施           | 0.216  | 0.281     | 0.355     | 0.411 **  | 0.353     | 0.652 *** |
| 5  | 経済学の基礎<br>概念に関する<br>思想的背景の<br>理解   | -0.18  | 0.206     | 0.493     | 0.162     | 0.122     | 0.393 *** |
| 6  | 専門外の人に<br>経済理論を説<br>明              | 0.269  | 0.671 *** | 0.5       | 0.425 **  | 0.273     | 0.551 *** |
| 7  | 経済統計の理<br>解と読み取り                   | 0.274  | 0.604 *** | 0.418     | 0.28      | 0.134     | 0.398 *** |
| 8  | 統計データの<br>収集と加工                    | 0.151  | 0.416 *** | 0.03      | 0.284     | -0.051    | 0.285 **  |
| 9  | 計量経済学の<br>手法を用いた<br>経済分析の実<br>施    | 0.254  | 0.622 *** | 0.48      | 0.374 *   | 0.444 **  | 0.599 *** |
| 10 | 財政的諸課題<br>の理解と議論                   | 0.271  | 0.42 **   | 0.454     | 0.557 *** | 0.382     | 0.565 *** |
| 11 | 金融・資本市<br>場の理解と議<br>論              | 0.235  | 0.482 *** | 0.48      | 0.543 *** | 0.406 *   | 0.626 *** |
| 12 | 労働市場の諸<br>課題の理解と<br>議論             | 0.628  | 0.534 *** | 0.58      | 0.576 *** | 0.387 *   | 0.627 *** |
| 13 | 国際貿易の諸<br>課題の理解と<br>議論             | 0.02   | 0.575 *** | 0.712 *   | 0.538 *** | 0.258     | 0.514 *** |
| 14 | 途上国経済の<br>諸課題の理解<br>と議論            | 0.423  | 0.56 ***  | 0.447     | 0.613 *** | 0.203     | 0.539 *** |
| 15 | 厚生経済学に<br>基づいた経済<br>政策の実証分<br>析と評価 | 0.755  | 0.529 *** | 0.548     | 0.649 *** | 0.531 *** | 0.506 *** |
| 16 | 法制度の理解<br>に基づいた経<br>済政策の議論         | 0.462  | 0.184     | 0.678     | 0.388 *   | 0.434 *   | 0.344 **  |
| 17 | 新聞・雑誌等<br>の経済記事を<br>批判的に議論<br>する   | -0.18  | 0.265     | 0.445     | 0.385 *** | 0.078     | 0.216     |
| 18 | 学際的共同研<br>究の遂行                     | 0.416  | 0.096     | 0.671     | 0.674 *** | 0.609 *** | 0.639 *** |
| 19 | 英字新聞や英<br>文雑誌の経済<br>記事の正確な<br>読解   | -0.417 | 0.756 *** | 0.52      | 0.387 *   | 0.037     | 0.555 *** |
| 20 | 英語文献の正<br>確な読解                     | 0.129  | 0.771 *** | 1.004 *** | 0.629 *** | 0.22      | 0.636 *** |
| 21 | 英語以外の外<br>国語文献の正<br>確な読解           | -0.138 | 0.175     | 0.574     | 0.302     | 0.066     | 0.416 *** |
| 22 | 日本語での論<br>文執筆能力                    | 0.139  | 0.467 **  | 0.923 *** | 0.645 *** | 0.258     | 0.548 *** |
| 23 | 英語での論文<br>執筆能力                     | -0.265 | 0.486 **  | 0.725     | 0.526 *** | 0.244     | 0.618 *** |
| 24 | セミナー等で<br>の英語による<br>発表・議論          | -0.025 | 0.492 **  | 0.749     | 0.451 **  | 0.221     | 0.562 *** |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す

図表 50 企業人との認識の差異（経済学・卒業生・習得度）

| No | コンピテン<br>ス名                        | 多重比較   |           |           |           |           |           |           |
|----|------------------------------------|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|    |                                    | 大学2-企業 | 大学3-企業    | 大学4-企業    | 大学5-企業    | 大学6-企業    | 大学9-企業    | 大学10-企業   |
| 1  | 経済モデルの<br>数式やグラフ<br>を用いた説明         | 0.053  | 0.453 *** | 0.587     | 0.258     | 0.196     | 0.353 *** | 0.366     |
| 2  | 数学的解法の<br>理解                       | 0.102  | 0.589 *** | 0.318     | 0.256     | 0.084     | 0.344 *** | 0.056     |
| 3  | 経済システム<br>が形成された<br>歴史的過程の<br>理解   | 0.124  | 0.329     | 0.374     | 0.418 *** | 0.468 *** | 0.587 *** | 0.791 *** |
| 4  | 経済学の古典<br>を参照した議<br>論の実施           | 0.148  | 0.122     | 0.24      | 0.357 **  | 0.318     | 0.464 *** | 0.369     |
| 5  | 経済学の基礎<br>概念に関する<br>思想的背景の<br>理解   | 0.038  | 0.25      | 0.211     | 0.255     | 0.102     | 0.415 *** | 0.228     |
| 6  | 専門外の人に<br>経済理論を説<br>明              | 0.321  | 0.433 *** | 0.359     | 0.338 *   | 0.047     | 0.484 *** | 0.326     |
| 7  | 経済統計の理<br>解と読み取り                   | -0.151 | 0.539 *** | 0.383     | 0.174     | 0.148     | 0.38 ***  | 0.629     |
| 8  | 統計データの<br>収集と加工                    | -0.088 | 0.551 *** | 0.215     | 0.201     | -0.02     | 0.235     | 0.327     |
| 9  | 計量経済学の<br>手法を用いた<br>経済分析の実<br>施    | -0.121 | 0.664 *** | 0.859 *** | 0.099     | 0.234     | 0.22      | 0.252     |
| 10 | 財政的諸課題<br>の理解と議論                   | -0.007 | 0.289     | 0.445     | 0.309     | 0.242     | 0.371 *** | 0.336     |
| 11 | 金融・資本市<br>場の理解と議<br>論              | -0.177 | 0.331 *   | 0.304     | 0.304     | 0.257     | 0.415 *** | 0.321     |
| 12 | 労働市場の諸<br>課題の理解と<br>議論             | 0.278  | 0.425 *** | 0.687 **  | 0.374 **  | 0.296     | 0.518 *** | 0.391     |
| 13 | 国際貿易の諸<br>課題の理解と<br>議論             | -0.013 | 0.289     | 0.703 **  | 0.229     | 0.078     | 0.358 *** | 0.007     |
| 14 | 途上国経済の<br>諸課題の理解<br>と議論            | -0.136 | 0.246     | 0.234     | 0.194     | 0         | 0.306 **  | 0.105     |
| 15 | 厚生経済学に<br>基づいた経済<br>政策の実証分<br>析と評価 | 0.437  | 0.296     | 0.283     | 0.338 *   | 0.283     | 0.395 *** | 0.283     |
| 16 | 法制度の理解<br>に基づいた経<br>済政策の議論         | 0.018  | -0.015    | 0.032     | 0.062     | 0.173     | 0.118     | 0.161     |
| 17 | 新聞・雑誌等<br>の経済記事を<br>批判的に議論<br>する   | -0.031 | 0.288     | 0.32      | 0.266     | 0.07      | 0.415 *** | 0.441     |
| 18 | 学際的共同研<br>究の遂行                     | 0.005  | 0.13      | 0.187     | 0.378 **  | 0.078     | 0.326 **  | 0.579     |
| 19 | 英字新聞や英<br>文雑誌の経済<br>記事の正確な<br>読解   | -0.623 | 0.301     | 0.492     | 0.025     | -0.477 ** | 0.395 *** | 0.059     |
| 20 | 英語文献の正<br>確な読解                     | -0.218 | 0.601 *** | 0.695     | 0.375 *   | -0.32     | 0.468 *** | 0.254     |
| 21 | 英語以外の外<br>国語文献の正<br>確な読解           | -0.423 | 0.024     | 0.312     | -0.067    | -0.203    | 0.134     | -0.033    |
| 22 | 日本語での論<br>文執筆能力                    | 0.029  | 0.479 *** | 0.822 *** | 0.482 *** | -0.037    | 0.422 *** | 0.593     |
| 23 | 英語での論文<br>執筆能力                     | -0.281 | 0.049     | 0.051     | -0.012    | -0.277    | 0.169     | 0.222     |
| 24 | セミナー等で<br>の英語による<br>発表・議論          | -0.204 | 0.086     | 0.088     | -0.046    | -0.369 *  | 0.11      | 0.131     |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す



### 3.2.8 まとめ

重要度と習得度の双方において、特定の大学間および特定のコンピテンスにおける大学間の違いが示された。まず各大学における平均的なコンピテンス認識の差が大きいのは、英語読解の重要度と習得度、経済思想や歴史の重要度、経済統計および研究コンピテンスの習得度である。大学間の相関係数の比較からは、学生と卒業生は大学間で比較的高い相関を示すが、教員は特定の大学間において低位から中程度の相関が認められた。多重比較の結果からは、大学間の違いは特定のペアで示されることが分かった。大学間の違いは、経済学の内容そのものではなく英語読解や統計・計量などのコンピテンスの認識で示された。例えば、学生と卒業生は英語による読解コンピテンスの重要度と習得度、および統計や計量コンピテンスの習得度で大学間ペアの有意差が相対的に多く示されていた。教員の場合は古典の重要度や英語読解の習得度が大学間で異なっていることが示された。同一大学内での学生、教員、卒業生の間の違いを見ると、卒業生を含む組合せで教員と学生の組合せよりも認識の違いが見られた。もっとも一部大学では教員と学生の間でも、違いが認められた。企業人との認識の違いに関しては、教員や卒業生よりも学生の違いが相対的に大きく、習得度よりも重要度で有意差が多く示された。企業人との認識の近さは大学間で異なることが示された。教員の認識のうち、大学に関わらず企業人と異なっているのは、数学や研究に関するコンピテンスの重要度認識である。

## 4. 結果：ビジネス

### 4.1 全体分析

本節では、ビジネス分野における専門コンピテンスの重要度及び習得度について、全対象者をもとに、1) 回答分布、2) 対象者間でのコンピテンス認識の差異、3) コンピテンス項目間での関係性を検討する。さらに、学生と卒業生に対象を限定して、4) かれらの専門理解度・教育満足度・就職（希望）先関連度とコンピテンス認識の関係性についても分析を行う。

#### 4.1.1 専門コンピテンスの回答分布

はじめに、ビジネス分野において、こういった専門コンピテンスを備えていることが仕事を行う上で重要だと思われるのか（「重要度」）、またそれぞれのコンピテンスを大学学部生は卒業時までどの程度習得できていると考えられているのか（「習得度」<sup>21)</sup>）について、各対象者による回答の傾向を見る<sup>22)</sup>。以下、学生、教員、卒業生、企業人の順に、結果（重要度及び習得度の平均値）を示している<sup>23)</sup>。

図表 51 から学生の回答を見ると、重要度（「1.低い」～「4.高い」）については、「仕事の段取りを決めるスキルがある」（3.55）が最も高く、「従来の問題に気づき、代替案を提案」（3.52）、「ビジネスに関する事象や動向を理解し説明」（3.49）、「企業の問題の分析、解決策の作成」（3.48）、「経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解」（3.45）などが上位に位置づいている。習得度（「1.低い」～「4.高い」）については、重要度の上位群とは違いがある。具体的には、「基本概念に基づき企業における人間行動を考察する」（2.88）が最も高く、「経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解」（2.84）、「マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する」（2.82）、「仕事の段取りを決めるスキルがある」（2.76）などが上位にある。他方、「コンサルティングの提案」（1.99）、「ビジネスに関する英語での口頭コミュニケーション」（1.90）、「理論に基づき企業活動を考察する」（1.90）などについては、学部卒業時までの習得度が低く考えられている。ちなみに、図表には明記していないが、重要度と習得度の差分（「重要度」－「習得度」）を見てみると、「ビジネスに関する英語での口頭コミュニケーション」（1.51）、「コンサルティングの提案」（1.07）、「ビジネスに関する事象や動向を理解し説明」（1.05）、「企業の問題の分析、解決策の作成」（1.04）などでは相対的に差が大きい、つまり重要度に比して習得度が低くなっているが、「専門書籍の正確な理解」（0.47）、「基本概念に基づき企業における人間行動を考察する」（0.45）、「分

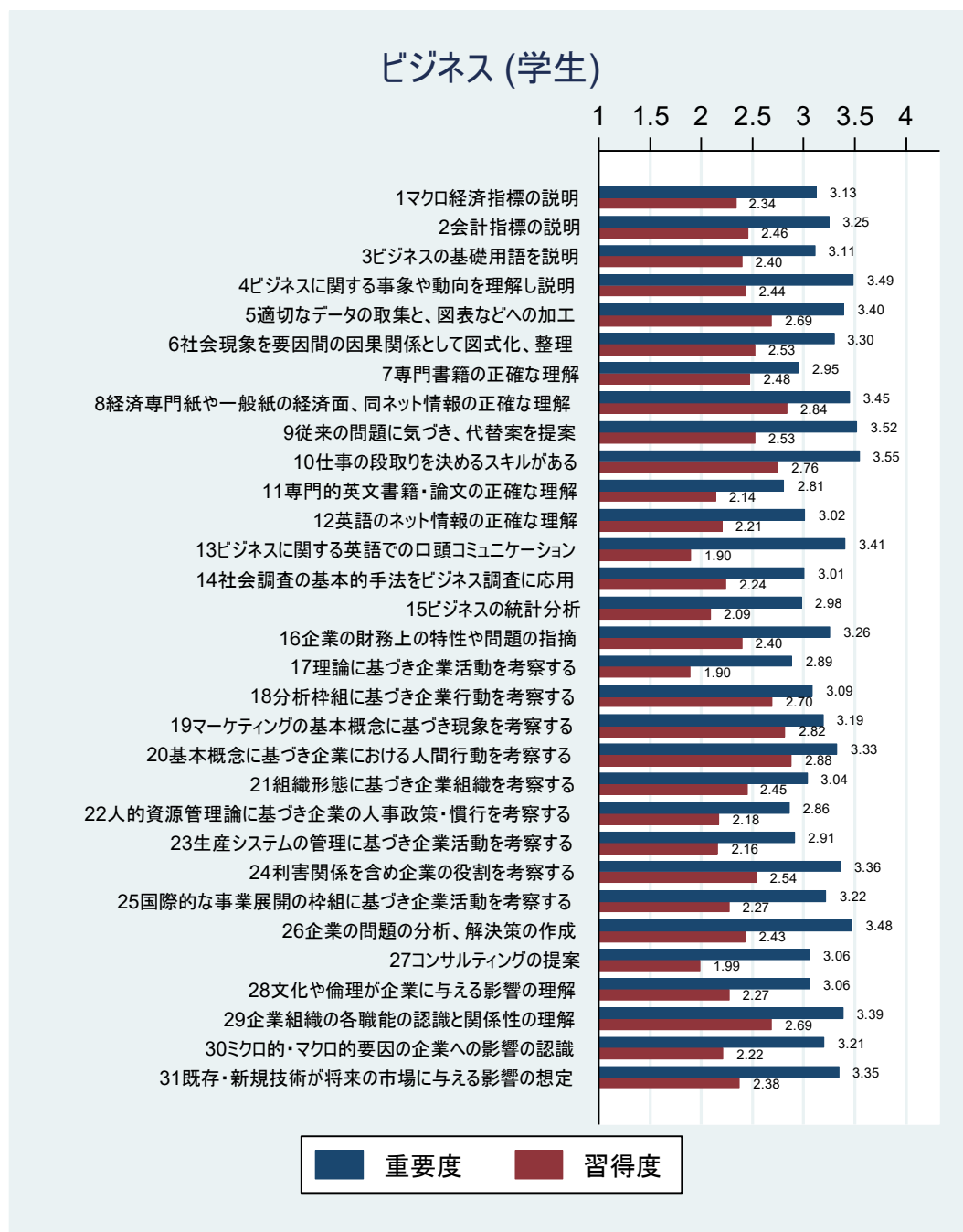
<sup>21)</sup> なお、習得度については、学生及び卒業生には自身の場合を、教員には指導した学生を、企業人には自身が属する部署の新入社員を想定して回答していただいた。

<sup>22)</sup> 重要度・習得度ともに、「1. 低い」から「4. 高い」の4段階で尋ねている。

<sup>23)</sup> より詳細な結果（度数分布等）は、参考資料を参照のこと。

析枠組に基づき企業行動を考察する」(0.39)、「マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する」(0.37) など重要度が中程度に考えられている項目では、相対的に差が小さい。

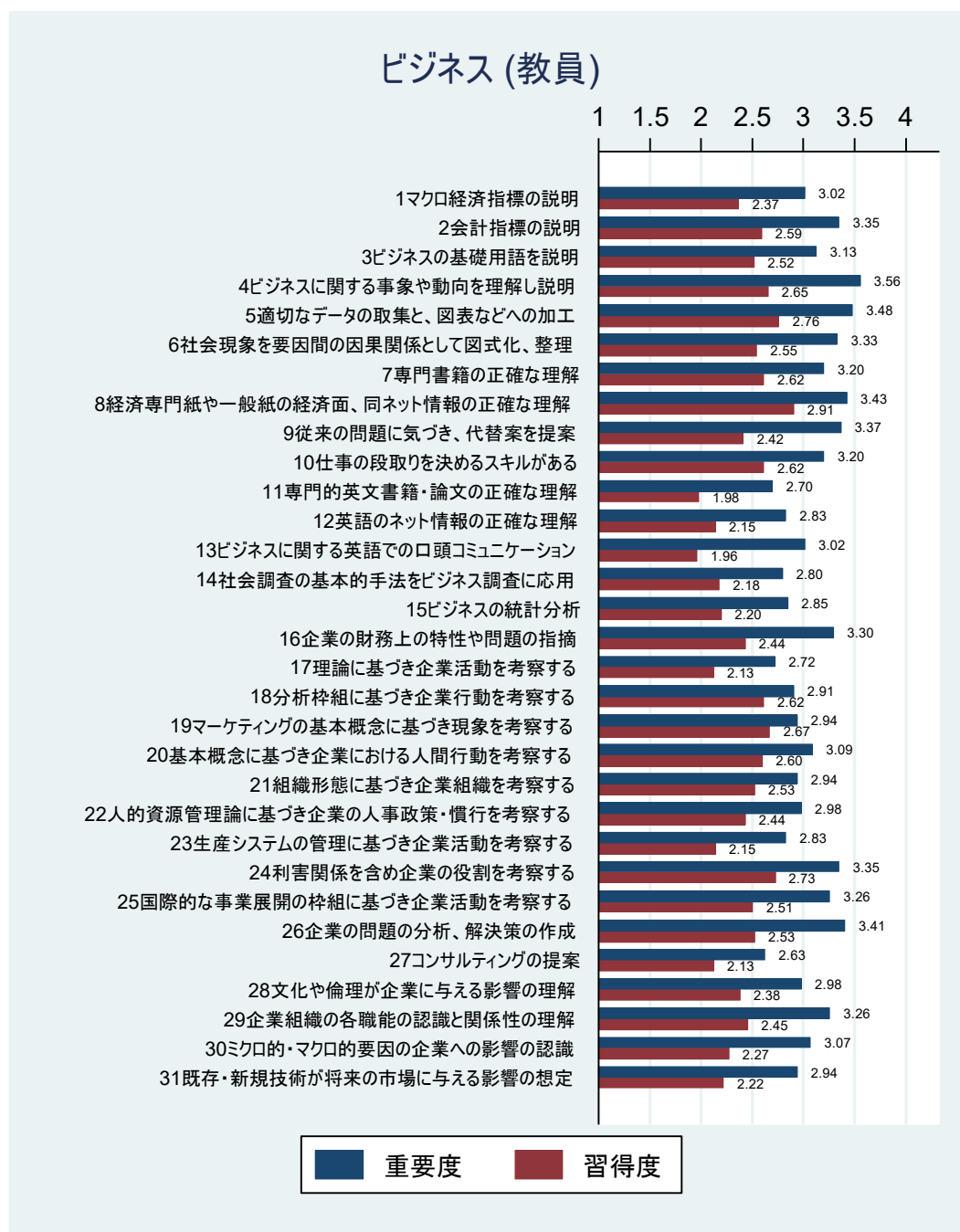
図表 51 専門コンピテンスの重要度・習得度の平均値 (ビジネス、学生)



つづけて図表 52 から教員の回答を見ると、重要度（「1.低い」～「4.高い」）については、「ビジネスに関する事象や動向を理解し説明」(3.56) が最も高く、「適切なデータの取集と、

図表などへの加工」(3.48)、「経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解」(3.43)、「企業の問題の分析、解決策の作成」(3.41)、「従来の問題に気づき、代替案を提案」(3.37)などが上位に位置づいている。学生とは異なり、ビジネスに関わる事象の理解・説明、あるいは分析に関わる項目が、相対的に高い重要度となっている。習得度(「1.低い」～「4.高い」)については、「経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解」(2.91)、「適切なデータの取集と、図表などへの加工」(2.76)、「利害関係を含め企業の役割を考察する」(2.73)、「マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する」(2.67)、「ビジネスに関する事象や動向を理解し説明」(2.65)などが上位である一方、学生の回答と同様、「理論に基づき企業活動を考察する」(2.13)、「コンサルティングの提案」(2.13)、「専門的英文書籍・論文の正確な理解」(1.98)、「ビジネスに関する英語での口頭コミュニケーション」(1.96)などの習得度は低く考えられている。先と同じく図表に明記していないが、重要度と習得度の差分(「重要度」－「習得度」)を見てみると、「ビジネスに関する英語での口頭コミュニケーション」(1.06)、「従来の問題に気づき、代替案を提案」(0.95)、「ビジネスに関する事象や動向を理解し説明」(0.90)、「企業の問題の分析、解決策の作成」(0.88)、「企業の財務上の特性や問題の指摘」(0.86)などで相対的に差が大きく、「基本概念に基づき企業における人間行動を考察する」(0.49)、「組織形態に基づき企業組織を考察する」(0.42)、「分析枠組に基づき企業行動を考察する」(0.29)、「マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する」(0.27)などの項目群では相対的に差が小さい。

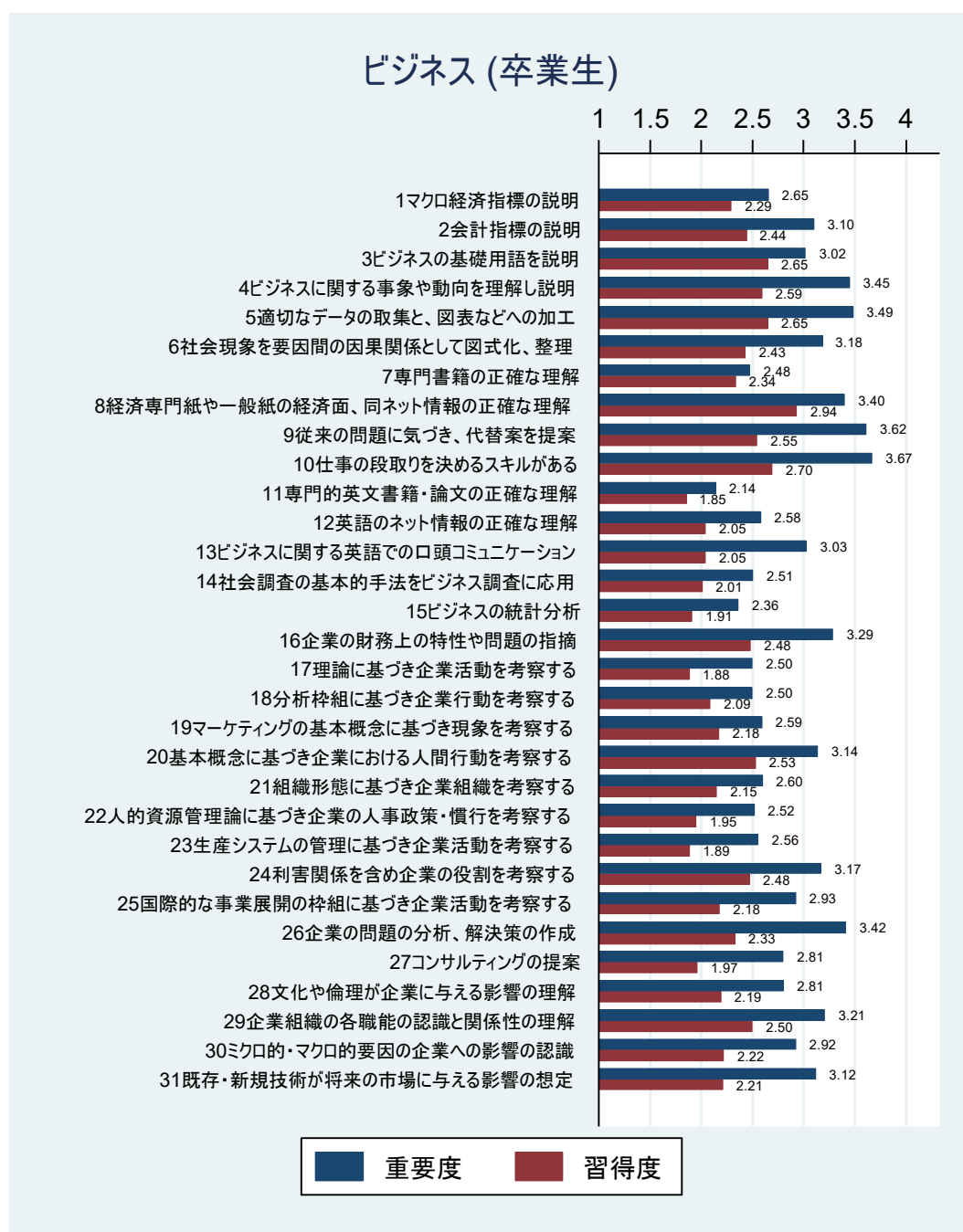
図表 52 専門コンピテンスの重要度・習得度の平均値（ビジネス、教員）



卒業生については、学生や教員それぞれと共通点もあるが、異なる点もいくつか見られる。図表 53 から卒業生の回答を見てみると、重要度（「1.低い」～「4.高い」）については、「仕事の段取りを決めるスキルがある」（3.67）が最も高く、「従来の問題に気づき、代替案を提案」（3.62）、「適切なデータの取集と、図表などへの加工」（3.49）、「ビジネスに関する事象や動向を理解し説明」（3.45）、「企業の問題の分析、解決策の作成」（3.42）などが上位に位

置づいている。習得度（「1.低い」～「4.高い」）については、「経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解」（2.94）、「仕事の段取りを決めるスキルがある」（2.70）、「適切なデータの取集と、図表などへの加工」（2.65）、「ビジネスの基礎用語を説明」（2.65）、「ビジネスに関する事象や動向を理解し説明」（2.59）などが上位にある。他方、「ビジネスの統計分析」（1.91）、「生産システムの管理に基づき企業活動を考察する」（1.89）、「理論に基づき企業活動を考察する」（1.88）、「専門的英文書籍・論文の正確な理解」（1.85）などでは習得度が低くなっている。重要度と習得度の差分（「重要度」－「習得度」）については、重要度が中位から上位である「企業の問題の分析、解決策の作成」（1.08）、「従来の問題に気づき、代替案を提案」（1.07）、「ビジネスに関する英語での口頭コミュニケーション」（0.99）、「仕事の段取りを決めるスキルがある」（0.98）で相対的に差が大きい。一方、「ビジネスの基礎用語を説明」（0.37）、「マクロ経済指標の説明」（0.36）、「専門的英文書籍・論文の正確な理解」（0.29）、「専門書籍の正確な理解」（0.14）など基礎的説明や専門書理解に関わる項目群で差が0.4以下と小さい。

図表 53 専門コンピテンスの重要度・習得度の平均値（ビジネス、卒業生）



最後に、企業人に関しては、経済学の場合もそうであったが、他の対象者と比べて、重要度・習得度ともに全体的に低い傾向にある<sup>24</sup>。図表 54 から企業人の回答を見ると、重要度

<sup>24</sup> 企業人の場合、職位によってコンピテンズ認識が異なる可能性が考えられるため、課長未満と課長以上との間で平均値に差があるのかをt検定をもとに検討した。その結果、重要度では、31項目中、2項目のみが10%水準で有意となった。「既存・新規技術が将来の市場に与え



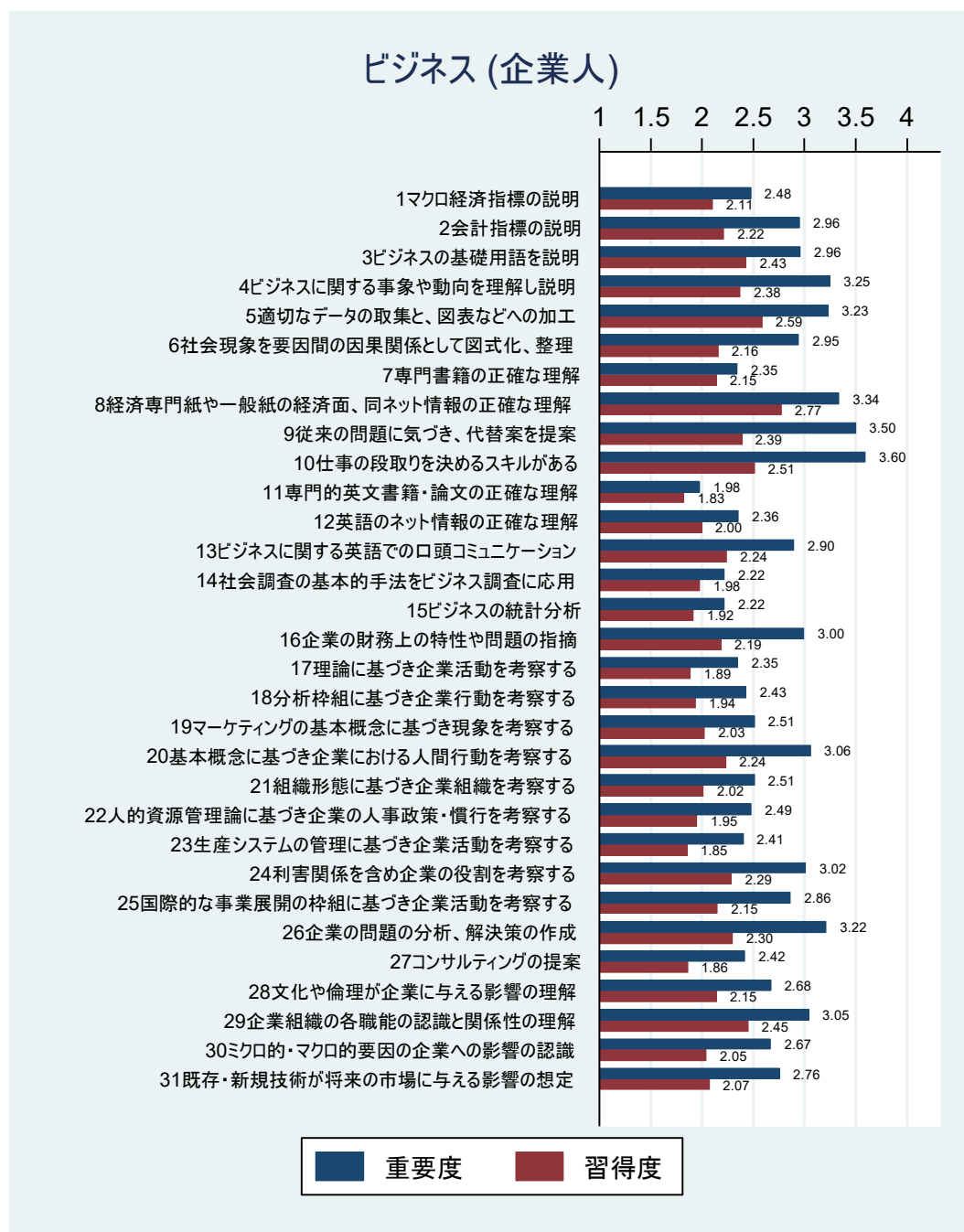
（「1.低い」～「4.高い」）については、「仕事の段取りを決めるスキルがある」（3.60）が最も高く、「従来の問題に気づき、代替案を提案」（3.50）、「経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解」（3.34）、「ビジネスに関する事象や動向を理解し説明」（3.25）、「適切なデータの取集と、図表などへの加工」（3.23）、「企業の問題の分析、解決策の作成」（3.22）などが上位に位置づいている。習得度（「1.低い」～「4.高い」）については、「経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解」（2.77）、「適切なデータの取集と、図表などへの加工」（2.59）、「仕事の段取りを決めるスキルがある」（2.51）、「企業組織の各職能の認識と関係性の理解」（2.45）などが上位にあり、「理論に基づき企業活動を考察する」（1.89）、「コンサルティングの提案」（1.86）、「生産システムの管理に基づき企業活動を考察する」（1.85）、「専門的英文書籍・論文の正確な理解」（1.83）などが下位となっている。重要度と習得度の差分（「重要度」－「習得度」）については、「従来の問題に気づき、代替案を提案」（1.11）、「仕事の段取りを決めるスキルがある」（1.08）、「企業の問題の分析、解決策の作成」（0.92）などで相対的に差が大きくなっているが、「ビジネスの統計分析」（0.30）、「社会調査の基本的手法をビジネス調査に応用」（0.24）、「専門書籍の正確な理解」（0.20）、「専門的英文書籍・論文の正確な理解」（0.15）など調査・分析手法や専門書理解に関わる項目群で差が0.3以下と小さい。なお、他の対象者の場合に大きかった「ビジネスに関する英語での口頭コミュニケーション」の差分は、企業人では0.66とそれほど大きくない。

---

る影響の想定」と「会計指標の説明」である。前者は課長以上よりも課長未満で、後者は課長未満よりも課長以上で重要度の評価が高い。他方、習得度では、9項目が5%水準以下で有意となった。「マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する」、「企業の問題の分析、解決策の作成」、「従来の問題に気づき、代替案を提案」などである。いずれの項目でも、課長以上よりも課長未満で習得度の評価が高い。企業人内での差異に関するより詳細な分析は今後の課題としたい。



図表 54 専門コンピテンスの重要度・習得度の平均値（ビジネス、企業人）



#### 4.1.2 対象者間での専門コンピテンズ認識の差異

つぎに、ビジネスにおける専門コンピテンズの重要度・習得度の認識が、対象者間でどのように異なっているのかを検討する。

図表 55 に示しているのが、分散分析（ANOVA）・多重比較（Bonferroni 法）をもとに、

対象者（4 者）間での専門コンピテンス・重要度の差異を検討した結果である。図表には、分散分析の列に F 値、多重比較の列に対象 2 者間の平均差を記載している（図表 56 も同様）。

図表 55 から分散分析の結果を見てみると、「ビジネスの基礎用語を説明」、「経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解」以外の項目において、対象者間での重要度認識の統計的に有意な差異が確認される。

また、多重比較の結果をあわせて見ると、学生と卒業生・企業人との間で重要度認識の違いが大きく、学生の方が卒業生・企業人よりも評価が高い項目が多いことが読み取れる<sup>25</sup>。卒業生と学生の間では「専門的英文書籍・論文の正確な理解」(-0.671)、「ビジネスの統計分析」(-0.619)、「マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する」(-0.601)、企業人と学生の間では「専門的英文書籍・論文の正確な理解」(-0.829)、「社会調査の基本的手法をビジネス調査に応用」(-0.786)、「ビジネスの統計分析」(-0.758)での平均差が特に大きい。

対象 2 者間での重要度認識の違いが比較的小さいと言えるのは教員と学生間であり、同 2 者間で統計的に有意な平均差が示されたのは、「仕事の段取りを決めるスキルがある」(-0.345)、「ビジネスに関する英語での口頭コミュニケーション」(-0.391)、「コンサルティングの提案」(-0.431)、「既存・新規技術が将来の市場に与える影響の想定」(-0.405)の 4 項目のみである。

他方、分散分析（ANOVA）・多重比較（Bonferroni 法）をもとに、対象者（4 者）間での専門コンピテンス・習得度の差異を検討した結果が、図表 56 である。

図表 56 から分散分析の結果を見てみると、「適切なデータの取集と、図表などへの加工」、「経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解」、「従来の問題に気づき、代替案を提案」、「理論に基づき企業活動を考察する」、「企業の問題の分析、解決策の作成」、「コンサルティングの提案」、「文化や倫理が企業に与える影響の理解」、「ミクロ的・マクロ的要因の企業への影響の認識」の 8 項目以外において、対象者間での習得度認識の統計的に有意な差異が確認される。

また、多重比較の結果をあわせて見ると、学生と卒業生・企業人との間で習得度認識の違いが大きく、学生の方が卒業生・企業人よりも評価が高い項目が多いことが読み取れる<sup>26</sup>（ただし、重要度の場合と比べて、統計的に有意な差が確認された項目は少ない）。卒業生と学生の間では「マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する」(-0.645)、「分析枠組に基づき企業行動を考察する」(-0.604)、企業人と学生の間では「マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する」(-0.795)、「分析枠組に基づき企業行動を考察する」(-0.761)、「基本

<sup>25</sup> なお、専門コンピテンス・重要度の全体平均（図表最下行）もとにした多重比較の結果を見てみると、企業人と学生間で平均差が-0.43 と、他の対象者ペアと比べて大きくなっているが、企業人と教員間での平均差も-0.328 と同程度に大きい。

<sup>26</sup> ただし、専門コンピテンス・習得度の全体平均（図表最下行）もとにした多重比較の結果を見てみると、企業人と学生あるいは教員との間での平均差は統計的に有意となっているが、卒業生と学生間の平均差は有意となっていない。

概念に基づき企業における人間行動を考察する」(-0.648)での平均差が特に大きい。

対象2者間での習得度認識の違いが比較的小さいと言えるのは、重要度の場合と同様、教員と学生間であり、同2者間で統計的に有意な平均差が示された項目はない。さらに、企業人と卒業生間、卒業生と教員間でも、統計的に有意な平均差のある項目は少ない。前者（企業人 - 卒業生）では「ビジネスに関する事象や動向を理解し説明」(-0.214)、「社会現象を要因間の因果関係として図式化、整理」(-0.271)、「企業の財務上の特性や問題の指摘」(-0.294)、「基本概念に基づき企業における人間行動を考察する」(-0.296)の4項目、後者（卒業生 - 教員）では「専門書籍の正確な理解」(-0.281)、「分析枠組に基づき企業行動を考察する」(-0.526)、「マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する」(-0.496)、「組織形態に基づき企業組織を考察する」(-0.374)、「人的資源管理論に基づき企業の人事政策・慣行を考察する」(-0.484)、「国際的な事業展開の枠組に基づき企業活動を考察する」(-0.329)の6項目のみである。

図表 55 対象者間での専門コンピテンス・重要度の差異（ビジネス）

| №  | コンピテンス名                    | 分散分析       | 多重比較       |            |            |            |            |            |
|----|----------------------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
|    |                            |            | 教員—<br>学生  | 卒業生<br>—学生 | 企業—<br>学生  | 卒業生<br>—教員 | 企業—<br>教員  | 企業—<br>卒業生 |
| 1  | マクロ経済指標の説明                 | 32.047 *** | -0.107     | -0.471 *** | -0.644 *** | -0.364 **  | -0.536 *** | -0.172     |
| 2  | 会計指標の説明                    | 5.749 ***  | 0.101      | -0.147 **  | -0.296 *** | -0.248     | -0.396 **  | -0.148     |
| 3  | ビジネスの基礎用語を説明               | 1.54       | 0.015      | -0.095     | -0.15      | -0.11      | -0.165     | -0.055     |
| 4  | ビジネスに関する事象や動向を理解し説明        | 3.845 ***  | 0.065      | -0.044     | -0.241 *** | -0.108     | -0.306 *   | -0.197 **  |
| 5  | 適切なデータの取集と、図表などへの加工        | 4.344 ***  | 0.084      | 0.088      | -0.166     | 0.004      | -0.249     | -0.254 *** |
| 6  | 社会現象を要因間の因果関係として図式化、整理     | 7.129 ***  | 0.036      | -0.114     | -0.351 *** | -0.15      | -0.387 **  | -0.237 **  |
| 7  | 専門書籍の正確な理解                 | 37.915 *** | 0.253      | -0.472 *** | -0.603 *** | -0.724 *** | -0.855 *** | -0.131     |
| 8  | 経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解 | 0.837      | -0.024     | -0.046     | -0.111     | -0.022     | -0.087     | -0.065     |
| 9  | 従来の問題に気づき、代替案を提案           | 3.629 **   | -0.153     | 0.092      | -0.023     | 0.245 **   | 0.13       | -0.116     |
| 10 | 仕事の段取りを決めるスキルがある           | 10.548 *** | -0.345 *** | 0.123 **   | 0.049      | 0.468 ***  | 0.395 ***  | -0.073     |
| 11 | 専門的英文書籍・論文の正確な理解           | 57.037 *** | -0.108     | -0.671 *** | -0.829 *** | -0.563 *** | -0.722 *** | -0.158     |
| 12 | 英語のネット情報の正確な理解             | 28.217 *** | -0.183     | -0.433 *** | -0.659 *** | -0.25      | -0.476 *** | -0.226 *   |
| 13 | ビジネスに関する英語での口頭コミュニケーション    | 20.366 *** | -0.391 *** | -0.375 *** | -0.508 *** | 0.016      | -0.117     | -0.133     |
| 14 | 社会調査の基本的手法をビジネス調査に応用       | 39.926 *** | -0.213     | -0.502 *** | -0.786 *** | -0.289     | -0.573 *** | -0.284 *** |
| 15 | ビジネスの統計分析                  | 49.704 *** | -0.13      | -0.619 *** | -0.758 *** | -0.489 *** | -0.629 *** | -0.14      |
| 16 | 企業の財務上の特性や問題の指摘            | 3.99 ***   | 0.035      | 0.026      | -0.261 **  | -0.009     | -0.296     | -0.287 *** |
| 17 | 理論に基づき企業活動を考察する            | 21.215 *** | -0.166     | -0.388 *** | -0.537 *** | -0.222     | -0.371 **  | -0.149     |
| 18 | 分析枠組に基づき企業行動を考察する          | 41.689 *** | -0.181     | -0.587 *** | -0.656 *** | -0.406 *** | -0.475 *** | -0.069     |
| 19 | マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する    | 40.971 *** | -0.249     | -0.601 *** | -0.68 ***  | -0.352 **  | -0.431 **  | -0.079     |
| 20 | 基本概念に基づき企業における人間行動を考察する    | 6.204 ***  | -0.238     | -0.192 *** | -0.268 *** | 0.046      | -0.03      | -0.076     |
| 21 | 組織形態に基づき企業組織を考察する          | 29.812 *** | -0.095     | -0.441 *** | -0.526 *** | -0.345 **  | -0.431 *** | -0.086     |
| 22 | 人的資源管理論に基づき企業の人事政策・慣行を考察する | 17.286 *** | 0.117      | -0.346 *** | -0.378 *** | -0.463 *** | -0.495 *** | -0.032     |
| 23 | 生産システムの管理に基づき企業活動を考察する     | 20.18 ***  | -0.08      | -0.354 *** | -0.508 *** | -0.273     | -0.428 *** | -0.155     |
| 24 | 利害関係を含め企業の役割を考察する          | 8.138 ***  | -0.013     | -0.192 *** | -0.346 *** | -0.18      | -0.334 *   | -0.154     |
| 25 | 国際的な事業展開の枠組に基づき企業活動を考察する   | 12.982 *** | 0.037      | -0.297 *** | -0.358 *** | -0.334 **  | -0.394 **  | -0.061     |
| 26 | 企業の問題の分析、解決策の作成            | 3.89 ***   | -0.069     | -0.061     | -0.26 ***  | 0.008      | -0.191     | -0.2 *     |
| 27 | コンサルティングの提案                | 19.188 *** | -0.431 *** | -0.256 *** | -0.637 *** | 0.176      | -0.206     | -0.382 *** |
| 28 | 文化や倫理が企業に与える影響の理解          | 10.552 *** | -0.077     | -0.251 *** | -0.383 *** | -0.174     | -0.306     | -0.132     |
| 29 | 企業組織の各職能の認識と関係性の理解         | 7.378 ***  | -0.127     | -0.175 *** | -0.341 *** | -0.048     | -0.214     | -0.166     |
| 30 | ミクロ的・マクロ的要因の企業への影響の認識      | 17.463 *** | -0.132     | -0.283 *** | -0.533 *** | -0.151     | -0.401 **  | -0.25 **   |
| 31 | 既存・新規技術が将来の市場に与える影響の想定     | 19.149 *** | -0.405 *** | -0.232 *** | -0.587 *** | 0.172      | -0.183     | -0.355 *** |
|    | 全体（平均）                     | 10.043 *** | -0.102     | -0.268 **  | -0.43 ***  | -0.166     | -0.328 *** | -0.162     |

\*\*\* p&lt;0.01, \*\* p&lt;0.05, \* p&lt;0.1。表中の数値のうち、分散分析はF値、多重比較は差分を表す。

図表 56 対象者間での専門コンピテンス・習得度の差異（ビジネス）

| №  | コンピテンス名                    | 分散分析       | 多重比較      |            |            |            |            |            |
|----|----------------------------|------------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|
|    |                            |            | 教員—<br>学生 | 卒業生<br>—学生 | 企業—<br>学生  | 卒業生<br>—教員 | 企業—<br>教員  | 企業—<br>卒業生 |
| 1  | マクロ経済指標の説明                 | 2.663 **   | 0.031     | -0.045     | -0.231 **  | -0.076     | -0.262     | -0.186     |
| 2  | 会計指標の説明                    | 2.754 **   | 0.135     | -0.016     | -0.241 *   | -0.151     | -0.376 *   | -0.226     |
| 3  | ビジネスの基礎用語を説明               | 5.636 ***  | 0.12      | 0.254 ***  | 0.034      | 0.134      | -0.086     | -0.22      |
| 4  | ビジネスに関する事象や動向を理解し説明        | 4.376 ***  | 0.218     | 0.156 **   | -0.058     | -0.062     | -0.276     | -0.214 *   |
| 5  | 適切なデータの取集と、図表などへの加工        | 0.751      | 0.071     | -0.04      | -0.107     | -0.111     | -0.178     | -0.067     |
| 6  | 社会現象を要因間の因果関係として図式化、整理     | 5.939 ***  | 0.02      | -0.092     | -0.363 *** | -0.112     | -0.383 **  | -0.271 **  |
| 7  | 専門書籍の正確な理解                 | 7.284 ***  | 0.137     | -0.144 **  | -0.336 *** | -0.281 *   | -0.473 *** | -0.191     |
| 8  | 経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解 | 1.871      | 0.072     | 0.099      | -0.062     | 0.027      | -0.134     | -0.161     |
| 9  | 従来の問題に気づき、代替案を提案           | 1.294      | -0.107    | 0.019      | -0.135     | 0.127      | -0.027     | -0.154     |
| 10 | 仕事の段取りを決めるスキルがある           | 2.625 **   | -0.137    | -0.06      | -0.241 **  | 0.077      | -0.105     | -0.182     |
| 11 | 専門的英文書籍・論文の正確な理解           | 9.828 ***  | -0.161    | -0.288 *** | -0.314 *** | -0.128     | -0.153     | -0.025     |
| 12 | 英語のネット情報の正確な理解             | 3.197 **   | -0.062    | -0.16 **   | -0.208     | -0.098     | -0.145     | -0.047     |
| 13 | ビジネスに関する英語での口頭コミュニケーション    | 4.601 ***  | 0.062     | 0.143      | 0.341 ***  | 0.081      | 0.28       | 0.198      |
| 14 | 社会調査の基本的手法をビジネス調査に応用       | 6.604 ***  | -0.061    | -0.235 *** | -0.261 **  | -0.173     | -0.2       | -0.027     |
| 15 | ビジネスの統計分析                  | 4.197 ***  | 0.106     | -0.182 **  | -0.175     | -0.288     | -0.281     | 0.007      |
| 16 | 企業の財務上の特性や問題の指摘            | 2.801 **   | 0.035     | 0.082      | -0.212     | 0.046      | -0.247     | -0.294 **  |
| 17 | 理論に基づき企業活動を考察する            | 1.224      | 0.232     | -0.012     | -0.004     | -0.244     | -0.236     | 0.008      |
| 18 | 分析枠組に基づき企業行動を考察する          | 39.563 *** | -0.079    | -0.604 *** | -0.761 *** | -0.526 *** | -0.682 *** | -0.156     |
| 19 | マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する    | 41.62 ***  | -0.149    | -0.645 *** | -0.795 *** | -0.496 *** | -0.645 *** | -0.149     |
| 20 | 基本概念に基づき企業における人間行動を考察する    | 22.182 *** | -0.284    | -0.352 *** | -0.648 *** | -0.068     | -0.364 *   | -0.296 *** |
| 21 | 組織形態に基づき企業組織を考察する          | 14.081 *** | 0.08      | -0.294 *** | -0.429 *** | -0.374 **  | -0.509 *** | -0.135     |
| 22 | 人的資源管理論に基づき企業の人事政策・慣行を考察する | 9.456 ***  | 0.257     | -0.227 *** | -0.224 *   | -0.484 *** | -0.482 *** | 0.002      |
| 23 | 生産システムの管理に基づき企業活動を考察する     | 10.79 ***  | -0.018    | -0.276 *** | -0.309 *** | -0.258     | -0.291     | -0.033     |
| 24 | 利害関係を含め企業の役割を考察する          | 3.972 ***  | 0.186     | -0.065     | -0.251 **  | -0.251     | -0.436 **  | -0.185     |
| 25 | 国際的な事業展開の枠組に基づき企業活動を考察する   | 3.182 **   | 0.236     | -0.092     | -0.118     | -0.329 **  | -0.355 *   | -0.026     |
| 26 | 企業の問題の分析、解決策の作成            | 2.064      | 0.092     | -0.102     | -0.135     | -0.195     | -0.227     | -0.033     |
| 27 | コンサルティングの提案                | 1.228      | 0.138     | -0.024     | -0.125     | -0.162     | -0.264     | -0.102     |
| 28 | 文化や倫理が企業に与える影響の理解          | 1.78       | 0.111     | -0.08      | -0.126     | -0.191     | -0.236     | -0.046     |
| 29 | 企業組織の各職能の認識と関係性の理解         | 4.668 ***  | -0.234    | -0.188 *** | -0.239 *   | 0.045      | -0.005     | -0.05      |
| 30 | ミクロ的・マクロ的要因の企業への影響の認識      | 1.721      | 0.055     | 0.005      | -0.172     | -0.05      | -0.227     | -0.177     |
| 31 | 既存・新規技術が将来の市場に与える影響の想定     | 4.952 ***  | -0.155    | -0.164 **  | -0.304 *** | -0.008     | -0.149     | -0.141     |
|    | 全体（平均）                     | 6.836 ***  | 0.031     | -0.117     | -0.233 *** | -0.148     | -0.263 *** | -0.115     |

\*\*\* p&lt;0.01, \*\* p&lt;0.05, \* p&lt;0.1。表中の数値のうち、分散分析はF値、多重比較は差分を表す。

#### 4.1.3 専門コンピテンス間の関係性

以上では、ビジネスにおける専門コンピテンスそれぞれを個別に検討し、対象者間での重要度及び習得度に関わる認識の差異を確認した。つづく本項では、重要度・習得度の点で、各コンピテンス間にはどのような関係性が見られるのかを、相関分析及び因子分析をもとに検討する。

まず、ビジネスにおける専門コンピテンス（31 項目）間の相関係数を見る。重要度に関する相関関係は図表 57 に、習得度に関する相関関係は図表 58 に示している<sup>27</sup>。

図表 57 から重要度の相関係数を見ると、ほとんどの項目間（ペア）において 1%水準で統計的に有意な相関があることがわかる。ただし、「仕事の段取りを決めるスキルがある」と「専門書籍の正確な理解」（0.058）、「仕事の段取りを決めるスキルがある」と「専門的英文書籍・論文の正確な理解」（0.05）については相関係数がかなり低く、5%水準以下で統計的に有意となっていない。また、全体的として、相関係数が 0.3 以下のペアが大半であり、「分析枠組に基づき企業行動を考察する」と「マーケティングの基本理念に基づき現象を考察する」（0.715）、「専門的英文書籍・論文の正確な読解」と「英語のネット情報の正確な理解」（0.658）、「組織形態に基づき企業組織を考察する」と「人的資源管理論に基づき企業の人事政策・慣行を考察する」（0.6）の 3 ペアのみ、相関係数が 0.6 以上となっている。

習得度については、すべてのペアにおいて 1%水準で統計的に有意な結果が得られたが、重要度の場合と同様、相関係数が 0.3 以下のペアが多数を占める（図表 58）。相関係数が 0.6 以上のペアは、「分析枠組に基づき企業行動を考察する」と「マーケティングの基本理念に基づき現象を考察する」（0.733）、「専門的英文書籍・論文の正確な読解」と「英語のネット情報の正確な理解」（0.697）、「組織形態に基づき企業組織を考察する」と「人的資源管理論に基づき企業の人事政策・慣行を考察する」（0.603）の 3 つのみである。

このように、ビジネスにおける専門コンピテンスの重要度・習得度どちらの場合も、ほとんどのコンピテンス項目間には低～中程度の正の相関があり、いくつかのペアには 0.6 以上の比較的強い相関も確認される。そのため、それぞれの専門コンピテンス項目の背後には何らかの関係性の構造があると考えられる。

---

<sup>27</sup> 対象者別に見たコンピテンス項目間の相関関係については、参考資料を参照のこと。



図表 57 専門コンピテンンス・重要度の相関関係（ビジネス、全対象者）

| No | コンピテンンス名                   | 1     | 2     | 3     | 4     | 5     | 6     | 7     | 8     | 9     | 10    | 11    | 12    | 13    | 14    | 15    | 16    | 17    | 18    | 19    | 20    | 21    | 22    | 23    | 24    | 25    | 26    | 27    | 28    | 29   | 30 | 31 |
|----|----------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|----|----|
| 1  | マクロ経済指標の説明                 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |    |    |
| 2  | 会計指標の説明                    | 0.505 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |    |    |
| 3  | ビジネスの基礎用語を説明               | 0.319 | 0.431 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |    |    |
| 4  | ビジネスに関する事象や動向を理解し説明        | 0.361 | 0.345 | 0.317 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |    |    |
| 5  | 適切なデータの取集と、図表などへの加工        | 0.202 | 0.282 | 0.269 | 0.312 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |    |    |
| 6  | 社会現象を要因間の因果関係として図式化、整理     | 0.286 | 0.247 | 0.255 | 0.351 | 0.456 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |    |    |
| 7  | 専門書籍の正確な理解                 | 0.343 | 0.312 | 0.217 | 0.215 | 0.214 | 0.297 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |    |    |
| 8  | 経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解 | 0.253 | 0.255 | 0.233 | 0.381 | 0.224 | 0.234 | 0.275 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |    |    |
| 9  | 従来の問題に気づき、代替案を提案           | 0.126 | 0.137 | 0.233 | 0.259 | 0.322 | 0.319 | 0.118 | 0.25  | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |    |    |
| 10 | 仕事の段取りを決めるスキルがある           | 0.081 | 0.182 | 0.227 | 0.238 | 0.271 | 0.194 | 0.058 | 0.217 | 0.383 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |    |    |
| 11 | 専門的英文書籍・論文の正確な理解           | 0.33  | 0.284 | 0.204 | 0.134 | 0.157 | 0.243 | 0.569 | 0.133 | 0.127 | 0.05  | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |    |    |
| 12 | 英語のネット情報の正確な理解             | 0.281 | 0.271 | 0.19  | 0.233 | 0.2   | 0.283 | 0.377 | 0.224 | 0.168 | 0.155 | 0.658 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |    |    |
| 13 | ビジネスに関する英語での口頭コミュニケーション    | 0.255 | 0.272 | 0.199 | 0.246 | 0.247 | 0.22  | 0.224 | 0.227 | 0.207 | 0.18  | 0.404 | 0.547 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |    |    |
| 14 | 社会調査の基本的手法をビジネス調査に応用       | 0.287 | 0.196 | 0.206 | 0.205 | 0.284 | 0.308 | 0.388 | 0.201 | 0.192 | 0.175 | 0.417 | 0.406 | 0.296 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |    |    |
| 15 | ビジネスの統計分析                  | 0.316 | 0.266 | 0.258 | 0.172 | 0.263 | 0.309 | 0.42  | 0.174 | 0.166 | 0.106 | 0.496 | 0.386 | 0.318 | 0.58  | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |    |    |
| 16 | 企業の財務上の特性や問題の指摘            | 0.244 | 0.431 | 0.239 | 0.263 | 0.254 | 0.238 | 0.243 | 0.288 | 0.173 | 0.254 | 0.215 | 0.253 | 0.234 | 0.26  | 0.3   | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |    |    |
| 17 | 理論に基づき企業活動を考察する            | 0.292 | 0.425 | 0.251 | 0.207 | 0.197 | 0.246 | 0.369 | 0.171 | 0.152 | 0.139 | 0.397 | 0.34  | 0.279 | 0.345 | 0.418 | 0.478 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |    |    |
| 18 | 分析枠組に基づき企業行動を考察する          | 0.364 | 0.35  | 0.346 | 0.216 | 0.227 | 0.309 | 0.434 | 0.216 | 0.186 | 0.184 | 0.403 | 0.334 | 0.255 | 0.406 | 0.431 | 0.344 | 0.534 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |    |    |
| 19 | マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する    | 0.301 | 0.301 | 0.371 | 0.236 | 0.278 | 0.347 | 0.338 | 0.22  | 0.213 | 0.169 | 0.364 | 0.344 | 0.267 | 0.414 | 0.446 | 0.288 | 0.423 | 0.715 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |    |    |
| 20 | 基本概念に基づき企業における人間行動を考察する    | 0.145 | 0.166 | 0.239 | 0.234 | 0.218 | 0.288 | 0.231 | 0.19  | 0.25  | 0.266 | 0.182 | 0.222 | 0.161 | 0.281 | 0.253 | 0.221 | 0.24  | 0.374 | 0.402 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |      |    |    |
| 21 | 組織形態に基づき企業組織を考察する          | 0.265 | 0.269 | 0.258 | 0.189 | 0.216 | 0.313 | 0.424 | 0.187 | 0.195 | 0.119 | 0.415 | 0.329 | 0.228 | 0.404 | 0.393 | 0.331 | 0.452 | 0.518 | 0.474 | 0.464 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |      |    |    |
| 22 | 人的資源管理論に基づき企業の人事政策・慣行を考察する | 0.195 | 0.216 | 0.214 | 0.136 | 0.197 | 0.274 | 0.352 | 0.153 | 0.202 | 0.144 | 0.33  | 0.291 | 0.159 | 0.365 | 0.354 | 0.264 | 0.359 | 0.396 | 0.333 | 0.419 | 0.6   | 1     |       |       |       |       |       |       |      |    |    |
| 23 | 生産システムの管理に基づき企業活動を考察する     | 0.24  | 0.27  | 0.212 | 0.202 | 0.242 | 0.281 | 0.335 | 0.172 | 0.195 | 0.171 | 0.341 | 0.328 | 0.241 | 0.396 | 0.428 | 0.32  | 0.398 | 0.42  | 0.416 | 0.327 | 0.507 | 0.563 | 1     |       |       |       |       |       |      |    |    |
| 24 | 利害関係を含め企業の役割を考察する          | 0.183 | 0.16  | 0.191 | 0.272 | 0.282 | 0.294 | 0.235 | 0.2   | 0.254 | 0.194 | 0.16  | 0.211 | 0.144 | 0.267 | 0.245 | 0.182 | 0.205 | 0.278 | 0.253 | 0.361 | 0.323 | 0.327 | 0.35  | 1     |       |       |       |       |      |    |    |
| 25 | 国際的な事業展開の枠組に基づき企業活動を考察する   | 0.265 | 0.214 | 0.2   | 0.275 | 0.249 | 0.305 | 0.264 | 0.21  | 0.278 | 0.214 | 0.307 | 0.378 | 0.383 | 0.331 | 0.335 | 0.243 | 0.299 | 0.308 | 0.299 | 0.324 | 0.39  | 0.326 | 0.37  | 0.43  | 1     |       |       |       |      |    |    |
| 26 | 企業の問題の分析、解決策の作成            | 0.192 | 0.173 | 0.242 | 0.331 | 0.322 | 0.316 | 0.149 | 0.196 | 0.384 | 0.311 | 0.14  | 0.227 | 0.219 | 0.24  | 0.249 | 0.258 | 0.231 | 0.267 | 0.317 | 0.354 | 0.284 | 0.275 | 0.308 | 0.399 | 0.396 | 1     |       |       |      |    |    |
| 27 | コンサルティングの提案                | 0.259 | 0.283 | 0.229 | 0.273 | 0.218 | 0.284 | 0.276 | 0.183 | 0.218 | 0.217 | 0.308 | 0.276 | 0.26  | 0.352 | 0.356 | 0.373 | 0.405 | 0.356 | 0.335 | 0.302 | 0.388 | 0.37  | 0.397 | 0.305 | 0.342 | 0.399 | 1     |       |      |    |    |
| 28 | 文化や倫理が企業に与える影響の理解          | 0.184 | 0.159 | 0.173 | 0.22  | 0.188 | 0.306 | 0.285 | 0.186 | 0.267 | 0.225 | 0.262 | 0.283 | 0.181 | 0.32  | 0.254 | 0.176 | 0.23  | 0.265 | 0.277 | 0.344 | 0.397 | 0.369 | 0.364 | 0.412 | 0.485 | 0.365 | 0.409 | 1     |      |    |    |
| 29 | 企業組織の各職能の認識と関係性の理解         | 0.159 | 0.213 | 0.23  | 0.18  | 0.265 | 0.283 | 0.224 | 0.225 | 0.263 | 0.254 | 0.159 | 0.176 | 0.193 | 0.283 | 0.273 | 0.267 | 0.258 | 0.312 | 0.349 | 0.35  | 0.373 | 0.315 | 0.408 | 0.381 | 0.372 | 0.398 | 0.311 | 0.36  | 1    |    |    |
| 30 | ミクロ的・マクロ的要因の企業への影響の認識      | 0.396 | 0.325 | 0.246 | 0.33  | 0.264 | 0.326 | 0.314 | 0.293 | 0.233 | 0.319 | 0.333 | 0.256 | 0.341 | 0.364 | 0.297 | 0.366 | 0.357 | 0.35  | 0.253 | 0.363 | 0.284 | 0.337 | 0.336 | 0.362 | 0.358 | 0.368 | 0.327 | 0.39  | 1    |    |    |
| 31 | 既存・新規技術が将来の市場に与える影響の想定     | 0.249 | 0.229 | 0.251 | 0.25  | 0.286 | 0.305 | 0.236 | 0.234 | 0.355 | 0.294 | 0.224 | 0.274 | 0.273 | 0.327 | 0.352 | 0.243 | 0.28  | 0.315 | 0.361 | 0.328 | 0.322 | 0.349 | 0.411 | 0.356 | 0.377 | 0.433 | 0.366 | 0.435 | 0.46 | 1  |    |

\*\*\* p<0.01; \* p<0.1

\*\*\* p<0.01, \* p<0.1

図表 58 専門コンピデンス・習得度の相関関係（ビジネス、全対象者）

| No | コンピデンス名                     | 1     | 2     | 3     | 4     | 5   | 6     | 7     | 8     | 9     | 10    | 11    | 12    | 13    | 14    | 15    | 16    | 17    | 18    | 19    | 20    | 21    | 22    | 23    | 24  | 25    | 26    | 27   | 28   | 29    | 30  | 31  |
|----|-----------------------------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|------|------|-------|-----|-----|
| 1  | マクロ経済指標の説明                  | 1     |       |       |       |     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |     |       |       |      |      |       |     |     |
| 2  | 会計指標の説明                     | 0.426 | 1     |       |       |     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |     |       |       |      |      |       |     |     |
| 3  | ビジネスの基礎用語を説明                | ***   | 0.247 | 1     |       |     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |     |       |       |      |      |       |     |     |
| 4  | ビジネスに関する事象や動向を理解し説明         | ***   | ***   | 0.377 | 1     |     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |     |       |       |      |      |       |     |     |
| 5  | 適切なデータの取集と、図表などへの加工         | ***   | ***   | ***   | 0.303 | 1   |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |     |       |       |      |      |       |     |     |
| 6  | 社会現象を要因間の因果関係として図式化、整理      | ***   | ***   | ***   | ***   | 0.3 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |     |       |       |      |      |       |     |     |
| 7  | 専門書籍の正確な理解                  | ***   | ***   | ***   | ***   | *** | 0.338 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |     |       |       |      |      |       |     |     |
| 8  | 経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解  | ***   | ***   | ***   | ***   | *** | ***   | 0.307 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |     |       |       |      |      |       |     |     |
| 9  | 従来の問題に気づき、代替案を提案            | ***   | ***   | ***   | ***   | *** | ***   | ***   | 0.161 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |     |       |       |      |      |       |     |     |
| 10 | 仕事の段取りを決めるスキルがある            | ***   | ***   | ***   | ***   | *** | ***   | ***   | ***   | 0.152 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |     |       |       |      |      |       |     |     |
| 11 | 専門的英文書籍・論文の正確な理解            | ***   | ***   | ***   | ***   | *** | ***   | ***   | ***   | ***   | 0.191 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |     |       |       |      |      |       |     |     |
| 12 | 英語のネット情報の正確な理解              | ***   | ***   | ***   | ***   | *** | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | 0.189 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |     |       |       |      |      |       |     |     |
| 13 | ビジネスに関する英語での口頭コミュニケーション     | ***   | ***   | ***   | ***   | *** | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | 0.187 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |     |       |       |      |      |       |     |     |
| 14 | 社会調査の基本的手法をビジネス調査に応用        | ***   | ***   | ***   | ***   | *** | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | 0.184 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |     |       |       |      |      |       |     |     |
| 15 | ビジネスの統計分析                   | ***   | ***   | ***   | ***   | *** | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | 0.248 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |     |       |       |      |      |       |     |     |
| 16 | 企業の財務上の特性や問題の指摘             | ***   | ***   | ***   | ***   | *** | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | 0.253 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |     |       |       |      |      |       |     |     |
| 17 | 理論に基づき企業活動を考察する             | ***   | ***   | ***   | ***   | *** | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | 0.243 | 1     |       |       |       |       |       |       |     |       |       |      |      |       |     |     |
| 18 | 分析枠組に基づき企業行動を考察する           | ***   | ***   | ***   | ***   | *** | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | 0.242 | 1     |       |       |       |       |       |     |       |       |      |      |       |     |     |
| 19 | マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する     | ***   | ***   | ***   | ***   | *** | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | 0.199 | 1     |       |       |       |       |     |       |       |      |      |       |     |     |
| 20 | 基本概念に基づき企業における人間行動を考察する     | ***   | ***   | ***   | ***   | *** | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | 0.183 | 1     |       |       |       |     |       |       |      |      |       |     |     |
| 21 | 組織形態に基づき企業組織を考察する           | ***   | ***   | ***   | ***   | *** | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | 0.197 | 1     |       |       |     |       |       |      |      |       |     |     |
| 22 | 人的資源管理論に基づき企業の人 事政策・慣行を考察する | ***   | ***   | ***   | ***   | *** | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | 0.184 | 1     |       |     |       |       |      |      |       |     |     |
| 23 | 生産システムの管理に基づき企業活動を考察する      | ***   | ***   | ***   | ***   | *** | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | 0.214 | 1     |     |       |       |      |      |       |     |     |
| 24 | 利害関係を含め企業の役割を考察する           | ***   | ***   | ***   | ***   | *** | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | 0.209 | 1   |       |       |      |      |       |     |     |
| 25 | 国際的な事業展開の枠組に基づき企業活動を考察する    | ***   | ***   | ***   | ***   | *** | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | *** | 0.222 | 1     |      |      |       |     |     |
| 26 | 企業の問題の分析、解決策の作成             | ***   | ***   | ***   | ***   | *** | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | *** | ***   | 0.195 | 1    |      |       |     |     |
| 27 | コンサルティングの提案                 | ***   | ***   | ***   | ***   | *** | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | *** | ***   | ***   | 0.17 | 1    |       |     |     |
| 28 | 文化や倫理が企業に与える影響の理解           | ***   | ***   | ***   | ***   | *** | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | *** | ***   | ***   | ***  | 0.17 | 1     |     |     |
| 29 | 企業組織の各機能の認識と関係性の理解          | ***   | ***   | ***   | ***   | *** | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | *** | ***   | ***   | ***  | ***  | 0.222 | 1   |     |
| 30 | ミクロ的・マクロ的要因の企業への影響の認識       | ***   | ***   | ***   | ***   | *** | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | *** | ***   | ***   | ***  | ***  | 0.419 | 1   |     |
| 31 | 既存・新規技術が将来の市場に与える影響の想定      | ***   | ***   | ***   | ***   | *** | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | ***   | *** | ***   | ***   | ***  | ***  | ***   | *** | *** |

\*\*\* p<0.01



そこで、ビジネスにおけるコンピテンス（31 項目）の背後にある因子構造を探るために、重要度、習得度それぞれについて、因子分析（反復主因子法、プロマックス回転）を行なった。分析では、因子の意味を解釈しやすいように、因子数を 4 と仮定して計算をした。なお、各因子の意味の解釈は、因子負荷が 0.4 以上の項目を中心としている。

まず、重要度に関しては、企業活動に関わる諸現象についての考察・分析などの「理論的考察」、企業が抱える諸課題の分析や問題解決策の提案などの「提案・問題解決」、英語による専門的な理解やコミュニケーションなどの「英語・専門理解」、会計やビジネスに関わる基礎的な理解・説明などの「会計・ビジネス基礎」が因子として抽出された<sup>28</sup>（図表 59）。

つぎに、習得度に関しては、「マネジメント」、「専門基礎」、「英語」、「会計・財務」が因子として抽出された<sup>29</sup>（図表 60）。「マネジメント」には企業活動・組織に関わる分析・考察に関わる項目、「専門基礎」にはビジネスに関わる諸現象の基礎的な理解・説明に関わる項目、「英語」には英語による専門的な理解やコミュニケーションなどの項目、そして「会計・財務」には会計や財務に関わる理解・説明などの項目が、それぞれ高い負荷を示している。

各因子を構成するコンピテンス項目の組合せには重要度と習得度とでいくらかの違いが見られ、また重要度・習得度どちらにおいてもはっきりとした因子構造が見出されたわけではないが、ビジネスにおける専門コンピテンス・31 項目は、大まかには、マネジメント（理論的考察、提案・問題解決）、専門基礎、英語、会計・財務に関わる項目を中心とする 4 つのまとまりに集約されることがわかる。

---

<sup>28</sup> 因子どうしの相関係数を見ると、第 1 因子（理論的考察）と第 2 因子（提案・問題解決）では 0.622、第 1 因子（理論的考察）と第 3 因子（英語・専門理解）では 0.700、第 1 因子（理論的考察）と第 4 因子（会計・ビジネス基礎）では 0.608、第 2 因子（提案・問題解決）と第 3 因子（英語・専門理解）では 0.495、第 2 因子（提案・問題解決）と第 4 因子（会計・ビジネス基礎）では 0.536、そして第 3 因子（英語・専門理解）と第 4 因子（会計・ビジネス基礎）では 0.632 となっている。

<sup>29</sup> 因子どうしの相関係数を見ると、第 1 因子（マネジメント）と第 2 因子（専門基礎）では 0.649、第 1 因子（マネジメント）と第 3 因子（英語）では 0.594、第 1 因子（マネジメント）と第 4 因子（会計・財務）では 0.566、第 2 因子（専門基礎）と第 3 因子（英語）では 0.550、第 2 因子（専門基礎）と第 4 因子（会計・財務）では 0.462、そして第 3 因子（英語）と第 4 因子（会計・財務）では 0.482 となっている。

図表 59 ビジネスにおけるコンピテンス・重要度の因子分析（回転後の因子負荷）

|                                | 第1因子<br>理論的考<br>察 | 第2因子<br>提案・問題<br>解決 | 第3因子<br>英語・専門<br>理解 | 第4因子<br>会計・ビジ<br>ネス基礎 |
|--------------------------------|-------------------|---------------------|---------------------|-----------------------|
| 21. 組織形態に基づき企業組織を考察する          | 0.799             | 0.004               | -0.031              | -0.021                |
| 22. 人的資源管理論に基づき企業の人事政策・慣行を考察する | 0.738             | 0.092               | -0.041              | -0.138                |
| 23. 生産システムの管理に基づき企業活動を考察する     | 0.641             | 0.131               | 0.016               | -0.051                |
| 18. 分析枠組に基づき企業行動を考察する          | 0.635             | -0.141              | -0.044              | 0.344                 |
| 19. マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する    | 0.534             | -0.014              | -0.025              | 0.279                 |
| 20. 基本概念に基づき企業における人間行動を考察する    | 0.486             | 0.305               | -0.136              | -0.048                |
| 17. 理論に基づき企業活動を考察する            | 0.485             | -0.142              | 0.054               | 0.332                 |
| 15. ビジネスの統計分析                  | 0.361             | -0.016              | 0.336               | 0.084                 |
| 27. コンサルティングの提案                | 0.348             | 0.256               | 0.032               | 0.093                 |
| 26. 企業の問題の分析、解決策の作成            | 0.130             | 0.632               | -0.085              | 0.035                 |
| 9. 従来の問題に気づき、代替案を提案            | -0.111            | 0.581               | -0.009              | 0.100                 |
| 10. 仕事の段取りを決めるスキルがある           | -0.109            | 0.507               | -0.062              | 0.162                 |
| 31. 既存・新規技術が将来の市場に与える影響の想定     | 0.223             | 0.486               | -0.004              | 0.039                 |
| 24. 利害関係を含め企業の役割を考察する          | 0.271             | 0.472               | -0.007              | -0.113                |
| 28. 文化や倫理が企業に与える影響の理解          | 0.293             | 0.448               | 0.132               | -0.227                |
| 29. 企業組織の各職能の認識と関係性の理解         | 0.372             | 0.437               | -0.123              | -0.015                |
| 25. 国際的な事業展開の枠組に基づき企業活動を考察する   | 0.158             | 0.414               | 0.298               | -0.118                |
| 5. 適切なデータの取集と、図表などへの加工         | -0.057            | 0.398               | 0.052               | 0.269                 |
| 6. 社会現象を要因間の因果関係として図式化、整理      | 0.049             | 0.354               | 0.109               | 0.206                 |
| 30. ミクロ的・マクロ的要因の企業への影響の認識      | 0.152             | 0.314               | 0.119               | 0.207                 |
| 12. 英語のネット情報の正確な理解             | -0.104            | 0.054               | 0.872               | -0.046                |
| 11. 専門的英文書籍・論文の正確な理解           | 0.171             | -0.215              | 0.821               | -0.042                |
| 13. ビジネスに関する英語での口頭コミュニケーション    | -0.205            | 0.160               | 0.616               | 0.114                 |
| 7. 専門書籍の正確な理解                  | 0.326             | -0.126              | 0.330               | 0.165                 |
| 14. 社会調査の基本的手法をビジネス調査に応用       | 0.327             | 0.091               | 0.328               | -0.008                |
| 2. 会計指標の説明                     | 0.046             | -0.067              | -0.017              | 0.759                 |
| 1. マクロ経済指標の説明                  | 0.012             | -0.014              | 0.152               | 0.537                 |
| 4. ビジネスに関する事象や動向を理解し説明         | -0.229            | 0.390               | 0.005               | 0.516                 |
| 3. ビジネスの基礎用語を説明                | 0.092             | 0.139               | -0.129              | 0.515                 |
| 16. 企業の財務上の特性や問題の指摘            | 0.181             | 0.080               | -0.024              | 0.449                 |
| 8. 経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解  | -0.141            | 0.287               | 0.060               | 0.382                 |

因子抽出法：反復主因子法 回転法：Kaiserの正規化を伴うプロマックス法。

図表 60 ビジネスにおけるコンピテンス・習得度の因子分析（回転後の因子負荷）

|                                | 第1因子<br>マネジメン<br>ト | 第2因子<br>専門基礎 | 第3因子<br>英語 | 第4因子<br>会計・財務 |
|--------------------------------|--------------------|--------------|------------|---------------|
| 20. 基本概念に基づき企業における人間行動を考察する    | 0.777              | -0.039       | -0.063     | -0.043        |
| 21. 組織形態に基づき企業組織を考察する          | 0.754              | -0.147       | -0.078     | 0.217         |
| 22. 人的資源管理論に基づき企業の人事政策・慣行を考察する | 0.735              | -0.062       | -0.090     | 0.017         |
| 23. 生産システムの管理に基づき企業活動を考察する     | 0.630              | -0.076       | -0.027     | 0.173         |
| 24. 利害関係を含め企業の役割を考察する          | 0.628              | 0.196        | -0.078     | -0.072        |
| 26. 企業の問題の分析、解決策の作成            | 0.622              | 0.260        | -0.102     | -0.064        |
| 29. 企業組織の各職能の認識と関係性の理解         | 0.536              | 0.131        | -0.032     | 0.067         |
| 31. 既存・新規技術が将来の市場に与える影響の想定     | 0.532              | 0.197        | 0.027      | -0.023        |
| 28. 文化や倫理が企業に与える影響の理解          | 0.518              | 0.183        | 0.073      | -0.180        |
| 25. 国際的な事業展開の枠組に基づき企業活動を考察する   | 0.469              | 0.169        | 0.265      | -0.177        |
| 19. マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する    | 0.462              | -0.175       | 0.156      | 0.266         |
| 27. コンサルティングの提案                | 0.460              | 0.122        | 0.051      | 0.097         |
| 18. 分析枠組に基づき企業行動を考察する          | 0.425              | -0.198       | 0.123      | 0.411         |
| 10. 仕事の段取りを決めるスキルがある           | 0.357              | 0.353        | -0.051     | -0.094        |
| 14. 社会調査の基本的手法をビジネス調査に応用       | 0.261              | 0.160        | 0.193      | -0.030        |
| 4. ビジネスに関する事象や動向を理解し説明         | -0.033             | 0.579        | 0.021      | 0.189         |
| 8. 経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解  | -0.049             | 0.517        | 0.070      | 0.141         |
| 5. 適切なデータの取集と、図表などへの加工         | 0.089              | 0.497        | 0.036      | 0.065         |
| 9. 従来の問題に気づき、代替案を提案            | 0.391              | 0.455        | -0.081     | -0.131        |
| 6. 社会現象を要因間の因果関係として図式化、整理      | 0.197              | 0.433        | 0.080      | 0.065         |
| 3. ビジネスの基礎用語を説明                | -0.026             | 0.401        | -0.075     | 0.337         |
| 1. マクロ経済指標の説明                  | -0.131             | 0.395        | 0.046      | 0.344         |
| 30. ミクロ的・マクロ的要因の企業への影響の認識      | 0.147              | 0.230        | 0.123      | 0.216         |
| 12. 英語のネット情報の正確な理解             | -0.079             | 0.021        | 0.893      | -0.037        |
| 11. 専門的英文書籍・論文の正確な理解           | -0.002             | -0.098       | 0.849      | 0.036         |
| 13. ビジネスに関する英語での口頭コミュニケーション    | -0.116             | 0.178        | 0.640      | -0.111        |
| 15. ビジネスの統計分析                  | 0.088              | 0.169        | 0.196      | 0.162         |
| 2. 会計指標の説明                     | -0.162             | 0.272        | -0.102     | 0.809         |
| 16. 企業の財務上の特性や問題の指摘            | 0.013              | 0.149        | -0.105     | 0.645         |
| 17. 理論に基づき企業活動を考察する            | 0.080              | -0.003       | 0.028      | 0.630         |
| 7. 専門書籍の正確な理解                  | 0.130              | 0.184        | 0.199      | 0.224         |

因子抽出法：反復主因子法 回転法：Kaiserの正規化を伴うプロマックス法。

なお、参考までに、以上で抽出された各因子について、それらの因子得点（平均0、分散1に標準化）の平均値を対象者別に示したものが、図表 61（重要度）及び図表 62（習得度）である。

大まかな傾向を見てみると、重要度に関しては、すべての因子（「理論的考察」、「提案・問題解決」、「英語・専門理解」、「会計・ビジネス基礎」）において、学生の平均得点が最も高いのに対して、企業人の平均得点が最も低くなっている。

他方、習得度に関しても、重要度の場合と同様、すべての因子（「マネジメント」、「専門基礎」、「英語」、「会計・財務」）において、企業人の平均得点が最も低くなっている。平均得点が最も高い対象者は、習得度因子によって異なり、「マネジメント」及び「英語」では学生、「専門基礎」では卒業生、そして「会計・財務」では教員となっている。

図表 61 専門コンピテンス・重要度の因子得点(対象者別平均値)(ビジネス)

|     | 第1因子<br>理論的考察 | 第2因子<br>提案・問題<br>解決 | 第3因子<br>英語・専門<br>理解 | 第4因子<br>会計・ビジ<br>ネス基礎 |
|-----|---------------|---------------------|---------------------|-----------------------|
| 学生  | 0.409         | 0.105               | 0.412               | 0.211                 |
| 教員  | 0.244         | -0.148              | 0.236               | 0.151                 |
| 卒業生 | -0.292        | 0.001               | -0.278              | -0.124                |
| 企業人 | -0.489        | -0.339              | -0.554              | -0.377                |

図表 62 専門コンピテンス・習得度の因子得点(対象者別平均値)(ビジネス)

|     | 第1因子<br>マネジメン<br>ト | 第2因子<br>専門基礎 | 第3因子<br>英語 | 第4因子<br>会計・財務 |
|-----|--------------------|--------------|------------|---------------|
| 学生  | 0.222              | -0.068       | 0.149      | 0.129         |
| 教員  | 0.185              | 0.055        | 0.073      | 0.223         |
| 卒業生 | -0.156             | 0.096        | -0.115     | -0.078        |
| 企業人 | -0.330             | -0.156       | -0.156     | -0.303        |

#### 4.1.4 学生・卒業生の理解度・満足度・就職先関連度とコンピテンス認識の関係性

最後に、対象をビジネスの学生と卒業生に限定して、専門コンピテンスに対する認識が、かれらの専門理解度<sup>30</sup>や教育満足度<sup>31</sup>、あるいは就職（希望）先関連度<sup>32</sup>に与える影響を検討する。具体的には、上記3つ（専門理解度、教育満足度、就職（希望）先関連度）を被説明変数、専門コンピテンスの重要度因子（4種）及び習得度因子（4種）<sup>33</sup>、所属大学<sup>34</sup>、性別

<sup>30</sup> 「専門理解度」は、質問項目「あなたが受けた専門分野の教育を通じて、分野の理解や関心が深まったと思いますか。」をもとに作成された。分析では、「5. きわめて深まった」、「4. ある程度深まった」、「3. どちらとも言えない」、「2. あまり深まらなかった」、「1. 全く深まらなかった」の5段階として投入した。

<sup>31</sup> 「教育満足度」は、質問項目「あなたが大学で学んでいる専門分野の教育を総合的にどう思いますか。」（学生）／「あなたが受けた大学教育を総合的にどう思いますか。」（卒業生）をもとに作成された。分析では、「5. とても満足」、「4. ほぼ満足」、「3. どちらとも言えない」、「2. やや不満」、「1. とても不満」の5段階として投入した。

<sup>32</sup> 「就職（希望）先関連度」は、質問項目「現在あなたが専門とする分野の内容は、希望する仕事内容にどの程度関係すると思いますか。」（学生）／「あなたの専門分野の内容は、あなたの現在の仕事内容にどの程度関係していると思いますか。」（卒業生）をもとに作成された。分析では、「わからない」への回答を除き、「5. 深く関係する」、「4. ある程度関係する」、「3. どちらとも言えない」、「2. あまり関係しない」、「1. 全く関係しない」の5段階として投入した。

<sup>33</sup> 重要度因子、重要度因子どちらの場合も、前節での因子分析の結果に基づき、それぞれの因子を構成する項目の得点（「4. 高い」～「1. 低い」）を加算平均し、変数を作成した。

<sup>34</sup> 学生の場合、大学1を基準とし、大学3、大学4、大学6、大学9のダミー変数を投入した。大学2、大学5、大学7、大学8、大学10はケース数が少ないため、分析から除いている。卒業生の場合は、大学3を基準とし、大学4～大学7、大学9のダミー変数を投入した。大学1、大

（女性ダミー）、年齢<sup>35</sup>を説明変数として投入し、対象者（学生／卒業生）別に順序プロビット回帰分析を行う。分析に使用する変数の記述統計量は、図表 63（学生）及び図表 64（卒業生）に示した通りである。

図表 63 使用する変数の記述統計量（ビジネス、学生）

| 変数名               | N   | 平均   | 標準偏差 | 最小値 | 最大値 |
|-------------------|-----|------|------|-----|-----|
| 専門理解度             | 404 | 4.20 | 0.68 | 1   | 5   |
| 教育満足度             | 404 | 4.09 | 0.79 | 1   | 5   |
| 就職希望先関連度          | 404 | 3.94 | 0.95 | 1   | 5   |
| 重要度因子1（理論的考察）     | 423 | 3.04 | 0.53 | 1.1 | 4   |
| 重要度因子2（提案・問題解決）   | 423 | 3.35 | 0.44 | 1.6 | 4   |
| 重要度因子3（英語・専門理解）   | 423 | 3.04 | 0.56 | 1   | 4   |
| 重要度因子4（会計・ビジネス基礎） | 423 | 3.28 | 0.52 | 1   | 4   |
| 習得度因子1（マネジメント）    | 442 | 2.46 | 0.56 | 1   | 3.7 |
| 習得度因子2（専門基礎）      | 442 | 2.62 | 0.50 | 1.1 | 4   |
| 習得度因子3（英語）        | 442 | 2.09 | 0.70 | 1   | 4   |
| 習得度因子4（会計・財務）     | 442 | 2.30 | 0.67 | 1   | 4   |
| 大学（基準：大学1）        |     |      |      |     |     |
| 大学3ダミー            | 445 | 0.40 | 0.49 | 0   | 1   |
| 大学4ダミー            | 445 | 0.19 | 0.39 | 0   | 1   |
| 大学6ダミー            | 445 | 0.04 | 0.19 | 0   | 1   |
| 大学9ダミー            | 445 | 0.08 | 0.27 | 0   | 1   |
| 女性ダミー             | 410 | 0.39 | 0.49 | 0   | 1   |
| 年齢                | 410 | 3.75 | 1.39 | 1   | 24  |

各因子の得点は、因子分析の結果に基づき、それぞれの因子を構成する項目の得点を加算平均した値である。

学2、大学8、大学10は該当者がいない、あるいはケース数が少ないため、分析から除いている。

<sup>35</sup> 年齢は「1. 19歳」～「47. 65歳以上」として投入した。

図表 64 使用する変数の記述統計量（ビジネス、卒業生）

| 変数名               | N   | 平均   | 標準偏差 | 最小値 | 最大値 |
|-------------------|-----|------|------|-----|-----|
| 専門理解度             | 341 | 3.74 | 0.95 | 1   | 5   |
| 教育満足度             | 341 | 3.55 | 0.99 | 1   | 5   |
| 就職先関連度            | 341 | 3.14 | 1.31 | 1   | 5   |
| 重要度因子1（理論的考察）     | 452 | 2.62 | 0.59 | 1   | 4   |
| 重要度因子2（提案・問題解決）   | 452 | 3.23 | 0.49 | 1   | 4   |
| 重要度因子3（英語・専門理解）   | 452 | 2.55 | 0.65 | 1   | 4   |
| 重要度因子4（会計・ビジネス基礎） | 452 | 3.15 | 0.56 | 1   | 4   |
| 習得度因子1（マネジメント）    | 455 | 2.23 | 0.56 | 1   | 4   |
| 習得度因子2（専門基礎）      | 456 | 2.67 | 0.51 | 1.3 | 4   |
| 習得度因子3（英語）        | 455 | 1.97 | 0.66 | 1   | 4   |
| 習得度因子4（会計・財務）     | 455 | 2.29 | 0.72 | 1   | 4   |
| 大学（基準：大学3）        |     |      |      |     |     |
| 大学4ダミー            | 456 | 0.15 | 0.36 | 0   | 1   |
| 大学5ダミー            | 456 | 0.16 | 0.37 | 0   | 1   |
| 大学6ダミー            | 456 | 0.07 | 0.26 | 0   | 1   |
| 大学7ダミー            | 456 | 0.45 | 0.50 | 0   | 1   |
| 大学9ダミー            | 456 | 0.45 | 0.50 | 0   | 1   |
| 女性ダミー             | 344 | 0.30 | 0.46 | 0   | 1   |
| 年齢                | 343 | 7.76 | 3.89 | 4   | 38  |

各因子の得点は、因子分析の結果に基づき、それぞれの因子を構成する項目の得点を加算平均した値である。

以下、専門理解度、教育満足度、就職（希望）先関連度の順に、結果を読んでいこう。

まず、図表 65 に示したのが、専門理解度の分析結果である。学生の結果から見ると習得度因子 2（専門基礎）が 1%水準で統計的に有意となっている。つまり、専門基礎に関わるコンピテンスの習得度が高い学生ほど、自身の専門理解度を高いと考える傾向が見出された。その他、大学 4 ダミー、大学 9 ダミーも 5%水準以下で有意となっており、大学 1 の学生と比べて、大学 4 の学生は自身の専門理解度を高く、大学 9 の学生は低く考えていることがわかる。

他方、卒業生の結果を見ると、習得度因子 4（会計・財務）が 1%水準で統計的に有意な正の効果を示している。つまり、会計・財務に関わるコンピテンスを習得したと考える卒業生ほど、専門理解度が高いことがわかる。また、専門理解度に対して、大学 9 ダミーが負の効果、年齢が正の効果を示している（1%水準で有意）。

図表 65 専門理解度の順序プロビット回帰分析（ビジネス、学生・卒業生）

| 専門理解度（5段階）        | 学生        |         | 卒業生       |         |
|-------------------|-----------|---------|-----------|---------|
|                   | Coef.     | S.E.    | Coef.     | S.E.    |
| 重要度因子1（理論的考察）     | 0.136     | (0.190) | 0.081     | (0.161) |
| 重要度因子2（提案・問題解決）   | 0.159     | (0.222) | 0.168     | (0.176) |
| 重要度因子3（英語・専門理解）   | -0.089    | (0.146) | 0.061     | (0.129) |
| 重要度因子4（会計・ビジネス基礎） | 0.134     | (0.163) | -0.155    | (0.153) |
| 習得度因子1（マネジメント）    | 0.159     | (0.157) | -0.140    | (0.167) |
| 習得度因子2（専門基礎）      | 0.504***  | (0.190) | 0.093     | (0.192) |
| 習得度因子3（英語）        | 0.013     | (0.113) | 0.167     | (0.111) |
| 習得度因子4（会計・財務）     | 0.066     | (0.123) | 0.310***  | (0.113) |
| 大学3ダミー            | 0.174     | (0.151) | -         | -       |
| 大学4ダミー            | 0.443**   | (0.191) | -0.270    | (0.235) |
| 大学5ダミー            | -         | -       | -0.360    | (0.263) |
| 大学6ダミー            | 0.010     | (0.341) | -0.474    | (0.304) |
| 大学7ダミー            | -         | -       | -0.246    | (0.438) |
| 大学9ダミー            | -0.994*** | (0.272) | -0.748*** | (0.203) |
| 女性ダミー             | 0.029     | (0.129) | -0.079    | (0.139) |
| 年齢                | -0.076*   | (0.044) | 0.071***  | (0.024) |
| Constant cut1     | -0.191    | (0.614) | -0.682    | (0.551) |
| Constant cut2     | 0.500     | (0.568) | 0.225     | (0.538) |
| Constant cut3     | 1.360**   | (0.561) | 0.728     | (0.536) |
| Constant cut4     | 3.345***  | (0.579) | 2.503***  | (0.548) |
| Observations      | 377       |         | 335       |         |
| Pseudo R2         | 0.097     |         | 0.071     |         |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1

つぎに、図表 66 に示したのが、教育満足度の分析結果である。学生の結果から見ると、どの重要度因子・習得度因子も 5%水準以下で有意な効果を示しておらず、大学 6 ダミー、大学 9 ダミーのみが統計的に有意となっている（1%水準で有意）。つまり、学生の教育満足度は、大学 1 と比べて、大学 6・9 では低い傾向が見出された。

他方、卒業生の結果を見ると、学生の場合と同様、どの重要度因子・習得度因子も有意な効果を示しておらず、大学 5 ダミー、大学 9 ダミー、年齢ダミーのみが 5%水準以下で統計的に有意となっている。大学 3 と比べて、大学 5・9 の卒業生の方が、教育満足度を低く回答し、また年齢が高い卒業生ほど、教育満足度を高く回答することがわかる。



図表 66 教育満足度の順序プロビット回帰分析（ビジネス、学生・卒業生）

| 教育満足度（5段階）        | 学生        |         | 卒業生       |         |
|-------------------|-----------|---------|-----------|---------|
|                   | Coef.     | S.E.    | Coef.     | S.E.    |
| 重要度因子1（理論的考察）     | 0.045     | (0.184) | 0.120     | (0.155) |
| 重要度因子2（提案・問題解決）   | 0.140     | (0.217) | 0.065     | (0.169) |
| 重要度因子3（英語・専門理解）   | -0.048    | (0.141) | -0.079    | (0.123) |
| 重要度因子4（会計・ビジネス基礎） | 0.164     | (0.159) | -0.021    | (0.148) |
| 習得度因子1（マネジメント）    | 0.294*    | (0.153) | -0.013    | (0.160) |
| 習得度因子2（専門基礎）      | 0.064     | (0.183) | 0.198     | (0.184) |
| 習得度因子3（英語）        | 0.148     | (0.109) | 0.006     | (0.107) |
| 習得度因子4（会計・財務）     | 0.106     | (0.120) | 0.028     | (0.108) |
| 大学3ダミー            | 0.072     | (0.147) | -         | -       |
| 大学4ダミー            | 0.142     | (0.183) | -0.232    | (0.225) |
| 大学5ダミー            | -         | -       | -0.648*** | (0.251) |
| 大学6ダミー            | -0.934*** | (0.329) | -0.474    | (0.294) |
| 大学7ダミー            | -         | -       | 0.193     | (0.424) |
| 大学9ダミー            | -1.326*** | (0.267) | -0.722*** | (0.193) |
| 女性ダミー             | 0.093     | (0.126) | 0.207     | (0.134) |
| 年齢                | 0.021     | (0.043) | 0.048**   | (0.019) |
| Constant cut1     | -0.134    | (0.581) | -1.156**  | (0.516) |
| Constant cut2     | 0.515     | (0.551) | -0.320    | (0.505) |
| Constant cut3     | 1.347**   | (0.544) | 0.537     | (0.503) |
| Constant cut4     | 3.118***  | (0.558) | 1.872***  | (0.511) |
| Observations      | 377       |         | 335       |         |
| Pseudo R2         | 0.088     |         | 0.037     |         |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1

最後に、図表 67 に示したのが、就職（希望）先関連度の結果である。学生の結果から見ると、重要度因子1（理論的考察）及び習得度因子2（専門基礎）が5%水準以下で統計的に有意な正の効果を示している。理論的考察に関わるコンピテンスを重要だと考えている、あるいは専門基礎の習得度が高い学生ほど、専門分野と関連する仕事に就きたいと考える傾向が見出される。その他、大学3ダミーも5%水準で有意となっている。

他方、卒業生の結果を見ると、重要度因子4（会計・ビジネス基礎）が1%水準で有意な効果を示している。つまり、会計・ビジネス基礎に関わるコンピテンスを重要だと考えている卒業生ほど、専門分野と関連する仕事に就いている傾向がある。その他、5%水準以下で統計的に有意な変数は、大学9ダミー、女性ダミー、年齢となっている。大学3と比べて、大学9の卒業生の方が、また男性と比べて、女性の方が、専門分野と関連度の低い仕事に就いていること、そして年齢が高い卒業生ほど、専門分野と関連度の高い仕事に就いていることがここから読み取れる。



図表 67 就職(希望)先との関連度の順序プロビット回帰分析(ビジネス、学生・卒業生)

| 就職(希望)先関連度(5段階)   | 学生       |         | 卒業生       |         |
|-------------------|----------|---------|-----------|---------|
|                   | Coef.    | S.E.    | Coef.     | S.E.    |
| 重要度因子1(理論的考察)     | 0.389**  | (0.179) | 0.031     | (0.156) |
| 重要度因子2(提案・問題解決)   | -0.152   | (0.210) | -0.099    | (0.173) |
| 重要度因子3(英語・専門理解)   | -0.048   | (0.138) | -0.070    | (0.124) |
| 重要度因子4(会計・ビジネス基礎) | 0.102    | (0.155) | 0.745***  | (0.153) |
| 習得度因子1(マネジメント)    | 0.112    | (0.149) | 0.238     | (0.162) |
| 習得度因子2(専門基礎)      | 0.395**  | (0.176) | -0.332*   | (0.186) |
| 習得度因子3(英語)        | -0.046   | (0.105) | 0.166     | (0.107) |
| 習得度因子4(会計・財務)     | -0.005   | (0.116) | 0.156     | (0.109) |
| 大学3ダミー            | 0.302**  | (0.141) | -         | -       |
| 大学4ダミー            | 0.260    | (0.177) | -0.192    | (0.223) |
| 大学5ダミー            | -        | -       | -0.151    | (0.249) |
| 大学6ダミー            | 0.278    | (0.323) | 0.345     | (0.298) |
| 大学7ダミー            | -        | -       | 0.327     | (0.419) |
| 大学9ダミー            | -0.209   | (0.264) | -0.462**  | (0.190) |
| 女性ダミー             | 0.037    | (0.122) | -0.368*** | (0.134) |
| 年齢                | -0.009   | (0.043) | 0.055***  | (0.019) |
| Constant cut1     | -0.062   | (0.540) | 1.105**   | (0.528) |
| Constant cut2     | 0.903*   | (0.527) | 2.027***  | (0.532) |
| Constant cut3     | 1.374*** | (0.528) | 2.294***  | (0.533) |
| Constant cut4     | 2.869*** | (0.539) | 3.568***  | (0.547) |
| Observations      | 377      |         | 335       |         |
| Pseudo R2         | 0.040    |         | 0.075     |         |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1

#### 4.1.5 まとめ

本節では、ビジネスにおける対象者全体の傾向に関わる分析を行った。以下では、1) 回答分布、2) 対象者間でのコンピテンス認識の差異、3) コンピテンス項目間での関係性、4) 専門理解度・教育満足度・就職(希望)先関連度とコンピテンス認識の関係性の順に、おもな知見をまとめる。

第1に、回答分布の確認から、ビジネス分野における専門コンピテンス(31項目)のうち、「仕事の段取りを決めるスキルがある」、「従来の問題に気づき、代替案を提案」、「ビジネスに関する事象や動向を理解し説明」、「適切なデータの取集と、図表などへの加工」、「企業の問題の分析、解決策の作成」、「経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解」など、日常的な職務遂行に役立つスキルや基礎的な理解に関わる項目の重要度が、どの対象者でも共通して高い傾向が見られた。特に「仕事の段取りを決めるスキルがある」、「適切なデータの取集と、図表などへの加工」、「経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解」に関しては、重要度だけでなく、習得度の高さでも上位に挙げられた。

第2に、対象者間でのコンピテンス認識の差異について、分散分析及び多重比較を行った結果、重要度認識に関しては、学生と卒業生・企業人との間で認識の違いが大きく、学生の方が卒業生・企業人よりも評価が高い項目が多いこと、教員と学生間では認識の差が比較的小さいことが示された。習得度認識に関しても、学生と卒業生・企業人との間で認識の違いが大きく、学生の方が卒業生・企業人よりも評価が高い項目が多い傾向が見られた（ただし、重要度の場合と比べて、統計的に有意な差が確認された項目数は少ない）。他方、教員と学生の間では、習得度認識に統計的に有意な差が確認された項目はなかった。

第3に、専門コンピテンス間の関係を相関分析によって検討した結果、重要度・習得度どちらの場合も、ほとんどのコンピテンス項目間には低・中程度の正の相関が見られた。いくつかのペアでは0.6以上の強い相関もあった。そのため、専門コンピテンスの背後にある関係構造を因子分析によって確認したところ、重要度については「理論的考察」、「提案・問題解決」、「英語・専門理解」、「会計・ビジネス基礎」、習得度については「マネジメント」、「専門基礎」、「英語」、「会計・財務」の4つのまとまり（因子）にそれぞれ集約された。

そして第4に、学生と卒業生に限定して、かれらの専門理解度、教育満足度、就職（希望）先関連度とコンピテンス認識の関係性を、順序プロビット回帰分析をもとに検討した。まず、学生を対象とした分析の結果、「専門基礎」の習得度因子が専門理解度及び就職希望先関連度に対して、5%水準以下で統計的に有意な正の効果を持つことが示された。また、就職希望先関連度に対しては、重要度因子1（「理論的考察」）も5%水準で統計的に有意な効果を与えていた。他方、卒業生を対象とした分析の結果においては、専門理解度に対して、「会計・財務」の習得度因子が1%水準で統計的に有意な正の効果を持つことが示された。また、就職先関連度に対しては、「会計・ビジネス基礎」の重要度因子が1%水準で統計的に有意な効果を与えていた。

## 4.2 大学間比較

本節では、大学間の違い、特にどのようなコンピテンスで大学間の違いが見られるのかについて分析する。具体的な構成は次のとおりである。まず、各コンピテンスに対する大学別の平均値や分散を比較する。次に大学間で認識差があるのか、認識差がある場合にどのコンピテンスで差異が示されるのかを見る。続いて対象者間の認識が異なるのか大学別に分析する。最後に、企業人との認識の違いを大学間で比較する。

### 4.2.1 対象大学とグループ

各大学の対象グループ別に一定数（学生と卒業生は 10 人以上、教員は 6 人以上）の回答者がいる場合に大学間比較の分析の対象とした。対象大学とグループを図表 68 に示す。なお大学内比較の場合は、各大学の対象グループに一定数いる場合とした。よって図表 68 のうち大学内比較では大学 5 と大学 7 を除いた大学を分析対象とする。

図表 68 大学間比較の対象（ビジネス）

|      | ビジネス |    |     |
|------|------|----|-----|
|      | 学生   | 教員 | 卒業生 |
| 大学 1 | ○    | ○  |     |
| 大学 3 | ○    | ○  | ○   |
| 大学 4 | ○    | ○  | ○   |
| 大学 5 |      |    | ○   |
| 大学 6 | ○    |    | ○   |
| 大学 7 |      |    | ○   |
| 大学 9 | ○    |    | ○   |

### 4.2.2 回答分布

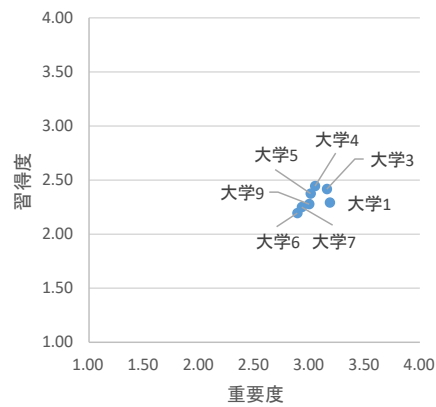
大学別の記述統計のうち重要度と習得度の大学別平均散布図を図表 69 に示す。後述するように平均的認識の大学間差分が重要度と習得度ともに大きいコンピテンス「11. 経営学や経済学に関する専門的な英文書籍や英語論文を読んで、内容を正確に理解できる」の大学別平均散布図を図表 70 に、「18. 事業戦略や経営戦略の分析枠組み（たとえばマイケル・ポーターのファイブ・フォーセズ・モデル）に基づいて、企業行動を考察できる」の散布図を図表 71 に示す。次に重要度の分布を図表 72 に、習得度の分布を図表 73 に示す。また大学別の回答分布表を参考資料に示す。図表 69 と図表 72 および図表 73 の結果からは、重要度と習得度共に平均的に高く回答する大学（大学 3：重要度平均 3.15、習得度平均 2.42）と低く回答する大学（大学 6：重要度平均 2.88、習得度平均 2.19、大学 7：重要度平均 2.93、習得度平均 2.25）があることが分かる。コンピテンス間の分散が比較的大きいのは、重要度では大学 7（0.89）、習得度では大学 4（0.89）である。

コンピテンスの重要度を見ると、平均的に高く評価する大学と低く評価する大学の差が大きいのは「18. 事業戦略や経営戦略の分析枠組み（たとえばマイケル・ポーターのファイブ・フォーセズ・モデル）に基づいて、企業行動を考察できる」（最大値は大学1の3.11、最小値は大学6の2.41、差分0.70）、「7. 経営学や経済学に関する専門的な書籍の内容を正確に理解することができる」（最大値は大学1の3.13、最小値は大学7の2.44、差分0.68）、「11. 経営学や経済学に関する専門的な英文書籍や英語論文を読んで、内容を正確に理解できる」（最大値は大学1の2.79、最小値は大学7の2.11、差分0.67）である。逆に、大学間の平均による差分が小さいコンピテンスは、「26. 企業における問題を分析して、解決策を作成することができる」（差分は0.12）、「4. ビジネスに関係する近年の事象や動向を的確に理解し、わかりやすく説明できる」（同0.13）、「9. ビジネスに関連して、従来からの考え方や仕事のやり方に内在する問題に気づき、それに代わる発想や進め方を積極的に考えたり、提案したりできる」（同0.15）である。

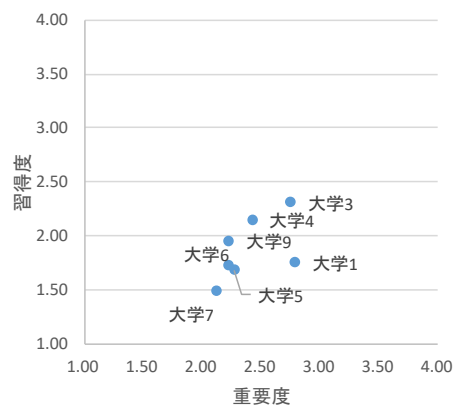
コンピテンスの習得度を見ると、まず最も差分が大きいのは、「19. 4P's や STP（セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニング）といったマーケティングの基本概念に基づいて、マーケティングに関わる実際の現象を考察できる」（最大値は大学3の2.85、最小値は大学9の1.87、差分1.09）、次いで、「18. 事業戦略や経営戦略の分析枠組み（たとえばマイケル・ポーターのファイブ・フォーセズ・モデル）に基づいて、企業行動を考察できる」（最大値は大学3の2.85、最小値は大学9の1.87、差分0.98）、「11. 経営学や経済学に関する専門的な英文書籍や英語論文を読んで、内容を正確に理解できる」（最大値は大学3の2.30、最小値は大学7の1.48、差分0.82）となった。逆に差分が小さいのは「28. 文化や倫理のようなビジネスに関連する問題を認識して、それらが企業組織に与える影響を理解できる」（差分は0.12）、「25. 国や文化の違いが企業経営に及ぼす影響など、国際的な事業展開に関わる基本的な枠組みに基づいて、企業活動を考察できる」（差分は0.15）である。

図表 69、図表 70、図表 71 を見ると、いずれも右肩上がりの直線の関係が示されている。また、全コンピテンスの平均を示す図表 69 と比べて、個別コンピテンスの大学平均を示す図表 70、図表 71 のほうが縦横ともに分散が大きい。また大学の位置づけは3図でおおよそ共通している。右上には大学1、大学3、大学4が位置づき、左下には大学5、大学6、大学7、大学9が位置づいている。

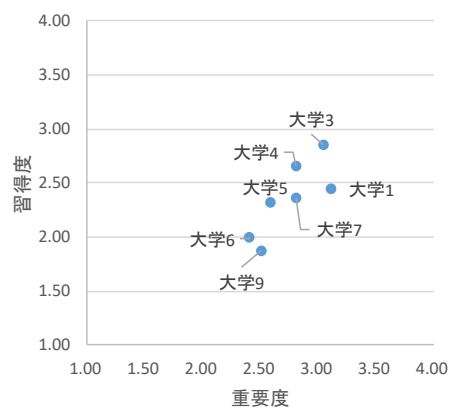
図表 69 重要度認識と習得度認識の大学別平均散布図



図表 70 コンピテンス No.11 の重要度認識と習得度認識の大学別平均散布図



図表 71 コンピテンス No.18 の重要度認識と習得度認識の大学別平均散布図



図表 72 大学別の記述統計（ビジネス・重要度）

| №  | コンピテンス名                                                                         | 大学1  |      | 大学3  |      | 大学4  |      | 大学5  |      | 大学6  |      | 大学7  |      | 大学9  |      |
|----|---------------------------------------------------------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|    |                                                                                 | 平均   | 標準偏差 | 平均   | 標準偏差 | 平均   | 標準偏差 | 平均   | 標準偏差 | 平均   | 標準偏差 | 平均   | 標準偏差 | 平均   | 標準偏差 |
| 1  | ビジネスの意思決定に関連の深いマクロ経済に関する基本的な指標（たとえば実質GDP成長率など）の意味を説明できる                         | 3.03 | 0.74 | 3.07 | 0.81 | 3.01 | 0.86 | 2.48 | 0.73 | 2.60 | 0.90 | 2.74 | 0.86 | 2.73 | 0.94 |
| 2  | ビジネスに関連の深い基本的な会計指標（たとえばROEや総資本回転率）の意味を説明できる                                     | 3.13 | 0.75 | 3.41 | 0.74 | 3.07 | 0.85 | 3.12 | 0.83 | 2.88 | 0.90 | 3.22 | 1.01 | 3.14 | 0.84 |
| 3  | ビジネスに関する基本的な用語（KPIやPDCAなど）の意味を説明できる                                             | 3.08 | 0.78 | 3.15 | 0.80 | 3.15 | 0.84 | 3.13 | 0.72 | 2.54 | 0.84 | 2.78 | 0.97 | 3.06 | 0.92 |
| 4  | ビジネスに関係する近年の事象や動向を的確に理解し、わかりやすく説明できる                                            | 3.51 | 0.61 | 3.49 | 0.70 | 3.43 | 0.76 | 3.52 | 0.64 | 3.46 | 0.81 | 3.56 | 0.64 | 3.45 | 0.74 |
| 5  | ビジネスに関して、分析目的に応じて適切なデータを収集し、図表などに加工できる                                          | 3.33 | 0.66 | 3.42 | 0.68 | 3.51 | 0.69 | 3.52 | 0.66 | 3.32 | 0.71 | 3.44 | 0.64 | 3.49 | 0.73 |
| 6  | ビジネスに関わる社会現象を、要因間の因果関係として図式化して、整理できる                                            | 3.28 | 0.65 | 3.28 | 0.78 | 3.25 | 0.73 | 3.37 | 0.65 | 3.00 | 0.76 | 3.07 | 0.96 | 3.21 | 0.80 |
| 7  | 経営学や経済学に関する専門的な書籍の内容を正確に理解することができる                                              | 3.13 | 0.73 | 2.90 | 0.81 | 2.65 | 0.86 | 2.79 | 0.75 | 2.54 | 0.97 | 2.44 | 1.01 | 2.47 | 0.89 |
| 8  | 経済専門紙（『日本経済新聞』など）や、一般紙（『朝日新聞』や『読売新聞』など）の経済面、ないしそれらと同じレベルのインターネット上の情報を正確に理解できる   | 3.40 | 0.66 | 3.48 | 0.71 | 3.35 | 0.75 | 3.46 | 0.61 | 3.46 | 0.79 | 3.15 | 0.82 | 3.46 | 0.68 |
| 9  | ビジネスに関して、従来からの考え方や仕事のやり方に内在する問題に気づき、それに代わる発想や進め方を積極的に考えたり、提案したりできる              | 3.44 | 0.64 | 3.57 | 0.64 | 3.58 | 0.62 | 3.63 | 0.60 | 3.54 | 0.61 | 3.44 | 0.85 | 3.59 | 0.62 |
| 10 | これから生じることを想定して仕事の段取りを決めるスキルが身についている                                             | 3.58 | 0.63 | 3.52 | 0.63 | 3.59 | 0.72 | 3.70 | 0.49 | 3.70 | 0.51 | 3.59 | 0.64 | 3.62 | 0.62 |
| 11 | 経営学や経済学に関する専門的な英文書籍や英語論文を読んで、内容を正確に理解できる                                        | 2.79 | 0.80 | 2.75 | 0.90 | 2.42 | 0.97 | 2.27 | 0.83 | 2.22 | 0.91 | 2.11 | 0.93 | 2.22 | 0.93 |
| 12 | ビジネスに関する英語のネット情報を読んで、内容を正確に理解できる                                                | 2.88 | 0.81 | 2.92 | 0.80 | 2.82 | 0.91 | 2.43 | 0.86 | 2.56 | 0.91 | 2.56 | 0.97 | 2.78 | 0.92 |
| 13 | ビジネスに関して、英語で口頭のコミュニケーションができる                                                    | 3.15 | 0.78 | 3.44 | 0.73 | 3.24 | 0.91 | 2.81 | 0.89 | 2.88 | 0.87 | 3.15 | 0.95 | 3.17 | 0.87 |
| 14 | アンケートの設計方法といった社会調査の基本的な手法を身につけて、ビジネスに関する調査に応用できる                                | 3.09 | 0.76 | 2.82 | 0.85 | 2.73 | 0.92 | 2.60 | 0.68 | 2.62 | 0.85 | 2.74 | 0.90 | 2.61 | 0.91 |
| 15 | 回帰分析をはじめとする、統計分析の手法に基づいて、実際にデータを使ってビジネスの統計分析ができる                                | 2.96 | 0.77 | 2.87 | 0.82 | 2.65 | 0.88 | 2.52 | 0.82 | 2.44 | 0.86 | 2.44 | 1.05 | 2.45 | 0.95 |
| 16 | 貸借対照表や損益計算書などの財務諸表を分析して、その企業の財務上の特性や問題を指摘できる                                    | 3.25 | 0.73 | 3.38 | 0.71 | 3.12 | 0.92 | 3.37 | 0.81 | 3.14 | 0.90 | 3.48 | 0.75 | 3.30 | 0.83 |
| 17 | DCF法をはじめとする、企業による投資や企業価値を評価するための基本的な理論に基づいて、企業活動を考察できる                          | 2.75 | 0.78 | 2.95 | 0.79 | 2.66 | 0.81 | 2.62 | 0.91 | 2.37 | 0.83 | 2.41 | 1.05 | 2.54 | 0.89 |
| 18 | 事業戦略や経営戦略の分析枠組み（たとえばマイケル・ポーターのファイブ・フォーセズ・モデル）に基づいて、企業行動を考察できる                   | 3.11 | 0.71 | 3.05 | 0.88 | 2.81 | 0.86 | 2.58 | 0.86 | 2.41 | 0.93 | 2.81 | 0.96 | 2.51 | 0.90 |
| 19 | 4P'sやSTP（セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニング）といったマーケティングの基本概念に基づいて、マーケティングに関わる実際の現象を考察できる | 3.13 | 0.73 | 3.12 | 0.86 | 2.99 | 0.88 | 2.67 | 0.94 | 2.61 | 0.91 | 2.96 | 1.02 | 2.58 | 0.96 |
| 20 | モチベーション（動機付け）やリーダーシップをはじめとする、人間行動や集団での現象に関わる基本的な考え方に基づいて、企業における人間行動を考察できる       | 3.38 | 0.64 | 3.19 | 0.80 | 3.17 | 0.88 | 3.09 | 0.83 | 3.04 | 0.84 | 3.19 | 0.83 | 3.28 | 0.79 |
| 21 | 企業組織を設計する際のベースとなる基本的な組織形態（構造）の考え方に基づいて、企業組織について考察できる                            | 3.06 | 0.70 | 2.98 | 0.82 | 2.75 | 0.74 | 2.84 | 0.75 | 2.45 | 0.84 | 2.62 | 0.94 | 2.69 | 0.79 |
| 22 | 企業の人事政策・慣行を人的資源管理論の基本的な考え方に基づいて分析できる                                            | 2.96 | 0.67 | 2.78 | 0.84 | 2.61 | 0.79 | 2.78 | 0.85 | 2.35 | 0.93 | 2.58 | 0.90 | 2.63 | 0.91 |
| 23 | 生産システムを管理する上でベースとなる基本的な考え方に基づいて、企業活動を考察できる                                      | 2.95 | 0.67 | 2.85 | 0.80 | 2.66 | 0.84 | 2.78 | 0.79 | 2.71 | 0.82 | 2.58 | 0.86 | 2.58 | 0.88 |
| 24 | 社会における企業の役割について、様々な利害関係者を含めた広い視点から考察できる                                         | 3.50 | 0.58 | 3.20 | 0.80 | 3.21 | 0.79 | 3.34 | 0.73 | 3.27 | 0.76 | 3.00 | 0.94 | 3.30 | 0.81 |
| 25 | 国や文化の違いが企業経営に及ぼす影響など、国際的な事業展開に関わる基本的な枠組みに基づいて、企業活動を考察できる                        | 3.24 | 0.66 | 3.11 | 0.81 | 3.02 | 0.86 | 3.08 | 0.92 | 2.90 | 0.92 | 2.73 | 0.96 | 3.07 | 0.83 |
| 26 | 企業における問題を分析して、解決策を作成することができる                                                    | 3.38 | 0.70 | 3.45 | 0.71 | 3.40 | 0.74 | 3.53 | 0.59 | 3.41 | 0.70 | 3.50 | 0.76 | 3.48 | 0.75 |
| 27 | 組織を詳細に調べて、税法や投資、ケース・スタディ、プロジェクト・ワークなどに関するコンサルティングの提案ができる                        | 2.93 | 0.80 | 2.87 | 0.89 | 2.97 | 0.91 | 2.94 | 0.78 | 2.80 | 0.84 | 2.62 | 0.98 | 2.95 | 0.87 |
| 28 | 文化や倫理のようなビジネスに関連する問題を認識して、それらが企業組織に与える影響を理解できる                                  | 3.10 | 0.73 | 2.90 | 0.80 | 2.92 | 0.83 | 3.00 | 0.72 | 2.82 | 0.78 | 2.73 | 0.87 | 2.89 | 0.85 |
| 29 | 購買、製造、物流、マーケティング、財務、人事といった、企業組織の各職能を認識して、それらの間の関係を理解できる                         | 3.46 | 0.60 | 3.33 | 0.81 | 3.25 | 0.73 | 3.29 | 0.72 | 3.31 | 0.87 | 3.00 | 0.75 | 3.22 | 0.80 |
| 30 | マクロ的・ミクロ的要因（財政・金融システムや域内市場）が企業に与える影響を認識できる                                      | 3.20 | 0.72 | 3.18 | 0.72 | 3.09 | 0.84 | 2.83 | 0.69 | 2.92 | 0.84 | 2.81 | 1.06 | 2.99 | 0.83 |
| 31 | 既存技術や新規技術を理解して、それらが新たな市場や将来の市場に対して与える影響を想定することができる                              | 3.21 | 0.76 | 3.29 | 0.76 | 3.26 | 0.83 | 3.08 | 0.77 | 3.08 | 0.91 | 3.23 | 0.82 | 3.18 | 0.79 |
| 平均 |                                                                                 | 3.17 | 0.71 | 3.15 | 0.78 | 3.04 | 0.82 | 3.01 | 0.75 | 2.88 | 0.83 | 2.93 | 0.89 | 2.99 | 0.83 |

図表 73 大学別の記述統計（ビジネス・習得度）

| №  | コンピテンス名                                                                         | 大学1  |      | 大学3  |      | 大学4  |      | 大学5  |      | 大学6  |      | 大学7  |      | 大学9  |      |
|----|---------------------------------------------------------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|    |                                                                                 | 平均   | 標準偏差 | 平均   | 標準偏差 | 平均   | 標準偏差 | 平均   | 標準偏差 | 平均   | 標準偏差 | 平均   | 標準偏差 | 平均   | 標準偏差 |
| 1  | ビジネスの意思決定に関連の深いマクロ経済に関する基本的な指標（たとえば実質GDP成長率など）の意味を説明できる                         | 2.27 | 0.87 | 2.30 | 0.83 | 2.31 | 0.78 | 2.22 | 0.71 | 2.24 | 0.72 | 1.96 | 0.71 | 2.43 | 0.81 |
| 2  | ビジネスに関連の深い基本的な会計指標（たとえばROEや総資本回転率）の意味を説明できる                                     | 2.23 | 0.91 | 2.66 | 0.84 | 2.39 | 0.90 | 2.66 | 0.90 | 2.16 | 0.91 | 2.41 | 1.12 | 2.44 | 0.98 |
| 3  | ビジネスに関する基本的な用語（KPIやPDCAなど）の意味を説明できる                                             | 2.26 | 0.96 | 2.51 | 1.01 | 2.71 | 0.96 | 2.61 | 0.94 | 2.26 | 0.83 | 2.48 | 0.98 | 2.62 | 1.01 |
| 4  | ビジネスに関係する近年の事象や動向を的確に理解し、わかりやすく説明できる                                            | 2.48 | 0.77 | 2.42 | 0.80 | 2.55 | 0.83 | 2.72 | 0.85 | 2.48 | 0.79 | 2.52 | 0.75 | 2.58 | 0.86 |
| 5  | ビジネスに関して、分析目的に応じて適切なデータを収集し、図表などに加工できる                                          | 2.61 | 0.79 | 2.64 | 0.86 | 2.90 | 0.91 | 2.82 | 0.92 | 2.68 | 0.65 | 2.26 | 1.02 | 2.60 | 0.86 |
| 6  | ビジネスに関わる社会現象を、要因間の因果関係として図式化して、整理できる                                            | 2.41 | 0.85 | 2.59 | 0.85 | 2.60 | 0.86 | 2.43 | 0.87 | 2.36 | 0.60 | 2.30 | 0.99 | 2.40 | 0.86 |
| 7  | 経営学や経済学に関する専門的な書籍の内容を正確に理解することができる                                              | 2.30 | 0.86 | 2.61 | 0.83 | 2.43 | 0.83 | 2.45 | 0.74 | 2.24 | 0.74 | 2.37 | 0.79 | 2.30 | 0.82 |
| 8  | 経済専門紙（『日本経済新聞』など）や、一般紙（『朝日新聞』や『読売新聞』など）の経済面、ないしそれらと同じレベルのインターネット上の情報を正確に理解できる   | 2.77 | 0.80 | 2.93 | 0.81 | 2.78 | 0.80 | 3.00 | 0.70 | 2.74 | 0.80 | 2.81 | 0.92 | 3.00 | 0.80 |
| 9  | ビジネスに関連して、従来からの考え方や仕事のやり方に内在する問題に気づき、それに代わる発想や進め方を積極的に考えたり、提案したりできる             | 2.49 | 0.83 | 2.51 | 0.85 | 2.57 | 0.83 | 2.66 | 0.90 | 2.44 | 0.64 | 2.30 | 0.82 | 2.56 | 0.84 |
| 10 | これから生じることを想定して仕事の段取りを決めるスキルが身につけている                                             | 2.73 | 0.85 | 2.66 | 0.83 | 2.75 | 0.85 | 2.91 | 0.83 | 2.66 | 0.80 | 2.93 | 0.78 | 2.68 | 0.87 |
| 11 | 経営学や経済学に関する専門的な英文書籍や英語論文を読んで、内容を正確に理解できる                                        | 1.75 | 0.85 | 2.30 | 0.84 | 2.14 | 0.89 | 1.67 | 0.75 | 1.72 | 0.78 | 1.48 | 0.70 | 1.95 | 0.88 |
| 12 | ビジネスに関する英語のネット情報を読んで、内容を正確に理解できる                                                | 1.81 | 0.83 | 2.29 | 0.82 | 2.28 | 0.93 | 1.79 | 0.79 | 1.94 | 0.93 | 2.04 | 0.85 | 2.20 | 0.93 |
| 13 | ビジネスに関して、英語で口頭のコミュニケーションができる                                                    | 1.68 | 0.85 | 1.93 | 0.90 | 2.03 | 0.91 | 1.94 | 0.83 | 1.80 | 0.88 | 2.15 | 0.86 | 2.19 | 1.01 |
| 14 | アンケートの設計方法といった社会調査の基本的な手法を身につけて、ビジネスに関する調査に応用できる                                | 2.26 | 0.86 | 2.12 | 0.86 | 2.28 | 0.97 | 2.01 | 0.83 | 1.94 | 0.71 | 2.15 | 0.86 | 2.04 | 0.93 |
| 15 | 回帰分析をはじめとする、統計分析の手法に基づいて、実際にデータを使ってビジネスの統計分析ができる                                | 2.04 | 0.97 | 1.92 | 0.87 | 2.43 | 1.03 | 2.01 | 0.84 | 1.70 | 0.76 | 1.85 | 0.86 | 1.90 | 0.88 |
| 16 | 貸借対照表や損益計算書などの財務諸表を分析して、その企業の財務上の特性や問題を指摘できる                                    | 2.31 | 0.91 | 2.47 | 0.94 | 2.38 | 1.02 | 2.73 | 0.95 | 2.22 | 1.00 | 2.81 | 1.00 | 2.46 | 1.02 |
| 17 | DCF法をはじめとする、企業による投資や企業価値を評価するための基本的な理論に基づいて、企業活動を考察できる                          | 1.75 | 0.84 | 2.07 | 0.91 | 1.82 | 0.84 | 2.31 | 1.09 | 1.61 | 0.70 | 1.85 | 0.99 | 1.83 | 0.95 |
| 18 | 事業戦略や経営戦略の分析枠組み（たとえばマイケル・ポーターのファイブ・フォース・モデル）に基づいて、企業行動を考察できる                    | 2.45 | 0.92 | 2.85 | 0.97 | 2.66 | 1.01 | 2.33 | 0.93 | 2.00 | 0.87 | 2.37 | 0.88 | 1.87 | 0.90 |
| 19 | 4P'sやSTP（セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニング）といったマーケティングの基本概念に基づいて、マーケティングに関わる実際の現象を考察できる | 2.46 | 0.96 | 2.98 | 0.90 | 2.91 | 0.96 | 2.33 | 0.99 | 2.22 | 1.03 | 2.52 | 1.16 | 1.90 | 0.93 |
| 20 | モチベーション（動機付け）やリーダーシップをはじめとする、人間行動や集団での現象に関わる基本的な考え方に基づいて、企業における人間行動を考察できる       | 2.77 | 0.85 | 2.81 | 0.88 | 2.83 | 0.88 | 2.63 | 0.83 | 2.61 | 0.81 | 2.44 | 0.97 | 2.53 | 0.92 |
| 21 | 企業組織を設計する際のベースとなる基本的な組織形態（構造）の考え方に基づいて、企業組織について考察できる                            | 2.37 | 0.89 | 2.60 | 0.86 | 2.32 | 0.85 | 2.28 | 0.81 | 2.02 | 0.69 | 2.15 | 0.92 | 2.07 | 0.86 |
| 22 | 企業の人事政策・慣行を人的資源管理論の基本的な考え方に基づいて分析できる                                            | 2.25 | 0.90 | 2.10 | 0.85 | 2.12 | 0.88 | 2.18 | 0.89 | 1.88 | 0.73 | 2.19 | 0.94 | 1.96 | 0.88 |
| 23 | 生産システムを管理する上でベースとなる基本的な考え方に基づいて、企業活動を考察できる                                      | 2.10 | 0.82 | 2.17 | 0.88 | 2.00 | 0.79 | 1.99 | 0.77 | 2.12 | 0.81 | 1.92 | 0.63 | 1.88 | 0.82 |
| 24 | 社会における企業の役割について、様々な利害関係者を含めた広い視点から考察できる                                         | 2.49 | 0.84 | 2.51 | 0.87 | 2.53 | 0.86 | 2.69 | 1.02 | 2.59 | 0.76 | 2.27 | 0.92 | 2.52 | 0.85 |
| 25 | 国や文化の違いが企業経営に及ぼす影響など、国際的な事業展開に関わる基本的な枠組みに基づいて、企業活動を考察できる                        | 2.29 | 0.86 | 2.16 | 0.81 | 2.29 | 0.95 | 2.15 | 0.93 | 2.31 | 0.71 | 2.23 | 0.91 | 2.29 | 0.85 |
| 26 | 企業における問題を分析して、解決策を作成することができる                                                    | 2.32 | 0.85 | 2.38 | 0.86 | 2.54 | 0.89 | 2.48 | 0.79 | 2.16 | 0.69 | 2.42 | 0.76 | 2.35 | 0.80 |
| 27 | 組織を詳細に調べて、税法や投資、ケース・スタディ、プロジェクト・ワークなどに関するコンサルティングの提案ができる                        | 1.84 | 0.84 | 1.98 | 0.84 | 2.19 | 0.94 | 1.98 | 0.87 | 1.84 | 0.85 | 2.15 | 0.92 | 1.97 | 0.86 |
| 28 | 文化や倫理のようなビジネスに関連する問題を認識して、それらが企業組織に与える影響を理解できる                                  | 2.21 | 0.82 | 2.20 | 0.79 | 2.27 | 0.82 | 2.32 | 0.84 | 2.24 | 0.75 | 2.27 | 0.72 | 2.24 | 0.86 |
| 29 | 購買、製造、物流、マーケティング、財務、人事といった、企業組織の各職能を認識して、それらの間の関係を理解できる                         | 2.64 | 0.87 | 2.62 | 0.90 | 2.76 | 0.87 | 2.61 | 0.87 | 2.65 | 0.83 | 2.00 | 0.69 | 2.44 | 0.92 |
| 30 | マクロ的・ミクロ的要因（財政・金融システムや域内市場）が企業に与える影響を認識できる                                      | 2.13 | 0.77 | 2.19 | 0.83 | 2.25 | 0.77 | 2.27 | 0.71 | 2.04 | 0.64 | 2.04 | 0.82 | 2.32 | 0.81 |
| 31 | 既存技術や新規技術を理解して、それらが新たな市場や将来の市場に対して与える影響を想定することができる                              | 2.28 | 0.93 | 2.39 | 0.89 | 2.44 | 0.89 | 2.17 | 0.78 | 2.08 | 0.73 | 2.19 | 0.80 | 2.19 | 0.85 |
|    | 平均                                                                              | 2.28 | 0.86 | 2.42 | 0.86 | 2.44 | 0.89 | 2.37 | 0.85 | 2.19 | 0.78 | 2.25 | 0.87 | 2.28 | 0.88 |



### 4.2.3 大学間での相関

大学間の順序相関を分析した結果を図表 74 から図表 79 までに示す。重要度と習得度認識の別に、学生の結果を図表 74 と図表 75 に、教員の結果を図表 76 と図表 77 に、卒業生の結果を図表 78 と図表 79 に示す。分析対象の大学は対象者間で必ずしも一致していない点に留意されたい。

まず、学生と卒業生の重要度は大学間で中位から高位の相関を示す。習得度の係数値は重要度より若干低い、それでも中位から高位の相関を示す。学生と卒業生の大学間相関において、相対的に低い係数値を示すのは大学 9 に関連するペアである。例えば学生・習得度を示す図表 75 における大学 9 と大学 3 (0.53) および大学 9 と大学 4 (0.46) や、卒業生・習得度を示す図表 79 における大学 9 と大学 3 (0.56) および大学 9 と大学 7 (0.55) である。その他には卒業生・習得度における、大学 6 と大学 7 (0.55) である。教員では、中位や低位の相関も見られる。4 大学間の比較において、相対的に低いのは大学 3 に関連するペアである。例えば、教員の重要度を示す図表 76 においては大学 3 と大学 1 (0.47) および大学 3 と大学 4 (0.36) であり、教員の習得度を示す図表 77 においては大学 3 と大学 1 (0.38) および大学 3 と大学 4 (0.23) そして大学 3 と大学 7 (0.30) である。

これら結果からは、学生と卒業生は大学間で比較的高い相関を示すが、教員は特定の大学間において低位から中程度の相関を示すと言える。また例えば低位相関を示す大学ペアが学生と教員で一致するなど、対象者間での似たような大学間相関傾向は確認されなかった。

図表 74 大学間相関係数 (ビジネス・学生・重要度)

|     | 大学1       | 大学3       | 大学4       | 大学6       | 大学9 |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----|
| 大学1 | 1         |           |           |           |     |
| 大学3 | 0.809 *** | 1         |           |           |     |
| 大学4 | 0.84 ***  | 0.835 *** | 1         |           |     |
| 大学6 | 0.701 *** | 0.644 *** | 0.674 *** | 1         |     |
| 大学9 | 0.832 *** | 0.832 *** | 0.889 *** | 0.766 *** | 1   |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1

図表 75 大学間相関係数 (ビジネス・学生・習得度)

|     | 大学1       | 大学3       | 大学4       | 大学6       | 大学9 |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----|
| 大学1 | 1         |           |           |           |     |
| 大学3 | 0.752 *** | 1         |           |           |     |
| 大学4 | 0.799 *** | 0.732 *** | 1         |           |     |
| 大学6 | 0.797 *** | 0.715 *** | 0.584 *** | 1         |     |
| 大学9 | 0.641 *** | 0.528 *** | 0.455 **  | 0.592 *** | 1   |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1



図表 76 大学間相関係数（ビジネス・教員・重要度）

|     | 大学1       | 大学3       | 大学4       | 大学7 |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----|
| 大学1 | 1         |           |           |     |
| 大学3 | 0.469 *** | 1         |           |     |
| 大学4 | 0.775 *** | 0.355 *   | 1         |     |
| 大学7 | 0.576 *** | 0.635 *** | 0.628 *** | 1   |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1

図表 77 大学間相関係数（ビジネス・教員・習得度）

|     | 大学1       | 大学3     | 大学4       | 大学7 |
|-----|-----------|---------|-----------|-----|
| 大学1 | 1         |         |           |     |
| 大学3 | 0.381 **  | 1       |           |     |
| 大学4 | 0.684 *** | 0.235   | 1         |     |
| 大学7 | 0.595 *** | 0.304 * | 0.581 *** | 1   |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1

図表 78 大学間相関係数（ビジネス・卒業生・重要度）

|     | 大学3       | 大学4       | 大学5       | 大学6       | 大学7      | 大学9 |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|-----|
| 大学3 | 1         |           |           |           |          |     |
| 大学4 | 0.954 *** | 1         |           |           |          |     |
| 大学5 | 0.883 *** | 0.9 ***   | 1         |           |          |     |
| 大学6 | 0.889 *** | 0.889 *** | 0.901 *** | 1         |          |     |
| 大学7 | 0.875 *** | 0.892 *** | 0.811 *** | 0.867 *** | 1        |     |
| 大学9 | 0.924 *** | 0.932 *** | 0.917 *** | 0.931 *** | 0.87 *** | 1   |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1

図表 79 大学間相関係数（ビジネス・卒業生・習得度）

|     | 大学3       | 大学4       | 大学5       | 大学6       | 大学7       | 大学9 |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----|
| 大学3 | 1         |           |           |           |           |     |
| 大学4 | 0.825 *** | 1         |           |           |           |     |
| 大学5 | 0.768 *** | 0.831 *** | 1         |           |           |     |
| 大学6 | 0.65 ***  | 0.73 ***  | 0.8 ***   | 1         |           |     |
| 大学7 | 0.702 *** | 0.755 *** | 0.752 *** | 0.548 *** | 1         |     |
| 大学9 | 0.564 *** | 0.707 *** | 0.753 *** | 0.871 *** | 0.552 *** | 1   |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1

#### 4.2.4 大学間の認識差の有無

大学間の違いを分散分析と多重比較によって分析した結果を図表 80 に示す。まず分散分析の結果からは、全体と教員の重要度と習得度、および卒業生の習得度では有意な結果が見られる。学生では有意差が見られなかった。教員について多重比較の結果を見ると、重要度に関しては大学 7 に関連するペアで有意差が見られる（大学 7 と大学 3、大学 7 と大学 4）。有意差を持つ差分の符号はともに負であり、大学 7 は被減数のため、大学 7 の教員認識は他の 2 大学よりも有意に低いと言える。習得度に関しては大学 1 に関連するペアで有意差

が見られる（大学 1 と大学 3、大学 1 と大学 4、大学 1 と大学 7）。有意差を持つ差分の符号はともに正であり、大学 1 は減数のため、大学 1 の教員認識は他 3 大学よりも有意に低いと言える。卒業生に関しては大学 6 と関連するペアで有意差が見られる（大学 6 と大学 3、大学 6 と大学 4、大学 6 と大学 5）。大学 6 は減算の被減数であり差分は負のため大学 6 の卒業生は大学 3、大学 4、大学 5 の卒業生と比べて、習得度を低く認識していることが分かる。これら結果からは、大学間で回答傾向に差があることや、差がある大学の組合せは対象者別に異なることが分かった。

図表 80 大学間の分散分析と多重比較結果（ビジネス・対象者別）

|      |         | 全体        |           | 学生     |        | 教員         |            | 卒業生    |            |
|------|---------|-----------|-----------|--------|--------|------------|------------|--------|------------|
|      |         | 重要度       | 習得度       | 重要度    | 習得度    | 重要度        | 習得度        | 重要度    | 習得度        |
| 分散分析 |         | 3.095 *** | 2.768 **  | 1.508  | 1.871  | 5.568 ***  | 12.616 *** | 0.978  | 4.646 ***  |
| 多重比較 | 大学3-大学1 | -0.022    | 0.134     | 0.052  | 0.142  | 0.16       | 0.414 ***  |        |            |
|      | 大学4-大学1 | -0.131    | 0.153     | -0.054 | 0.187  | 0.121      | 0.444 ***  |        |            |
|      | 大学5-大学1 | -0.168    | 0.084     |        |        |            |            |        |            |
|      | 大学6-大学1 | -0.292 ** | -0.089    | -0.096 | 0.179  |            |            |        |            |
|      | 大学7-大学1 | -0.249    | -0.029    |        |        | -0.125     | 0.393 ***  |        |            |
|      | 大学9-大学1 | -0.186    | -0.001    | 0.006  | 0.132  |            |            |        |            |
|      | 大学4-大学3 | -0.109    | 0.019     | -0.107 | 0.045  | -0.039     | 0.03       | -0.005 | -0.01      |
|      | 大学5-大学3 | -0.147    | -0.05     |        |        |            |            | 0.069  | -0.004     |
|      | 大学6-大学3 | -0.271 ** | -0.223 *  | -0.149 | 0.037  |            |            | -0.138 | -0.291 *** |
|      | 大学7-大学3 | -0.227    | -0.163    |        |        | -0.285 *** | -0.022     | -0.087 | -0.213     |
|      | 大学9-大学3 | -0.164    | -0.135    | -0.046 | -0.01  |            |            | 0.039  | -0.098     |
|      | 大学5-大学4 | -0.037    | -0.069    |        |        |            |            | 0.073  | 0.006      |
|      | 大学6-大学4 | -0.161    | -0.243 ** | -0.042 | -0.008 |            |            | -0.133 | -0.281 *** |
|      | 大学7-大学4 | -0.118    | -0.182    |        |        | -0.246 **  | -0.051     | -0.083 | -0.203     |
|      | 大学9-大学4 | -0.055    | -0.154    | 0.061  | -0.055 |            |            | 0.043  | -0.088     |
|      | 大学6-大学5 | -0.124    | -0.174    |        |        |            |            | -0.206 | -0.287 *** |
|      | 大学7-大学5 | -0.08     | -0.113    |        |        |            |            | -0.156 | -0.209     |
|      | 大学9-大学5 | -0.018    | -0.085    |        |        |            |            | -0.03  | -0.094     |
|      | 大学7-大学6 | 0.044     | 0.061     |        |        |            |            | 0.05   | 0.078      |
|      | 大学9-大学6 | 0.106     | 0.089     | 0.103  | -0.047 |            |            | 0.176  | 0.193      |
|      | 大学9-大学7 | 0.063     | 0.028     |        |        |            |            | 0.126  | 0.115      |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1、表中の数値のうち分散分析は F 値を多重比較は差分を表す

#### 4.2.5 大学間のコンピテンス認識差の有無

上で述べた大学間の対象者間の違いが具体的にどのコンピテンスでの違いに基づくのか、本項では詳細に検討する。重要度と習得度に関する分散分析と多重比較の結果を、学生は図表 81 と図表 82 に、教員は図表 83 と図表 84 に、卒業生は図表 85 と図表 86 に示す。

まず学生の重要度の結果を見ると、31 コンピテンスのうち分散分析では 12 個に有意差が認められた。また多重比較の結果、特定大学間および特定コンピテンスにおいて有意差が認められた。大学間の組合せは 10 ペアあり、1 ペアあたり平均 2.2 個のコンピテンスで有意差が示されている。コンピテンスの有意差が特に多いペアは、大学 3 と大学 4（7 個のコンピテンスが有意に異なる）、大学 1 と大学 3（同 4 個）である。次にコンピテンスの別に見

ると、1 コンピテンスあたり、平均 0.7 ペアで有意な違いが見られる。この違いが特に大きいコンピテンスは「3. ビジネスの基礎用語を説明」および「7. 専門書籍の正確な理解」(4 ペアが有意)、と「17. 理論に基づき企業活動を考察する」および「18. 分析枠組に基づき企業行動を考察する」(同 3 ペア) である。

次に学生の習得度の結果を見ると、31 コンピテンスのうち、分散分析では 18 個に有意差が認められている。多重比較の結果、特定大学間および特定コンピテンスにおいて違いが認められる。1 ペアあたり平均 3.0 個のコンピテンスが異なり、コンピテンスの有意差が特に多いペアは、大学 1 と大学 4 (8 個のコンピテンスが有意)、大学 1 と大学 3 (同 7 個)、大学 3 と大学 4 (同 5 個) である。次にコンピテンスの別に見ると、1 コンピテンスあたり、平均 1.0 ペアで有意な違いが見られる。異なるペア数が多いコンピテンスは、「12. 英語のネット情報の正確な理解」「15. ビジネスの統計分析」「18. 分析枠組に基づき企業行動を考察する」「19. マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する」(4 ペアが有意)、「11. 専門的英文書籍・論文の正確な理解」(同 3) である。

教員の重要度認識の結果を見ると、31 コンピテンスのうち、分散分析では 1 つのコンピテンス「11. 専門的英文書籍・論文の正確な理解」のみに有意差が認められる。同コンピテンスでは大学 3 と大学 7 の間で有意差が認められる。他方で教員の習得度認識の結果を見ると、分散分析では 13 個に有意差が認められる。各ペアは平均 2.5 個のコンピテンスで違いが見られるが、コンピテンスの有意差が特に多いペアは、大学 1 と大学 3 (7 個のコンピテンスが有意に異なる)、大学 1 と大学 4 (同 4 個) である。コンピテンスの別に見ると、1 コンピテンスあたり、平均 1.0 ペアで有意な違いが見られる。異なるペア数が多いコンピテンスは、「12. 英語のネット情報の正確な理解」(3 ペアが有意) である。

卒業生の重要度認識の結果を見ると、分散分析では 11 のコンピテンスに有意差が認められる。各ペアは平均 0.6 個のコンピテンスで有意差が見られるが、コンピテンスの有意差が特に多いペアは、大学 6 と大学 3 (3 個のコンピテンスが有意に異なる) であり、後は 2 以下の違いである。コンピテンスの別に見ると、1 コンピテンスあたり、平均 0.2 ペアで有意な違いが見られる。有意差のあるペア数が多いコンピテンスは、「3. ビジネスの基礎用語を説明」(3 ペアが有意) である。習得度認識の結果を見ると、分散分析では 14 のコンピテンスに有意差が認められた。各ペアは平均 2.4 個のコンピテンスで違いが見られるが、コンピテンスの違いが特に多いペアは、大学 6 と大学 3 および大学 9 と大学 3 (5 個のコンピテンスが有意に異なる) である。コンピテンスの別に見ると、1 コンピテンスあたり、平均 0.7 ペアで有意な違いが見られる。有意差を示すペア数が多いコンピテンスは、「18. 分析枠組に基づき企業行動を考察する」(4 ペアが有意)、「19. マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する」(同 3 ペア) である。

よって大学間の違いは、専門的英文書読解コンピテンス(学生の習得度と教員の重要度認識)や、英語のネット情報理解(学生と教員双方ともに習得度)で見られた。また学生と卒業生では、ビジネスの基礎用語の説明を重要と見なす程度や、具体例を明示した No.18 や

No.19 のコンピテンス、すなわち事業戦略や経営戦略の分析枠組みに基づく企業行動の考察や、マーケティングの基本概念に基づく現象の考察に関するコンピテンスを習得したと考える程度で大学間の違いが示された。また学生では、統計の習得度認識でも大学間の有意差が多く示された。

図表 81 コンピテンス別の大学間比較（ビジネス・学生・重要度）

| No | コンピテンス名                    | 分散分析      | 多重比較      |            |           |            |            |           |            |          |         |         |
|----|----------------------------|-----------|-----------|------------|-----------|------------|------------|-----------|------------|----------|---------|---------|
|    |                            |           | 大学3-大学1   | 大学4-大学1    | 大学6-大学1   | 大学9-大学1    | 大学4-大学3    | 大学6-大学3   | 大学9-大学3    | 大学6-大学4  | 大学9-大学4 | 大学9-大学6 |
| 1  | マクロ経済指標の説明                 | 1.27      | 0.152     | 0.139      | -0.168    | 0.047      | -0.012     | -0.32     | -0.104     | -0.308   | -0.092  | 0.216   |
| 2  | 会計指標の説明                    | 4.208 *** | 0.284 **  | -0.078     | 0.048     | 0.134      | -0.363 *** | -0.236    | -0.151     | 0.127    | 0.212   | 0.085   |
| 3  | ビジネスの基礎用語の説明               | 2.671 **  | 0.064     | -0.04      | -0.613 ** | 0.069      | -0.104     | -0.678 ** | 0.004      | -0.573 * | 0.109   | 0.682 * |
| 4  | ビジネスに関する事象や動向を理解し説明        | 1.18      | -0.01     | -0.036     | -0.112    | 0.24       | -0.025     | -0.101    | 0.251      | -0.076   | 0.276   | 0.352   |
| 5  | 適切なデータの取集と、図表などへの加工        | 0.837     | 0.107     | 0.171      | 0.071     | 0.09       | 0.064      | -0.037    | -0.018     | -0.101   | -0.082  | 0.019   |
| 6  | 社会現象を要因間の因果関係として図式化、整理     | 0.662     | 0.048     | -0.001     | -0.145    | 0.155      | -0.049     | -0.193    | 0.107      | -0.143   | 0.156   | 0.299   |
| 7  | 専門書籍の正確な理解                 | 5.36 ***  | -0.075    | -0.385 *** | -0.104    | -0.498 *** | -0.31 **   | -0.029    | -0.423 **  | 0.28     | -0.113  | -0.394  |
| 8  | 経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解 | 1.022     | 0.114     | 0.02       | 0.055     | 0.223      | -0.095     | -0.06     | 0.109      | 0.035    | 0.204   | 0.169   |
| 9  | 従来の問題に気づき、代替案を提案           | 0.962     | 0.034     | -0.008     | -0.121    | 0.201      | -0.042     | -0.154    | 0.168      | -0.113   | 0.209   | 0.322   |
| 10 | 仕事の段取りを決めるスキルがある           | 1.624     | -0.173    | -0.173     | -0.098    | -0.025     | 0          | 0.074     | 0.148      | 0.075    | 0.149   | 0.074   |
| 11 | 専門的英文書籍・論文の正確な理解           | 1.915     | 0.08      | -0.216     | 0.174     | -0.069     | -0.296 *   | 0.094     | -0.148     | 0.39     | 0.148   | -0.242  |
| 12 | 英語のネット情報の正確な理解             | 1.545     | 0.178     | 0.113      | 0.301     | 0.295      | -0.065     | 0.123     | 0.117      | 0.188    | 0.182   | -0.006  |
| 13 | ビジネスに関する英語での口頭コミュニケーション    | 3.923 *** | 0.315 *** | 0.218      | 0.041     | 0.367      | -0.097     | -0.274    | 0.052      | -0.177   | 0.149   | 0.326   |
| 14 | 社会調査の基本的手法をビジネス調査に応用       | 1.086     | -0.183    | -0.13      | -0.193    | -0.07      | 0.053      | -0.01     | 0.114      | -0.063   | 0.061   | 0.123   |
| 15 | ビジネスの統計分析                  | 1.644     | 0.059     | -0.159     | -0.25     | -0.091     | -0.217     | -0.309    | -0.15      | -0.091   | 0.068   | 0.159   |
| 16 | 企業の財務上の特性や問題の指摘            | 3.246 **  | 0.103     | -0.257     | 0.105     | 0.064      | -0.361 *** | 0.002     | -0.039     | 0.363    | 0.321   | -0.042  |
| 17 | 理論に基づき企業活動を考察する            | 7.312 *** | 0.342 *** | -0.014     | -0.095    | -0.207     | -0.356 *** | -0.437    | -0.549 *** | -0.081   | -0.193  | -0.112  |
| 18 | 分析枠組に基づき企業行動を考察する          | 4.689 *** | 0.123     | -0.167     | -0.443    | -0.343     | -0.29 *    | -0.565 *  | -0.465 **  | -0.276   | -0.176  | 0.1     |
| 19 | マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する    | 2.153 *   | 0.161     | 0.051      | -0.282    | -0.126     | -0.11      | -0.443    | -0.287     | -0.332   | -0.177  | 0.155   |
| 20 | 基本概念に基づき企業における人間行動を考察する    | 1.526     | -0.06     | -0.086     | -0.454    | 0.003      | -0.026     | -0.394    | 0.063      | -0.367   | 0.089   | 0.456   |
| 21 | 組織形態に基づき企業組織を考察する          | 3.045 **  | 0.091     | -0.228     | -0.195    | -0.1       | -0.319 **  | -0.286    | -0.191     | 0.034    | 0.128   | 0.095   |
| 22 | 人的資源管理論に基づき企業の人事政策・慣行を考察する | 2.353 *   | -0.013    | -0.265     | -0.323    | -0.099     | -0.252     | -0.31     | -0.086     | -0.058   | 0.166   | 0.223   |
| 23 | 生産システムの管理に基づき企業活動を考察する     | 1.402     | 0.028     | -0.192     | 0.052     | -0.099     | -0.22      | 0.024     | -0.128     | 0.244    | 0.092   | -0.152  |
| 24 | 利害関係を含め企業の役割を考察する          | 2.201 *   | -0.236 *  | -0.212     | -0.129    | -0.05      | 0.025      | 0.107     | 0.187      | 0.082    | 0.162   | 0.08    |
| 25 | 国際的な事業展開の枠組に基づき企業活動を考察する   | 0.585     | -0.04     | -0.08      | 0.211     | 0.016      | -0.039     | 0.252     | 0.057      | 0.291    | 0.096   | -0.195  |
| 26 | 企業の問題の分析、解決策の作成            | 2.4 **    | 0.155     | 0.149      | 0.161     | 0.388 **   | -0.006     | 0.006     | 0.233      | 0.012    | 0.239   | 0.227   |
| 27 | コンサルティングの提案                | 1.324     | -0.033    | 0.199      | 0.116     | 0.113      | 0.231      | 0.149     | 0.145      | -0.082   | -0.086  | -0.004  |
| 28 | 文化や倫理が企業に与える影響の理解          | 0.511     | -0.095    | -0.04      | -0.176    | -0.143     | 0.055      | -0.08     | -0.048     | -0.136   | -0.103  | 0.032   |
| 29 | 企業組織の各機能の認識と関係性の理解         | 0.959     | -0.081    | -0.062     | -0.077    | -0.27      | 0.019      | 0.004     | -0.189     | -0.015   | -0.208  | -0.193  |
| 30 | ミクロ的・マクロ的要因の企業への影響の認識      | 0.877     | 0.049     | -0.038     | -0.209    | -0.148     | -0.087     | -0.257    | -0.197     | -0.171   | -0.11   | 0.061   |
| 31 | 既存・新規技術が将来の市場に与える影響の想定     | 1.137     | 0.14      | 0.129      | -0.136    | 0.133      | -0.011     | -0.276    | -0.007     | -0.265   | 0.004   | 0.269   |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1、表中の数値のうち分散分析は F 値を多重比較は差分を表す

図表 82 コンピテンス別の大学間比較（ビジネス・学生・習得度）

| No | コンピテンス名                    | 分散分析       | 多重比較      |           |         |           |           |         |            |           |            |         |
|----|----------------------------|------------|-----------|-----------|---------|-----------|-----------|---------|------------|-----------|------------|---------|
|    |                            |            | 大学3-大学1   | 大学4-大学1   | 大学6-大学1 | 大学9-大学1   | 大学4-大学3   | 大学6-大学3 | 大学9-大学3    | 大学6-大学4   | 大学9-大学4    | 大学9-大学6 |
| 1  | マクロ経済指標の説明                 | 1.414      | 0.086     | -0.001    | 0.472   | -0.035    | -0.087    | 0.386   | -0.121     | 0.473     | -0.035     | -0.508  |
| 2  | 会計指標の説明                    | 5.143 ***  | 0.428 *** | 0.099     | 0.286   | 0.452     | -0.329 *  | -0.142  | 0.025      | 0.187     | 0.353      | 0.167   |
| 3  | ビジネスの基礎用語を説明               | 1.797      | 0.147     | 0.336     | -0.066  | 0.322     | 0.189     | -0.214  | 0.175      | -0.403    | -0.015     | 0.388   |
| 4  | ビジネスに関する事象や動向を理解し説明        | 1.467      | -0.089    | 0.037     | -0.007  | 0.253     | 0.126     | 0.082   | 0.341      | -0.044    | 0.215      | 0.259   |
| 5  | 適切なデータの取集と、図表などへの加工        | 2.872 **   | 0.113     | 0.365 **  | 0.225   | -0.072    | 0.251     | 0.112   | -0.185     | -0.139    | -0.437     | -0.297  |
| 6  | 社会現象を要因間の因果関係として図式化、整理     | 2.095 *    | 0.222     | 0.222     | 0.158   | -0.102    | -0.001    | -0.065  | -0.324     | -0.064    | -0.323     | -0.259  |
| 7  | 専門書籍の正確な理解                 | 5.078 ***  | 0.408 *** | 0.164     | 0.23    | 0.003     | -0.244    | -0.178  | -0.405     | 0.066     | -0.161     | -0.227  |
| 8  | 経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解 | 2.511 **   | 0.148     | -0.091    | -0.153  | 0.313     | -0.239    | -0.301  | 0.165      | -0.062    | 0.404      | 0.466   |
| 9  | 従来の問題に気づき、代替案を提案           | 0.562      | -0.076    | 0.051     | 0.148   | 0.036     | 0.127     | 0.224   | 0.112      | 0.097     | -0.015     | -0.112  |
| 10 | 仕事の段取りを決めるスキルがある           | 0.551      | -0.102    | -0.015    | 0.089   | 0.063     | 0.087     | 0.191   | 0.165      | 0.104     | 0.077      | -0.027  |
| 11 | 専門的英文書籍・論文の正確な理解           | 10.375 *** | 0.621 *** | 0.567 *** | 0.191   | 0.466 *   | -0.054    | -0.43   | -0.155     | -0.376    | -0.101     | 0.275   |
| 12 | 英語のネット情報の正確な理解             | 9.709 ***  | 0.56 ***  | 0.528 *** | 0.628 * | 0.766 *** | -0.032    | 0.068   | 0.206      | 0.1       | 0.238      | 0.138   |
| 13 | ビジネスに関する英語での口頭コミュニケーション    | 2.889 **   | 0.279     | 0.229     | 0.489   | 0.483 *   | -0.05     | 0.21    | 0.204      | 0.26      | 0.254      | -0.006  |
| 14 | 社会調査の基本的手法をビジネス調査に応用       | 1.99 *     | -0.188    | 0.108     | -0.114  | 0.092     | 0.296     | 0.074   | 0.28       | -0.222    | -0.016     | 0.206   |
| 15 | ビジネスの統計分析                  | 6.303 ***  | -0.128    | 0.471 *** | -0.321  | -0.041    | 0.599 *** | -0.194  | 0.087      | -0.792 ** | -0.512 *   | 0.28    |
| 16 | 企業の財務上の特性や問題の指摘            | 1.525      | 0.071     | -0.088    | 0.409   | 0.265     | -0.159    | 0.338   | 0.194      | 0.497     | 0.353      | -0.144  |
| 17 | 理論に基づき企業活動を考察する            | 3.748 ***  | 0.335 **  | -0.027    | 0.137   | 0.201     | -0.363 ** | -0.198  | -0.134     | 0.164     | 0.229      | 0.064   |
| 18 | 分析枠組に基づき企業行動を考察する          | 8.229 ***  | 0.493 *** | 0.423 **  | 0.118   | -0.263    | -0.07     | -0.375  | -0.756 *** | -0.305    | -0.686 *** | -0.381  |
| 19 | マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する    | 12.273 *** | 0.604 *** | 0.716 *** | 0.36    | -0.058    | 0.112     | -0.244  | -0.663 *** | -0.356    | -0.775 *** | -0.419  |
| 20 | 基本概念に基づき企業における人間行動を考察する    | 1.396      | 0.065     | 0.203     | 0.378   | -0.022    | 0.137     | 0.312   | -0.087     | 0.175     | -0.224     | -0.4    |
| 21 | 組織形態に基づき企業組織を考察する          | 2.007 *    | 0.216     | -0.024    | -0.186  | 0.112     | -0.239    | -0.401  | -0.104     | -0.162    | 0.135      | 0.297   |
| 22 | 人的資源管理論に基づき企業の人事政策・慣行を考察する | 0.574      | -0.097    | -0.15     | -0.059  | 0.057     | -0.052    | 0.039   | 0.154      | 0.091     | 0.207      | 0.116   |
| 23 | 生産システムの管理に基づき企業活動を考察する     | 1.375      | 0.123     | -0.087    | 0.326   | 0.131     | -0.21     | 0.203   | 0.008      | 0.413     | 0.218      | -0.195  |
| 24 | 利害関係を含め企業の役割を考察する          | 1.738      | -0.01     | 0.118     | 0.516   | 0.122     | 0.128     | 0.526   | 0.132      | 0.398     | 0.004      | -0.394  |
| 25 | 国際的な事業展開の枠組に基づき企業活動を考察する   | 2.115 *    | -0.157    | 0.128     | 0.269   | 0.04      | 0.285     | 0.425   | 0.196      | 0.141     | -0.088     | -0.229  |
| 26 | 企業の問題の分析、解決策の作成            | 3.341 ***  | 0.089     | 0.409 *** | -0.052  | 0.214     | 0.32 **   | -0.141  | 0.124      | -0.461    | -0.196     | 0.265   |
| 27 | コンサルティングの提案                | 3.858 ***  | 0.092     | 0.444 *** | 0.292   | 0.288     | 0.351 **  | 0.199   | 0.195      | -0.152    | -0.156     | -0.004  |
| 28 | 文化や倫理が企業に与える影響の理解          | 0.656      | 0.027     | 0.087     | 0.286   | 0.149     | 0.06      | 0.259   | 0.122      | 0.199     | 0.062      | -0.136  |
| 29 | 企業組織の各職能の認識と関係性の理解         | 2.696 **   | -0.046    | 0.237     | 0.458   | -0.152    | 0.283     | 0.504   | -0.106     | 0.221     | -0.388     | -0.61   |
| 30 | ミクロ的・マクロ的要因の企業への影響の認識      | 0.76       | 0.055     | 0.178     | -0.01   | 0.168     | 0.124     | -0.065  | 0.113      | -0.188    | -0.01      | 0.178   |
| 31 | 既存・新規技術が将来の市場に与える影響の想定     | 1.082      | 0.118     | 0.16      | 0.065   | -0.158    | 0.042     | -0.053  | -0.276     | -0.095    | -0.318     | -0.223  |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す

図表 83 コンピテンス別の大学間比較（ビジネス・教員・重要度）

| No | コンピテンス名                    | 分散分析    | 多重比較    |         |         |         |          |         |
|----|----------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|---------|
|    |                            |         | 大学3-大学1 | 大学4-大学1 | 大学7-大学1 | 大学4-大学3 | 大学7-大学3  | 大学7-大学4 |
| 1  | マクロ経済指標の説明                 | 0.628   | 0.383   | 0.141   | -0.283  | -0.242  | -0.667   | -0.424  |
| 2  | 会計指標の説明                    | 1.705   | 0.233   | 0.536   | 0.567   | 0.303   | 0.333    | 0.03    |
| 3  | ビジネスの基礎用語を説明               | 0.404   | 0.433   | 0.191   | 0.1     | -0.242  | -0.333   | -0.091  |
| 4  | ビジネスに関する事象や動向を理解し説明        | 1.528   | 0.183   | -0.105  | -0.483  | -0.288  | -0.667   | -0.379  |
| 5  | 適切なデータの取集と、図表などへの加工        | 1.629   | 0.5     | -0.045  | -0.167  | -0.545  | -0.667   | -0.121  |
| 6  | 社会現象を要因間の因果関係として図式化、整理     | 0.859   | 0.483   | -0.077  | -0.017  | -0.561  | -0.5     | 0.061   |
| 7  | 専門書籍の正確な理解                 | 0.414   | -0.083  | 0.114   | -0.25   | 0.197   | -0.167   | -0.364  |
| 8  | 経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解 | 0.316   | 0.167   | 0.045   | -0.167  | -0.121  | -0.333   | -0.212  |
| 9  | 従来の問題に気づき、代替案を提案           | 1.021   | 0.517   | 0.395   | 0.017   | -0.121  | -0.5     | -0.379  |
| 10 | 仕事の段取りを決めるスキルがある           | 0.258   | -0.1    | 0.173   | -0.1    | 0.273   | 0        | -0.273  |
| 11 | 専門的英文書籍・論文の正確な理解           | 2.729 * | 0.783   | 0.359   | -0.383  | -0.424  | -1.167 * | -0.742  |
| 12 | 英語のネット情報の正確な理解             | 1.21    | -0.35   | 0.332   | -0.183  | 0.682   | 0.167    | -0.515  |
| 13 | ビジネスに関する英語での口頭コミュニケーション    | 1.115   | 0.533   | 0.382   | 0.367   | -0.152  | -0.167   | -0.015  |
| 14 | 社会調査の基本的手法をビジネス調査に応用       | 0.069   | 0.15    | -0.032  | -0.017  | -0.182  | -0.167   | 0.015   |
| 15 | ビジネスの統計分析                  | 1.383   | 0.583   | 0.341   | 0.25    | -0.242  | -0.333   | -0.091  |
| 16 | 企業の財務上の特性や問題の指摘            | 0.807   | 0.017   | 0.395   | 0.183   | 0.379   | 0.167    | -0.212  |
| 17 | 理論に基づき企業活動を考察する            | 0.813   | 0.45    | 0.359   | -0.05   | -0.091  | -0.5     | -0.409  |
| 18 | 分析枠組に基づき企業行動を考察する          | 0.536   | 0.333   | -0.182  | 0       | -0.515  | -0.333   | 0.182   |
| 19 | マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する    | 1.051   | 0.5     | -0.182  | 0.167   | -0.682  | -0.333   | 0.348   |
| 20 | 基本概念に基づき企業における人間行動を考察する    | 0.347   | -0.133  | -0.027  | -0.3    | 0.106   | -0.167   | -0.273  |
| 21 | 組織形態に基づき企業組織を考察する          | 0.314   | 0.167   | 0.091   | -0.167  | -0.076  | -0.333   | -0.258  |
| 22 | 人的資源管理論に基づき企業の人事政策・慣行を考察する | 0.627   | -0.383  | 0.132   | -0.05   | 0.515   | 0.333    | -0.182  |
| 23 | 生産システムの管理に基づき企業活動を考察する     | 0.295   | 0.05    | -0.041  | -0.283  | -0.091  | -0.333   | -0.242  |
| 24 | 利害関係を含め企業の役割を考察する          | 2.056   | -0.283  | 0.186   | -0.45   | 0.47    | -0.167   | -0.636  |
| 25 | 国際的な事業展開の枠組に基づき企業活動を考察する   | 0.452   | -0.017  | 0.014   | -0.35   | 0.03    | -0.333   | -0.364  |
| 26 | 企業の問題の分析、解決策の作成            | 1.087   | -0.267  | -0.145  | -0.6    | 0.121   | -0.333   | -0.455  |
| 27 | コンサルティングの提案                | 0.096   | 0.167   | 0.045   | 0.167   | -0.121  | 0        | 0.121   |
| 28 | 文化や倫理が企業に与える影響の理解          | 0.771   | -0.167  | 0.182   | -0.333  | 0.348   | -0.167   | -0.515  |
| 29 | 企業組織の各職能の認識と関係性の理解         | 1.407   | -0.167  | -0.227  | -0.667  | -0.061  | -0.5     | -0.439  |
| 30 | ミクロ的・マクロ的要因の企業への影響の認識      | 0.264   | 0.017   | 0.032   | -0.317  | 0.015   | -0.333   | -0.348  |
| 31 | 既存・新規技術が将来の市場に与える影響の想定     | 0.673   | 0.267   | 0.373   | -0.067  | 0.106   | -0.333   | -0.439  |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す

図表 84 コンピテンス別の大学間比較（ビジネス・教員・習得度）

| No | コンピテンス名                    | 分散分析      | 多重比較     |           |           |         |         |         |
|----|----------------------------|-----------|----------|-----------|-----------|---------|---------|---------|
|    |                            |           | 大学3-大学1  | 大学4-大学1   | 大学7-大学1   | 大学4-大学3 | 大学7-大学3 | 大学7-大学4 |
| 1  | マクロ経済指標の説明                 | 0.825     | 0.123    | 0.456     | -0.044    | 0.333   | -0.167  | -0.5    |
| 2  | 会計指標の説明                    | 2.895 **  | 0.851 *  | 0.518     | 0.518     | -0.333  | -0.333  | 0       |
| 3  | ビジネスの基礎用語を説明               | 2.777 *   | 0.904 *  | 0.237     | 0.57      | -0.667  | -0.333  | 0.333   |
| 4  | ビジネスに関する事象や動向を理解し説明        | 0.212     | -0.2     | -0.033    | -0.2      | 0.167   | 0       | -0.167  |
| 5  | 適切なデータの取集と、図表などへの加工        | 1.414     | -0.417   | 0.333     | 0.25      | 0.75    | 0.667   | -0.083  |
| 6  | 社会現象を要因間の因果関係として図式化、整理     | 0.937     | 0.05     | 0.467     | 0.383     | 0.417   | 0.333   | -0.083  |
| 7  | 専門書籍の正確な理解                 | 1.008     | 0.5      | 0.25      | 0.5       | -0.25   | 0       | 0.25    |
| 8  | 経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解 | 0.889     | 0.3      | 0.3       | 0.633     | 0       | 0.333   | 0.333   |
| 9  | 従来の問題に気づき、代替案を提案           | 1.366     | 0.467    | 0.467     | 0.133     | 0       | -0.333  | -0.333  |
| 10 | 仕事の段取りを決めるスキルがある           | 2.613 *   | 0.483    | 0.567     | 0.65      | 0.083   | 0.167   | 0.083   |
| 11 | 専門的英文書籍・論文の正確な理解           | 3.201 **  | 0.917 *  | 0.667     | 0.083     | -0.25   | -0.833  | -0.583  |
| 12 | 英語のネット情報の正確な理解             | 4.848 *** | 0.867 *  | 0.7 **    | 0.867 *   | -0.167  | 0       | 0.167   |
| 13 | ビジネスに関する英語での口頭コミュニケーション    | 5.661 *** | 0.617    | 0.617 *   | 1.117 *** | 0       | 0.5     | 0.5     |
| 14 | 社会調査の基本的手法をビジネス調査に応用       | 3.36 **   | 0        | 0.583     | 0.833 *   | 0.583   | 0.833   | 0.25    |
| 15 | ビジネスの統計分析                  | 4.824 *** | 0.817    | 0.983 *** | 0.817     | 0.167   | 0       | -0.167  |
| 16 | 企業の財務上の特性や問題の指摘            | 3.606 **  | 1.067 ** | 0.65      | 0.4       | -0.417  | -0.667  | -0.25   |
| 17 | 理論に基づき企業活動を考察する            | 3.194 **  | 0.983 ** | 0.483     | 0.317     | -0.5    | -0.667  | -0.167  |
| 18 | 分析枠組に基づき企業行動を考察する          | 1.722     | 0.883    | 0.3       | 0.383     | -0.583  | -0.5    | 0.083   |
| 19 | マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する    | 2.481 *   | 1 *      | 0.25      | 0.5       | -0.75   | -0.5    | 0.25    |
| 20 | 基本概念に基づき企業における人間行動を考察する    | 1.239     | 0.117    | 0.533     | 0.45      | 0.417   | 0.333   | -0.083  |
| 21 | 組織形態に基づき企業組織を考察する          | 1.232     | 0.483    | 0.483     | 0.317     | 0       | -0.167  | -0.167  |
| 22 | 人的資源管理論に基づき企業の人事政策・慣行を考察する | 3.299 **  | -0.417   | 0.583     | 0.583     | 1 *     | 1       | 0       |
| 23 | 生産システムの管理に基づき企業活動を考察する     | 1.12      | 0        | 0.5       | 0.333     | 0.5     | 0.333   | -0.167  |
| 24 | 利害関係を含め企業の役割を考察する          | 0.749     | 0.45     | 0.367     | 0.117     | -0.083  | -0.333  | -0.25   |
| 25 | 国際的な事業展開の枠組に基づき企業活動を考察する   | 1.227     | 0.2      | 0.367     | 0.7       | 0.167   | 0.5     | 0.333   |
| 26 | 企業の問題の分析、解決策の作成            | 0.614     | 0.383    | 0.05      | 0.383     | -0.333  | 0       | 0.333   |
| 27 | コンサルティングの提案                | 1.275     | 0.6      | 0.267     | 0.433     | -0.333  | -0.167  | 0.167   |
| 28 | 文化や倫理が企業に与える影響の理解          | 1.408     | 0.133    | 0.55      | 0.3       | 0.417   | 0.167   | -0.25   |
| 29 | 企業組織の各職能の認識と関係性の理解         | 1.171     | 0.383    | 0.217     | -0.283    | -0.167  | -0.667  | -0.5    |
| 30 | ミクロ的・マクロ的要因の企業への影響の認識      | 2.447 *   | 0.067    | 0.567 *   | 0.067     | 0.5     | 0       | -0.5    |
| 31 | 既存・新規技術が将来の市場に与える影響の想定     | 0.86      | 0.228    | 0.478     | 0.061     | 0.25    | -0.167  | -0.417  |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す



図表 85 コンピテンス別の大学間比較（ビジネス・卒業生・重要度）

| No | コンピテンス名                    | 分散分析      | 多重比較    |          |           |         |           |         |
|----|----------------------------|-----------|---------|----------|-----------|---------|-----------|---------|
|    |                            |           | 大学4-大学1 | 大学5-大学3  | 大学6-大学3   | 大学7-大学3 | 大学9-大学3   | 大学5-大学4 |
| 1  | マクロ経済指標の説明                 | 1.485     | 0.059   | -0.308   | -0.278    | -0.115  | -0.083    | -0.367  |
| 2  | 会計指標の説明                    | 2.699 **  | -0.388  | -0.265   | -0.638 ** | -0.335  | -0.276    | 0.123   |
| 3  | ビジネスの基礎用語を説明               | 4.034 *** | 0.176   | 0.028    | -0.56 **  | -0.428  | -0.03     | -0.148  |
| 4  | ビジネスに関する事象や動向を理解し説明        | 0.706     | -0.104  | 0.051    | 0.007     | 0.139   | -0.083    | 0.155   |
| 5  | 適切なデータの取集と、図表などへの加工        | 0.788     | 0.153   | 0.123    | -0.09     | 0.018   | 0.104     | -0.029  |
| 6  | 社会現象を要因間の因果関係として図式化、整理     | 1.721     | 0.117   | 0.267    | -0.182    | -0.172  | 0.061     | 0.15    |
| 7  | 専門書籍の正確な理解                 | 2.374 **  | -0.094  | 0.22     | -0.271    | -0.447  | -0.113    | 0.314   |
| 8  | 経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解 | 2.107 *   | -0.139  | 0.106    | 0.066     | -0.403  | 0.041     | 0.245   |
| 9  | 従来の問題に気づき、代替案を提案           | 0.594     | 0.024   | -0.025   | -0.032    | -0.183  | -0.081    | -0.049  |
| 10 | 仕事の段取りを決めるスキルがある           | 1.051     | 0.108   | 0.113    | 0.108     | 0.095   | -0.027    | 0.004   |
| 11 | 専門的英文書籍・論文の正確な理解           | 1.435     | -0.174  | -0.123   | -0.455    | -0.404  | -0.157    | 0.05    |
| 12 | 英語のネット情報の正確な理解             | 2.234 **  | -0.041  | -0.229   | -0.316    | -0.176  | 0.115     | -0.187  |
| 13 | ビジネスに関する英語での口頭コミュニケーション    | 2.925 **  | -0.211  | -0.484 * | -0.551 *  | -0.134  | -0.131    | -0.273  |
| 14 | 社会調査の基本的手法をビジネス調査に応用       | 0.302     | -0.061  | 0.101    | -0.009    | 0.101   | 0.059     | 0.162   |
| 15 | ビジネスの統計分析                  | 0.332     | 0.003   | 0.098    | -0.046    | -0.2    | 0.027     | 0.095   |
| 16 | 企業の財務上の特性や問題の指摘            | 1.513     | -0.251  | -0.032   | -0.387    | 0.056   | -0.12     | 0.219   |
| 17 | 理論に基づき企業活動を考察する            | 1.152     | 0.007   | 0.132    | -0.299    | -0.177  | 0.042     | 0.125   |
| 18 | 分析枠組に基づき企業行動を考察する          | 1.195     | 0.131   | 0.071    | -0.282    | 0.177   | -0.037    | -0.06   |
| 19 | マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する    | 1.357     | 0.181   | 0.122    | -0.145    | 0.192   | -0.087    | -0.058  |
| 20 | 基本概念に基づき企業における人間行動を考察する    | 3.109 *** | 0.164   | 0.269    | 0.261     | 0.322   | 0.444 *** | 0.105   |
| 21 | 組織形態に基づき企業組織を考察する          | 2.607 **  | 0.083   | 0.325    | -0.274    | 0       | 0.137     | 0.241   |
| 22 | 人的資源管理論に基づき企業の人事政策・慣行を考察する | 1.955 *   | 0.035   | 0.31     | -0.216    | -0.02   | 0.174     | 0.275   |
| 23 | 生産システムの管理に基づき企業活動を考察する     | 0.564     | -0.001  | 0.222    | 0.065     | -0.015  | 0.034     | 0.223   |
| 24 | 利害関係を含め企業の役割を考察する          | 1.706     | 0.011   | 0.233    | 0.196     | -0.086  | 0.239     | 0.221   |
| 25 | 国際的な事業展開の枠組に基づき企業活動を考察する   | 2.137 *   | -0.078  | 0.073    | -0.264    | -0.354  | 0.13      | 0.151   |
| 26 | 企業の問題の分析、解決策の作成            | 1.033     | -0.052  | 0.167    | 0.086     | 0.278   | 0.113     | 0.218   |
| 27 | コンサルティングの提案                | 1.966 *   | 0.124   | 0.221    | 0.009     | -0.192  | 0.285     | 0.097   |
| 28 | 文化や倫理が企業に与える影響の理解          | 1.494     | 0.098   | 0.34     | 0.168     | 0.061   | 0.262     | 0.242   |
| 29 | 企業組織の各職能の認識と関係性の理解         | 0.901     | -0.126  | 0.091    | 0.046     | -0.268  | 0.019     | 0.218   |
| 30 | ミクロ的・マクロ的要因の企業への影響の認識      | 0.874     | 0.002   | -0.184   | -0.066    | -0.303  | 0.001     | -0.186  |
| 31 | 既存・新規技術が将来の市場に与える影響の想定     | 0.385     | 0.099   | 0.092    | 0.082     | 0.263   | 0.133     | -0.007  |

\*\*\* p&lt;0.01, \*\* p&lt;0.05, \* p&lt;0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す

コンピテンス別の大学間比較（ビジネス・卒業生・重要度）(Continued)

| No | コンピテンス名                    | 多重比較    |         |           |          |         |         |          |         |
|----|----------------------------|---------|---------|-----------|----------|---------|---------|----------|---------|
|    |                            | 大学7-大学4 | 大学9-大学4 | 大学6-大学5   | 大学7-大学5  | 大学9-大学5 | 大学7-大学6 | 大学9-大学6  | 大学9-大学7 |
| 1  | マクロ経済指標の説明                 | -0.174  | -0.142  | 0.03      | 0.193    | 0.225   | 0.163   | 0.195    | 0.032   |
| 2  | 会計指標の説明                    | 0.053   | 0.112   | -0.373    | -0.07    | -0.011  | 0.303   | 0.362    | 0.06    |
| 3  | ビジネスの基礎用語を説明               | -0.605  | -0.207  | -0.588 ** | -0.456   | -0.058  | 0.132   | 0.529 ** | 0.398   |
| 4  | ビジネスに関する事象や動向を理解し説明        | 0.243   | 0.021   | -0.044    | 0.088    | -0.134  | 0.132   | -0.09    | -0.222  |
| 5  | 適切なデータの取集と、図表などへの加工        | -0.135  | -0.048  | -0.214    | -0.105   | -0.019  | 0.109   | 0.195    | 0.086   |
| 6  | 社会現象を要因間の因果関係として図式化、整理     | -0.289  | -0.056  | -0.448    | -0.439   | -0.205  | 0.01    | 0.243    | 0.233   |
| 7  | 専門書籍の正確な理解                 | -0.353  | -0.019  | -0.491    | -0.667 * | -0.333  | -0.176  | 0.158    | 0.334   |
| 8  | 経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解 | -0.264  | 0.18    | -0.04     | -0.509   | -0.065  | -0.469  | -0.025   | 0.444   |
| 9  | 従来の問題に気づき、代替案を提案           | -0.207  | -0.105  | -0.007    | -0.158   | -0.056  | -0.151  | -0.049   | 0.102   |
| 10 | 仕事の段取りを決めるスキルがある           | -0.013  | -0.135  | -0.004    | -0.018   | -0.14   | -0.013  | -0.135   | -0.122  |
| 11 | 専門的英文書籍・論文の正確な理解           | -0.23   | 0.016   | -0.332    | -0.281   | -0.034  | 0.051   | 0.298    | 0.247   |
| 12 | 英語のネット情報の正確な理解             | -0.135  | 0.157   | -0.087    | 0.053    | 0.344   | 0.14    | 0.431    | 0.291   |
| 13 | ビジネスに関する英語での口頭コミュニケーション    | 0.077   | 0.08    | -0.067    | 0.351    | 0.353   | 0.418   | 0.42     | 0.002   |
| 14 | 社会調査の基本的手法をビジネス調査に応用       | 0.162   | 0.12    | -0.11     | 0        | -0.042  | 0.11    | 0.068    | -0.042  |
| 15 | ビジネスの統計分析                  | -0.203  | 0.024   | -0.144    | -0.298   | -0.071  | -0.155  | 0.073    | 0.227   |
| 16 | 企業の財務上の特性や問題の指摘            | 0.307   | 0.131   | -0.355    | 0.088    | -0.088  | 0.442   | 0.266    | -0.176  |
| 17 | 理論に基づき企業活動を考察する            | -0.184  | 0.034   | -0.431    | -0.309   | -0.091  | 0.122   | 0.341    | 0.219   |
| 18 | 分析枠組に基づき企業行動を考察する          | 0.045   | -0.168  | -0.353    | 0.105    | -0.108  | 0.458   | 0.245    | -0.214  |
| 19 | マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する    | 0.012   | -0.268  | -0.268    | 0.07     | -0.209  | 0.338   | 0.058    | -0.28   |
| 20 | 基本概念に基づき企業における人間行動を考察する    | 0.158   | 0.279   | -0.008    | 0.053    | 0.174   | 0.061   | 0.183    | 0.122   |
| 21 | 組織形態に基づき企業組織を考察する          | -0.083  | 0.054   | -0.599 ** | -0.325   | -0.187  | 0.274   | 0.411    | 0.137   |
| 22 | 人的資源管理論に基づき企業の人事政策・慣行を考察する | -0.056  | 0.139   | -0.526    | -0.33    | -0.136  | 0.195   | 0.39     | 0.194   |
| 23 | 生産システムの管理に基づき企業活動を考察する     | -0.014  | 0.035   | -0.156    | -0.237   | -0.188  | -0.081  | -0.032   | 0.049   |
| 24 | 利害関係を含め企業の役割を考察する          | -0.097  | 0.228   | -0.037    | -0.319   | 0.006   | -0.281  | 0.044    | 0.325   |
| 25 | 国際的な事業展開の枠組に基づき企業活動を考察する   | -0.275  | 0.208   | -0.337    | -0.427   | 0.057   | -0.09   | 0.394    | 0.484   |
| 26 | 企業の問題の分析、解決策の作成            | 0.329   | 0.164   | -0.081    | 0.111    | -0.054  | 0.192   | 0.027    | -0.165  |
| 27 | コンサルティングの提案                | -0.316  | 0.161   | -0.212    | -0.413   | 0.064   | -0.201  | 0.276    | 0.477   |
| 28 | 文化や倫理が企業に与える影響の理解          | -0.038  | 0.163   | -0.172    | -0.28    | -0.079  | -0.108  | 0.093    | 0.201   |
| 29 | 企業組織の各職能の認識と関係性の理解         | -0.141  | 0.146   | -0.046    | -0.359   | -0.072  | -0.314  | -0.027   | 0.287   |
| 30 | ミクロ的・マクロ的要因の企業への影響の認識      | -0.305  | -0.001  | 0.118     | -0.119   | 0.185   | -0.237  | 0.067    | 0.304   |
| 31 | 既存・新規技術が将来の市場に与える影響の想定     | 0.163   | 0.033   | -0.01     | 0.171    | 0.041   | 0.181   | 0.051    | -0.13   |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す

図表 86 コンピテンス別の大学間比較（ビジネス・卒業生・習得度）

| No | コンピテンス名                    | 分散分析       | 多重比較     |           |            |            |            |         |            |
|----|----------------------------|------------|----------|-----------|------------|------------|------------|---------|------------|
|    |                            |            | 大学4-大学1  | 大学5-大学3   | 大学6-大学3    | 大学7-大学3    | 大学9-大学3    | 大学5-大学4 | 大学6-大学4    |
| 1  | マクロ経済指標の説明                 | 4.698 ***  | 0.159    | 0.043     | -0.164     | -0.238     | 0.322 **   | -0.116  | -0.323     |
| 2  | 会計指標の説明                    | 3.111 ***  | -0.274   | -0.01     | -0.676 **  | -0.413     | -0.276     | 0.264   | -0.403     |
| 3  | ビジネスの基礎用語を説明               | 2.318 **   | 0.139    | -0.101    | -0.469     | -0.382     | -0.117     | -0.24   | -0.608 **  |
| 4  | ビジネスに関する事象や動向を理解し説明        | 0.315      | 0.038    | 0.128     | -0.074     | 0.058      | -0.008     | 0.091   | -0.111     |
| 5  | 適切なデータの取集と、図表などへの加工        | 2.617 **   | 0.319    | 0.325     | 0.156      | -0.342     | 0.114      | 0.005   | -0.163     |
| 6  | 社会現象を要因間の因果関係として図式化、整理     | 1.071      | 0.028    | -0.026    | -0.219     | -0.395     | -0.085     | -0.054  | -0.247     |
| 7  | 専門書籍の正確な理解                 | 1.074      | -0.037   | 0.062     | -0.287     | -0.201     | -0.103     | 0.099   | -0.25      |
| 8  | 経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解 | 0.748      | -0.065   | 0.074     | -0.114     | -0.19      | 0.054      | 0.139   | -0.049     |
| 9  | 従来の問題に気づき、代替案を提案           | 0.967      | -0.061   | 0.029     | -0.259     | -0.34      | -0.047     | 0.09    | -0.198     |
| 10 | 仕事の段取りを決めるスキルがある           | 1.275      | 0.106    | 0.324     | 0.037      | 0.307      | 0.064      | 0.218   | -0.069     |
| 11 | 専門的英文書籍・論文の正確な理解           | 4.121 ***  | -0.2     | -0.436 ** | -0.509 *   | -0.735 *** | -0.195     | -0.236  | -0.309     |
| 12 | 英語のネット情報の正確な理解             | 3.04 ***   | 0.122    | -0.269    | -0.34      | -0.164     | 0.091      | -0.391  | -0.462     |
| 13 | ビジネスに関する英語での口頭コミュニケーション    | 4.018 ***  | 0.331    | 0.118     | -0.2       | 0.311      | 0.404 **   | -0.213  | -0.531     |
| 14 | 社会調査の基本的手法をビジネス調査に応用       | 0.849      | -0.064   | -0.165    | -0.335     | -0.252     | -0.157     | -0.101  | -0.271     |
| 15 | ビジネスの統計分析                  | 2.99 **    | 0.413 *  | 0.209     | -0.121     | -0.177     | 0.075      | -0.205  | -0.535 *   |
| 16 | 企業の財務上の特性や問題の指摘            | 2.945 **   | -0.072   | 0.193     | -0.544     | 0.351      | -0.109     | 0.265   | -0.472     |
| 17 | 理論に基づき企業活動を考察する            | 3.855 ***  | -0.139   | 0.298     | -0.516     | -0.211     | -0.18      | 0.437   | -0.377     |
| 18 | 分析枠組に基づき企業行動を考察する          | 10.851 *** | -0.185   | -0.29     | -0.879 *** | -0.325     | -0.768 *** | -0.105  | -0.693 *** |
| 19 | マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する    | 15.134 *** | -0.111   | -0.417    | -0.815 *** | -0.434     | -0.93 ***  | -0.306  | -0.703 *** |
| 20 | 基本概念に基づき企業における人間行動を考察する    | 1.499      | -0.078   | 0.005     | -0.307     | -0.504     | -0.157     | 0.083   | -0.228     |
| 21 | 組織形態に基づき企業組織を考察する          | 6.022 ***  | -0.389 * | -0.316    | -0.662 *** | -0.597     | -0.597 *** | 0.072   | -0.273     |
| 22 | 人的資源管理論に基づき企業の人事政策・慣行を考察する | 1.52       | 0.043    | 0.173     | -0.275     | 0.015      | -0.092     | 0.13    | -0.318     |
| 23 | 生産システムの管理に基づき企業活動を考察する     | 0.909      | -0.141   | -0.082    | -0.062     | -0.197     | -0.205     | 0.058   | 0.079      |
| 24 | 利害関係を含め企業の役割を考察する          | 1.167      | -0.177   | 0.044     | -0.133     | -0.441     | -0.052     | 0.221   | 0.044      |
| 25 | 国際的な事業展開の枠組に基づき企業活動を考察する   | 1.196      | -0.124   | -0.123    | 0          | -0.25      | 0.078      | 0.001   | 0.123      |
| 26 | 企業の問題の分析、解決策の作成            | 0.835      | 0.024    | 0.154     | -0.199     | -0.106     | -0.008     | 0.13    | -0.223     |
| 27 | コンサルティングの提案                | 1.224      | 0.025    | -0.149    | -0.382     | 0.051      | -0.113     | -0.174  | -0.407     |
| 28 | 文化や倫理が企業に与える影響の理解          | 0.431      | 0.065    | 0.196     | 0.039      | 0.077      | 0.124      | 0.131   | -0.026     |
| 29 | 企業組織の各職能の認識と関係性の理解         | 2.134 *    | 0.017    | 0.046     | -0.145     | -0.597     | -0.173     | 0.029   | -0.163     |
| 30 | ミクロ的・マクロ的要因の企業への影響の認識      | 1.558      | -0.095   | -0.013    | -0.209     | -0.153     | 0.108      | 0.082   | -0.114     |
| 31 | 既存・新規技術が将来の市場に与える影響の想定     | 1.357      | 0.073    | -0.156    | -0.363     | -0.132     | -0.103     | -0.229  | -0.436     |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す

コンピテンス別の大学間比較（ビジネス・卒業生・習得度） (Continued)

| No | コンピテンス名                    | 多重比較     |            |            |          |            |          |           |          |
|----|----------------------------|----------|------------|------------|----------|------------|----------|-----------|----------|
|    |                            | 大学7-大学4  | 大学9-大学4    | 大学6-大学5    | 大学7-大学5  | 大学9-大学5    | 大学7-大学6  | 大学9-大学6   | 大学9-大学7  |
| 1  | マクロ経済指標の説明                 | -0.397   | 0.162      | -0.207     | -0.281   | 0.279      | -0.074   | 0.485 **  | 0.559 ** |
| 2  | 会計指標の説明                    | -0.14    | -0.002     | -0.667 **  | -0.404   | -0.266     | 0.263    | 0.401     | 0.138    |
| 3  | ビジネスの基礎用語を説明               | -0.52    | -0.256     | -0.368     | -0.281   | -0.016     | 0.087    | 0.352     | 0.264    |
| 4  | ビジネスに関する事象や動向を理解し説明        | 0.02     | -0.046     | -0.202     | -0.07    | -0.137     | 0.132    | 0.065     | -0.066   |
| 5  | 適切なデータの取集と、図表などへの加工        | -0.662 * | -0.206     | -0.168     | -0.667 * | -0.211     | -0.498   | -0.043    | 0.456    |
| 6  | 社会現象を要因間の因果関係として図式化、整理     | -0.423   | -0.112     | -0.192     | -0.368   | -0.058     | -0.176   | 0.134     | 0.31     |
| 7  | 専門書籍の正確な理解                 | -0.164   | -0.066     | -0.349     | -0.263   | -0.165     | 0.086    | 0.184     | 0.099    |
| 8  | 経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解 | -0.124   | 0.12       | -0.188     | -0.263   | -0.019     | -0.076   | 0.168     | 0.244    |
| 9  | 従来の問題に気づき、代替案を提案           | -0.279   | 0.014      | -0.288     | -0.368   | -0.076     | -0.081   | 0.212     | 0.292    |
| 10 | 仕事の段取りを決めるスキルがある           | 0.2      | -0.042     | -0.287     | -0.018   | -0.26      | 0.27     | 0.027     | -0.243   |
| 11 | 専門的英文書籍・論文の正確な理解           | -0.534   | 0.005      | -0.073     | -0.298   | 0.242      | -0.225   | 0.314     | 0.54 *   |
| 12 | 英語のネット情報の正確な理解             | -0.286   | -0.031     | -0.071     | 0.105    | 0.36 *     | 0.176    | 0.431     | 0.255    |
| 13 | ビジネスに関する英語での口頭コミュニケーション    | -0.02    | 0.073      | -0.319     | 0.193    | 0.286      | 0.512    | 0.604 *** | 0.093    |
| 14 | 社会調査の基本的手法をビジネス調査に応用       | -0.189   | -0.093     | -0.17      | -0.088   | 0.008      | 0.082    | 0.178     | 0.096    |
| 15 | ビジネスの統計分析                  | -0.591   | -0.338 *   | -0.33      | -0.386   | -0.133     | -0.056   | 0.197     | 0.252    |
| 16 | 企業の財務上の特性や問題の指摘            | 0.423    | -0.037     | -0.737 **  | 0.158    | -0.302     | 0.895 ** | 0.435     | -0.46    |
| 17 | 理論に基づき企業活動を考察する            | -0.072   | -0.041     | -0.814 *** | -0.509   | -0.478 *** | 0.306    | 0.337     | 0.031    |
| 18 | 分析枠組に基づき企業行動を考察する          | -0.14    | -0.582 *** | -0.589 *   | -0.035   | -0.478 *** | 0.553    | 0.111     | -0.443   |
| 19 | マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する    | -0.323   | -0.819 *** | -0.398     | -0.018   | -0.513 *** | 0.38     | -0.115    | -0.495   |
| 20 | 基本概念に基づき企業における人間行動を考察する    | -0.425   | -0.078     | -0.312     | -0.509   | -0.162     | -0.197   | 0.15      | 0.347    |
| 21 | 組織形態に基づき企業組織を考察する          | -0.208   | -0.208     | -0.345     | -0.281   | -0.281     | 0.065    | 0.065     | 0        |
| 22 | 人的資源管理論に基づき企業の人事政策・慣行を考察する | -0.028   | -0.135     | -0.448     | -0.158   | -0.265     | 0.29     | 0.184     | -0.107   |
| 23 | 生産システムの管理に基づき企業活動を考察する     | -0.056   | -0.064     | 0.02       | -0.114   | -0.122     | -0.134   | -0.142    | -0.008   |
| 24 | 利害関係を含め企業の役割を考察する          | -0.264   | 0.125      | -0.177     | -0.485   | -0.096     | -0.308   | 0.081     | 0.389    |
| 25 | 国際的な事業展開の枠組に基づき企業活動を考察する   | -0.126   | 0.201      | 0.122      | -0.127   | 0.2        | -0.249   | 0.078     | 0.327    |
| 26 | 企業の問題の分析、解決策の作成            | -0.13    | -0.032     | -0.353     | -0.26    | -0.162     | 0.093    | 0.191     | 0.098    |
| 27 | コンサルティングの提案                | 0.027    | -0.138     | -0.233     | 0.2      | 0.036      | 0.434    | 0.269     | -0.165   |
| 28 | 文化や倫理が企業に与える影響の理解          | 0.012    | 0.059      | -0.157     | -0.119   | -0.072     | 0.038    | 0.085     | 0.047    |
| 29 | 企業組織の各職能の認識と関係性の理解         | -0.614   | -0.19      | -0.191     | -0.643   | -0.218     | -0.452   | -0.027    | 0.424    |
| 30 | ミクロ的・マクロ的要因の企業への影響の認識      | -0.059   | 0.203      | -0.196     | -0.141   | 0.121      | 0.056    | 0.317     | 0.262    |
| 31 | 既存・新規技術が将来の市場に与える影響の想定     | -0.205   | -0.176     | -0.207     | 0.024    | 0.052      | 0.231    | 0.26      | 0.028    |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す

#### 4.2.6 大学内の認識差の有無

各大学内で対象者間の回答傾向に違いがあるかどうかを分散分析と多重比較により分析した結果を図表 87 に示す。ここでは、5 大学のうち 4 大学で、大学内において対象者間に有意差が見られる。大学 3 と大学 4 はどちらも 3 種の対象者の全組合せで比較が可能であり、大学間で似た傾向を示す。教員と学生の有意差は習得度において、卒業生と学生の有意差は重要度において、そして卒業生と教員の差は両方において示される。大学 6 と 9 はどちらも卒業生と学生のみ間で比較可能であり、重要度と習得度の双方で有意差が見られる。大学 1 は教員と学生のみ比較可能であり、両者の違いは示されない。すなわち、大学関係者においては、経済学と同様に、大学に属する者の間では違いが認められにくく、卒業生との間に違いが見られる。またいずれの大学においても、分析結果が有意な場合に、教員－学生の差分は正であり、卒業生が被減数の場合は負のため、教員は学生よりも、学生は卒業生よりも重要度と習得度を高く認識していることが分かる。

次に、どのコンピテンスで違いが見られるのか、分散分析と多重比較により分析した結果を図表 88（重要度）と図表 89（習得度）に示す。重要度を見ると、分散分析において有意差のあるコンピテンスが多いのは、大学 3（21 個）と大学 4（22 個）である。大学 3 も大学 4 も対象者ペアについては似た傾向を示す。すなわち教員と学生は殆ど違いが見られず（各 0 個と 2 個）、卒業生と学生の違いが大きい（各 19 個と 15 個）。卒業生と教員の差はそれほど大きくない（各 6 個と 8 個）。他大学内の対象ペアの結果を見ても、卒業生と学生の間での有意差は、卒業生と教員や、教員と学生の有意差よりも多い。卒業生と学生の間で大学に関わらず有意差が多いのは、「11. 専門的英文書籍・論文の正確な理解」、「12. 英語のネット情報の正確な理解」、「13. ビジネスに関する英語での口頭コミュニケーション」などの英語に関連するコンピテンスである。また大学間で共通して卒業生と教員で有意差が多いのは、「15. ビジネスの統計分析」である。習得度に関しても、重要度と同様の傾向が見られる。学生と教員の間では認識が異なるコンピテンスは極めて少なく（全大学で 2 以下）、卒業生と学生の間（最大は大学 6 の 18、その他は 6 程度）、もしくは卒業生と教員の間で有意差が多い。大学間で共通して学生と卒業生の間で差が見られるコンピテンスは、「18. 分析枠組に基づき企業行動を考察する」、「19. マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する」である。各大学の大学内での比較からは、学生と教員の差よりも、学生と卒業生および教員と卒業生の差が大きく、卒業生と学生の差は英語を用いるコンピテンスの重要度、そして No.18 と No.19 の考察コンピテンスの習得度で差が見られる。

図表 87 大学内の対象別分散分析と多重比較結果（ビジネス）

|      |          | 大学1    |        | 大学3        |            | 大学4        |            | 大学6        |            | 大学9      |           |
|------|----------|--------|--------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|----------|-----------|
|      |          | 重要度    | 習得度    | 重要度        | 習得度        | 重要度        | 習得度        | 重要度        | 習得度        | 重要度      | 習得度       |
| 分散分析 |          | 2.324  | 0.371  | 10.202 *** | 6.515 ***  | 7.12 ***   | 11.448 *** | 9.289 ***  | 20.619 *** | 6.595 ** | 5.137 **  |
| 多重比較 | 教員 - 学生  | -0.102 | -0.047 | 0.006      | 0.225 **   | 0.073      | 0.21 **    |            |            |          |           |
|      | 卒業生 - 学生 |        |        | -0.325 *** | -0.074     | -0.223 **  | -0.129     | -0.314 *** | -0.402 *** | -0.24 ** | -0.162 ** |
|      | 卒業生 - 教員 |        |        | -0.331 *** | -0.299 *** | -0.296 *** | -0.339 *** |            |            |          |           |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1、表中の数値のうち分散分析は F 値を多重比較は差分を表す

図表 88 コンピテンンス別の大学内比較 (ビジネス・重要度)

| No | コンピテンンス名                   | 大学1        |               | 大学3        |               |            | 大学4           |          |               | 大学6        |               |            | 大学7           |           |               | 大学9        |               |  |
|----|----------------------------|------------|---------------|------------|---------------|------------|---------------|----------|---------------|------------|---------------|------------|---------------|-----------|---------------|------------|---------------|--|
|    |                            | 分散分析       | 多重比較<br>教員・学生 | 分散分析       | 多重比較<br>教員・学生 | 分散分析       | 多重比較<br>教員・学生 | 分散分析     | 多重比較<br>教員・学生 | 分散分析       | 多重比較<br>教員・学生 | 分散分析       | 多重比較<br>教員・学生 | 分散分析      | 多重比較<br>教員・学生 | 分散分析       | 多重比較<br>教員・学生 |  |
| 1  | マクロ経済指標の説明                 | 0.269      | -0.093        | 8.111 ***  | -0.449 ***    | -0.587     | 3.916 **      | -0.092   | -0.377 **     | -0.285     | 2.147         | -0.406     | 0.008         | -0.035    | 5.937 **      | -0.427 **  | 5.937 **      |  |
| 2  | 会計指標の説明                    | 0.046      | -0.039        | 0.089      | -0.035        | 0.055      | 2.732 *       | 0.575    | -0.061        | -0.636 *   | 2.577         | -0.438     | 1.629         | -0.614    | 1.023         | -0.161     | 1.023         |  |
| 3  | ビジネスの基礎用語を説明               | 1.265      | -0.213        | 0.68       | -0.118        | -0.274     | 0.739         | 0.018    | 0.163         | 0.145      | 0             | 0          | 0.635         | -0.368    | 0.77          | -0.153     | 0.77          |  |
| 4  | ビジネスに関する事象や動向を理解し説明        | 1.222      | 0.163         | 0.751      | 0.016         | -0.341     | 0.263         | 0.094    | -0.062        | -0.157     | 0.241         | 0.125      | 2.45          | 0.465     | 5.362 **      | -0.318 **  | 5.362 **      |  |
| 5  | 適切なデータの取集と、図表などへの加工        | 1.513      | 0.196         | 2.206      | -0.009        | -0.597     | 0.295         | -0.021   | 0.08          | 0.101      | 0.078         | -0.063     | 0.081         | 0.088     | 0.689         | 0.113      | 0.689         |  |
| 6  | 社会現象を要因間の因果関係として図式化・整理     | 0.256      | 0.08          | 3.196 **   | -0.198        | -0.714 *   | 0.04          | 0.004    | -0.032        | -0.037     | 0.624         | -0.188     | 0.701         | -0.386    | 2.65          | -0.244     | 2.65          |  |
| 7  | 専門書籍の正確な理解                 | 0.682      | 0.146         | 9.334 ***  | -0.477 ***    | -0.614     | 6.197 ***     | 0.644 *  | -0.261        | -0.905 *** | 6.589 **      | -0.719 **  | 4.72 **       | -0.895 ** | 0.994         | -0.167     | 0.994         |  |
| 8  | 経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解 | 0.537      | 0.117         | 0.649      | -0.094        | -0.264     | 1.056         | 0.143    | -0.139        | -0.282     | 0.016         | 0.031      | 0.76          | -0.333    | 1.626         | -0.162     | 1.626         |  |
| 9  | 従来問題に気づき、代替案を提案            | 5.079 **   | -0.346 **     | 1.019      | 0.137         | -0.01      | 1.91          | 0.058    | 0.193         | 0.135      | 1.778         | 0.25       | 0.563         | 0.307     | 1.085         | -0.121     | 1.085         |  |
| 10 | ビジネスの基礎用語を説明               | 14.983 *** | -0.561 ***    | 3.563 **   | -0.488        | 0.642 **   | 3.846 **      | -0.215   | -0.215        | 0.477      | 1.445         | 0.188      | 7.41 **       | 0.737 **  | 0.035         | -0.022     | 0.035         |  |
| 11 | 専門的英文書籍・論文の正確な理解           | 2.069      | -0.276        | 13.379 *** | -0.607 ***    | -1.035 **  | 6.745 **      | 0.299    | -0.485 ***    | -0.784 **  | 25.019 ***    | -1.156 *** | 0.53          | -0.272    | 13.061 ***    | -0.616 *** | 13.061 ***    |  |
| 12 | 英語のネット情報の正確な理解             | 0.035      | -0.037        | 9.679 ***  | -0.565        | 0.097      | 5.805 ***     | 0.182    | -0.444 ***    | -0.626 *   | 13.941 ***    | -0.906 *** | 0.288         | -0.246    | 7.513 ***     | -0.47 ***  | 7.513 ***     |  |
| 13 | ビジネスに関する英語での口頭コミュニケーション    | 4.84 **    | -0.409 **     | 3.78 **    | -0.19         | -0.285 **  | 3.836 **      | -0.245   | -0.399 **     | -0.154     | 4.583 **      | -0.563 **  | 0.017         | -0.061    | 8.474 ***     | -0.468 *** | 8.474 ***     |  |
| 14 | 社会調査の基本的手法をビジネス調査に応用       | 2.357      | -0.28         | 7.838 ***  | -0.469 ***    | -0.522     | 8.365 ***     | -0.182   | -0.583 ***    | -0.402     | 3.276 *       | -0.469 *   | 0.389         | -0.254    | 9.754 ***     | -0.524 *** | 9.754 ***     |  |
| 15 | ビジネスの統計分析                  | 1.821      | -0.25         | 21.944 *** | -0.701 ***    | -0.575 *** | 7.757 ***     | 0.249    | -0.48 ***     | -0.73 **   | 2.772         | -0.438     | 3.302 *       | -0.842 *  | 8.792 ***     | -0.524 *** | 8.792 ***     |  |
| 16 | 企業の財務上の特性や問題の指摘            | 0.455      | -0.12         | 0.375      | -0.206        | 0.045      | 1.848         | 0.533    | 0.154         | -0.379     | 1.579         | -0.344     | 0.147         | 0.14      | 0.052         | -0.036     | 0.052         |  |
| 17 | 理論に基づき企業活動を考察する            | 1.523      | -0.233        | 17.202 *** | -0.124        | -0.632 *** | 2.729 *       | 0.141    | -0.268        | -0.409     | 3.827 *       | -0.494 *   | 0.129         | -0.184    | 0.061         | -0.041     | 0.061         |  |
| 18 | 分析枠組に基づき企業行動を考察する          | 0.575      | -0.13         | 20.377 *** | 0.08          | -0.745 *** | 2.792 *       | -0.145   | -0.325 *      | -0.179     | 2.605         | -0.462     | 0.473         | -0.316    | 3.531 *       | -0.317 *   | 3.531 *       |  |
| 19 | マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する    | 0.78       | -0.157        | 20.066 *** | 0.182         | -0.721 *** | 5.039 ***     | -0.389   | -0.43 ***     | -0.04      | 2.274         | -0.423     | 0.622         | -0.377    | 8.532 ***     | -0.52 ***  | 8.532 ***     |  |
| 20 | 基本概念に基づき企業における人間行動を考察する    | 0.34       | -0.091        | 9.955 ***  | -0.165        | -0.496 *** | 2.418 *       | -0.032   | -0.305 *      | -0.273     | 0.358         | 0.159      | 0.158         | 0.158     | 0.604         | -0.115     | 0.604         |  |
| 21 | 組織形態に基づき企業組織を考察する          | 0.168      | -0.07         | 17.693 *** | 0.006         | -0.661 *** | 3.759 **      | 0.249    | -0.258 *      | -0.508 *   | 6.861 **      | -0.649 **  | 0.516         | -0.333    | 5.191 **      | -0.332 **  | 5.191 **      |  |
| 22 | 人的資源管理論に基づき企業の人事政策・慣行を考察する | 0.39       | 0.102         | 10.029 *** | -0.268        | -0.525 *** | 5.006 ***     | 0.499    | -0.238        | -0.737 **  | 2.291         | -0.431     | 2.023         | -0.611    | 2.421         | -0.265     | 2.421         |  |
| 23 | 生産システムの管理に基づき企業活動を考察する     | 0          | 0.002         | 8.38 ***   | 0.024         | -0.461 *** | 2.115         | 0.153    | -0.242        | -0.395     | 2.826 *       | -0.419 *   | 0.154         | -0.167    | 3.349 *       | -0.299 *   | 3.349 *       |  |
| 24 | 利害関係を含め企業の役割を考察する          | 0.146      | -0.054        | 2.122      | -0.101        | -0.238     | 3.785 **      | 0.344    | -0.251        | -0.595 *   | 0.389         | -0.149     | 0.015         | -0.056    | 1.46          | -0.185     | 1.46          |  |
| 25 | 国際的な事業展開の枠組に基づき企業活動を考察する   | 0.593      | 0.124         | 3.04 **    | 0.148         | -0.277 *   | 3.606 **      | 0.217    | -0.315 *      | -0.533     | 9.025 ***     | -0.792 *** | 0.957         | -0.444    | 1.704         | -0.203     | 1.704         |  |
| 26 | 企業の問題の分析、解決策の作成            | 2.388      | 0.261         | 1.286      | -0.161        | -0.161     | 1.523         | -0.033   | -0.206        | -0.173     | 0.143         | -0.081     | 3.011 *       | 0.611 *   | 3.97 **       | -0.281 **  | 3.97 **       |  |
| 27 | コンサルティングの提案                | 7.151 ***  | -0.509 ***    | 3.701 **   | -0.309        | -0.34 **   | 6.25 ***      | -0.662 * | -0.447 ***    | 0.215      | 3.545 *       | -0.48 *    | 0.247         | -0.222    | 1.509         | -0.2       | 1.509         |  |
| 28 | 文化や倫理が企業に与える影響の理解          | 0.405      | -0.113        | 6.656 ***  | -0.185        | -0.412 *** | 4.545 **      | 0.109    | -0.369 **     | -0.478     | 0.447         | -0.163     | 0             | 0         | 0.408         | -0.102     | 0.408         |  |
| 29 | 企業組織の各機能の認識と関係性の理解         | 0.109      | 0.048         | 0.91       | -0.038        | -0.159     | 3.373 **      | -0.118   | -0.305 **     | -0.187     | 0.182         | -0.117     | 0.104         | 0.111     | 0.109         | 0.05       | 0.109         |  |
| 30 | ミクロ的・マクロ的要因の企業への影響の認識      | 0.112      | -0.059        | 3.831 **   | -0.091        | -0.288 **  | 1.137         | 0.011    | -0.199        | -0.21      | 0.136         | -0.097     | 0.111         | -0.167    | 0.33          | -0.09      | 0.33          |  |
| 31 | 既存・新規技術が将来の市場に与える影響の想定     | 3.884 *    | -0.361 *      | 6.485 ***  | -0.235        | -0.386 *** | 2.116         | -0.118   | -0.276        | -0.158     | 0.01          | -0.028     | 1.354         | 0.444     | 2.767 *       | -0.246 *   | 2.767 *       |  |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す

図表 89 コンピテンス別の大学内比較（ビジネス・習得度）

| No | コンピテンス名                    | 大学1      |               |          | 大学3           |          |               | 大学4       |               |            | 大学6           |            |               | 大学7      |               |            | 大学9           |      |               |
|----|----------------------------|----------|---------------|----------|---------------|----------|---------------|-----------|---------------|------------|---------------|------------|---------------|----------|---------------|------------|---------------|------|---------------|
|    |                            | 分散分析     | 多重比較<br>教員・学生 | 分散分析     | 多重比較<br>教員・学生 | 分散分析     | 多重比較<br>教員・学生 | 分散分析      | 多重比較<br>教員・学生 | 分散分析       | 多重比較<br>教員・学生 | 分散分析       | 多重比較<br>教員・学生 | 分散分析     | 多重比較<br>教員・学生 | 分散分析       | 多重比較<br>教員・学生 | 分散分析 | 多重比較<br>教員・学生 |
| 1  | マクロ経済指標の説明                 | 0.098    | -0.067        | 1.913    | -0.03         | -0.231   | -0.201        | 1.37      | 0.39          | 0.015      | -0.375        | 16.667 *** | -0.781 ***    | 0.614    | -0.272        | 1.954      | -0.212        |      |               |
| 2  | 会計指標の説明                    | 0.204    | 0.102         | 1.043    | 0.525         | 0.034    | -0.49         | 1.792     | 0.52          | 0.09       | -0.431        | 3.228 *    | -0.5 *        | 1.117    | -0.57         | 2.088      | -0.266        |      |               |
| 3  | ビジネスの基礎用語を説明               | 0.002    | 0.009         | 4.368 ** | 0.766         | 0.349 ** | -0.417        | 2.225     | -0.09         | 0.299      | 0.389         | 0.131      | 0.094         | 0.975    | -0.465        | 0.089      | 0.057         |      |               |
| 4  | ビジネスに関する事象や動向を理解し説明        | 1.903    | 0.256         | 1.849    | 0.144         | 0.218    | 0.074         | 0.585     | 0.185         | 0.129      | -0.056        | 0.064      | 0.063         | 0.152    | 0.132         | 0.661      | -0.132        |      |               |
| 5  | 適切なデータの取集と、図表などへの加工        | 0.729    | 0.163         | 1.72     | -0.367        | -0.201   | 0.167         | 0.66      | 0.132         | -0.132     | -0.264        | 0.609      | -0.156        | 3.623 *  | -0.842 *      | 0.37       | 0.098         |      |               |
| 6  | 社会現象を要因間の因果関係として図式化、整理     | 0.048    | 0.045         | 0.588    | -0.127        | -0.127   | 0             | 1.095     | 0.29          | -0.099     | -0.389        | 2.366      | -0.281        | 2.457    | -0.728        | 0.478      | 0.112         |      |               |
| 7  | 専門書籍の正確な理解                 | 1.244    | 0.23          | 3.226 ** | 0.322         | -0.266 * | -0.588        | 1.046     | 0.316         | -0.059     | -0.375        | 2.706      | -0.375        | 4.968 ** | -0.789 **     | 0.056      | 0.036         |      |               |
| 8  | 経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解 | 0.163    | -0.078        | 0.024    | 0.074         | 0        | -0.074        | 1.392     | 0.313         | 0.174      | -0.139        | 0.563      | 0.188         | 2.193    | -0.596        | 0.539      | -0.11         |      |               |
| 9  | 従来の問題に気づき、代替案を提案           | 2.911 *  | -0.34 *       | 0.78     | 0.203         | 0.14     | -0.064        | 0.143     | 0.076         | -0.049     | -0.125        | 3.108 *    | -0.344 *      | 0.03     | -0.07         | 0.016      | -0.02         |      |               |
| 10 | 仕事の段取りを決めるスキルがある           | 4.637 ** | -0.436 **     | 0.46     | 0.15          | -0.095   | -0.245        | 0.409     | 0.146         | -0.077     | -0.222        | 1.125      | -0.25         | 0.074    | -0.105        | 1.441      | -0.196        |      |               |
| 11 | 専門的英文書籍・論文の正確な理解           | 0        | 0.004         | 3.047 ** | 0.299         | -0.264 * | -0.564        | 4.569 *** | 0.103         | -0.41 **   | -0.514        | 2.023      | -0.344        | 2.014    | -0.465        | 3.386 *    | -0.304 *      |      |               |
| 12 | 英語のネット情報の正確な理解             | 0.002    | -0.01         | 4.314 ** | 0.297         | -0.31 ** | -0.608        | 0.903     | 0.163         | -0.157     | -0.319        | 6.963 **   | -0.719 **     | 4.133 *  | -0.772 *      | 6.014 **   | -0.426 **     |      |               |
| 13 | ビジネスに関する英語での口頭コミュニケーション    | 0.519    | -0.148        | 1.233    | 0.189         | -0.183   | -0.373        | 1.042     | 0.239         | 0.197      | -0.042        | 5.064 **   | -0.594 **     | 2.186    | -0.561        | 0.007      | 0.016         |      |               |
| 14 | 社会調査の基本的手法をビジネス調査に応用       | 2.122    | -0.302        | 0.097    | -0.114        | 0.033    | 0.147         | 2.879 *   | 0.174         | -0.326     | -0.5          | 2.96 *     | -0.375 *      | 6.319 ** | -0.939 **     | 5.466 **   | -0.404 **     |      |               |
| 15 | ビジネスの統計分析                  | 0.903    | -0.221        | 2.863 *  | 0.723         | -0.135   | -0.858 *      | 2.93 *    | 0.291         | -0.32      | -0.611        | 0.069      | -0.062        | 8.17 *** | -1.035 ***    | 0.787      | -0.146        |      |               |
| 16 | 企業の財務上の特性や問題の指摘            | 1.204    | -0.241        | 2.215    | 0.754         | 0.132    | -0.623        | 1.734     | 0.497         | 0.219      | -0.278        | 6.732 **   | -0.75 **      | 0.646    | 0.395         | 0.793      | -0.171        |      |               |
| 17 | 理論に基づき企業活動を考察する            | 0.308    | 0.112         | 2.352 *  | 0.76          | -0.073   | -0.833 *      | 3.119 **  | 0.622 **      | 0.15       | -0.472        | 3.38 *     | -0.391 *      | 0.622    | -0.377        | 0.45       | -0.119        |      |               |
| 18 | 分析枠組に基づき企業行動を考察する          | 0.001    | 0.006         | 4.001 ** | 0.395         | -0.35 ** | -0.745        | 4.292 **  | -0.117        | -0.465 **  | -0.347        | 12.194 *** | -0.853 ***    | 2.064    | -0.57         | 4.653 **   | -0.361 **     |      |               |
| 19 | マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する    | 0.043    | 0.048         | 3.921 ** | 0.444         | -0.306 * | -0.75         | 6.418 *** | -0.419        | -0.53 ***  | -0.111        | 8.633 ***  | -0.877 ***    | 1.631    | -0.684        | 11.301 *** | -0.574 ***    |      |               |
| 20 | 基本概念に基づき企業における人間行動を考察する    | 1.635    | -0.26         | 1.536    | -0.208        | -0.213   | -0.005        | 5.336 *** | 0.071         | -0.429 *** | -0.5          | 13.99 ***  | -0.833 ***    | 4.015 *  | -0.842 *      | 2.769 *    | -0.283 *      |      |               |
| 21 | 組織形態に基づき企業組織を考察する          | 0.011    | -0.023        | 0.235    | 0.245         | 0.008    | -0.236        | 2.96 *    | 0.484         | -0.141     | -0.625 *      | 1.352      | -0.252        | 2.538    | -0.667        | 9.419 ***  | -0.485 ***    |      |               |
| 22 | 人的資源管理論に基づき企業の人事政策・慣行を考察する | 0        | 0.004         | 1.199    | -0.315        | -0.163   | 0.152         | 4.59 **   | 0.737 **      | -0.069     | -0.806 ***    | 4.75 **    | -0.478 **     | 4.084 *  | -0.833 *      | 6.339 **   | -0.41 **      |      |               |
| 23 | 生産システムの管理に基づき企業活動を考察する     | 0.318    | -0.111        | 1.445    | -0.234        | -0.204   | 0.03          | 3.226 **  | 0.476         | -0.135     | -0.611 **     | 3.626 *    | -0.47 *       | 3.16 *   | -0.5 *        | 7.532 ***  | -0.417 ***    |      |               |
| 24 | 利害関係を含め企業の役割を考察する          | 0.105    | 0.066         | 1.18     | 0.526         | 0.078    | -0.448        | 2.712 *   | 0.314         | -0.227     | -0.542        | 6.799 **   | -0.581 **     | 2.022    | -0.556        | 0.437      | -0.106        |      |               |
| 25 | 国際的な事業展開の枠組に基づき企業活動を考察する   | 0.001    | 0.006         | 0.649    | 0.363         | 0.057    | -0.306        | 3.727 **  | 0.245         | -0.351 *   | -0.596        | 2.838 *    | -0.369 *      | 7.381 ** | -1.056 **     | 0.146      | -0.061        |      |               |
| 26 | 企業の問題の分析、解決策の作成            | 0.519    | 0.148         | 0.972    | 0.443         | -0.062   | -0.505        | 3.194 **  | -0.211        | -0.359 **  | -0.148        | 0.309      | -0.121        | 3.718 *  | -0.611 *      | 1.692      | -0.195        |      |               |
| 27 | コンサルティングの提案                | 0.107    | 0.067         | 1.83     | 0.574         | 0.134    | -0.44         | 0.796     | -0.11         | -0.193     | -0.082        | 2.925 *    | -0.448 *      | 0.232    | -0.222        | 1.182      | -0.175        |      |               |
| 28 | 文化や倫理が企業に与える影響の理解          | 0.005    | -0.014        | 0.975    | 0.092         | -0.152   | -0.244        | 2.883 *   | 0.449         | -0.146     | -0.595 *      | 2.565      | -0.371        | 0.917    | -0.333        | 0.851      | -0.15         |      |               |
| 29 | 企業組織の各職能の認識と関係性の理解         | 1.071    | -0.217        | 0.188    | 0.213         | -0.024   | -0.236        | 2.219     | -0.237        | -0.289     | -0.052        | 7.851 ***  | -0.673 ***    | 0.254    | -0.167        | 0.276      | -0.091        |      |               |
| 30 | ミクロ的・マクロ的要因の企業への影響の認識      | 0.035    | -0.035        | 0.016    | -0.023        | 0.019    | 0.042         | 3.203 **  | 0.353         | -0.199     | -0.552 *      | 0.376      | -0.125        | 0.077    | -0.111        | 0.008      | 0.014         |      |               |
| 31 | 既存・新産技術が将来の市場に与える影響の想定     | 0.803    | -0.204        | 0.524    | -0.094        | -0.129   | -0.035        | 0.41      | 0.113         | -0.098     | -0.212        | 3.884 *    | -0.44 *       | 0        | 0             | 0.073      | 0.044         |      |               |

\*\*\* p&lt;0.01, \*\* p&lt;0.05, \* p&lt;0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す



#### 4.2.7 企業人との認識差に関する大学間の違い

各大学の対象者グループによる認識と企業人の認識との順位相関を図表 90 に示す。全体的に高位相関のなかで、幾つか中位もしくは無相関が散見される。これらは、大学 3、大学 4、そして大学 7 の教員および大学 3 と大学 4 の学生の習得度の認識に見られる。まず、大学 3 の教員の重要度認識の相関は 0.45 であり習得度は非有意、大学 4 と大学 7 の教員の習得度認識は 0.4 である。よって、一部大学の教員と学生の認識、特に教員の習得度認識は企業人と異なることが分かる。

次に、どのコンピテンスで大学関係者と企業人の認識が異なるのか、詳細に見た結果を図表 91 から図表 96 までに示す。重要度と習得度の順に、学生の結果を図表 91 と図表 92 に、教員の結果を図表 93 と図表 94 に、卒業生の結果を図表 95 と図表 96 に示す。認識が異なるコンピテンス数は、教員や卒業生よりも学生の方が多い。これに伴い、大学間で共通して企業人と異なるコンピテンスも学生の方が教員や卒業生よりも多い。

各大学の対象者と企業人の差分のうち有意差が示された結果において、その符号の殆どが正である。企業人の認識は常に減数であることから、企業人の認識はその他の対象者よりも常に低いと言える。一部例外として負の有意差を示すのは、大学 1 に関連する。大学 1 の学生および教員の習得度認識における「13. ビジネスに関する英語での口頭コミュニケーション」、同教員の重要度「10. 仕事の段取りを決めるスキルがある」である。また大学 6 の卒業生の習得度においても No.13 において負の結果が示されている。

まず学生の重要度を見ると、平均では各大学 17.6 個の有意差が示されており、最も有意差が多い大学 3 では 25 個、最も少ない大学 6 は 7 個のコンピテンスで有意差がある。全ての大学で有意差の無いコンピテンス、すなわち企業人と学生の重要度認識が異ならないと見なされるコンピテンスは、「3. ビジネスの基礎用語を説明」と「5. 適切なデータの取集と、図表などへの加工」の 2 つであり、基本的事項を扱うコンピテンスである。逆に 5 大学全てで異なるコンピテンスは 5 つあり、No.11 と No.12 の英語に関連するコンピテンスに加えて、「14. 社会調査の基本的手法をビジネス調査に応用」、「23. 生産システムの管理に基づき企業活動を考察する」、「27. コンサルティングの提案」である。ビジネスに関する調査、考察、改善提案など応用に近いコンピテンスと考えられる。習得度で有意差を一番多く示す大学 4 でもその数は 12 個であり、平均 7.4 と重要度よりも有意差が少ない。コンピテンス別に見ても、5 大学全てで有意差を示さないコンピテンス数は 11 である。逆に有意差が多いのは No.18 から No.21 までの 4 つのコンピテンスであり、企業活動や組織の考察およびマーケティングに関連するコンピテンスである。

次に教員の多重比較結果を見ると、重要度では、大学と企業の有意差数の平均は 5.3 であり、最も有意差が多い大学 1 でもその数は 9 個である。最も少ないのは大学 7 の 0 個である。コンピテンス別に見ると、4 大学のうち 3 大学で違いが示されるのは、「7. 専門書籍の正確な理解」と「11. 専門的英文書籍・論文の正確な理解」の 2 つである。教員の習得度に関して多重比較結果を見ると、有意差数の平均は 7.3、最も有意差が多い大学 4 で、その数



は15である。コンピテンス別に見ると、4大学に共通して異なるのは「18. 分析枠組に基づき企業行動を考察する」1つのコンピテンスであり、3大学に共通するのは重要度で違いが示されたNo.7と「19. マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する」の2つである。

卒業生の重要度を見ると、平均は2.3コンピテンスであり、最も有意差が多い大学9の数は7個である。最も少ないのは大学6と大学7の0個である。コンピテンス別に見ても有意差のあるコンピテンスは少なく、6大学中で最大で3つの大学と有意差を示すコンピテンス「16. 企業の財務上の特性や問題の指摘」が1つあるのみである。習得度も同様である。多重比較での大学と企業の違いを見ると、平均は3である。最も有意差が多いのは大学3でありその数は6個である。コンピテンス別に見ても、有意差のあるコンピテンスは少なく、6つのコンピテンスが最大2の有意差を示すのみである。

図表 90 大学・対象者別の企業人認識との順位相関

|        | 大学1       | 大学3       | 大学4       | 大学5      | 大学6       | 大学7       | 大学9       |
|--------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|
| 学生重要度  | 0.888 *** | 0.845 *** | 0.834 *** |          | 0.662 *** | 0.859 *** |           |
| 学生習得度  | 0.648 *** | 0.477 *** | 0.531 *** |          | 0.605 *** | 0.734 *** |           |
| 教員重要度  | 0.734 *** | 0.449 **  | 0.739 *** |          |           | 0.625 *** |           |
| 教員習得度  | 0.616 *** | 0.248     | 0.395 **  |          |           | 0.39 **   |           |
| 卒業生重要度 |           | 0.909 *** | 0.939 *** | 0.92 *** | 0.89 ***  | 0.878 *** | 0.946 *** |
| 卒業生習得度 |           | 0.613 *** | 0.779 *** | 0.8 ***  | 0.859 *** | 0.639 *** | 0.9 ***   |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1

図表 91 企業人との認識の差異（ビジネス・学生・重要度）

| No | コンピテンス名                    | 多重比較      |           |           |           |           |
|----|----------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|    |                            | 大学1—企業    | 大学3—企業    | 大学4—企業    | 大学6—企業    | 大学9—企業    |
| 1  | マクロ経済指標の説明                 | 0.561 *** | 0.713 *** | 0.701 *** | 0.393     | 0.609 *** |
| 2  | 会計指標の説明                    | 0.184     | 0.468 *** | 0.106     | 0.232     | 0.317     |
| 3  | ビジネスの基礎用語を説明               | 0.149     | 0.213     | 0.109     | -0.464    | 0.218     |
| 4  | ビジネスに関する事象や動向を理解し説明        | 0.237     | 0.226     | 0.201     | 0.125     | 0.477 *** |
| 5  | 適切なデータの取集と、図表などへの加工        | 0.072     | 0.18      | 0.243     | 0.143     | 0.162     |
| 6  | 社会現象を要因間の因果関係として図式化、整理     | 0.323 *** | 0.371 *** | 0.322 **  | 0.179     | 0.478 *** |
| 7  | 専門書籍の正確な理解                 | 0.756 *** | 0.681 *** | 0.371 **  | 0.652 **  | 0.258     |
| 8  | 経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解 | 0.043     | 0.158     | 0.063     | 0.098     | 0.267     |
| 9  | 従来の問題に気づき、代替案を提案           | -0.004    | 0.029     | -0.012    | -0.125    | 0.197     |
| 10 | 仕事の段取りを決めるスキルがある           | 0.063     | -0.11     | -0.11     | -0.036    | 0.038     |
| 11 | 専門的英文書籍・論文の正確な理解           | 0.844 *** | 0.924 *** | 0.628 *** | 1.018 *** | 0.775 *** |
| 12 | 英語のネット情報の正確な理解             | 0.53 ***  | 0.708 *** | 0.643 *** | 0.83 ***  | 0.825 *** |
| 13 | ビジネスに関する英語での口頭コミュニケーション    | 0.307 **  | 0.622 *** | 0.525 *** | 0.348     | 0.674 *** |
| 14 | 社会調査の基本的手法をビジネス調査に応用       | 0.907 *** | 0.724 *** | 0.777 *** | 0.714 *** | 0.837 *** |
| 15 | ビジネスの統計分析                  | 0.777 *** | 0.836 *** | 0.618 *** | 0.527     | 0.686 *** |
| 16 | 企業の財務上の特性や問題の指摘            | 0.27      | 0.373 *** | 0.012     | 0.375     | 0.333     |
| 17 | 理論に基づき企業活動を考察する            | 0.431 *** | 0.773 *** | 0.417 *** | 0.336     | 0.224     |
| 18 | 分析枠組に基づき企業行動を考察する          | 0.698 *** | 0.821 *** | 0.531 *** | 0.255     | 0.355     |
| 19 | マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する    | 0.643 *** | 0.804 *** | 0.694 *** | 0.361     | 0.517 **  |
| 20 | 基本概念に基づき企業における人間行動を考察する    | 0.328 *** | 0.268 **  | 0.242     | -0.126    | 0.331     |
| 21 | 組織形態に基づき企業組織を考察する          | 0.556 *** | 0.647 *** | 0.328 **  | 0.361     | 0.456 **  |
| 22 | 人的資源管理論に基づき企業の人事政策・慣行を考察する | 0.461 *** | 0.448 *** | 0.196     | 0.139     | 0.362     |
| 23 | 生産システムの管理に基づき企業活動を考察する     | 0.542 *** | 0.571 *** | 0.351 **  | 0.595 **  | 0.443 **  |
| 24 | 利害関係を含め企業の役割を考察する          | 0.486 *** | 0.25 *    | 0.275     | 0.357     | 0.437 **  |
| 25 | 国際的な事業展開の枠組に基づき企業活動を考察する   | 0.361 *** | 0.321 *** | 0.281     | 0.573 *   | 0.378     |
| 26 | 企業の問題の分析、解決策の作成            | 0.123     | 0.278 **  | 0.272 *   | 0.284     | 0.511 *** |
| 27 | コンサルティングの提案                | 0.585 *** | 0.553 *** | 0.784 *** | 0.702 **  | 0.698 *** |
| 28 | 文化や倫理が企業に与える影響の理解          | 0.437 *** | 0.342 *** | 0.397 *** | 0.262     | 0.294     |
| 29 | 企業組織の各職能の認識と関係性の理解         | 0.407 *** | 0.326 *** | 0.345 **  | 0.33      | 0.136     |
| 30 | ミクロ的・マクロ的要因の企業への影響の認識      | 0.536 *** | 0.585 *** | 0.498 *** | 0.327     | 0.388     |
| 31 | 既存・新規技術が将来の市場に与える影響の想定     | 0.499 *** | 0.64 ***  | 0.629 *** | 0.364     | 0.632 *** |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す

図表 92 企業人との認識の差異（ビジネス・学生・習得度）

| No | コンピテンシス名                   | 多重比較       |           |           |           |          |
|----|----------------------------|------------|-----------|-----------|-----------|----------|
|    |                            | 大学1—企業     | 大学3—企業    | 大学4—企業    | 大学6—企業    | 大学9—企業   |
| 1  | マクロ経済指標の説明                 | 0.17       | 0.256     | 0.169     | 0.642 **  | 0.134    |
| 2  | 会計指標の説明                    | -0.002     | 0.426 *** | 0.097     | 0.284     | 0.45     |
| 3  | ビジネスの基礎用語を説明               | -0.178     | -0.031    | 0.158     | -0.245    | 0.143    |
| 4  | ビジネスに関する事象や動向を理解し説明        | 0.066      | -0.022    | 0.104     | 0.059     | 0.319    |
| 5  | 適切なデータの取集と、図表などへの加工        | 0.002      | 0.115     | 0.366 **  | 0.227     | -0.07    |
| 6  | 社会現象を要因間の因果関係として図式化、整理     | 0.243      | 0.465 *** | 0.464 *** | 0.4       | 0.141    |
| 7  | 専門書籍の正確な理解                 | 0.124      | 0.533 *** | 0.288     | 0.355     | 0.127    |
| 8  | 経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解 | 0.003      | 0.151     | -0.088    | -0.15     | 0.316    |
| 9  | 従来の問題に気づき、代替案を提案           | 0.149      | 0.072     | 0.199     | 0.297     | 0.185    |
| 10 | 仕事の段取りを決めるスキルがある           | 0.272      | 0.17      | 0.258     | 0.361     | 0.335    |
| 11 | 専門的英文書籍・論文の正確な理解           | -0.083     | 0.538 *** | 0.484 *** | 0.109     | 0.383    |
| 12 | 英語のネット情報の正確な理解             | -0.19      | 0.369 *** | 0.337     | 0.438     | 0.576 ** |
| 13 | ビジネスに関する英語での口頭コミュニケーション    | -0.545 *** | -0.266    | -0.316    | -0.056    | -0.061   |
| 14 | 社会調査の基本的手法をビジネス調査に応用       | 0.32 *     | 0.132     | 0.428 *** | 0.206     | 0.412    |
| 15 | ビジネスの統計分析                  | 0.153      | 0.025     | 0.623 *** | -0.169    | 0.111    |
| 16 | 企業の財務上の特性や問題の指摘            | 0.152      | 0.223     | 0.064     | 0.561     | 0.417    |
| 17 | 理論に基づき企業活動を考察する            | -0.153     | 0.183     | -0.18     | -0.016    | 0.048    |
| 18 | 分析枠組に基づき企業行動を考察する          | 0.508 ***  | 1.001 *** | 0.931 *** | 0.626     | 0.245    |
| 19 | マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する    | 0.425 ***  | 1.029 *** | 1.141 *** | 0.785 **  | 0.367    |
| 20 | 基本概念に基づき企業における人間行動を考察する    | 0.573 ***  | 0.639 *** | 0.776 *** | 0.951 *** | 0.552 ** |
| 21 | 組織形態に基づき企業組織を考察する          | 0.355 **   | 0.57 ***  | 0.331     | 0.169     | 0.467 *  |
| 22 | 人的資源管理論に基づき企業の人事政策・慣行を考察する | 0.291      | 0.194     | 0.142     | 0.233     | 0.348    |
| 23 | 生産システムの管理に基づき企業活動を考察する     | 0.257      | 0.38 ***  | 0.17      | 0.583     | 0.388    |
| 24 | 利害関係を含め企業の役割を考察する          | 0.193      | 0.183     | 0.312     | 0.709 **  | 0.315    |
| 25 | 国際的な事業展開の枠組に基づき企業活動を考察する   | 0.139      | -0.017    | 0.267     | 0.408     | 0.179    |
| 26 | 企業の問題の分析、解決策の作成            | 0.002      | 0.091     | 0.411 **  | -0.05     | 0.215    |
| 27 | コンサルティングの提案                | -0.03      | 0.062     | 0.413 **  | 0.261     | 0.258    |
| 28 | 文化や倫理が企業に与える影響の理解          | 0.069      | 0.096     | 0.156     | 0.355     | 0.218    |
| 29 | 企業組織の各職能の認識と関係性の理解         | 0.217      | 0.171     | 0.454 *** | 0.675 *   | 0.066    |
| 30 | ミクロ的・マクロ的要因の企業への影響の認識      | 0.089      | 0.144     | 0.267     | 0.079     | 0.257    |
| 31 | 既存・新規技術が将来の市場に与える影響の想定     | 0.236      | 0.354 **  | 0.396 **  | 0.302     | 0.078    |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す

図表 93 企業人との認識の差異（ビジネス・教員・重要度）

| No | コンピテンス名                    | 多重比較       |           |           |        |
|----|----------------------------|------------|-----------|-----------|--------|
|    |                            | 大学1—企業     | 大学3—企業    | 大学4—企業    | 大学7—企業 |
| 1  | マクロ経済指標の説明                 | 0.468      | 0.851     | 0.609     | 0.185  |
| 2  | 会計指標の説明                    | 0.145      | 0.378     | 0.681 *   | 0.711  |
| 3  | ビジネスの基礎用語を説明               | -0.064     | 0.369     | 0.127     | 0.036  |
| 4  | ビジネスに関する事象や動向を理解し説明        | 0.4        | 0.583     | 0.295     | -0.083 |
| 5  | 適切なデータの取集と、図表などへの加工        | 0.268      | 0.768     | 0.222     | 0.101  |
| 6  | 社会現象を要因間の因果関係として図式化、整理     | 0.404      | 0.887 *   | 0.326     | 0.387  |
| 7  | 専門書籍の正確な理解                 | 0.902 ***  | 0.818 *   | 1.015 *** | 0.652  |
| 8  | 経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解 | 0.161      | 0.327     | 0.206     | -0.006 |
| 9  | 従来の問題に気づき、代替案を提案           | -0.35      | 0.167     | 0.045     | -0.333 |
| 10 | 仕事の段取りを決めるスキルがある           | -0.498 *** | -0.598    | -0.325    | -0.598 |
| 11 | 専門的英文書籍・論文の正確な理解           | 0.568 **   | 1.351 *** | 0.927 *** | 0.185  |
| 12 | 英語のネット情報の正確な理解             | 0.493      | 0.143     | 0.825 **  | 0.31   |
| 13 | ビジネスに関する英語での口頭コミュニケーション    | -0.102     | 0.432     | 0.28      | 0.265  |
| 14 | 社会調査の基本的手法をビジネス調査に応用       | 0.627 **   | 0.777     | 0.595     | 0.61   |
| 15 | ビジネスの統計分析                  | 0.527      | 1.11 **   | 0.868 **  | 0.777  |
| 16 | 企業の財務上の特性や問題の指摘            | 0.15       | 0.167     | 0.545     | 0.333  |
| 17 | 理論に基づき企業活動を考察する            | 0.199      | 0.649     | 0.558     | 0.149  |
| 18 | 分析枠組に基づき企業行動を考察する          | 0.568 **   | 0.901 *   | 0.386     | 0.568  |
| 19 | マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する    | 0.486      | 0.986 *   | 0.305     | 0.653  |
| 20 | 基本概念に基づき企業における人間行動を考察する    | 0.237      | 0.104     | 0.21      | -0.063 |
| 21 | 組織形態に基づき企業組織を考察する          | 0.486 *    | 0.653     | 0.577     | 0.32   |
| 22 | 人的資源管理論に基づき企業の人事政策・慣行を考察する | 0.564 *    | 0.18      | 0.695 *   | 0.514  |
| 23 | 生産システムの管理に基づき企業活動を考察する     | 0.545 **   | 0.595     | 0.504     | 0.261  |
| 24 | 利害関係を含め企業の役割を考察する          | 0.432      | 0.149     | 0.618     | -0.018 |
| 25 | 国際的な事業展開の枠組に基づき企業活動を考察する   | 0.485 *    | 0.468     | 0.499     | 0.135  |
| 26 | 企業の問題の分析、解決策の作成            | 0.384      | 0.117     | 0.238     | -0.216 |
| 27 | コンサルティングの提案                | 0.077      | 0.243     | 0.122     | 0.243  |
| 28 | 文化や倫理が企業に与える影響の理解          | 0.324      | 0.158     | 0.506     | -0.009 |
| 29 | 企業組織の各職能の認識と関係性の理解         | 0.455      | 0.288     | 0.227     | -0.212 |
| 30 | ミクロ的・マクロ的要因の企業への影響の認識      | 0.477      | 0.494     | 0.509     | 0.161  |
| 31 | 既存・新規技術が将来の市場に与える影響の想定     | 0.139      | 0.405     | 0.511     | 0.072  |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す

図表 94 企業人との認識の差異（ビジネス・教員・習得度）

| No | コンピテンス名                    | 多重比較      |           |           |          |
|----|----------------------------|-----------|-----------|-----------|----------|
|    |                            | 大学1ー企業    | 大学3ー企業    | 大学4ー企業    | 大学7ー企業   |
| 1  | マクロ経済指標の説明                 | 0.102     | 0.225     | 0.559 *   | 0.059    |
| 2  | 会計指標の説明                    | 0.1       | 0.95 **   | 0.617 *   | 0.617    |
| 3  | ビジネスの基礎用語を説明               | -0.169    | 0.734     | 0.068     | 0.401    |
| 4  | ビジネスに関する事象や動向を理解し説明        | 0.322     | 0.122     | 0.288     | 0.122    |
| 5  | 適切なデータの取集と、図表などへの加工        | 0.164     | -0.252    | 0.498     | 0.414    |
| 6  | 社会現象を要因間の因果関係として図式化、整理     | 0.288     | 0.338     | 0.755 *** | 0.671    |
| 7  | 専門書籍の正確な理解                 | 0.355     | 0.855 *   | 0.605 *   | 0.855 *  |
| 8  | 経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解 | -0.075    | 0.225     | 0.225     | 0.559    |
| 9  | 従来の問題に気づき、代替案を提案           | -0.191    | 0.276     | 0.276     | -0.058   |
| 10 | 仕事の段取りを決めるスキルがある           | -0.164    | 0.32      | 0.403     | 0.486    |
| 11 | 専門的英文書籍・論文の正確な理解           | -0.079    | 0.838     | 0.588     | 0.005    |
| 12 | 英語のネット情報の正確な理解             | -0.2      | 0.667     | 0.5       | 0.667    |
| 13 | ビジネスに関する英語での口頭コミュニケーション    | -0.693 ** | -0.077    | -0.077    | 0.423    |
| 14 | 社会調査の基本的手法をビジネス調査に応用       | 0.018     | 0.018     | 0.601 *   | 0.851 ** |
| 15 | ビジネスの統計分析                  | -0.069    | 0.748     | 0.914 *** | 0.748    |
| 16 | 企業の財務上の特性や問題の指摘            | -0.089    | 0.977 **  | 0.561     | 0.311    |
| 17 | 理論に基づき企業活動を考察する            | -0.041    | 0.942 **  | 0.442     | 0.276    |
| 18 | 分析枠組に基づき企業行動を考察する          | 0.514 *   | 1.397 *** | 0.814 *** | 0.897 *  |
| 19 | マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する    | 0.473     | 1.473 *** | 0.723 **  | 0.973 *  |
| 20 | 基本概念に基づき企業における人間行動を考察する    | 0.314     | 0.43      | 0.847 *** | 0.764    |
| 21 | 組織形態に基づき企業組織を考察する          | 0.332     | 0.815     | 0.815 *** | 0.648    |
| 22 | 人的資源管理論に基づき企業の人事政策・慣行を考察する | 0.295     | -0.121    | 0.879 *** | 0.879 *  |
| 23 | 生産システムの管理に基づき企業活動を考察する     | 0.145     | 0.145     | 0.645 *   | 0.479    |
| 24 | 利害関係を含め企業の役割を考察する          | 0.259     | 0.709     | 0.626 *   | 0.376    |
| 25 | 国際的な事業展開の枠組に基づき企業活動を考察する   | 0.145     | 0.345     | 0.512     | 0.845 *  |
| 26 | 企業の問題の分析、解決策の作成            | 0.15      | 0.533     | 0.2       | 0.533    |
| 27 | コンサルティングの提案                | 0.036     | 0.636     | 0.303     | 0.47     |
| 28 | 文化や倫理が企業に与える影響の理解          | 0.055     | 0.188     | 0.605 *   | 0.355    |
| 29 | 企業組織の各職能の認識と関係性の理解         | 0         | 0.384     | 0.217     | -0.283   |
| 30 | ミクロ的・マクロ的要因の企業への影響の認識      | 0.054     | 0.121     | 0.621 **  | 0.121    |
| 31 | 既存・新規技術が将来の市場に与える影響の想定     | 0.032     | 0.26      | 0.51      | 0.093    |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す

図表 95 企業人との認識の差異（ビジネス・卒業生・重要度）

| No | コンピテンス名                    | 多重比較     |         |         |        |        |           |
|----|----------------------------|----------|---------|---------|--------|--------|-----------|
|    |                            | 大学3—企業   | 大学4—企業  | 大学5—企業  | 大学6—企業 | 大学7—企業 | 大学9—企業    |
| 1  | マクロ経済指標の説明                 | 0.264    | 0.323   | -0.044  | -0.013 | 0.149  | 0.181     |
| 2  | 会計指標の説明                    | 0.433 ** | 0.045   | 0.167   | -0.205 | 0.097  | 0.157     |
| 3  | ビジネスの基礎用語を説明               | 0.095    | 0.272   | 0.123   | -0.464 | -0.333 | 0.065     |
| 4  | ビジネスに関する事象や動向を理解し説明        | 0.243    | 0.139   | 0.294   | 0.25   | 0.382  | 0.16      |
| 5  | 適切なデータの取集と、図表などへの加工        | 0.171    | 0.323 * | 0.294   | 0.08   | 0.189  | 0.275 **  |
| 6  | 社会現象を要因間の因果関係として図式化、整理     | 0.173    | 0.29    | 0.44 ** | -0.009 | 0.001  | 0.234     |
| 7  | 専門書籍の正確な理解                 | 0.204    | 0.11    | 0.424 * | -0.067 | -0.243 | 0.091     |
| 8  | 経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解 | 0.064    | -0.075  | 0.169   | 0.129  | -0.339 | 0.105     |
| 9  | 従来の問題に気づき、代替案を提案           | 0.157    | 0.181   | 0.132   | 0.125  | -0.026 | 0.076     |
| 10 | 仕事の段取りを決めるスキルがある           | 0.044    | 0.152   | 0.156   | 0.152  | 0.139  | 0.016     |
| 11 | 専門的英文書籍・論文の正確な理解           | 0.316    | 0.143   | 0.193   | -0.138 | -0.087 | 0.159     |
| 12 | 英語のネット情報の正確な理解             | 0.24     | 0.198   | 0.011   | -0.076 | 0.064  | 0.355 **  |
| 13 | ビジネスに関する英語での口頭コミュニケーション    | 0.337    | 0.126   | -0.147  | -0.214 | 0.203  | 0.206     |
| 14 | 社会調査の基本的手法をビジネス調査に応用       | 0.254    | 0.193   | 0.356   | 0.246  | 0.356  | 0.313 *   |
| 15 | ビジネスの統計分析                  | 0.135    | 0.138   | 0.233   | 0.089  | -0.065 | 0.162     |
| 16 | 企業の財務上の特性や問題の指摘            | 0.418 ** | 0.167   | 0.386 * | 0.031  | 0.474  | 0.298 *   |
| 17 | 理論に基づき企業活動を考察する            | 0.141    | 0.149   | 0.274   | -0.158 | -0.036 | 0.183     |
| 18 | 分析枠組に基づき企業行動を考察する          | 0.075    | 0.206   | 0.147   | -0.207 | 0.252  | 0.038     |
| 19 | マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する    | 0.084    | 0.264   | 0.206   | -0.062 | 0.276  | -0.004    |
| 20 | 基本概念に基づき企業における人間行動を考察する    | -0.227   | -0.063  | 0.042   | 0.034  | 0.095  | 0.216     |
| 21 | 組織形態に基づき企業組織を考察する          | -0.014   | 0.07    | 0.311   | -0.288 | -0.014 | 0.124     |
| 22 | 人的資源管理論に基づき企業の人事政策・慣行を考察する | -0.077   | -0.042  | 0.233   | -0.293 | -0.098 | 0.097     |
| 23 | 生産システムの管理に基づき企業活動を考察する     | 0.11     | 0.108   | 0.331   | 0.175  | 0.095  | 0.144     |
| 24 | 利害関係を含め企業の役割を考察する          | 0.012    | 0.024   | 0.245   | 0.208  | -0.074 | 0.252     |
| 25 | 国際的な事業展開の枠組に基づき企業活動を考察する   | 0.044    | -0.034  | 0.117   | -0.22  | -0.309 | 0.174     |
| 26 | 企業の問題の分析、解決策の作成            | 0.117    | 0.065   | 0.284   | 0.203  | 0.395  | 0.23      |
| 27 | コンサルティングの提案                | 0.213    | 0.337   | 0.434 * | 0.222  | 0.021  | 0.498 *** |
| 28 | 文化や倫理が企業に与える影響の理解          | -0.07    | 0.029   | 0.271   | 0.099  | -0.009 | 0.192     |
| 29 | 企業組織の各職能の認識と関係性の理解         | 0.167    | 0.04    | 0.258   | 0.213  | -0.101 | 0.186     |
| 30 | ミクロ的・マクロ的要因の企業への影響の認識      | 0.297    | 0.299   | 0.113   | 0.23   | -0.006 | 0.298 **  |
| 31 | 既存・新規技術が将来の市場に与える影響の想定     | 0.254    | 0.353   | 0.346   | 0.335  | 0.516  | 0.386 *** |

\*\*\* p&lt;0.01, \*\* p&lt;0.05, \* p&lt;0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す

図表 96 企業人との認識の差異（ビジネス・卒業生・習得度）

| No | コンピテンス名                    | 多重比較      |           |          |           |         |           |
|----|----------------------------|-----------|-----------|----------|-----------|---------|-----------|
|    |                            | 大学3—企業    | 大学4—企業    | 大学5—企業   | 大学6—企業    | 大学7—企業  | 大学9—企業    |
| 1  | マクロ経済指標の説明                 | 0.024     | 0.184     | 0.067    | -0.139    | -0.213  | 0.346 *** |
| 2  | 会計指標の説明                    | 0.46 **   | 0.187     | 0.45 *   | -0.216    | 0.047   | 0.185     |
| 3  | ビジネスの基礎用語を説明               | 0.318     | 0.456 **  | 0.217    | -0.151    | -0.064  | 0.2       |
| 4  | ビジネスに関する事象や動向を理解し説明        | 0.195     | 0.233     | 0.323    | 0.122     | 0.253   | 0.187     |
| 5  | 適切なデータの取集と、図表などへの加工        | -0.086    | 0.234     | 0.239    | 0.071     | -0.428  | 0.028     |
| 6  | 社会現象を要因間の因果関係として図式化、整理     | 0.338     | 0.366 *   | 0.312    | 0.119     | -0.057  | 0.253     |
| 7  | 専門書籍の正確な理解                 | 0.266     | 0.23      | 0.328    | -0.02     | 0.065   | 0.164     |
| 8  | 経済専門紙や一般紙の経済面、同ネット情報の正確な理解 | 0.152     | 0.086     | 0.225    | 0.038     | -0.038  | 0.206     |
| 9  | 従来の問題に気づき、代替案を提案           | 0.212     | 0.151     | 0.241    | -0.047    | -0.128  | 0.165     |
| 10 | 仕事の段取りを決めるスキルがある           | 0.075     | 0.181     | 0.399 *  | 0.111     | 0.381   | 0.139     |
| 11 | 専門的英文書籍・論文の正確な理解           | 0.274     | 0.074     | -0.162   | -0.235    | -0.46   | 0.079     |
| 12 | 英語のネット情報の正確な理解             | 0.059     | 0.181     | -0.211   | -0.281    | -0.105  | 0.15      |
| 13 | ビジネスに関する英語での口頭コミュニケーション    | -0.449 ** | -0.118    | -0.331   | -0.649 ** | -0.138  | -0.045    |
| 14 | 社会調査の基本的手法をビジネス調査に応用       | 0.165     | 0.101     | 0        | -0.169    | -0.087  | 0.008     |
| 15 | ビジネスの統計分析                  | -0.11     | 0.303     | 0.099    | -0.231    | -0.287  | -0.035    |
| 16 | 企業の財務上の特性や問題の指摘            | 0.355     | 0.283     | 0.548 ** | -0.189    | 0.706 * | 0.246     |
| 17 | 理論に基づき企業活動を考察する            | 0.109     | -0.03     | 0.407    | -0.407    | -0.101  | -0.071    |
| 18 | 分析枠組に基づき企業行動を考察する          | 0.652 *** | 0.466 **  | 0.362    | -0.227    | 0.327   | -0.116    |
| 19 | マーケティングの基本概念に基づき現象を考察する    | 0.723 *** | 0.612 *** | 0.306    | -0.092    | 0.289   | -0.207    |
| 20 | 基本概念に基づき企業における人間行動を考察する    | 0.425 **  | 0.347     | 0.43 *   | 0.118     | -0.078  | 0.268     |
| 21 | 組織形態に基づき企業組織を考察する          | 0.579 *** | 0.19      | 0.263    | -0.083    | -0.018  | -0.018    |
| 22 | 人的資源管理論に基づき企業の人事政策・慣行を考察する | 0.031     | 0.073     | 0.203    | -0.245    | 0.045   | -0.061    |
| 23 | 生産システムの管理に基づき企業活動を考察する     | 0.175     | 0.034     | 0.093    | 0.113     | -0.021  | -0.029    |
| 24 | 利害関係を含め企業の役割を考察する          | 0.261     | 0.084     | 0.306    | 0.128     | -0.18   | 0.209     |
| 25 | 国際的な事業展開の枠組に基づき企業活動を考察する   | 0.039     | -0.084    | -0.083   | 0.039     | -0.21   | 0.117     |
| 26 | 企業の問題の分析、解決策の作成            | 0.028     | 0.052     | 0.182    | -0.171    | -0.078  | 0.02      |
| 27 | コンサルティングの提案                | 0.196     | 0.221     | 0.047    | -0.186    | 0.247   | 0.083     |
| 28 | 文化や倫理が企業に与える影響の理解          | -0.056    | 0.009     | 0.14     | -0.016    | 0.021   | 0.068     |
| 29 | 企業組織の各職能の認識と関係性の理解         | 0.147     | 0.165     | 0.193    | 0.002     | -0.45   | -0.025    |
| 30 | ミクロ的・マクロ的要因の企業への影響の認識      | 0.163     | 0.068     | 0.151    | -0.046    | 0.01    | 0.271 *   |
| 31 | 既存・新規技術が将来の市場に与える影響の想定     | 0.225     | 0.298     | 0.069    | -0.138    | 0.093   | 0.122     |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1、表中の数値のうち分散分析はF値を多重比較は差分を表す



#### 4.2.8 まとめ

重要度と習得度の双方において、特定の大学間および特定のコンピテンスにおける大学間の違いが示された。まず各大学における平均的なコンピテンス認識の差が大きいのは、英語読解の重要度と習得度や、「19. 4P's や STP (セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニング) といったマーケティングの基本概念に基づいて、マーケティングに関わる実際の現象を考察できる」と「18. 事業戦略や経営戦略の分析枠組み (たとえばマイケル・ポーターのファイブ・フォース・モデル) に基づいて、企業行動を考察できる」の習得度認識である。大学間の相関係数の比較からは、学生と卒業生は大学間で比較的高い相関を示すが、教員は特定の大学間において低位から中程度の相関が認められた。多重比較の結果からは、大学間の違いは特定のペアで示されることが分かった。多重比較で見る限り、大学間の違いは、専門的英文書読解コンピテンス (学生の習得度と教員の重要度認識) や、英語のネット情報理解 (学生と教員双方ともに習得度) で示された。また学生と卒業生では、ビジネスの基礎用語の説明の重要度認識や、前述した No.18 や No.19 のコンピテンスの習得度でも大学間の有意差が多く示された。学生では統計の習得度でも違いが見られた。同一大学内での学生、教員、卒業生の間の違いを見ると、卒業生を含む組合せで教員と学生の組合せよりも認識の違いが見られた。もっとも一部大学では教員と学生の間でも、違いが認められた。重要度と習得度共に、卒業生と学生の間で大学に関わらず有意差が多いのは英語に関連するコンピテンスであり、卒業生と教員では統計分析である。企業人との認識の近さは大学間で異なることが示された。特に企業人との認識が異なるのは、一部大学の教員および学生の習得度認識である。教員の認識のうち、大学に関わらず企業と異なっているのは、専門書籍の理解や英語読解の重要度および上記 No.18 や No.19 の 2 つのコンピテンスの習得度認識である。



## 5. 結果：汎用

本章では、汎用コンピテンスの重要度及び習得度について、1) 回答分布、2) 対象者間でのコンピテンス認識の差異、3) コンピテンス項目間での関係性を検討する。なお、専門コンピテンスに関しては、経済学・ビジネスの2分野それぞれについて、大学間・大学内でのコンピテンス認識の違いを比較検討したが、汎用コンピテンスに関しては全体の分析のみとしている。

### 5.1 汎用コンピテンスの回答分布

はじめに、仕事を行う上で、どういった汎用コンピテンスを備えていることが重要だと思われるのか（「重要度」）、またそれぞれのコンピテンスを大学学部生は卒業時までどの程度習得できていると考えられているのか（「習得度」<sup>36</sup>）について、各対象者による回答の傾向を見る<sup>37</sup>。以下、学生、教員、卒業生、企業人の順に、結果（重要度及び習得度の平均値）を示している<sup>38</sup>。

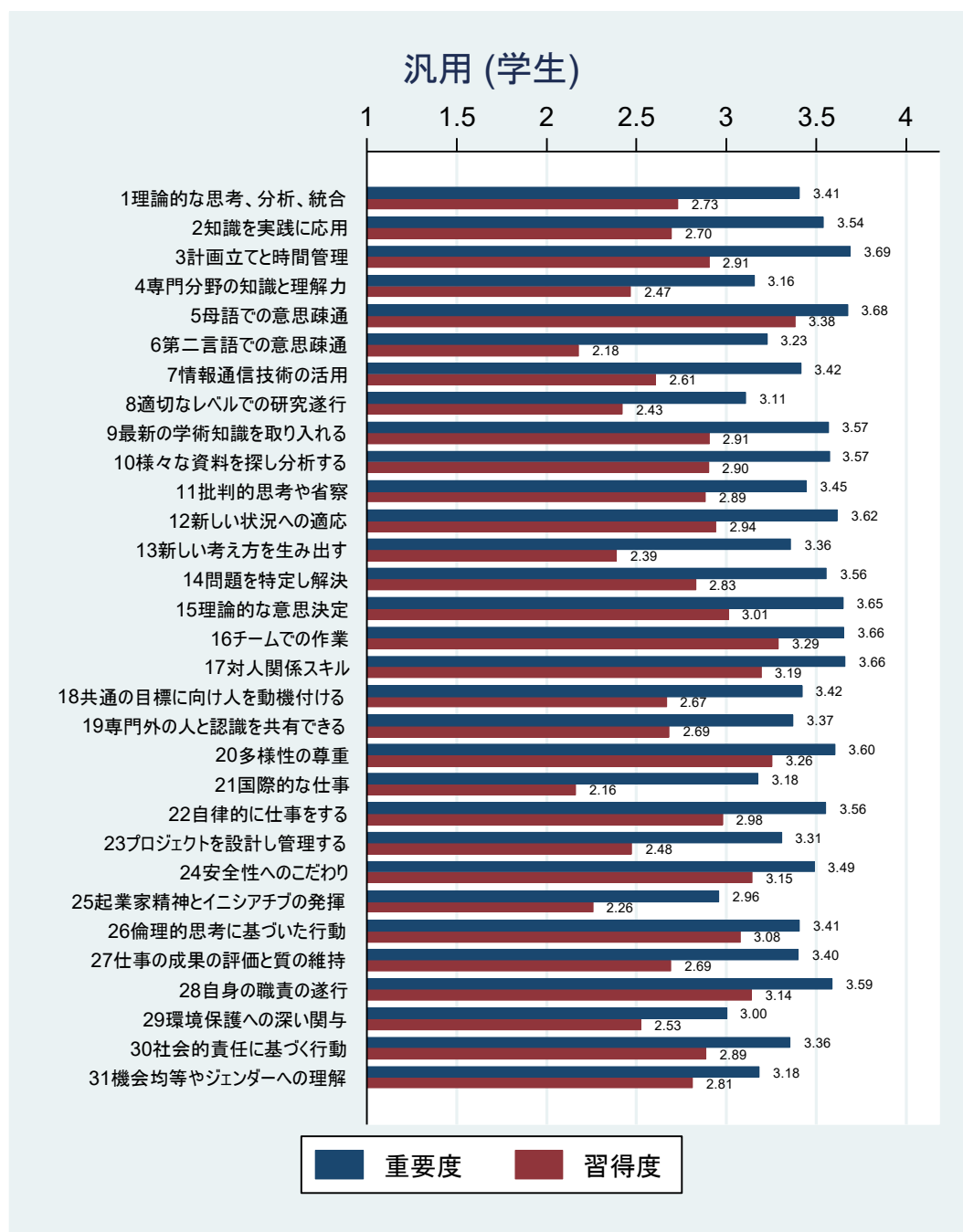
図表 97 から学生の回答を見ると、重要度（「1.低い」～「4.高い」）については、「計画立てと時間管理」（3.69）が最も高く、「母語での意思疎通」（3.68）、「対人関係スキル」（3.66）、「チームでの作業」（3.66）、「理論的な意思決定」（3.65）などが上位に位置づいている。習得度（「1.低い」～「4.高い」）については、「母語での意思疎通」（3.38）、「チームでの作業」（3.29）、「多様性の尊重」（3.26）、「対人関係スキル」（3.19）などが上位にある。他方、「新しい考え方を生み出す」（2.39）、「起業家精神とイニシアチブの発揮」（2.26）、「第二言語での意思疎通」（2.18）、「国際的な仕事」（2.16）など、創造性や国際性に関わる項目については、学部卒業時までの習得度が低く考えられている。図表には掲載していないが、重要度と習得度の差分（「重要度」－「習得度」）を見てみると、習得度が下位にあった「第二言語での意思疎通」（1.05）、「国際的な仕事」（1.02）、「新しい考え方を生み出」（0.97）などで相対的に差が大きい、つまり重要度に比して習得度が低くなっており、習得度が中位から上位であった「多様性の尊重」（0.35）、「安全性へのこだわり」（0.35）、「倫理的思考に基づいた行動」（0.33）、「母語での意思疎通」（0.30）などでは相対的に差が小さい。

<sup>36</sup> なお、習得度については、学生及び卒業生には自身の場合を、教員には指導した学生を、企業人には自身が属する部署の新入社員を想定して回答していただいた。

<sup>37</sup> 重要度・習得度ともに、「1. 低い」から「4. 高い」の4段階で尋ねている。

<sup>38</sup> より詳細な結果（度数分布等）は、参考資料を参照のこと。

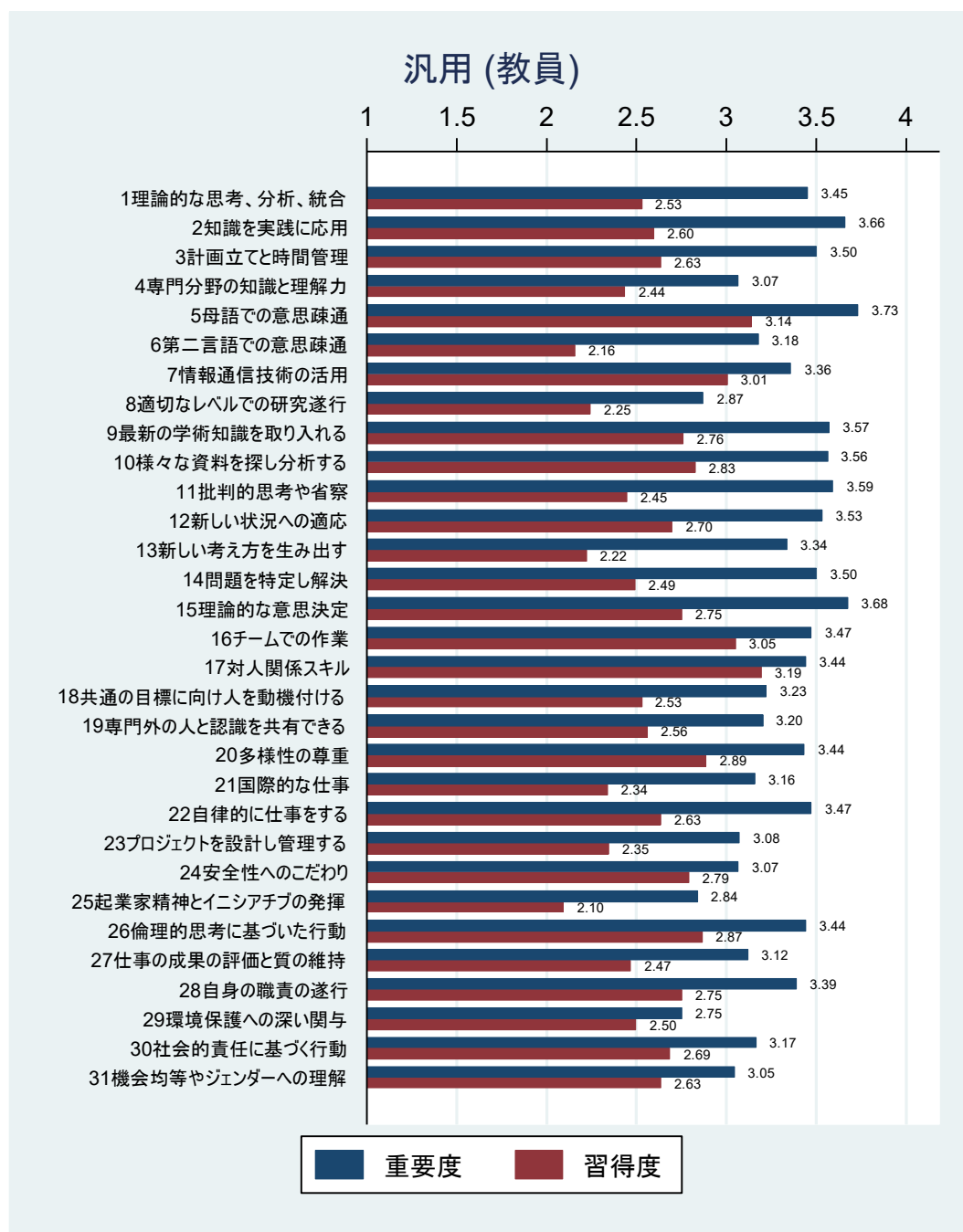
図表 97 汎用コンピテンスの重要度・習得度の平均値（学生）



つづけて図表 98 から教員の回答を見ると、重要度（「1.低い」～「4.高い」）については、「母語での意思疎通」（3.73）が最も高く、「理論的な意思決定」（3.68）、「知識を実践に応用」（3.66）、「批判的思考や省察」（3.59）、「最新の学術知識を取り入れる」（3.57）、「様々な資料を探し分析する」（3.56）などが上位に位置づいている。教員の場合、学生とは異なり、大学での知的実践と関連性の強い汎用コンピテンスの重要度が比較的高くなっている。習得度

(「1.低い」～「4.高い」)については、「対人関係スキル」(3.19)、「母語での意思疎通」(3.14)、「チームでの作業」(3.05)などコミュニケーションに関わる項目が上位にある。また、「情報通信技術の活用」(3.01)もそれについて高い。他方、「適切なレベルでの研究遂行」(2.25)、「新しい考え方を生み出す」(2.22)、「第二言語での意思疎通」(2.16)、「起業家精神とイニシアチブの発揮」(2.10)など、研究・創造に関わる項目あるいは国際性に関わる項目の習得度は低く考えられている。先と同じく図表に明記していないが、重要度と習得度の差分(「重要度」－「習得度」)について見てみると、重要度が上位であった「批判的思考や省察」(1.15)、「新しい考え方を生み出す」(1.11)、「知識を実践に応用」(1.07)などで相対的に差が大きくなっている一方、「情報通信技術の活用」(0.35)、「安全性へのこだわり」(0.28)、「環境保護への深い関与」(0.25)、「対人関係スキル」(0.25)などでは相対的に差が小さい。

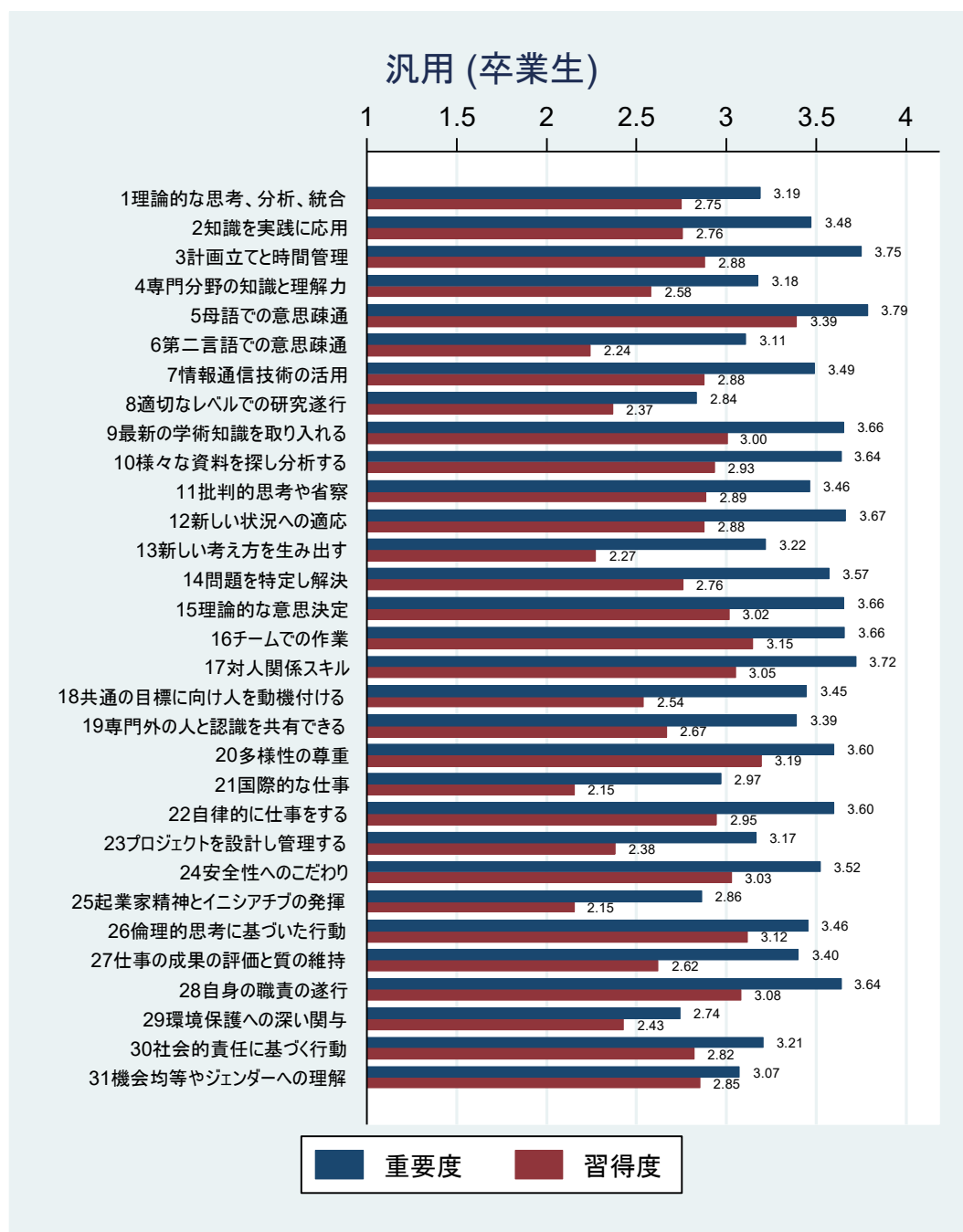
図表 98 汎用コンピテンスの重要度・習得度の平均値（教員）



卒業生については、教員よりも学生と比較的近い回答傾向にある。図表 99 から卒業生の回答を見てみると、重要度（「1.低い」～「4.高い」）については、「母語での意思疎通」（3.79）が最も高く、「計画立てと時間管理」（3.75）、「対人関係スキル」（3.72）、「新しい状況への適応」（3.67）、「チームでの作業」（3.66）、「理論的な意思決定」（3.66）、「最新の学術知識を取り入れる」（3.66）などが上位に位置づいている。習得度（「1.低い」～「4.高い」）について

も、「母語での意思疎通」(3.39)が最も高くなっているが、「多様性の尊重」(3.19)、「チームでの作業」(3.15)、「倫理的思考に基づいた行動」(3.12)など、協働や倫理に関わる項目も上位に来ている。他方、学生と同様に、「新しい考え方を生み出す」(2.27)、「第二言語での意思疎通」(2.24)、「国際的な仕事」(2.15)、「起業家精神とイニシアチブの発揮」(2.15)の習得度は低く考えられている。重要度と習得度の差分(「重要度」－「習得度」)については、どのコンピテンス項目でも差は1以下となっている。特に重要度・習得度ともに最も高かった「母語での意思疎通」(0.39)、あるいは「社会的責任に基づく行動」(0.38)、「倫理的思考に基づいた行動」(0.34)、「環境保護への深い関与」(0.31)、「機会均等やジェンダーへの理解」(0.22)など社会的責任や倫理に関わる項目群において、重要度と習得度の差が0.4以下と小さくなっている。

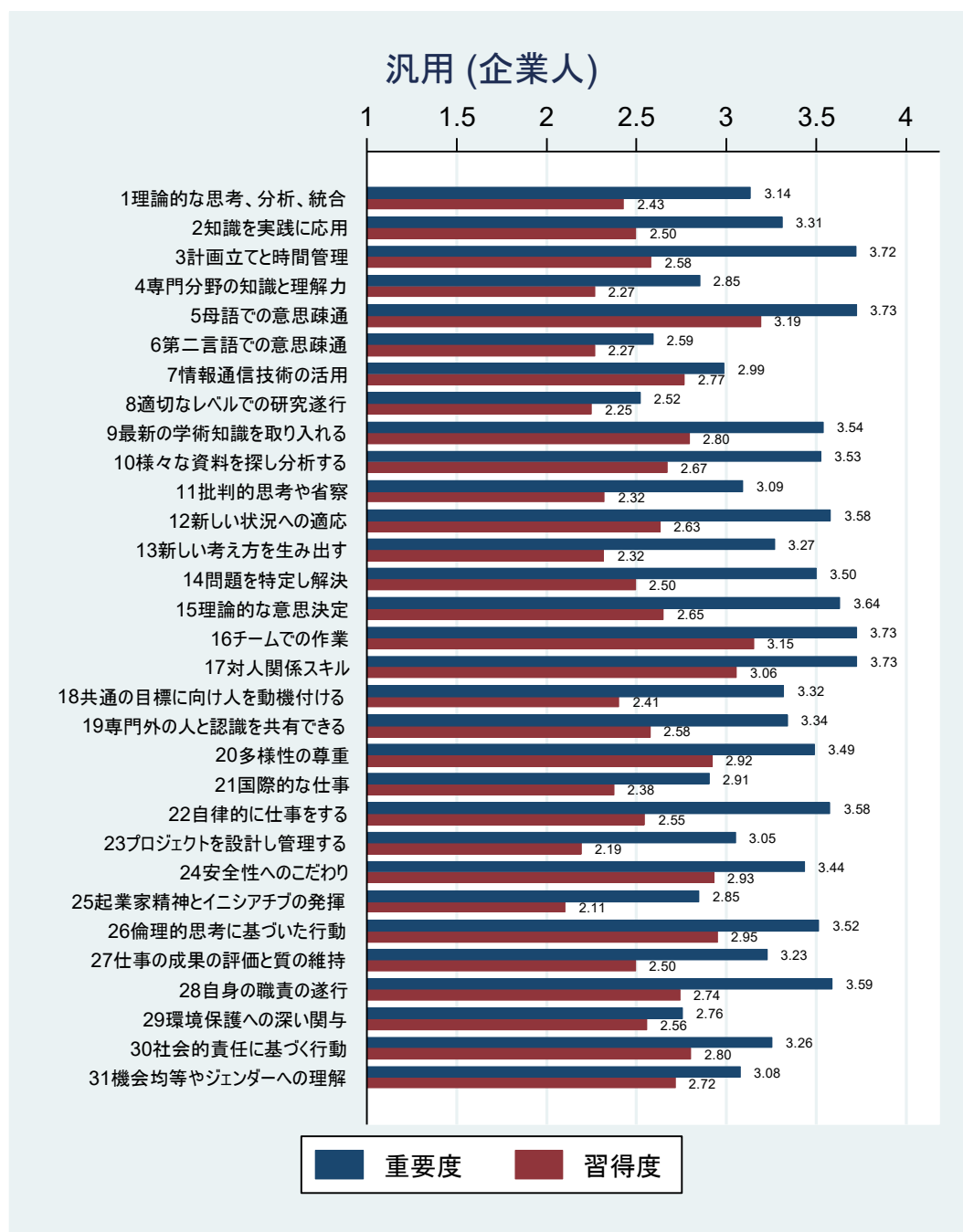
図表 99 汎用コンピテンスの重要度・習得度の平均値（卒業生）



最後に、企業人であるが、学生や卒業生と同様の回答傾向にある。また、専門コンピテンスに関して確認されたような、他の対象者と比べて、重要度・習得度の平均値が低位にあるといった違いも見られない。図表 100 から企業人の回答を具体的に見ていくと、重要度（「1.低い」～「4.高い」）については、「対人関係スキル」（3.73）が最も高く、「チームでの作業」（3.73）、「母語での意思疎通」（3.73）、「計画立てと時間管理」（3.72）、「理論的な意思決定」

(3.64) などが上位に位置づいている。習得度（「1.低い」～「4.高い」）については、「母語での意思疎通」(3.19)、「チームでの作業」(3.15)、「対人関係スキル」(3.06) が上位にある。他方、「専門分野の知識と理解力」(2.27)、「第二言語での意思疎通」(2.27)、「適切なレベルでの研究遂行」(2.25)、「プロジェクトを設計し管理する」(2.19)、「起業家精神とイニシアチブの発揮」(2.11) など、比較的高度な専門性に関わる項目では習得度が低く考えられている。重要度と習得度の差分（「重要度」－「習得度」）については、重要度で上位にある「計画立てと時間管理」(1.14)、「自律的に仕事をする」(1.03)、「問題を特定し解決」(1.00)などで相対的に差が大きくなっている。「機会均等やジェンダーへの理解」(0.36)、「第二言語での意思疎通」(0.33)、「適切なレベルでの研究遂行」(0.27)、「情報通信技術の活用」(0.22)、「環境保護への深い関与」(0.20) などでは、重要度と習得度の差は 0.4 以下と相対的に小さい。

図表 100 汎用コンピテンスの重要度・習得度の平均値（企業人）



## 5.2 対象者間での汎用コンピテンシ認識の差異

つぎに、汎用コンピテンシの重要度・習得度の認識が、対象者間でどのように異なっているのかを検討する。

図表 101 に示しているのが、分散分析 (ANOVA)・多重比較 (Bonferroni 法) をもとに、



対象者（4 者）間での汎用コンピテンス・重要度の差異を検討した結果である。図表には、分散分析の列が F 値、多重比較の列が対象 2 者間の平均差を記載している（図表 102 も同様）。

図表 101 から分散分析の結果を見ると、「問題を特定し解決」、「理論的な意思決定」、「自律的に仕事をする」、「倫理的思考に基づいた行動」の 4 項目以外において、対象者間での重要度認識の統計的に有意な差異が確認される。

また、多重比較の結果をあわせて見ると、どの対象者ペアでも 10～15 程度のコンピテンス項目において統計的に有意な重要度認識の差異がある<sup>39</sup>。対象者ペアごとで平均差が相対的に大きい項目として、例えば、教員と学生間では「安全性へのこだわり」(-0.424)、「仕事の成果の評価と質の維持」(-0.283)、「環境保護への深い関与」(-0.25)、卒業生と学生間では「適切なレベルでの研究遂行」(-0.271)、「環境保護への深い関与」(-0.259)、企業人と学生間では「第二言語での意思疎通」(-0.633)、「適切なレベルでの研究遂行」(-0.588)、「情報通信技術の活用」(-0.426)、卒業生と教員間では「安全性へのこだわり」(0.455)、「仕事の成果の評価と質の維持」(0.284)、「対人関係スキル」(0.278)、企業人と教員間では「第二言語での意思疎通」(-0.586)、「批判的思考や省察」(-0.5)、「安全性へのこだわり」(0.37)、「情報通信技術の活用」(-0.369)、そして企業人と卒業生間では「第二言語での意思疎通」(-0.516)、「情報通信技術の活用」(-0.498)、「批判的思考や省察」(-0.371)などが挙げられる。

他方、分散分析（ANOVA）・多重比較（Bonferroni 法）をもとに、対象者（4 者）間での汎用コンピテンス・習得度の差異を検討した結果が、図表 102 である。

図表 102 から分散分析の結果を見ると、「第二言語での意思疎通」、「専門外の人と認識を共有できる」の 2 項目以外において、対象者間での習得度認識の統計的に有意な差異が確認される。

また、多重比較の結果をあわせて見ると、企業人と学生との間で習得度認識の違いが大きく、企業人よりも学生の方がより評価が高い項目が多いことが読み取れる。同 2 者間で特に平均差が大きい項目としては、「批判的思考や省察」(-0.563)、「自律的に仕事をする」(-0.434)、「自身の職責の遂行」(-0.4)、「理論的な意思決定」(-0.361)が挙げられる。なお、全体平均（図表最下行）の多重比較の結果を見ても、企業人と学生の間の平均差は-0.189（1%水準で統計的に有意）となっており、他の対象者ペアと比べて大きい。

それとは反対に、対象 2 者間での習得度認識の違いが比較的小さいと言えるのは企業人と教員間であり、同 2 者間で統計的に有意な平均差が示されたのは「情報通信技術の活用」(-0.238)の 1 項目のみである（全体平均でも多重比較の結果は統計的に有意でない）。

---

<sup>39</sup> なお、汎用コンピテンス・重要度の全体平均（図表最下行）をもとにした多重比較の結果を見てみると、特に企業人と学生間で平均差が-0.139 と、他の対象者ペアと比べて大きくなっている。

図表 101 対象者間での汎用コンピテンス・重要度の差異

| №      | コンピテンス名         | 分散分析       | 多重比較       |            |            |            |            |            |
|--------|-----------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
|        |                 |            | 教員—<br>学生  | 卒業生—<br>学生 | 企業—<br>学生  | 卒業生<br>—教員 | 企業—<br>教員  | 企業—<br>卒業生 |
| 1      | 理論的な思考、分析、統合    | 23.918 *** | 0.04       | -0.223 *** | -0.274 *** | -0.263 *** | -0.314 *** | -0.051     |
| 2      | 知識を実践に応用        | 11.795 *** | 0.118      | -0.068 *   | -0.232 *** | -0.186 **  | -0.35 ***  | -0.163 *** |
| 3      | 計画立てと時間管理       | 7.844 ***  | -0.189 *** | 0.059 *    | 0.03       | 0.248 ***  | 0.218 ***  | -0.029     |
| 4      | 専門分野の知識と理解力     | 12.952 *** | -0.09      | 0.022      | -0.302 *** | 0.112      | -0.213 **  | -0.325 *** |
| 5      | 母語での意思疎通        | 6.749 ***  | 0.057      | 0.11 ***   | 0.048      | 0.053      | -0.01      | -0.062     |
| 6      | 第二言語での意思疎通      | 39.586 *** | -0.047     | -0.117 *** | -0.633 *** | -0.07      | -0.586 *** | -0.516 *** |
| 7      | 情報通信技術の活用       | 28.87 ***  | -0.057     | 0.072      | -0.426 *** | 0.129      | -0.369 *** | -0.498 *** |
| 8      | 適切なレベルでの研究遂行    | 52.549 *** | -0.237 *** | -0.271 *** | -0.588 *** | -0.034     | -0.351 *** | -0.317 *** |
| 9      | 最新の学術知識を取り入れる   | 4.667 ***  | 0.003      | 0.087 ***  | -0.03      | 0.084      | -0.033     | -0.117 **  |
| 10     | 様々な資料を探し分析する    | 3.05 **    | -0.01      | 0.065 *    | -0.046     | 0.075      | -0.036     | -0.111 *   |
| 11     | 批判的思考や省察        | 21.93 ***  | 0.146      | 0.017      | -0.354 *** | -0.129     | -0.5 ***   | -0.371 *** |
| 12     | 新しい状況への適応       | 3.003 **   | -0.087     | 0.047      | -0.04      | 0.134 *    | 0.047      | -0.087     |
| 13     | 新しい考え方を生み出す     | 6.962 ***  | -0.023     | -0.14 ***  | -0.091     | -0.117     | -0.068     | 0.049      |
| 14     | 問題を特定し解決        | 1.163      | -0.054     | 0.013      | -0.058     | 0.068      | -0.004     | -0.071     |
| 15     | 理論的な意思決定        | 0.182      | 0.026      | 0.007      | -0.015     | -0.019     | -0.041     | -0.022     |
| 16     | チームでの作業         | 5.303 ***  | -0.184 *** | 0.003      | 0.069      | 0.187 ***  | 0.253 ***  | 0.066      |
| 17     | 対人関係スキル         | 9.823 ***  | -0.219 *** | 0.059      | 0.067      | 0.278 ***  | 0.286 ***  | 0.008      |
| 18     | 共通の目標に向け人を動機付ける | 5.448 ***  | -0.199 *** | 0.024      | -0.104     | 0.223 ***  | 0.095      | -0.128 *   |
| 19     | 専門外の人と認識を共有できる  | 2.896 **   | -0.171 **  | 0.021      | -0.032     | 0.192 **   | 0.139      | -0.053     |
| 20     | 多様性の尊重          | 4.93 ***   | -0.169 **  | -0.008     | -0.114 *   | 0.161 **   | 0.055      | -0.106     |
| 21     | 国際的な仕事          | 15.519 *** | -0.022     | -0.21 ***  | -0.275 *** | -0.188 *   | -0.253 **  | -0.064     |
| 22     | 自律的に仕事をする       | 1.968      | -0.082     | 0.042      | 0.022      | 0.124      | 0.104      | -0.02      |
| 23     | プロジェクトを設計し管理する  | 14.662 *** | -0.233 *** | -0.141 *** | -0.256 *** | 0.091      | -0.024     | -0.115     |
| 24     | 安全性へのこだわり       | 16.619 *** | -0.424 *** | 0.031      | -0.055     | 0.455 ***  | 0.37 ***   | -0.086     |
| 25     | 起業家精神とイニシアチブの発揮 | 3.594 **   | -0.12      | -0.098 **  | -0.112     | 0.023      | 0.008      | -0.015     |
| 26     | 倫理的思考に基づいた行動    | 2.065      | 0.033      | 0.044      | 0.106      | 0.012      | 0.074      | 0.062      |
| 27     | 仕事の成果の評価と質の維持   | 12.06 ***  | -0.283 *** | 0.001      | -0.176 *** | 0.284 ***  | 0.107      | -0.177 *** |
| 28     | 自身の職責の遂行        | 6.428 ***  | -0.2 ***   | 0.048      | 0.001      | 0.248 ***  | 0.201 **   | -0.047     |
| 29     | 環境保護への深い関与      | 19.21 ***  | -0.25 ***  | -0.259 *** | -0.242 *** | -0.009     | 0.008      | 0.016      |
| 30     | 社会的責任に基づく行動     | 8.981 ***  | -0.193 **  | -0.153 *** | -0.1       | 0.04       | 0.092      | 0.052      |
| 31     | 機会均等やジェンダーへの理解  | 4.539 ***  | -0.14      | -0.111 *** | -0.107     | 0.029      | 0.032      | 0.003      |
| 全体（平均） |                 | 9.39 ***   | -0.105 *** | -0.033     | -0.139 *** | 0.072 *    | -0.034     | -0.106 *** |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1。表中の数値のうち、分散分析はF値、多重比較は差分を表す。

図表 102 対象者間での汎用コンピテンス・習得度の差異

| №      | コンピテンス名         | 分散分析       | 多重比較       |            |            |            |           |            |
|--------|-----------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|------------|
|        |                 |            | 教員—<br>学生  | 卒業生<br>—学生 | 企業—学<br>生  | 卒業生<br>—教員 | 企業—<br>教員 | 企業—<br>卒業生 |
| 1      | 理論的な思考、分析、統合    | 15.725 *** | -0.204 *** | 0.016      | -0.302 *** | 0.22 ***   | -0.098    | -0.317 *** |
| 2      | 知識を実践に応用        | 8.813 ***  | -0.101     | 0.062      | -0.198 *** | 0.162 *    | -0.097    | -0.26 ***  |
| 3      | 計画立てと時間管理       | 14.07 ***  | -0.273 *** | -0.024     | -0.324 *** | 0.249 ***  | -0.051    | -0.3 ***   |
| 4      | 専門分野の知識と理解力     | 11.683 *** | -0.033     | 0.114 ***  | -0.202 *** | 0.147      | -0.169    | -0.316 *** |
| 5      | 母語での意思疎通        | 8.712 ***  | -0.24 ***  | 0.011      | -0.192 *** | 0.251 ***  | 0.048     | -0.203 *** |
| 6      | 第二言語での意思疎通      | 1.343      | -0.022     | 0.065      | 0.088      | 0.087      | 0.11      | 0.023      |
| 7      | 情報通信技術の活用       | 22.219 *** | 0.398 ***  | 0.27 ***   | 0.16 *     | -0.128     | -0.238 *  | -0.111     |
| 8      | 適切なレベルでの研究遂行    | 5.439 ***  | -0.179 *   | -0.057     | -0.174 *** | 0.122      | 0.005     | -0.117     |
| 9      | 最新の学術知識を取り入れる   | 8.235 ***  | -0.145     | 0.098 ***  | -0.11      | 0.244 ***  | 0.035     | -0.208 *** |
| 10     | 様々な資料を探し分析する    | 7.961 ***  | -0.075     | 0.032      | -0.231 *** | 0.107      | -0.156    | -0.263 *** |
| 11     | 批判的思考や省察        | 45.975 *** | -0.439 *** | 0.003      | -0.563 *** | 0.442 ***  | -0.124    | -0.566 *** |
| 12     | 新しい状況への適応       | 14.038 *** | -0.242 *** | -0.062     | -0.312 *** | 0.179 *    | -0.07     | -0.25 ***  |
| 13     | 新しい考え方を生み出す     | 4.737 ***  | -0.168     | -0.118 *** | -0.072     | 0.05       | 0.097     | 0.047      |
| 14     | 問題を特定し解決        | 21.028 *** | -0.338 *** | -0.07      | -0.335 *** | 0.268 ***  | 0.003     | -0.265 *** |
| 15     | 理論的な意思決定        | 20.52 ***  | -0.26 ***  | 0.002      | -0.361 *** | 0.262 ***  | -0.101    | -0.363 *** |
| 16     | チームでの作業         | 9.021 ***  | -0.239 *** | -0.142 *** | -0.139 *   | 0.097      | 0.1       | 0.003      |
| 17     | 対人関係スキル         | 6.812 ***  | -0.001     | -0.144 *** | -0.135 *   | -0.144     | -0.134    | 0.009      |
| 18     | 共通の目標に向け人を動機付ける | 9.696 ***  | -0.139     | -0.127 *** | -0.263 *** | 0.012      | -0.124    | -0.136     |
| 19     | 専門外の人と認識を共有できる  | 2.066      | -0.126     | -0.017     | -0.107     | 0.109      | 0.019     | -0.09      |
| 20     | 多様性の尊重          | 20.742 *** | -0.368 *** | -0.061     | -0.332 *** | 0.307 ***  | 0.035     | -0.271 *** |
| 21     | 国際的な仕事          | 4.974 ***  | 0.174      | -0.011     | 0.211 ***  | -0.185     | 0.038     | 0.223 ***  |
| 22     | 自律的に仕事をする       | 27.615 *** | -0.347 *** | -0.033     | -0.434 *** | 0.314 ***  | -0.087    | -0.401 *** |
| 23     | プロジェクトを設計し管理する  | 9.268 ***  | -0.13      | -0.094 **  | -0.282 *** | 0.036      | -0.153    | -0.188 **  |
| 24     | 安全性へのこだわり       | 12.206 *** | -0.354 *** | -0.114 *** | -0.214 *** | 0.24 **    | 0.14      | -0.1       |
| 25     | 起業家精神とイニシアチブの発揮 | 5.119 ***  | -0.163     | -0.107 **  | -0.153 *   | 0.056      | 0.01      | -0.046     |
| 26     | 倫理的思考に基づいた行動    | 5.79 ***   | -0.212 **  | 0.041      | -0.125     | 0.252 ***  | 0.087     | -0.165 **  |
| 27     | 仕事の成果の評価と質の維持   | 8.246 ***  | -0.224 *** | -0.072     | -0.198 *** | 0.152      | 0.026     | -0.126     |
| 28     | 自身の職責の遂行        | 25.455 *** | -0.39 ***  | -0.061     | -0.4 ***   | 0.328 ***  | -0.01     | -0.338 *** |
| 29     | 環境保護への深い関与      | 2.544 *    | -0.026     | -0.096 *   | 0.032      | -0.069     | 0.058     | 0.127      |
| 30     | 社会的責任に基づく行動     | 3.491 **   | -0.203 **  | -0.068     | -0.086     | 0.135      | 0.117     | -0.018     |
| 31     | 機会均等やジェンダーへの理解  | 3.364 **   | -0.18      | 0.038      | -0.097     | 0.218 **   | 0.084     | -0.134     |
| 全体（平均） |                 | 28.62 ***  | -0.169 *** | -0.024     | -0.189 *** | 0.146 ***  | -0.019    | -0.165 *** |

\*\*\* p<0.01, \*\* p<0.05, \* p<0.1。表中の数値のうち、分散分析はF値、多重比較は差分を表す。

### 5.3 汎用コンピテンス間の関係性

以上では、汎用コンピテンスそれぞれを個別に検討し、対象者間での重要度及び習得度に関わる認識の差異を確認した。つづく本節では、重要度・習得度の点で、各コンピテンス間にはどのような関係性が見られるのかを、相関分析及び因子分析をもとに検討する。

まず、汎用コンピテンス（31 項目）間の相関係数を見る。重要度に関する相関関係は図表 103 に、習得度に関する相関関係は図表 104 に示している<sup>40</sup>。

図表 103 から重要度の相関係数を見ると、すべての項目間（ペア）において1%水準で統計的に有意な相関があることがわかる。ただし、全体的として、相関係数が0.3以下のペアが大半であり、相関係数が0.6以上のペアは1つもない。相関係数が0.5以上のペアとしては、「チームでの作業」と「対人関係スキル」（0.569）、「問題を特定し解決」と「理論的な意

<sup>40</sup> 対象者別に見たコンピテンス項目間の相関関係については、参考資料を参照のこと。

思決定」(0.522)、「最新の学術知識を取り入れる」と「様々な資料を探し分析する」(0.519)、「社会的責任に基づく行動」と「機会均等やジェンダーへの理解」(0.514)、「環境保護への深い関与」と「社会的責任に基づく行動」(0.504)、「第二言語での意思疎通」と「国際的な仕事」(0.504)が挙げられる。

習得度については、ほとんどのペアにおいて1%水準で統計的に有意な結果が得られたが、重要度の場合と同様、相関係数が0.3以下のペアが多数を占める(図表 104)。「第二言語での意思疎通」と「安全性へのこだわり」(0.02)のペアのみ、10%水準以下で統計的に有意とはなっていない。相関係数が0.5以上のペアは、「第二言語での意思疎通」と「国際的な仕事」(0.602)、「チームでの作業」と「対人関係スキル」(0.568)、「問題を特定し解決」と「理論的な意思決定」(0.521)の3つのみである。

図表 103 汎用コンピテンンス・重要度の相関関係 (全対象者)

| No | コンピテンンス名        | 1     | 2     | 3     | 4     | 5     | 6     | 7     | 8     | 9     | 10    | 11    | 12    | 13    | 14    | 15    | 16    | 17    | 18    | 19    | 20    | 21    | 22    | 23    | 24    | 25    | 26    | 27    | 28    | 29    | 30 | 31 |  |
|----|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|----|--|
| 1  | 理論的な思考、分析、統合    | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |    |  |
| 2  | 知識を実践に応用        | 0.315 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |    |  |
| 3  | 計画立てと時間管理       | 0.172 | 0.32  | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |    |  |
| 4  | 専門分野の知識と理解力     | 0.19  | 0.351 | 0.242 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |    |  |
| 5  | 母語での意思疎通        | 0.147 | 0.251 | 0.382 | 0.152 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |    |  |
| 6  | 第二言語での意思疎通      | 0.153 | 0.217 | 0.187 | 0.221 | 0.222 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |    |  |
| 7  | 情報通信技術の活用       | 0.166 | 0.273 | 0.276 | 0.242 | 0.305 | 0.373 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |    |  |
| 8  | 適切なレベルでの研究遂行    | 0.208 | 0.204 | 0.126 | 0.305 | 0.099 | 0.297 | 0.282 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |    |  |
| 9  | 最新の学術知識を取り入れる   | 0.189 | 0.332 | 0.331 | 0.239 | 0.356 | 0.25  | 0.343 | 0.203 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |    |  |
| 10 | 様々な資料を探し分析する    | 0.216 | 0.342 | 0.346 | 0.234 | 0.314 | 0.232 | 0.363 | 0.233 | 0.519 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |    |  |
| 11 | 批判的思考や省察        | 0.264 | 0.286 | 0.265 | 0.222 | 0.241 | 0.254 | 0.261 | 0.246 | 0.377 | 0.411 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |    |  |
| 12 | 新しい状況への適応       | 0.161 | 0.27  | 0.385 | 0.214 | 0.319 | 0.233 | 0.295 | 0.175 | 0.408 | 0.397 | 0.383 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |    |  |
| 13 | 新しい考え方を生み出す     | 0.173 | 0.196 | 0.174 | 0.204 | 0.141 | 0.239 | 0.232 | 0.233 | 0.271 | 0.261 | 0.253 | 0.32  | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |    |  |
| 14 | 問題を特定し解決        | 0.223 | 0.308 | 0.325 | 0.244 | 0.28  | 0.197 | 0.294 | 0.219 | 0.355 | 0.386 | 0.354 | 0.398 | 0.36  | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |    |  |
| 15 | 理論的な意思決定        | 0.238 | 0.287 | 0.403 | 0.237 | 0.33  | 0.192 | 0.275 | 0.163 | 0.38  | 0.373 | 0.354 | 0.462 | 0.308 | 0.522 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |    |  |
| 16 | チームでの作業         | 0.066 | 0.184 | 0.366 | 0.133 | 0.277 | 0.14  | 0.224 | 0.11  | 0.243 | 0.259 | 0.179 | 0.361 | 0.204 | 0.3   | 0.391 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |    |  |
| 17 | 対人関係スキル         | 0.087 | 0.18  | 0.348 | 0.159 | 0.303 | 0.16  | 0.247 | 0.101 | 0.277 | 0.284 | 0.193 | 0.377 | 0.195 | 0.277 | 0.361 | 0.569 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |    |  |
| 18 | 共通の目標に向け人を動機付ける | 0.105 | 0.185 | 0.249 | 0.192 | 0.216 | 0.239 | 0.251 | 0.181 | 0.25  | 0.262 | 0.253 | 0.338 | 0.33  | 0.314 | 0.332 | 0.378 | 0.425 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |    |  |
| 19 | 専門外の人と認識を共有できる  | 0.121 | 0.207 | 0.221 | 0.269 | 0.211 | 0.208 | 0.256 | 0.227 | 0.276 | 0.319 | 0.255 | 0.352 | 0.272 | 0.328 | 0.335 | 0.306 | 0.325 | 0.436 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |    |  |
| 20 | 多様性の尊重          | 0.154 | 0.213 | 0.297 | 0.225 | 0.269 | 0.253 | 0.285 | 0.217 | 0.299 | 0.307 | 0.278 | 0.372 | 0.284 | 0.291 | 0.36  | 0.34  | 0.37  | 0.365 | 0.463 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |    |  |
| 21 | 国際的な仕事          | 0.121 | 0.136 | 0.119 | 0.207 | 0.143 | 0.504 | 0.26  | 0.272 | 0.169 | 0.176 | 0.192 | 0.216 | 0.304 | 0.197 | 0.183 | 0.185 | 0.199 | 0.295 | 0.3   | 0.316 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |    |    |  |
| 22 | 自律的に仕事をする       | 0.149 | 0.237 | 0.326 | 0.214 | 0.286 | 0.229 | 0.254 | 0.199 | 0.346 | 0.335 | 0.298 | 0.365 | 0.293 | 0.39  | 0.417 | 0.337 | 0.349 | 0.368 | 0.341 | 0.393 | 0.325 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |    |    |  |
| 23 | プロジェクトを設計し管理する  | 0.161 | 0.212 | 0.236 | 0.248 | 0.173 | 0.29  | 0.275 | 0.301 | 0.265 | 0.287 | 0.264 | 0.29  | 0.371 | 0.328 | 0.326 | 0.259 | 0.252 | 0.422 | 0.373 | 0.33  | 0.415 | 0.455 | 1     |       |       |       |       |       |       |    |    |  |
| 24 | 安全性へのこだわり       | 0.067 | 0.197 | 0.258 | 0.189 | 0.254 | 0.133 | 0.232 | 0.157 | 0.249 | 0.255 | 0.186 | 0.267 | 0.187 | 0.244 | 0.268 | 0.329 | 0.316 | 0.277 | 0.295 | 0.335 | 0.194 | 0.351 | 0.299 | 1     |       |       |       |       |       |    |    |  |
| 25 | 起業家精神とイニシアチブの発揮 | 0.125 | 0.142 | 0.092 | 0.159 | 0.086 | 0.197 | 0.156 | 0.222 | 0.152 | 0.16  | 0.173 | 0.176 | 0.348 | 0.216 | 0.189 | 0.174 | 0.166 | 0.342 | 0.292 | 0.243 | 0.353 | 0.269 | 0.392 | 0.22  | 1     |       |       |       |       |    |    |  |
| 26 | 倫理的思考に基づいた行動    | 0.162 | 0.191 | 0.28  | 0.166 | 0.278 | 0.144 | 0.223 | 0.133 | 0.262 | 0.283 | 0.25  | 0.313 | 0.167 | 0.281 | 0.31  | 0.281 | 0.274 | 0.283 | 0.288 | 0.35  | 0.183 | 0.345 | 0.294 | 0.368 | 0.251 | 1     |       |       |       |    |    |  |
| 27 | 仕事の成果の評価と質の維持   | 0.183 | 0.244 | 0.265 | 0.249 | 0.222 | 0.236 | 0.227 | 0.253 | 0.283 | 0.294 | 0.281 | 0.332 | 0.283 | 0.354 | 0.348 | 0.29  | 0.295 | 0.373 | 0.332 | 0.321 | 0.289 | 0.403 | 0.424 | 0.329 | 0.344 | 0.382 | 1     |       |       |    |    |  |
| 28 | 自身の職責の遂行        | 0.125 | 0.213 | 0.341 | 0.168 | 0.263 | 0.147 | 0.232 | 0.126 | 0.295 | 0.29  | 0.223 | 0.35  | 0.235 | 0.523 | 0.359 | 0.369 | 0.347 | 0.327 | 0.284 | 0.325 | 0.192 | 0.401 | 0.315 | 0.3   | 0.228 | 0.375 | 0.439 | 1     |       |    |    |  |
| 29 | 環境保護への深い関与      | 0.076 | 0.072 | 0.116 | 0.188 | 0.118 | 0.181 | 0.193 | 0.235 | 0.126 | 0.142 | 0.13  | 0.154 | 0.232 | 0.124 | 0.123 | 0.189 | 0.177 | 0.263 | 0.281 | 0.28  | 0.282 | 0.231 | 0.26  | 0.329 | 0.3   | 0.274 | 0.278 | 0.207 | 1     |    |    |  |
| 30 | 社会的責任に基づく行動     | 0.107 | 0.157 | 0.222 | 0.187 | 0.213 | 0.127 | 0.226 | 0.202 | 0.229 | 0.264 | 0.183 | 0.263 | 0.206 | 0.249 | 0.275 | 0.297 | 0.303 | 0.313 | 0.327 | 0.348 | 0.228 | 0.339 | 0.28  | 0.345 | 0.267 | 0.366 | 0.352 | 0.369 | 0.504 | 1  |    |  |
| 31 | 機会均等やジェンダーへの理解  | 0.131 | 0.123 | 0.132 | 0.191 | 0.179 | 0.176 | 0.226 | 0.196 | 0.214 | 0.241 | 0.189 | 0.24  | 0.234 | 0.204 | 0.23  | 0.211 | 0.217 | 0.255 | 0.312 | 0.374 | 0.258 | 0.304 | 0.283 | 0.318 | 0.345 | 0.324 | 0.255 | 0.49  | 0.514 | 1  |    |  |

\*\*\* p<0.01

図表 104 汎用コンピテンンス・習得度の相関関係 (全対象者)

| No | コンピテンンス名        | 1     | 2     | 3     | 4     | 5     | 6     | 7     | 8     | 9     | 10    | 11    | 12    | 13    | 14    | 15    | 16    | 17    | 18    | 19    | 20    | 21    | 22    | 23    | 24    | 25    | 26    | 27    | 28    | 29    | 30    | 31 |  |  |
|----|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|--|--|
| 1  | 理論的な思考、分析、統合    | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |  |  |
| 2  | 知識を実践に応用        | 0.44  | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |  |  |
| 3  | 計画立てと時間管理       | 0.243 | 0.278 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |  |  |
| 4  | 専門分野の知識と理解力     | 0.321 | 0.402 | 0.287 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |  |  |
| 5  | 母語での意思疎通        | 0.257 | 0.254 | 0.276 | 0.196 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |  |  |
| 6  | 第二言語での意思疎通      | 0.231 | 0.234 | 0.142 | 0.237 | 0.211 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |  |  |
| 7  | 情報通信技術の活用       | 0.19  | 0.22  | 0.131 | 0.242 | 0.204 | 0.248 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |  |  |
| 8  | 適切なレベルでの研究遂行    | 0.326 | 0.322 | 0.206 | 0.331 | 0.16  | 0.262 | 0.271 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |  |  |
| 9  | 最新の学術知識を取り入れる   | 0.347 | 0.38  | 0.268 | 0.348 | 0.32  | 0.234 | 0.277 | 0.343 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |  |  |
| 10 | 様々な資料を探し分析する    | 0.368 | 0.373 | 0.236 | 0.323 | 0.271 | 0.212 | 0.313 | 0.37  | 0.489 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |  |  |
| 11 | 批判的思考や省察        | 0.365 | 0.303 | 0.208 | 0.23  | 0.251 | 0.172 | 0.154 | 0.288 | 0.348 | 0.402 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |  |  |
| 12 | 新しい状況への適応       | 0.295 | 0.346 | 0.315 | 0.277 | 0.321 | 0.209 | 0.162 | 0.255 | 0.374 | 0.313 | 0.354 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |  |  |
| 13 | 新しい考え方を生み出す     | 0.265 | 0.299 | 0.17  | 0.278 | 0.141 | 0.24  | 0.17  | 0.298 | 0.289 | 0.275 | 0.277 | 0.372 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |  |  |
| 14 | 問題を特定し解決        | 0.371 | 0.35  | 0.326 | 0.314 | 0.289 | 0.219 | 0.2   | 0.337 | 0.381 | 0.364 | 0.353 | 0.387 | 0.374 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |  |  |
| 15 | 理論的な意思決定        | 0.404 | 0.342 | 0.388 | 0.286 | 0.317 | 0.174 | 0.164 | 0.278 | 0.369 | 0.354 | 0.363 | 0.258 | 0.521 | 0.374 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |  |  |
| 16 | チームでの作業         | 0.132 | 0.175 | 0.279 | 0.166 | 0.281 | 0.053 | 0.082 | 0.163 | 0.235 | 0.195 | 0.171 | 0.343 | 0.154 | 0.236 | 0.29  | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |  |  |
| 17 | 対人関係スキル         | 0.138 | 0.17  | 0.271 | 0.177 | 0.306 | 0.125 | 0.088 | 0.147 | 0.249 | 0.18  | 0.146 | 0.38  | 0.208 | 0.267 | 0.26  | 0.568 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |  |  |
| 18 | 共通の目標に向け人を動機付ける | 0.248 | 0.236 | 0.242 | 0.245 | 0.214 | 0.206 | 0.104 | 0.287 | 0.262 | 0.259 | 0.217 | 0.347 | 0.352 | 0.35  | 0.294 | 0.364 | 0.46  | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |  |  |
| 19 | 専門外の人と認識を共有できる  | 0.222 | 0.231 | 0.226 | 0.295 | 0.217 | 0.228 | 0.177 | 0.264 | 0.283 | 0.236 | 0.217 | 0.318 | 0.273 | 0.302 | 0.266 | 0.298 | 0.351 | 0.414 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |  |  |
| 20 | 多様性の尊重          | 0.191 | 0.206 | 0.18  | 0.196 | 0.273 | 0.215 | 0.134 | 0.142 | 0.3   | 0.244 | 0.274 | 0.331 | 0.197 | 0.25  | 0.253 | 0.306 | 0.322 | 0.241 | 0.402 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |  |  |
| 21 | 国際的な仕事          | 0.21  | 0.206 | 0.105 | 0.222 | 0.154 | 0.602 | 0.184 | 0.251 | 0.237 | 0.188 | 0.162 | 0.246 | 0.289 | 0.212 | 0.165 | 0.087 | 0.164 | 0.254 | 0.284 | 0.243 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |    |  |  |
| 22 | 自律的に仕事をする       | 0.305 | 0.289 | 0.399 | 0.284 | 0.258 | 0.191 | 0.132 | 0.267 | 0.313 | 0.323 | 0.308 | 0.398 | 0.247 | 0.381 | 0.419 | 0.287 | 0.269 | 0.33  | 0.314 | 0.295 | 0.231 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |       |    |  |  |
| 23 | プロジェクトを設計し管理する  | 0.354 | 0.325 | 0.28  | 0.303 | 0.187 | 0.266 | 0.2   | 0.362 | 0.283 | 0.309 | 0.291 | 0.321 | 0.358 | 0.386 | 0.362 | 0.186 | 0.205 | 0.383 | 0.344 | 0.19  | 0.337 | 0.444 | 1     |       |       |       |       |       |       |       |    |  |  |
| 24 | 安全性へのこだわり       | 0.115 | 0.154 | 0.21  | 0.151 | 0.205 | 0.02  | 0.083 | 0.124 | 0.21  | 0.17  | 0.146 | 0.207 | 0.078 | 0.194 | 0.213 | 0.313 | 0.252 | 0.161 | 0.248 | 0.272 | 0.044 | 0.256 | 0.14  | 1     |       |       |       |       |       |       |    |  |  |
| 25 | 起業家精神とイニシアチブの発揮 | 0.263 | 0.261 | 0.161 | 0.264 | 0.119 | 0.228 | 0.113 | 0.283 | 0.269 | 0.259 | 0.22  | 0.316 | 0.398 | 0.314 | 0.267 | 0.133 | 0.198 | 0.371 | 0.305 | 0.187 | 0.355 | 0.301 | 0.436 | 0.118 | 1     |       |       |       |       |       |    |  |  |
| 26 | 倫理的思考に基づいた行動    | 0.224 | 0.203 | 0.222 | 0.157 | 0.259 | 0.098 | 0.143 | 0.155 | 0.261 | 0.228 | 0.256 | 0.216 | 0.085 | 0.252 | 0.313 | 0.252 | 0.188 | 0.164 | 0.224 | 0.291 | 0.093 | 0.279 | 0.19  | 0.4   | 0.15  | 1     |       |       |       |       |    |  |  |
| 27 | 仕事の成果の評価と質の維持   | 0.355 | 0.348 | 0.355 | 0.324 | 0.26  | 0.227 | 0.166 | 0.346 | 0.349 | 0.344 | 0.309 | 0.38  | 0.316 | 0.394 | 0.421 | 0.277 | 0.262 | 0.385 | 0.359 | 0.254 | 0.269 | 0.453 | 0.43  | 0.287 | 0.356 | 0.341 | 1     |       |       |       |    |  |  |
| 28 | 自身の職責の遂行        | 0.21  | 0.243 | 0.362 | 0.223 | 0.286 | 0.113 | 0.1   | 0.228 | 0.298 | 0.274 | 0.262 | 0.376 | 0.161 | 0.305 | 0.36  | 0.407 | 0.315 | 0.295 | 0.316 | 0.319 | 0.152 | 0.441 | 0.302 | 0.344 | 0.231 | 0.338 | 0.443 | 1     |       |       |    |  |  |
| 29 | 環境保護への深い関与      | 0.056 | 0.115 | 0.092 | 0.163 | 0.085 | 0.097 | 0.108 | 0.134 | 0.125 | 0.123 | 0.076 | 0.173 | 0.148 | 0.115 | 0.108 | 0.177 | 0.146 | 0.154 | 0.223 | 0.218 | 0.176 | 0.128 | 0.129 | 0.348 | 0.195 | 0.248 | 0.194 | 0.202 | 1     |       |    |  |  |
| 30 | 社会的責任に基づく行動     | 0.133 | 0.169 | 0.213 | 0.175 | 0.186 | 0.108 | 0.086 | 0.16  | 0.229 | 0.207 | 0.174 | 0.266 | 0.139 | 0.206 | 0.24  | 0.321 | 0.271 | 0.248 | 0.287 | 0.291 | 0.149 | 0.267 | 0.209 | 0.389 | 0.203 | 0.334 | 0.296 | 0.387 | 0.473 | 1     |    |  |  |
| 31 | 機会均等やジェンダーへの理解  | 0.147 | 0.174 | 0.14  | 0.216 | 0.176 | 0.167 | 0.147 | 0.182 | 0.25  | 0.214 | 0.226 | 0.249 | 0.186 | 0.201 | 0.19  | 0.197 | 0.178 | 0.204 | 0.272 | 0.364 | 0.225 | 0.243 | 0.181 | 0.308 | 0.198 | 0.305 | 0.261 | 0.248 | 0.406 | 0.466 | 1  |  |  |

\*\*\* p<0.01



このように、汎用コンピテンスの重要度・習得度どちらの場合も、ほとんどのコンピテンス項目間には低～中程度の正の相関が確認されるため、それぞれのコンピテンス項目の背後には何らかの関係性の構造があると考えられる。

そこで、汎用コンピテンス（31 項目）の背後にある因子構造を探るために、重要度、習得度それぞれについて、因子分析（反復主因子法、プロマックス回転）を行なった。分析では、因子の意味を解釈しやすいように、因子数を 4 と仮定して計算をした。なお、各因子の意味の解釈は、因子負荷が 0.4 以上の項目を中心としている。

まず、重要度に関しては、協働による作業や職責の遂行に関わる「協働・職務遂行」、知識に基づく応用的実践や考察・分析などの「応用実践・調査分析」、国際的な仕事や新たな事業・思考の創出に関わる「国際性・創造性」、そして社会的な倫理や責任に基づく行動に関わる「社会倫理・責任」が因子として抽出された<sup>41</sup>（図表 105）。

つぎに、習得度に関しては、「応用実践・調査分析」、「協働・職務遂行」、「社会倫理・責任」、「国際性・創造性」が因子として抽出された<sup>42</sup>（図表 106）。先述の重要度の場合と同様、「応用実践・調査分析」には知識の基づく応用的実践や考察・分析などの項目、「協働・職務遂行」には協働による作業や職責の遂行などの項目、「社会倫理・責任」には社会的な倫理や責任に基づく行動に関わる項目、そして「国際性・創造性」には国際的な仕事や新たな事業・思考の創出に関わる項目が、それぞれ高い負荷を示している。

各因子を構成するコンピテンス項目の組合せには重要度と習得度とでいくらかの違いはあるが、汎用コンピテンス・31 項目は、おもに「協働・職務遂行」、「応用実践・調査分析」、「国際性・創造性」、「社会倫理・責任」をあらわす 4 つのまとまりに集約されることがわかる。

---

<sup>41</sup> 因子どうしの相関係数を見ると、第 1 因子（協働・職務遂行）と第 2 因子（応用実践・調査分析）では 0.744、第 1 因子（協働・職務遂行）と第 3 因子（国際性・創造性）では 0.598、第 1 因子（協働・職務遂行）と第 4 因子（社会倫理・責任）では 0.636、第 2 因子（応用実践・調査分析）と第 3 因子（国際性・創造性）では 0.592、第 2 因子（応用実践・調査分析）と第 4 因子（社会倫理・責任）では 0.462、そして第 3 因子（国際性・創造性）と第 4 因子（社会倫理・責任）では 0.663 となっている。

<sup>42</sup> 因子どうしの相関係数を見ると、第 1 因子（応用実践・調査分析）と第 2 因子（協働・職務遂行）では 0.732、第 1 因子（応用実践・調査分析）と第 3 因子（社会倫理・責任）では 0.555、第 1 因子（応用実践・調査分析）と第 4 因子（国際性・創造性）では 0.595、第 2 因子（協働・職務遂行）と第 3 因子（社会倫理・責任）では 0.658、第 2 因子（協働・職務遂行）と第 4 因子（国際性・創造性）では 0.447、そして第 3 因子（社会倫理・責任）と第 4 因子（国際性・創造性）では 0.326 となっている。

図表 105 汎用コンピテンス・重要度の因子分析（回転後の因子負荷）

|                     | 第1因子<br>協働・職<br>務遂行 | 第2因子<br>応用実<br>践・調査<br>分析 | 第3因子<br>国際性・<br>創造性 | 第4因子<br>社会倫<br>理・責任 |
|---------------------|---------------------|---------------------------|---------------------|---------------------|
| 16. チームでの作業         | 0.809               | -0.147                    | -0.041              | -0.020              |
| 17. 対人関係スキル         | 0.772               | -0.108                    | -0.014              | -0.032              |
| 18. 共通の目標に向け人を動機付ける | 0.568               | -0.184                    | 0.379               | -0.059              |
| 28. 自身の職責の遂行        | 0.542               | 0.007                     | -0.032              | 0.136               |
| 15. 理論的な意思決定        | 0.484               | 0.350                     | -0.020              | -0.103              |
| 12. 新しい状況への適応       | 0.453               | 0.337                     | -0.005              | -0.074              |
| 22. 自律的に仕事をする       | 0.433               | 0.089                     | 0.178               | 0.055               |
| 3. 計画立てと時間管理        | 0.411               | 0.384                     | -0.173              | -0.027              |
| 20. 多様性の尊重          | 0.334               | 0.090                     | 0.132               | 0.188               |
| 19. 専門外の人と認識を共有できる  | 0.299               | 0.043                     | 0.265               | 0.116               |
| 27. 仕事の成果の評価と質の維持   | 0.291               | 0.070                     | 0.217               | 0.167               |
| 2. 知識を実践に応用         | -0.025              | 0.629                     | -0.015              | -0.028              |
| 10. 様々な資料を探し分析する    | 0.089               | 0.614                     | -0.030              | 0.033               |
| 9. 最新の学術知識を取り入れる    | 0.128               | 0.604                     | -0.037              | -0.017              |
| 11. 批判的思考や省察        | -0.005              | 0.529                     | 0.116               | -0.038              |
| 1. 理論的な思考、分析、統合     | -0.187              | 0.490                     | 0.072               | 0.018               |
| 7. 情報通信技術の活用        | -0.025              | 0.435                     | 0.158               | 0.054               |
| 5. 母語での意思疎通         | 0.294               | 0.395                     | -0.162              | 0.031               |
| 4. 専門分野の知識と理解力      | -0.116              | 0.388                     | 0.152               | 0.117               |
| 14. 問題を特定し解決        | 0.333               | 0.346                     | 0.098               | -0.103              |
| 21. 国際的な仕事          | -0.058              | -0.038                    | 0.747               | -0.019              |
| 23. プロジェクトを設計し管理する  | 0.218               | -0.002                    | 0.555               | -0.028              |
| 6. 第二言語での意思疎通       | -0.159              | 0.297                     | 0.529               | -0.100              |
| 25. 起業家精神とイニシアチブの発揮 | 0.105               | -0.120                    | 0.497               | 0.108               |
| 13. 新しい考え方を生み出す     | 0.140               | 0.112                     | 0.430               | -0.049              |
| 8. 適切なレベルでの研究遂行     | -0.280              | 0.342                     | 0.366               | 0.135               |
| 29. 環境保護への深い関与      | -0.121              | -0.083                    | 0.138               | 0.729               |
| 30. 社会的責任に基づく行動     | 0.136               | -0.009                    | -0.099              | 0.709               |
| 31. 機会均等やジェンダーへの理解  | -0.047              | 0.056                     | -0.007              | 0.702               |
| 26. 倫理的思考に基づいた行動    | 0.289               | 0.126                     | -0.106              | 0.365               |
| 24. 安全性へのこだわり       | 0.318               | -0.010                    | -0.035              | 0.364               |

因子抽出法：反復主因子法 回転法：Kaiserの正規化を伴うプロマックス法。



図表 106 汎用コンピテンンス・習得度の因子分析（回転後の因子負荷）

|                     | 第1因子<br>応用実<br>践・調査<br>分析 | 第2因子<br>協働・職<br>務遂行 | 第3因子<br>社会倫<br>理・責任 | 第4因子<br>国際性・<br>創造性 |
|---------------------|---------------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 1. 理論的な思考、分析、統合     | 0.732                     | -0.138              | -0.097              | 0.037               |
| 10. 様々な資料を探し分析する    | 0.704                     | -0.141              | 0.035               | 0.004               |
| 2. 知識を実践に応用         | 0.667                     | -0.103              | -0.030              | 0.050               |
| 15. 理論的な意思決定        | 0.644                     | 0.155               | -0.039              | -0.146              |
| 11. 批判的思考や省察        | 0.595                     | -0.071              | 0.024               | -0.018              |
| 9. 最新の学術知識を取り入れる    | 0.591                     | -0.034              | 0.069               | 0.037               |
| 14. 問題を特定し解決        | 0.575                     | 0.148               | -0.087              | 0.036               |
| 8. 適切なレベルでの研究遂行     | 0.499                     | -0.079              | -0.019              | 0.199               |
| 4. 専門分野の知識と理解力      | 0.481                     | -0.060              | 0.044               | 0.140               |
| 27. 仕事の成果の評価と質の維持   | 0.432                     | 0.170               | 0.115               | 0.063               |
| 3. 計画立てと時間管理        | 0.401                     | 0.273               | -0.031              | -0.147              |
| 7. 情報通信技術の活用        | 0.390                     | -0.200              | 0.065               | 0.143               |
| 22. 自律的に仕事をする       | 0.388                     | 0.261               | 0.040               | 0.004               |
| 23. プロジェクトを設計し管理する  | 0.384                     | 0.140               | -0.071              | 0.277               |
| 5. 母語での意思疎通         | 0.311                     | 0.192               | 0.059               | -0.062              |
| 17. 対人関係スキル         | -0.235                    | 0.899               | -0.061              | 0.030               |
| 16. チームでの作業         | -0.114                    | 0.747               | 0.089               | -0.148              |
| 18. 共通の目標に向け人を動機付ける | -0.017                    | 0.608               | -0.115              | 0.252               |
| 12. 新しい状況への適応       | 0.273                     | 0.378               | -0.010              | 0.095               |
| 28. 自身の職責の遂行        | 0.229                     | 0.375               | 0.215               | -0.142              |
| 19. 専門外の人と認識を共有できる  | 0.026                     | 0.344               | 0.147               | 0.254               |
| 29. 環境保護への深い関与      | -0.159                    | -0.092              | 0.701               | 0.163               |
| 30. 社会的責任に基づく行動     | -0.073                    | 0.103               | 0.677               | 0.022               |
| 31. 機会均等やジェンダーへの理解  | -0.003                    | -0.100              | 0.639               | 0.177               |
| 24. 安全性へのこだわり       | 0.072                     | 0.102               | 0.547               | -0.176              |
| 26. 倫理的思考に基づいた行動    | 0.303                     | -0.028              | 0.447               | -0.182              |
| 20. 多様性の尊重          | 0.020                     | 0.227               | 0.303               | 0.132               |
| 21. 国際的な仕事          | -0.053                    | -0.010              | 0.093               | 0.740               |
| 6. 第二言語での意思疎通       | 0.125                     | -0.109              | 0.027               | 0.585               |
| 25. 起業家精神とイニシアチブの発揮 | 0.183                     | 0.142               | -0.001              | 0.380               |
| 13. 新しい考え方を生み出す     | 0.266                     | 0.136               | -0.110              | 0.337               |

因子抽出法：反復主因子法 回転法：Kaiserの正規化を伴うプロマックス法。

なお、参考までに、以上で抽出された各因子について、それらの因子得点（平均0、分散1に標準化）の平均値を対象者別に示したものが、図表 107（重要度）及び図表 108（習得度）である。

大まかな傾向を見てみると、重要度に関しては、「協働・職務遂行」及び「応用実践・調査分析」では卒業生の平均得点が最も高いのに対して、「国際性・創造性」及び「社会倫理・責任」では学生の平均得点が最も高くなっている。また、各因子の平均得点が最も低い対象者を挙げると、「協働・職務遂行」及び「社会倫理・責任」では教員、「応用実践・調査分析」

及び「国際性・創造性」では企業人となっている。

他方、習得度に関しては、「応用実践・調査分析」では卒業生、「協働・職務遂行」及び「社会倫理・責任」では学生、そして「国際性・創造性」では教員の平均得点が最も高くなっている。平均得点が最も低い対象者としては、「応用実践・調査分析」及び「協働・職務遂行」では企業人、「社会倫理・責任」では教員、「国際性・創造性」では卒業生が挙げられる。また、どの因子においても、学生と卒業生、教員と企業人の平均得点が比較的近い傾向にあることがわかる。

図表 107 汎用コンピテンス・重要度の因子得点（対象者別平均値）

|     | 第1因子<br>協働・職務<br>遂行 | 第2因子<br>応用実践・<br>調査分析 | 第3因子<br>国際性・創<br>造性 | 第4因子<br>社会倫理・<br>責任 |
|-----|---------------------|-----------------------|---------------------|---------------------|
| 学生  | -0.015              | 0.024                 | 0.124               | 0.090               |
| 教員  | -0.351              | 0.009                 | -0.107              | -0.264              |
| 卒業生 | 0.078               | 0.046                 | -0.114              | -0.097              |
| 企業人 | 0.038               | -0.331                | -0.395              | -0.124              |

図表 108 汎用コンピテンス・習得度の因子得点（対象者別平均値）

|     | 第1因子<br>応用実践・<br>調査分析 | 第2因子<br>協働・職務<br>遂行 | 第3因子<br>社会倫理・<br>責任 | 第4因子<br>国際性・創<br>造性 |
|-----|-----------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 学生  | 0.060                 | 0.106               | 0.052               | 0.000               |
| 教員  | -0.342                | -0.286              | -0.293              | 0.073               |
| 卒業生 | 0.062                 | -0.078              | -0.015              | -0.024              |
| 企業人 | -0.462                | -0.325              | -0.151              | 0.043               |

#### 5.4 まとめ

本章では、経済学・ビジネスの全対象者のデータをもとに、汎用コンピテンスに関する分析を行った。以下では、1) 回答分布、2) 対象者間でのコンピテンス認識の差異、3) コンピテンス項目間での関係性の順に、おもな知見をまとめる。

第1に、回答分布の確認から、汎用コンピテンス(31項目)のうち、「母語での意思疎通」、「計画立てと時間管理」、「対人関係スキル」、「チームでの作業」、「理論的な意思決定」などの項目は、学生・卒業生・企業人にとって、特に重要度の高いコンピテンスと考えられていることがわかった。教員の場合は、他の対象者と比べて、「最新の学術知識を取り入れる」、「様々な資料を探し分析する」、「知識を実践に応用」、「批判的思考や省察」といった学術実践と関連性が深いコンピテンスをより重要だと位置づける傾向が見られた。他方、習得度に関しては、対象者によって認識の差異が見られるが、全体的な傾向として、研究や創造性、あるいは国際性に関わるコンピテンス群は、学部卒業時での習得度が低いとみなされている。

た。

第2に、対象者間でのコンピテンス認識の差異について、分散分析及び多重比較を行った結果、重要度認識に関しては、どの対象者ペアでも10～15程度のコンピテンス項目において統計的に有意な認識差が確認された。習得度認識に関しては、企業人と学生との間で認識の違いが大きく、企業人よりも学生の方がより評価が高い項目が多く見られた。他方、企業人と教員の間で、習得度認識に統計的に有意な差がある項目はほとんどなかった。

そして最後に、汎用コンピテンス間の関係を相関分析によって検討した結果、重要度・習得度どちらの場合も、ほとんどのコンピテンス項目間には低・中程度の正の相関が見られた（ただし、重要度では0.6以上の強い相関があるペアはなかった）。そのため、汎用コンピテンスの背後にある関係構造を因子分析によって確認したところ、（主要な構成項目には違いがあるが）重要度・習得度どちらについても、「協働・職務遂行」、「応用実践・調査分析」、「国際性・創造性」、「社会倫理・責任」の4つのまとまり（因子）に集約された。

## 6. 結論と考察

本調査では、経済学・ビジネス分野において、就職を前に大学（学部）の卒業生に備わっていることが期待されるコンピテンスについて把握することを目的とした。本章では、経済学・ビジネスの各分野における専門コンピテンス及び汎用コンピテンスに関する分析の結果を要約・考察し、今後の課題を述べる。

### 【結論】

全体分析の結果から、まず、経済学においては、基礎的な理解や経済統計に関わる項目の重要度・習得度が高く評価される傾向が示された。ただし、対象者間で認識の違いが見られ、重要度・習得度どちらの場合も、認識の違いが企業人と他の対象者の間で大きく、前者よりも後者の方がより評価が高い。教員と学生間での認識差は比較的小さい。

また、経済学の学生・卒業生に限定した分析から、学生の場合、「統計・計量」の習得度が高い者ほど、専門理解度や教育満足度が高くなる結果が見出された。また、「応用・研究」の習得度が高い者ほど、専門理解度が高く、「応用経済」の重要度を高く評価する者ほど、就職希望先関連度が高い。他方、卒業生の場合も、「統計・計量」の習得度が高い者ほど、専門理解度や教育満足度が高くなる傾向がある。「応用経済」の重要度認識は専門理解度と、「応用・経済」の習得度認識は就職先関連度と正の関連があることも示された。ただし、卒業生では、「専門語学」の習得度と専門理解度に負の関連がある可能性も示唆された。

他方、ビジネスにおいては、日常的な業務遂行に役立つスキルや基礎的な理解に関わる項目の重要度が高く評価され、それらの項目の一部（仕事の段取りを決めるスキル、適切なデータ収集と図表などへの加工、経済紙情報の正確な理解）は習得度の点でも高い傾向が示された。対象者間での重要度・習得度の認識差は、特に学生と卒業生・企業人の間で大きく、前者の方が後者よりも評価が高い。教員と学生間での認識差は比較的小さい。

また、ビジネスの学生・卒業生に限定した分析から、学生の場合、「専門基礎」の習得度が高い者ほど、専門理解度が高く、また「理論的考察」の重要度が高い、あるいは「専門基礎」の習得度が高いと考える者ほど、就職希望先関連度が高くなる傾向が見出された。他方、卒業生の場合、「会計・財務」の習得度が高い者ほど、専門理解度が高く、また「会計・ビジネス基礎」の重要度が高いと考える者ほど、専門分野と就職先との関連度が高くなること示された。ビジネスでも、コンピテンス認識と学生・卒業生の理解度・進路（希望）が関係している可能性が示唆されたが、教育満足度との関係は見られなかった。

汎用コンピテンスについては、「母語での意思疎通」、「計画立てと時間管理」、「対人関係スキル」、「チームでの作業」、「理論的な意思決定」などは、学生・卒業生・企業人にとって特に重要度が高い項目と評価されるが、教員の場合、学術実践と関連性が深いコンピテンスをより重要だと考える傾向がある。研究や創造性、国際性に関わるコンピテンスの習得度は、学部卒業時で低いとみなされている。対象者間での認識の違いは、重要度では明瞭でないが、

習得度に関しては、企業人と学生間での差が比較的大きく、前者よりも後者の方がより評価が高い。企業人と教員間での習得度認識の差はほとんど見られない。

最後に、大学間比較の結果について述べる。まず、経済学とビジネスの双方において、大学間ペアの回答傾向を見たところ、学生と卒業生は大学間で比較的高い相関を示すが、教員は特定の大学間において低位から中程度の相関を示すことが分かった。このような大学間の違いをもたらすコンピテンスは、両分野に共通して英語読解コンピテンスであると考えられる。英語読解コンピテンスは、学生と教員に共通して習得度で多くの大学間で差異が示されたためである。その他に、経済学においては、学生は統計の習得度、卒業生は計量の習得度でも違いが多く見られた。教員は、古典の重要度や英語読解の習得度認識で違いが多く見られた。ビジネスでは2つのコンピテンス（経営戦略に基づいた企業行動の考察やマーケティングの基本概念に基づいた考察）での有意差も示された。ビジネスでは、学生と教員では専門的英文書読解コンピテンス（学生の習得度と教員の重要度認識）や、英語のネット情報理解（学生と教員双方ともに習得度）で大学間ペアの有意差が多く見られた。また学生と卒業生では、ビジネスの基礎用語の説明を重要と見なす程度や、2つのコンピテンス（経営戦略に基づいた企業行動の考察やマーケティングの基本概念に基づいた現象の考察）の習得度で大学間ペアの違いが多く示された。

#### 【考察】

まず、全体分析の結果から、経済学・ビジネスどちらの分野でも、企業人は学生・教員よりも専門コンピテンスの重要度・習得度を低く認識することが示された。大学教育を通じてどのようなコンピテンスを育むか、本調査の知見を活用し、特に企業人と大学関係者間での対話を通じた合意形成をさらに進める必要性が示唆される。しかしその一方で、先述の通り、どの対象者でも共通して、基礎的な理解・スキルに関わるコンピテンスの重要度及び習得度が概して高く評価されること、またそれらを含むコンピテンス群の習得度が学生・卒業生の教育評価や進路（希望）に関係することが示された。特に、経済学では、学生・卒業生の専門理解度あるいは教育満足度に対して、「統計・計量」の習得度が正の効果を示すこと、他方、ビジネスでは、学生の専門理解度あるいは専門と就職希望先との関連度に対して、「専門基礎」の習得度が正の効果を示すことは注目される。今後精緻な分析を進める必要はあるが、より多くの学生が基礎的な理解・スキルに関わる専門コンピテンスを習得できることを目標に、教育内容・方法を改善していくことが、大学における教育実践上の課題の一つとなるのではないだろうか。さらに、基礎的な理解・スキルに関わるコンピテンスだけでなく、どの対象者でも概して習得度が低く評価される傾向にあった、外国語（英語等）や国際性・創造性に関わるコンピテンスを、専門教育の中でどのように位置づけていくのかも、今後検討されるべき重要な課題といえるだろう。

つぎに、大学間比較の結果、経済学とビジネスのコンピテンス認識における大学間の違いは、英語読解に関連するコンピテンスに基づくことが示された。ビジネスでは専門的内

容のコンピテンスも一部含まれるが、経済学では経済学的内容のコンピテンスは含まれない。なぜこのようなコンピテンスによって大学間の違いが示されるのだろうか。その理由を推察するのは容易ではないが、専門的内容と比較して、英語や統計（の基礎となる数学）は日本全体での評価が可能であることや、各大学の3つ（ディプロマ・カリキュラム・アドミッション）のポリシーが学生や卒業生の認識に影響している可能性が考えられる。これらは認識の分析結果に過ぎないが、教育成果を大学の機能強化に位置付ける上で、大学関係者が自大学の結果を考察する意味は大きいと考えられる。

#### 【本研究の制約と今後の課題】

本分析結果の一般化制約は回答者の代表性に留意を要する点である。例えば一部大学の教員数は当該大学の教員を代表するのに足る人数が集まっているのかなどである。本報告書では企業人を一枚岩かのように捉えているが、例えば職務内容や職位などによる差異も詳細な検討を進める必要がある。また報告書の一部では大学間比較を行い大学間の差異や差異をもたらすコンピテンスが示されたが、その差異をより精緻に分析するためには比較可能性を持つより多くの大学の参加を促す必要がある。さらに日本全体への示唆を得るためには、多様な水準を含む調査対象大学の拡大が求められる。

特定の大学間の違いおよび特定のコンピテンスの認識の違いは、何によってもたらされるのか。特に学生や卒業生の大学間の違いは教育内容すなわちカリキュラム編成によってもたらされることが想像される。これら違いをもたらす具体的な要因を実証的に把握することが今後の課題と考えられる。

その他には、これらコンピテンス認識の影響が考えられる。今回の分析で一部明らかとなったコンピテンスの認識が、学習達成度や職業キャリアにおいてどう作用するのか、専門コンピテンスと汎用コンピテンスの両方の視点から明らかにすることも今後のテーマとなりうるだろう。

## 作業分担

本報告書作成の分担は以下の通りである（掲載は 50 音順）。なお本文中の誤りは全て執筆者の責任である。

分析・図表作成：

ガンボルド ツェレンチメド 一橋大学大学院経済学研究科 修士課程

（回答分布・回帰分析・参考資料）

柳楽 明伸 一橋大学大学院商学研究科 博士後期課程

（分散分析・多重比較・参考資料）

執筆：

加藤 真紀 一橋大学森有礼高等教育国際流動化センター

（1 章、2 章、3 章・4 章（大学間比較））

喜始 照宣 一橋大学森有礼高等教育国際流動化センター

（3 章・4 章（全体分析）、5 章）

※6 章や Executive Summary については共同で行った

本調査の実施と報告書作成には、一橋大学森有礼高等教育国際流動化センターの他の教職員にご協力いただいた。深く感謝したい。